

工 事 番 号		部 長	課 長	係 長	検 算 者	設 計 者	
設 計 年 度	令 和 7 年 度	雨水排水ポンプ場耐水化工事(7-1)仕様書 公共下水道事業 三原市明神三丁目外 仕 様 書					
施 工 月 日	令 和 年 月 日						
施 工 方 法	請 負						
工 事 期 間							
工 事 概 要			施 工 理 由				
雨水排水ポンプ場耐水化 ・明神雨水排水ポンプ場 耐水扉設置 3箇所 ・東町雨水排水ポンプ場 耐水扉設置 2箇所 ・宗郷雨水排水ポンプ場 耐水扉設置 2箇所							

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、三原市明神三丁目外 雨水排水ポンプ場耐水化工事(7-1)に適用する
 - 2 本特記仕様書及び工種別特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・土木工事共通仕様書 令和7年8月（適用区分「広島」及び「広島県」）
- ※ 土木工事共通仕様書は「広島県の調達情報」に掲載している。

<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>

第2節 検査

三原市工事検査規程の定めるところによる。

第3節 部分引渡し

建設工事契約約款第39条により、本工事の内、部分引渡しの必要が生じた場合は、当該部分の検査を受け部分引渡しを行うこと。

第4節 情報共有システム

本工事は、情報共有システムの対象であり、実施については土木工事共通仕様書1-1-1-25 施工管理「10.工事情報共有化」に従うこと。

第5節 週休2日工事等

本工事は、「発注者指定型」による週休2日工事等の対象工事であり、実施にあたっては「三原市週休2日適用工事等実施要領(建築工事)」に基づき実施するものとする。

第2章 施工条件

第1節 石綿使用の有無

受注者は、建築物・工作物等の解体・改修工事を行う際、石綿(アスベスト)の使用の有無の「事前調査」を行わなければならない。石綿障害予防規則に基づく一定規模以上の工事にあつては「事前調査結果の報告」を所轄労働基準監督局に届出を行わなければならない。

第3章 その他

本工事内及び近接する地域住民、企業等には工事内容等を十分に周知・調整したうえで、苦情やトラブルのないよう施工に努めること。また、特記仕様書及び設計図書に明示していない事項、または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

本工事費内訳書

費 目	工 種	種 別	細 別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
		雨水排水ポンプ場耐水化工事(7-1)						
		明神雨水排水ポンプ場		式	1.0			
		東町雨水排水ポンプ場		式	1.0			
		宗郷雨水排水ポンプ場		式	1.0			
		小計						
		消費税相当額	10%	式	1.0			
		本工事費						

本工事費内訳書

明神雨水排水ポンプ場

費 目	工 種	種 別	細 別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
		雨水排水ポンプ場耐水化工事(7-1)						
		建築工事費		式	1.0			
		機械設備工事費		式	1.0			
		電気設備工事費		式	1.0			
		小計						
		消費税相当額	10%	式	1.0			
		本工事費						

明神雨水排水ポンプ場 建築

[illegible]

[illegible]

[illegible]

⑧-1

鉄骨工事

4

高力ボルト

高力ボルトの種類
※トリア高力ボルト 2種（SHT）
・JIS 形高力ボルト 2種（FHT）
・（ ）
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 [8.13.2]
※構造関係共通事項（鉄骨標準図） I-1 縁端距離及びボルト間隔
・構造図による
摩擦面の処理方法 [8.14.2]
※自然発錆（黒皮等を除去した後に自然放置して表面に赤さびが発生した状態）
・プラスト処理（表面粗度 50 μm以上）
・すべり試験の実施
※すべり係数試験 ・すべり耐力試験
試験方法等 ※構造図による
すべり試験を実施する場合、改修標準仕様書 8.14.2(1)(f) による摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。

5

溶融亜鉛めっき高力ボルト

セットの種類
※1種（HIT）相当
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 [8.13.2]
※構造関係共通事項（鉄骨標準図） I-1 縁端距離及びボルト間隔
・構造図による
摩擦面の処理方法等 [8.20.5]
※プラスト処理（表面粗度 50 μm以上）又はりん酸塩処理
・構造図による
・すべり試験の実施
※すべり係数試験 ・すべり耐力試験
試験方法等 ※構造図による
すべり試験を実施する場合、改修標準仕様書 8.14.2(1)(f) 又は (d) による摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。

⑥

普通ボルト

ボルト及びナットの材料 (7.2.3)
※標準仕様書 表 7.2.3(2) 参照事項 又は次による
ボルトの規格は、 JIS B 1106 とする。ボルトの種類は呼び径六角ボルト又は金物六角ボルトとし、材料は鋼とする。ボルトの強度区分は、 4.6 又は 4.8 とする。なお、呼び径六角ボルトの軸線の最大寸法は、ボルトの径の値以下とする。ナットの規格は、 JIS B 1109 とする。ナットの種類は、六角ナットととし、材料は鋼とする。

座 金 (7.2.3)
※ JIS B 1106 による ・構造図による
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 [8.13.2]
※構造関係共通事項（鉄骨標準図） I-1 縁端距離及びボルト間隔
・構造図による
母屋又は剛継の取付けに使用するボルトの孔径 (7.3.8)
※ねじの呼び径 φ1mm
・構造図による

7

アンカーボルト

・構造用アンカーボルト (7.2.4) (7.3.2)
セットの種類（ JIS S 1020 ）
・ G600 級鋼 （ ）
・建方用アンカーボルト種類
・ S400 （ ）
アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度
※標準仕様書 表 7.2.3 による
・構造図による
・標準仕様書 7.2.4 以外のアンカーボルト適用箇所
・図示による（ ）
種類
・ S400
アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度
※標準仕様書 表 7.2.3 による

ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
※構造図による（構造関係共通事項（鉄骨標準図） I-1 縁端距離及びボルト間隔）

⑨

溶接材料

溶接材料 [8.2.10]
○改修標準仕様書 8.2.10(1)(2) による
・構造図による

9

スタッド

種類等 [8.2.11]

10

製作精度

鉄骨の製作精度は、 JIS S 付則 6「鉄骨精度検査基準」に加えて、次による
通しダイアグラムの突合せ継手の食い違いの寸法
・ H12 建造第 164 号第二号イ ② による
・構造図による
アンダーカットの寸法
・ H12 建造第 164 号第二号イ ③ による
・構造図による

食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法
・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による
・構造図による

11

溶接作業を行う技能資格者の技量付加試験

試験の要領 [8.15.3]
※構造図による

12

溶接接合

開先の形状 [8.15.4]
※構造関係共通事項（鉄骨標準図） I-1
・鋼製エンドタブの切断する部分 [8.15.7]
切断する箇所
※構造図による
切断する範囲
・構造図による
・鋼製エンドタブ、裏当て金等は、実フランジの端から 5mm 以下を残して直線状に切断する。
なお、切断端が交差する場合は、交差点をアール状に加工する
切断面の仕上げ
※改修標準仕様書 8.15.7(1)(カ)(ク) ②による
・構造図による
スカラップの形状 [8.15.7]
※構造関係共通事項（鉄骨標準図） I-4

13

入熱、バス間温度の溶接条件

鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件
※構造関係共通事項（鉄骨標準図） I-4
・構造図による
適用箇所
※柱、梁、プレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部
・構造図による

14

溶接部の試験

平成 12 年度第 164 号第二号に関する外観試験方法等 [8.15.12]
・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」 3.5.2 受入検査による
・抜き取り検査 ①
※抜き取り検査 ②

JIS S 付則 6「鉄骨精度検査基準」の付表「溶接」に関する試験方法等
・ JIS S 1041 受入検査 Ⅳ 溶接部の外観検査 ① から ⑤ までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の採取箇所は、超音波探傷試験の採取箇所と同一とする。外観試験の不適合箇所は、すべて標準仕様書 7.6.10 による補修を行い、再試験する
完全溶込み溶接部の超音波探傷試験
・工場溶接の場合
※全数
・工場現場溶接の場合
※全数

15

錆止め塗装

塗料の種類 [8.17.2]
・耐火被覆材の接着する面の塗装
範囲 ※構造図による
○耐火被覆材の接着する面以外の塗装
範囲 ※標準仕様書 8.17.2(ア)～(オ)以外
・構造図による

塗料種類 [8.17.4]
下記以外の鉄鋼物は、 J 章「塗装改修工事」による
・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種類別
※ A 種
・ B 種
・耐火被覆材が接着する面の塗料の種類別
・（ ）
[8.18.2 ～ 4]

16

耐火被覆

種類、材料、工法等

種 類	材 料 ・ 工 法	性 能（耐火時間）	適 用 箇 所（部位・部分）
・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール		
	・半乾式吹付けロックウール		
	・湿式ロックウール		
	・		
・耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板		
	・		
・耐火材巻付け	・高断熱ロックウール		
	・		
・ラス張りモルタル塗り	-		
	・耐火塗料		

17

アンカーボルト等の設置等

構造用アンカーボルトの形状及び寸法 (7.10.3)
※構造図による
構造用アンカーフレームの形状及び寸法 (7.10.3)
※構造図による
建方用アンカーボルトの形状及び寸法 (7.10.3)
※構造図による
建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 (7.10.3)
種類
・ A 種 B 種
柱底均しモルタル厚さ及び工法の種類 (7.10.3)
厚さ （ ）
種類 ※ A 種 B 種

18

鉄骨プレース設置後の仕上げ

※意匠図による [8.22.9]

⑧-4

あと施工アンカー工事

①

あと施工アンカー

材料等 [8.2.4]
○接着系アンカー
アンカーの種類 ※カプセル方式回転・打撃式 （ ）
接着剤の品質
○有機系 ・無機系
アンカー筋の径及び埋込み長さ
※設計図による
アンカー筋の種類
○ D16 D19 D25
アンカー筋の新設壁内への定着の長さ
※設計図による
○性能確認試験
試験方法及び試験数
※設計図による

○金属系アンカー
アンカー本体の径及び埋込み長さ
※設計図による
セット方式 ※本体打込み式改良型 （ ）
接合筋の種類、径、長さ
※設計図による
・性能確認試験
試験方法及び試験数
※設計図による

埋込み配管等の探索方法 [8.12.4]
※鉄筋探知器（金属探知器）により探索し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う
・はつり出しによる
・（ ）

試験方法 [8.12.7]
※引張試験機による引張試験
確認強度
※設計図による
（社）日本建築あと施工アンカー協会が定める「あと施工アンカー技術管理規程 第 8 章 第 1 節」
資格以上の能力を有する者とする。

②

穿孔

③

施工確認試験

④

施工管理技術者

⑧-5

グラウト工事

①

柱底均しモルタル及びグラウト材

・柱底均しモルタル [8.2.12]
※無収縮モルタル
・（ ）

○グラウト材 [8.2.11]
無収縮グラウト材の材質等

混和材	セメント系（酸化カルシウム及びカルシウム・サルフォ・アルミネート等によって膨脹する性質を利用するもの）とする。
砂	JIS R 3201 「ポルトランドセメント」に適合した普通または早強ポルトランドセメントとする。
セメント	JIS R 3201 「ポルトランドセメント」に適合した普通または早強ポルトランドセメントとする。
砂	土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に指定されたものを絶対乾燥状態で使用する。 ただし、現場調合形に使用される砂の乾燥状態については、規定しない。

無収縮グラウト材の品質及び試験方法

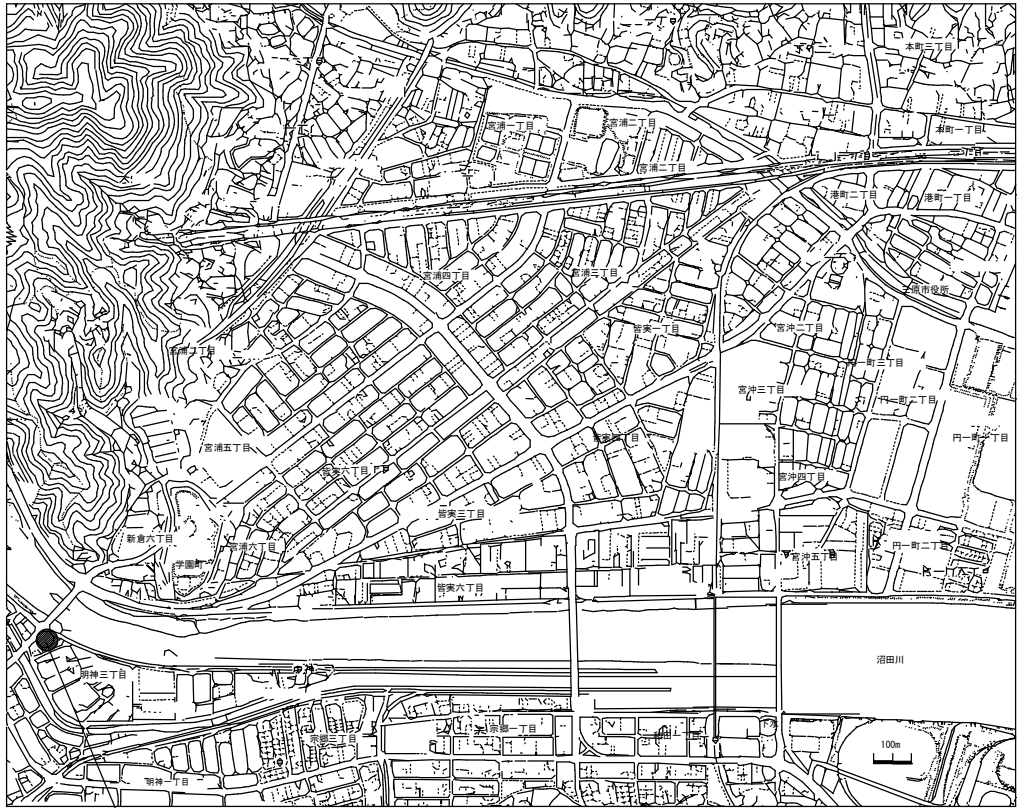
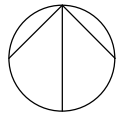
コンシステンシー	J ロートによる流下時間 練混ぜ完了から 3 分以内の値 ： 8 ± 2 秒
ブリージング	練り混ぜ 2 時間後のブリージング率 ： 2.0 % 以下
凝結時間	凝結開始時間 ： 1 時間以上 終結時間 ： 10 時間以内
無収縮性	材料 7 日 収縮しない
圧縮強度	材料 3 日 20.0 N/mm ² 以上 材料 28 日 40.0 N/mm ² 以上
塩化物質	0.30% 以下

試験方法
1) 収縮 試験方法 試験法 JIS A 1109 「無収縮モルタル品質管理試験方法」による。ブレミックス形と現場調合形で混和材が同一の場合の試験はブレミックス形のみとする。
2) 塩化物質の試験は、 JIS A 1104 「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。

②

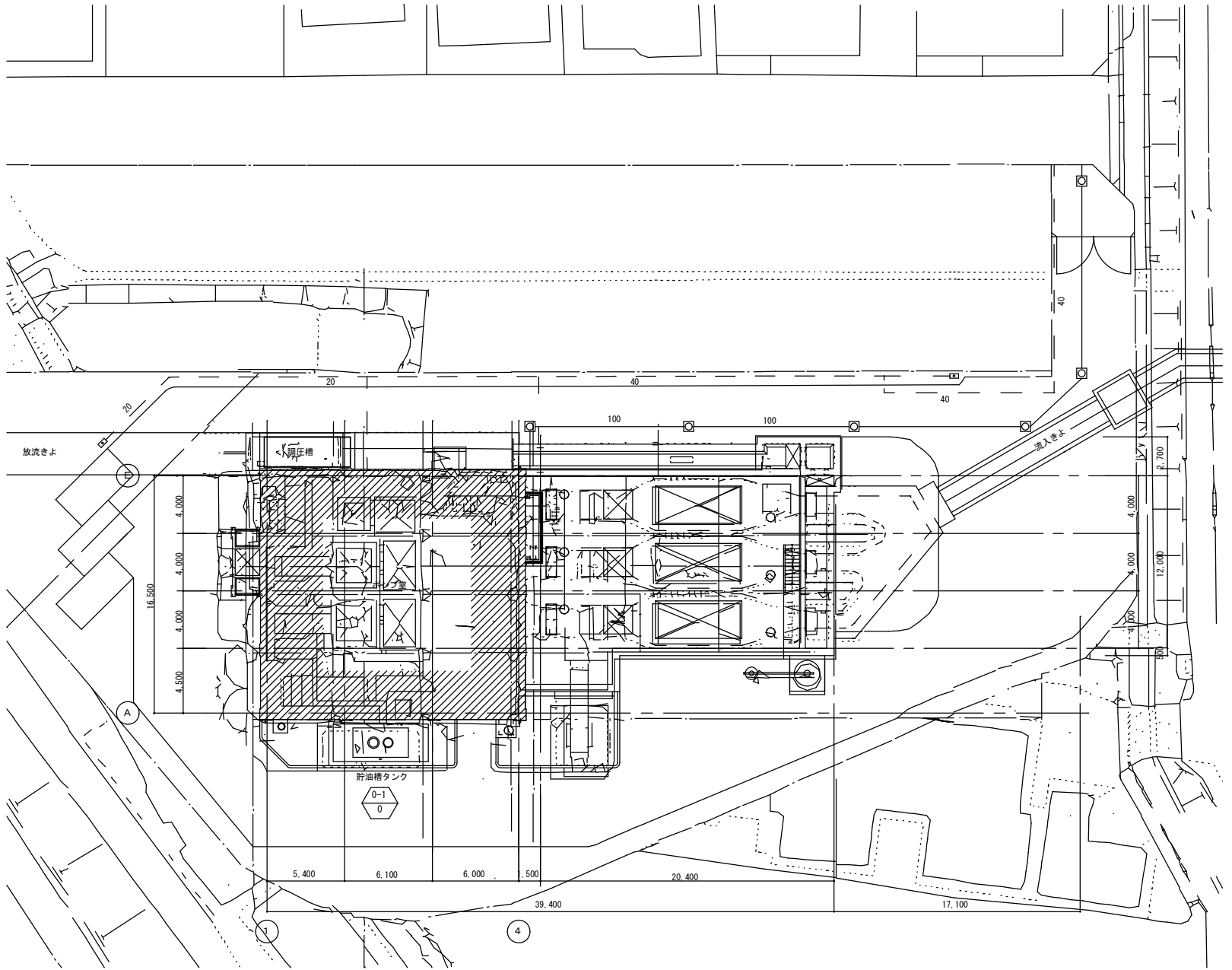
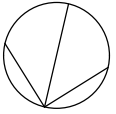
構造関係改修工事 共通一般事項

1. 適用範囲
(a) 耐震改修共通事項は、耐震改修工事における構造関係の共通事項とする。
(b) 耐震改修共通事項以外については、設計図及び監督職員の指示による。
2. 設計図書の図面間で配筋方法に相違がある場合の優先順位は以下のとおりとする。
1.改修特記仕様書
2.図面 T-1 耐震改修標準図、構造関係共通事項（配筋標準図、鉄骨



明神雨水排水ポンプ場

案内図 1/10000



配置図 1/200

凡 例



改修後は詳細図参照



対象施設



汚水樹



埋設給水管



改修前詳細番号を示す



改修箇所を示す



T P 標高を示す

工 事 名		雨水排水ポンプ場耐水化工事 (7-1)	
工事場所		三原市 明神三丁目	
図面番号		A-7	縮尺 S=1/10000, 200
図面名：		案内図・配置図	
三 原 市			

内部仕上表（上段－改修前 下段－改修後）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
階	室 名		床					幅 木					腰 壁					壁							天 井						備 考		改修 内容																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
			下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	高さ	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	高さ	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地				仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号	改修 内容		下地	仕 上	詳細番号

MC：嵩上げコンクリート

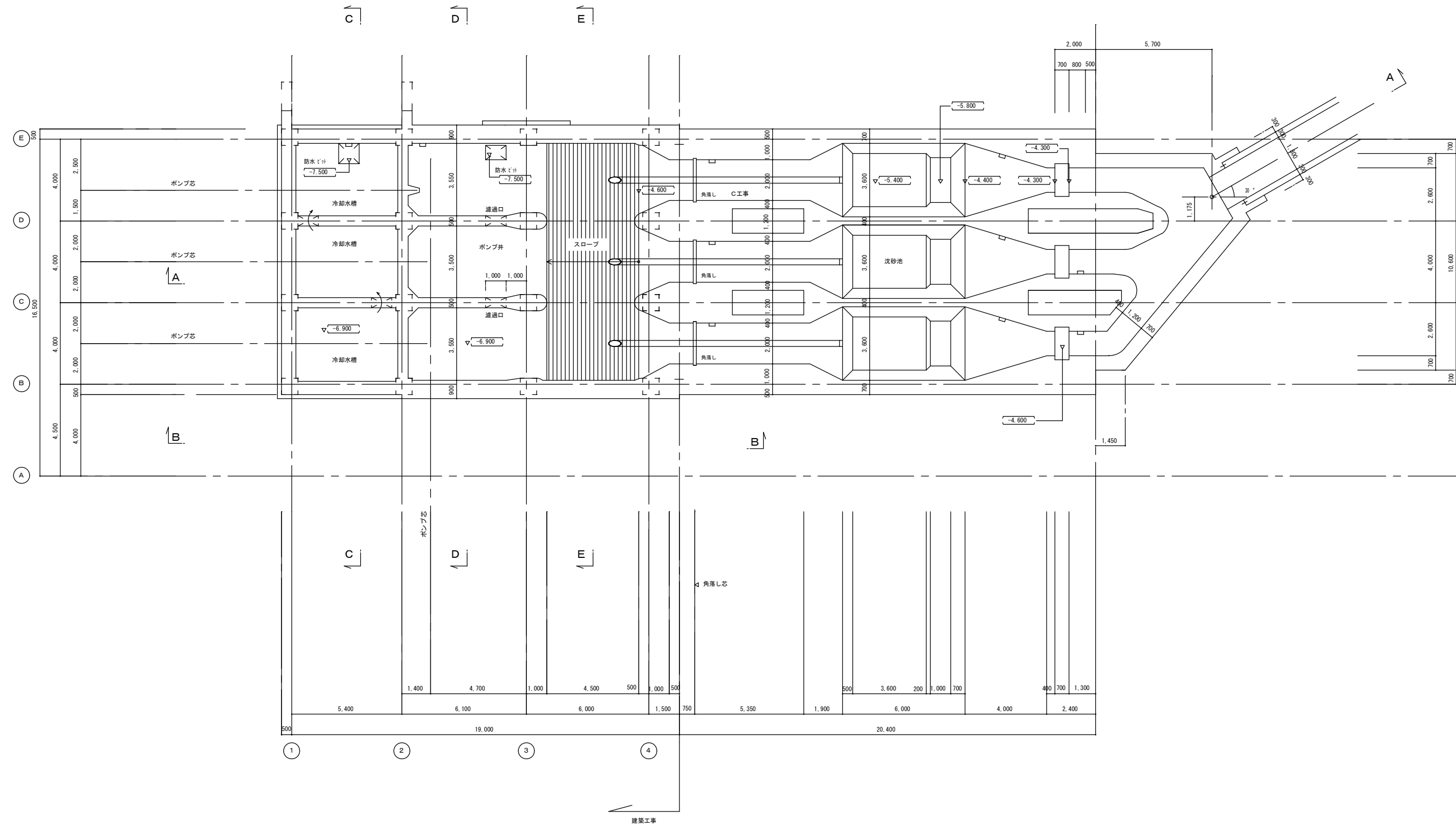
工 事 名 雨水排水ポンプ場耐水化工事（7-1）

工事場所 三原市 明神三丁目

図面番号 A-9 縮尺 -

図面名： 仕上表 (2)

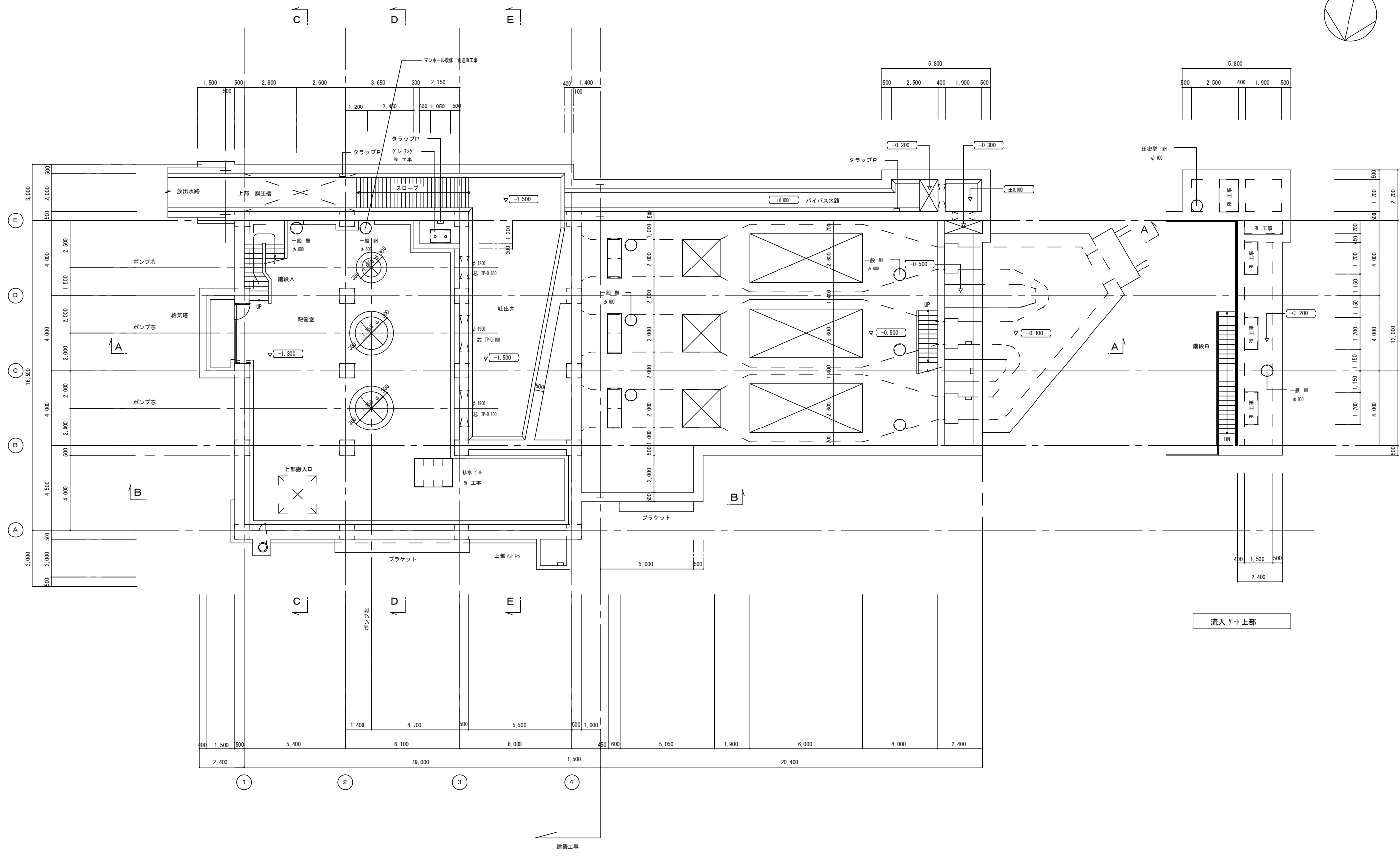
三 原 市



地下2階平面図 1/100

改修なし

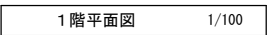
工 事 名		雨水排水ポンプ場耐水化工事（7-1）	
工事場所		三原市 明神三丁目	
図面番号	A-10	縮尺	S=1/100
図面名：		地下2階平面図	
三 原 市			



地下1階平面図 1/100

改修なし

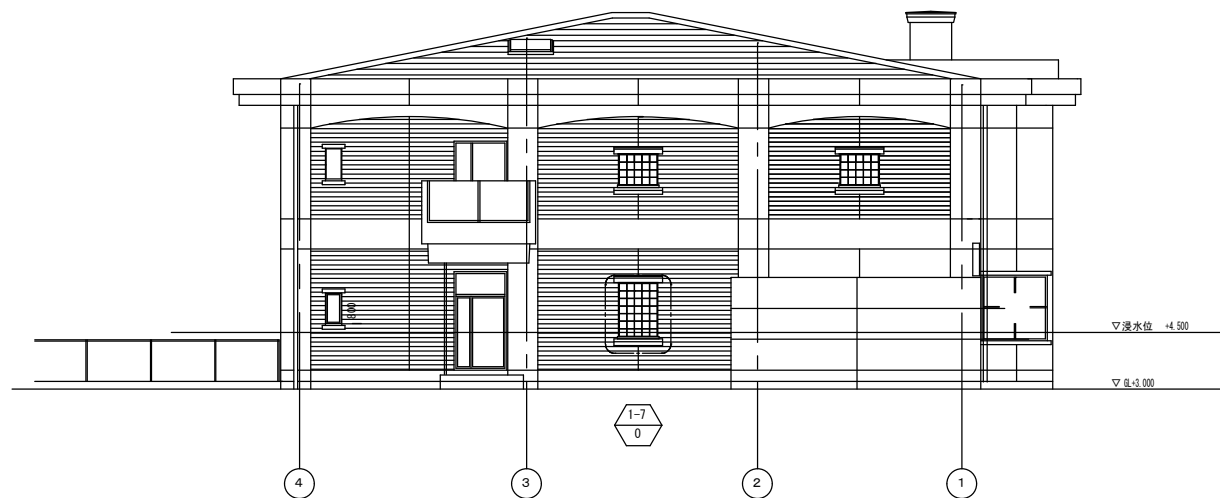
工 事 名		雨水排水ポンプ場耐水化工事 (7-1)		
工事場所		三原市 明神三丁目		
図面番号		A-11	縮尺	S=1/100
図面名：		地下1階平面図		
三 原 市				



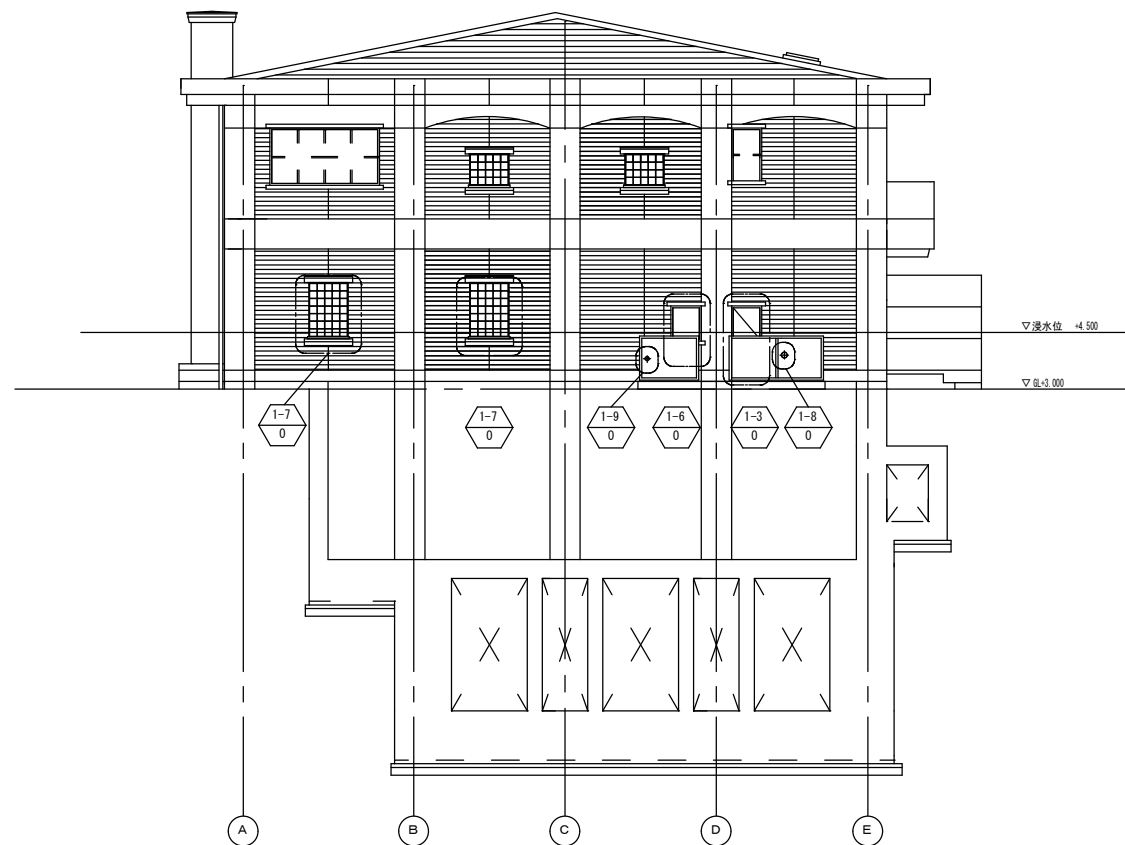
凡 例

	浸水対策重点範囲		改修後詳細番号を示す
			改修箇所を示す

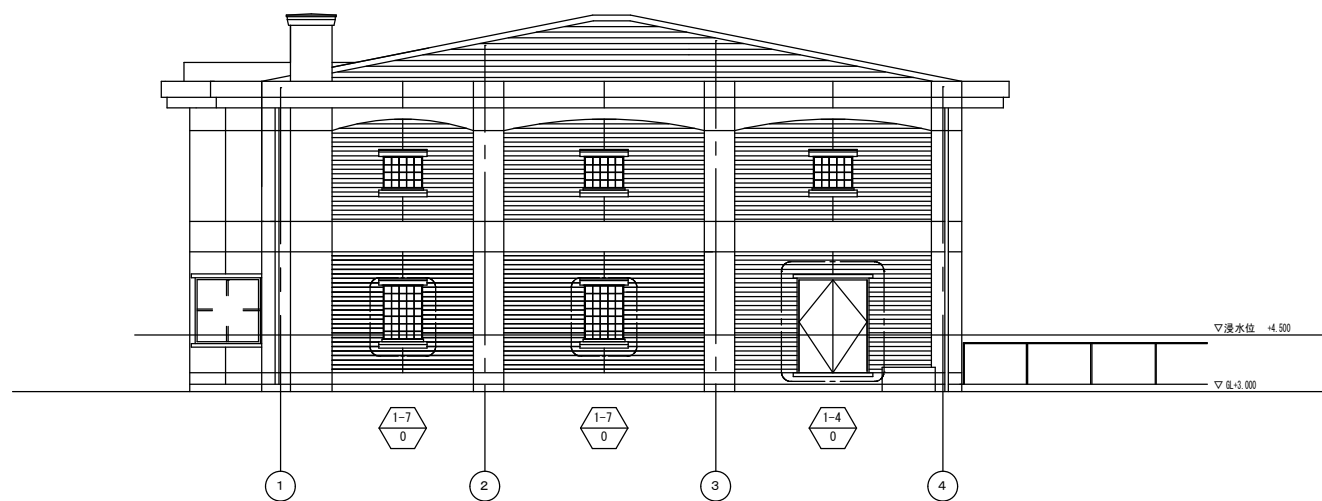
工 事 名	雨水排水ポンプ場耐水化工事（7-1）		
工事場所	三原市 明神三丁目		
図面番号	A-13	縮尺	S=1/100
図面名： 1階平面図（改修後）			
三 原 市			



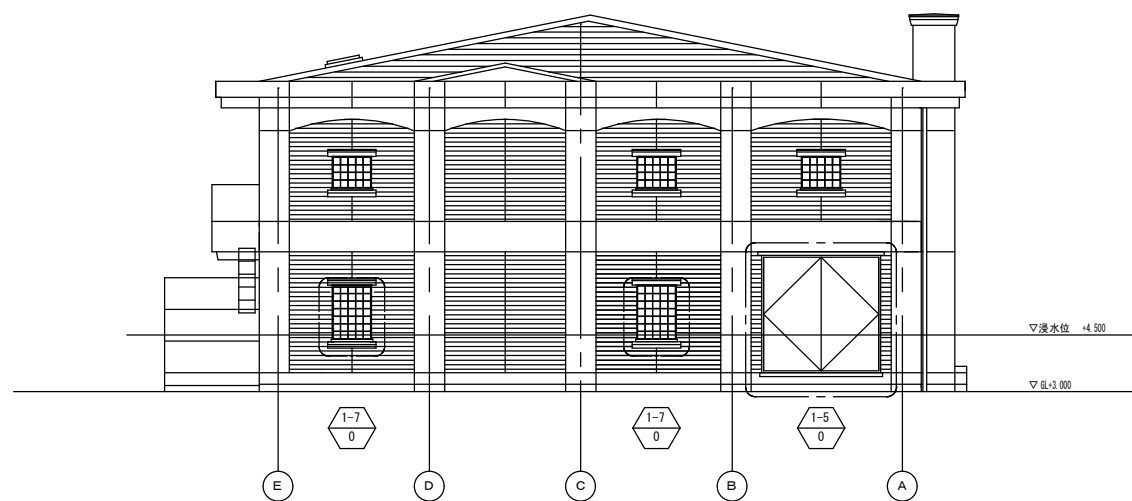
南立面図 1/100



西立面図 1/100



北立面図 1/100



東立面図 1/100

凡 例

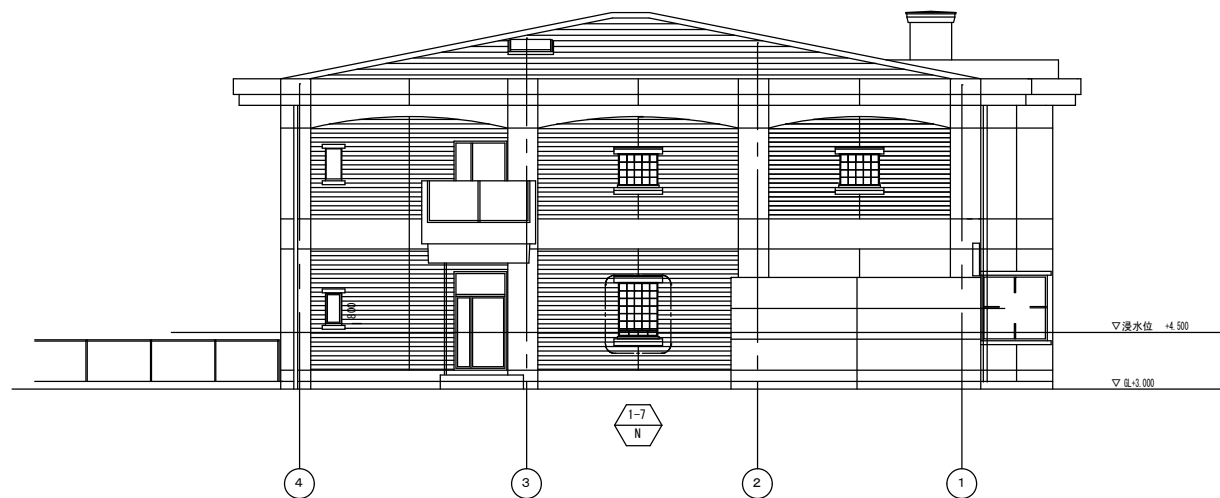


改修前詳細番号を示す

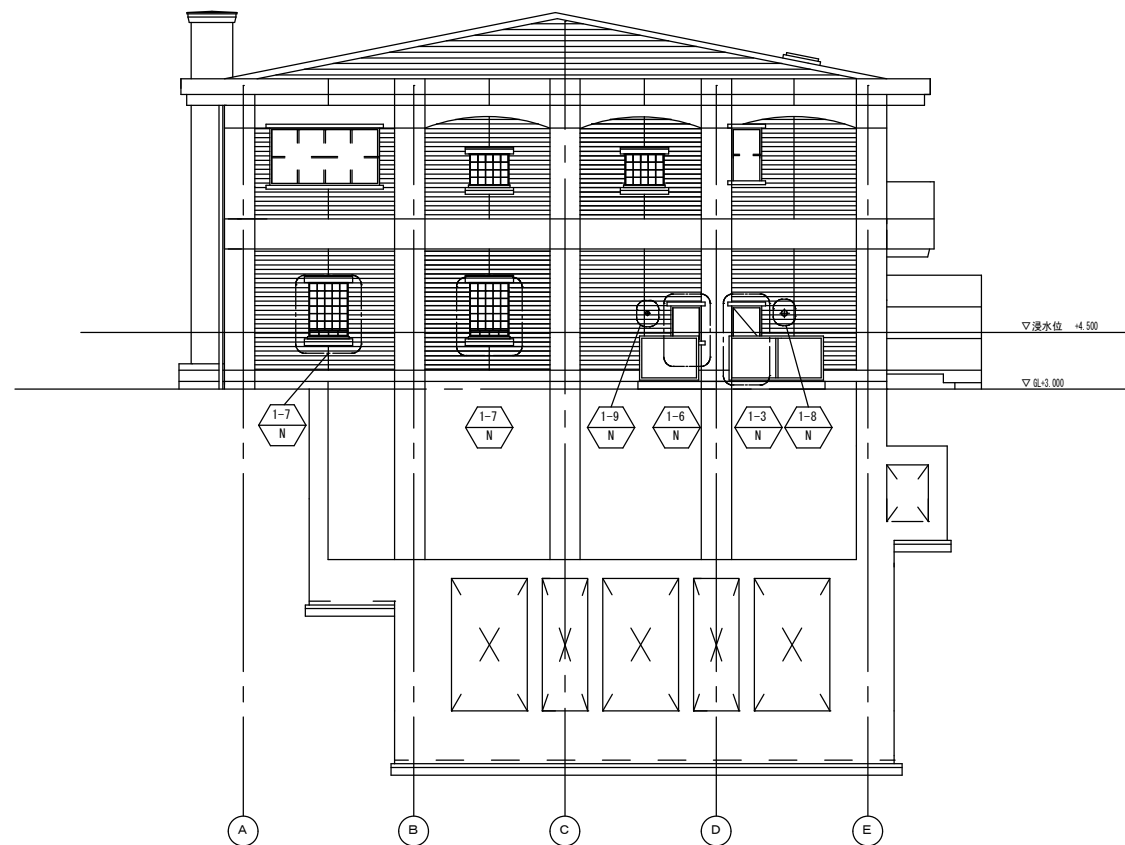


改修箇所を示す

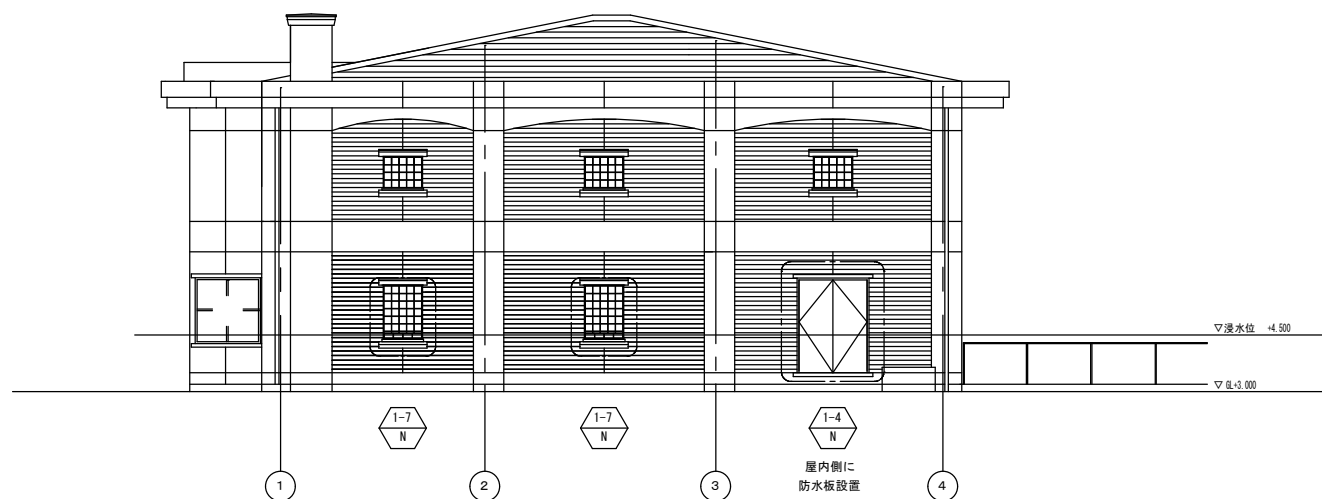
工 事 名	雨水排水ポンプ場耐水化工事（7-1）		
工事場所	三原市 明神三丁目		
図面番号	A-14	縮尺	S=1/100
図面名：		立面図（改修前）	
三 原 市			



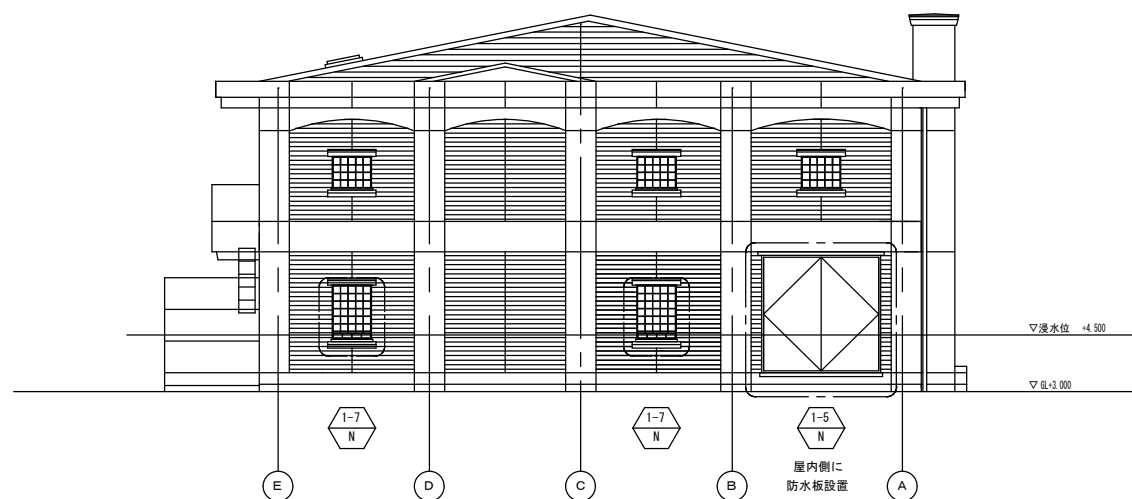
南立面図 1/100



西立面図 1/100



北立面図 1/100



東立面図 1/100

凡 例

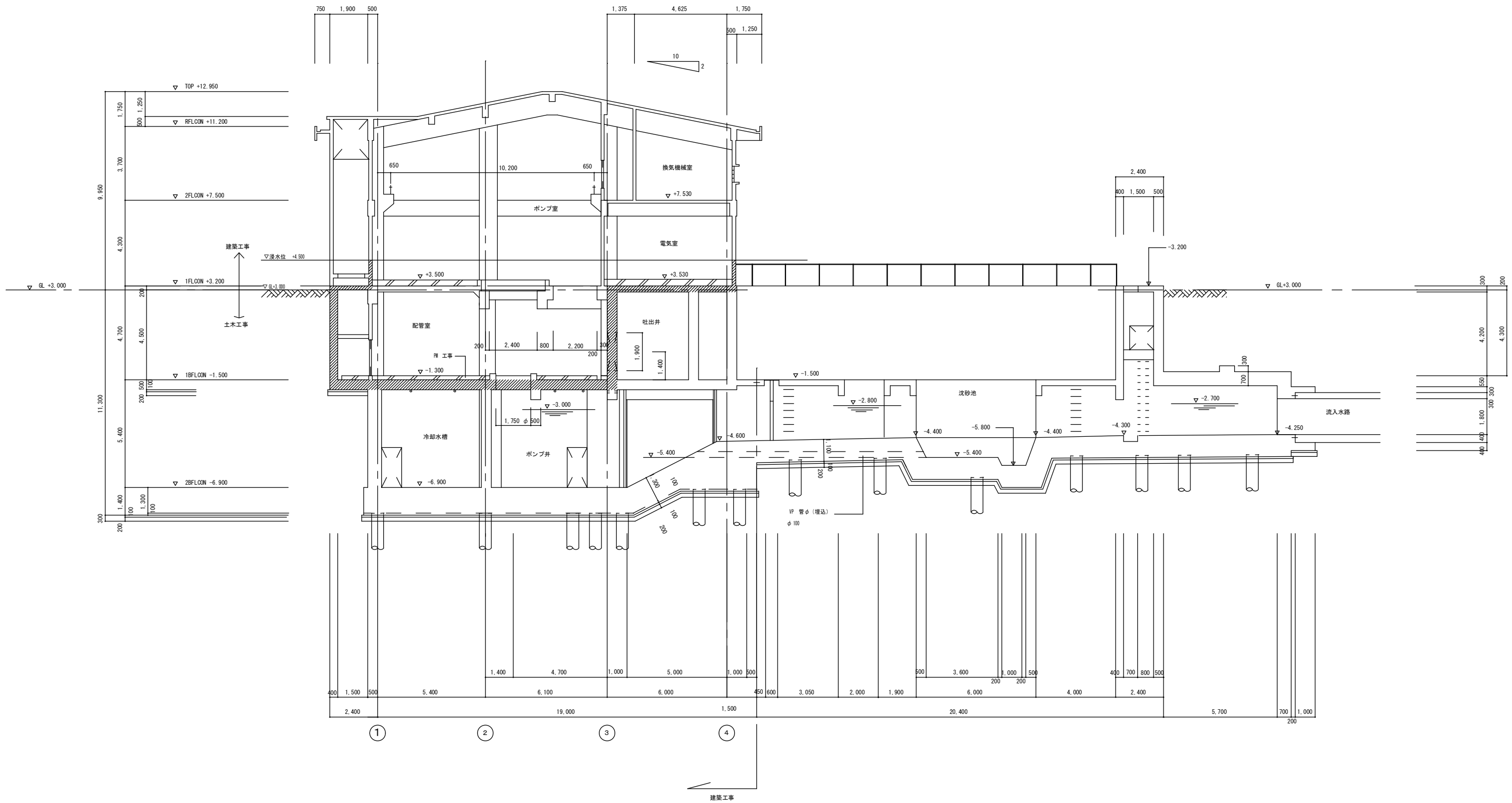


改修後詳細番号を示す



改修箇所を示す

工 事 名	雨水排水ポンプ場耐水化工事（7-1）		
工事場所	三原市 明神三丁目		
図面番号	A-15	縮尺	S=1/100
図面名：		立面図（改修後）	
三 原 市			



A - A断面図 1/100

浸水対策重点範囲

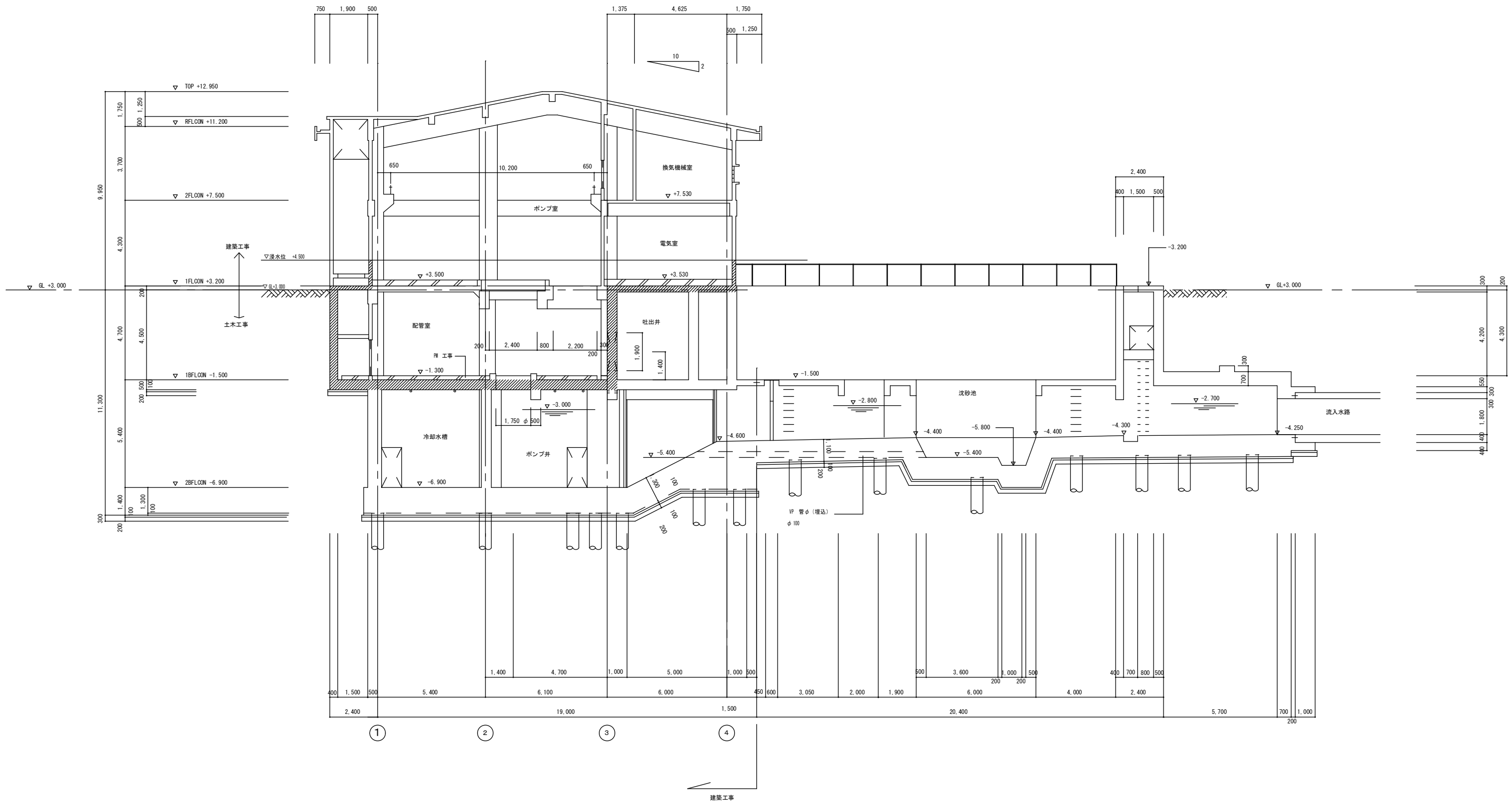
凡 例



改修前詳細番号を示す

改修箇所を示す

工 事 名		雨水排水ポンプ場耐水化工事（7-1）			
工事場所		三原市 明神三丁目			
図面番号		A-16	縮尺	S=1/100	
断面名：		断面図（1）（改修前）			
三 原 市					



A - A断面図 1/100

浸水対策重点範囲

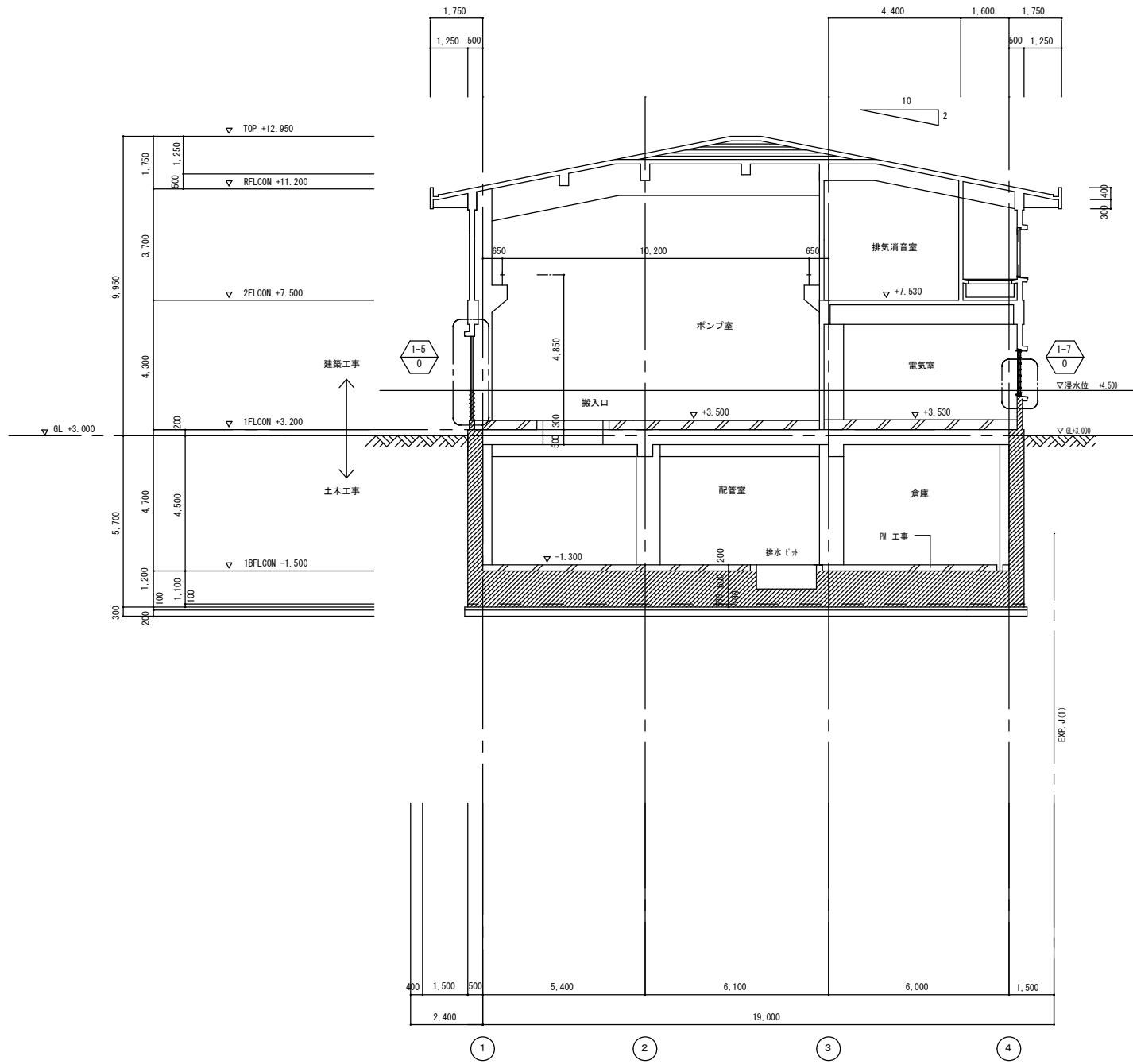
凡 例



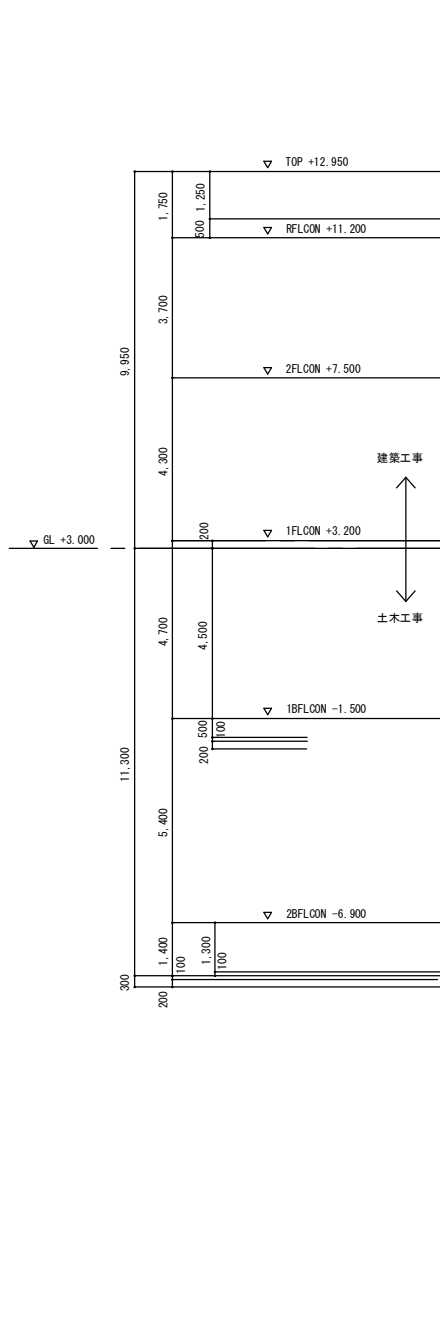
改修後詳細番号を示す

改修箇所を示す

工 事 名				雨水排水ポンプ場耐水化工事 (7-1)	
工事場所				三原市 明神三丁目	
図面番号		A-17	縮尺	S=1/100	
断面名:				断面図 (I) (改修後)	
				三 原 市	



B - B断面図 1/100



C - C断面図 1/100

浸水対策重点範囲

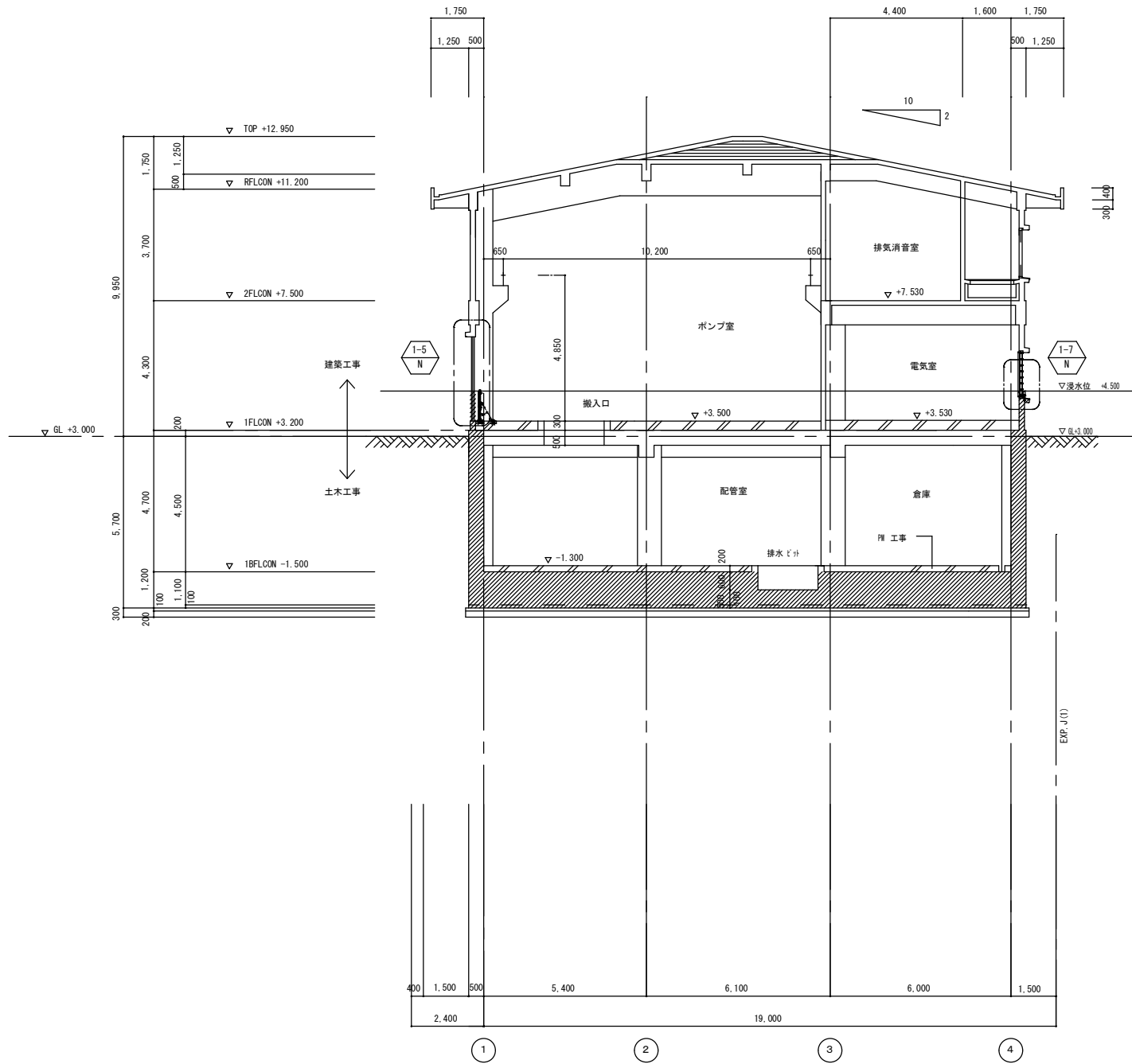
凡 例



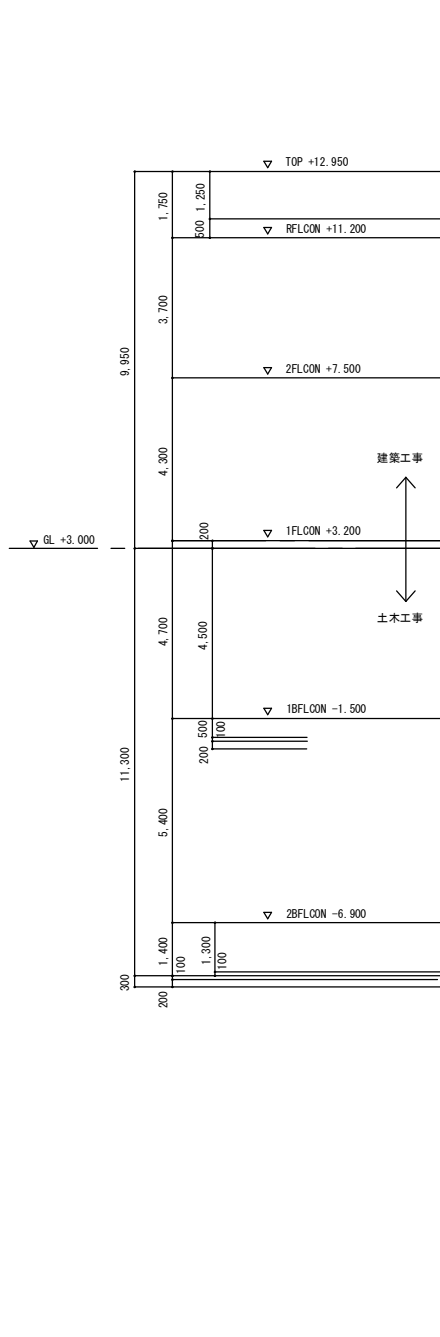
改修前詳細番号を示す

改修箇所を示す

工 事 名	雨水排水ポンプ場耐水化工事 (7-1)		
工事場所	三原市 明神三丁目		
図面番号	A-18	縮尺	S=1/100
断面図 (2) (改修前)			
三 原 市			



B - B断面図 1/100



C - C断面図 1/100

浸水対策重点範囲

凡 例

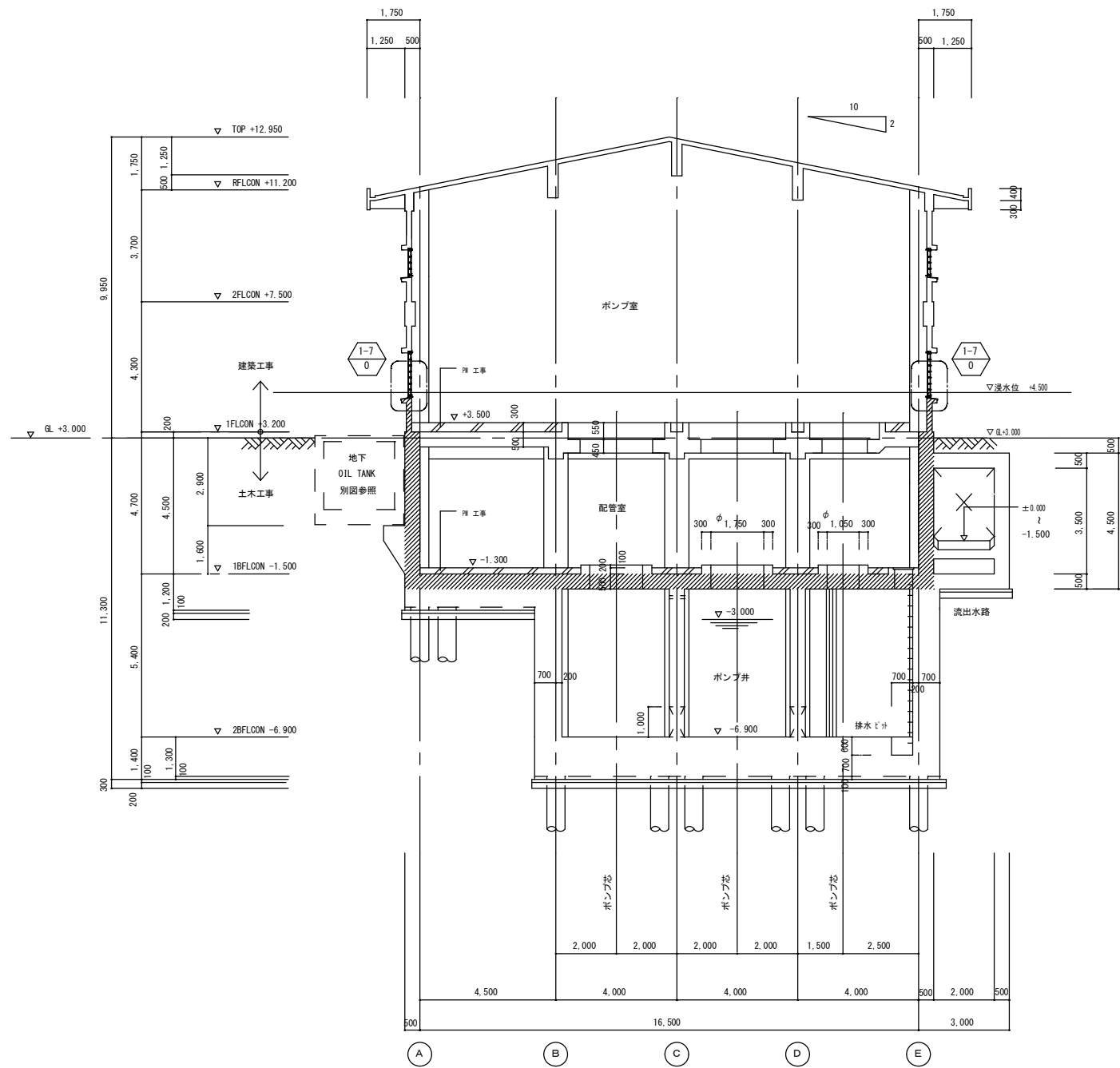


改修後詳細番号を示す

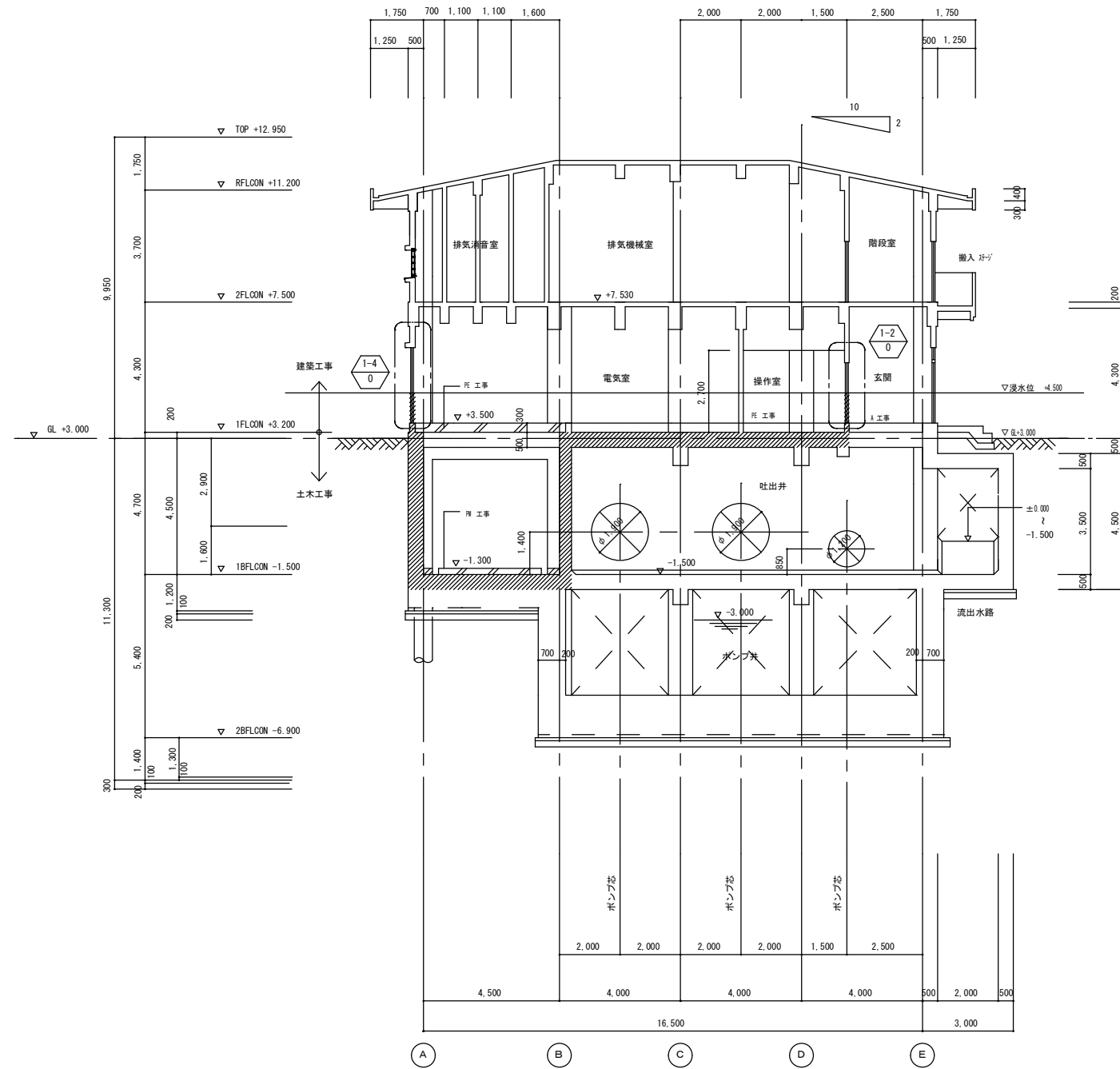


改修箇所を示す

工 事 名	雨水排水ポンプ場耐水化工事 (7-1)	
工事場所	三原市 明神三丁目	
図面番号	A-19	縮尺 S=1/100
図面名 : 断面図 (2) (改修後)		
三 原 市		



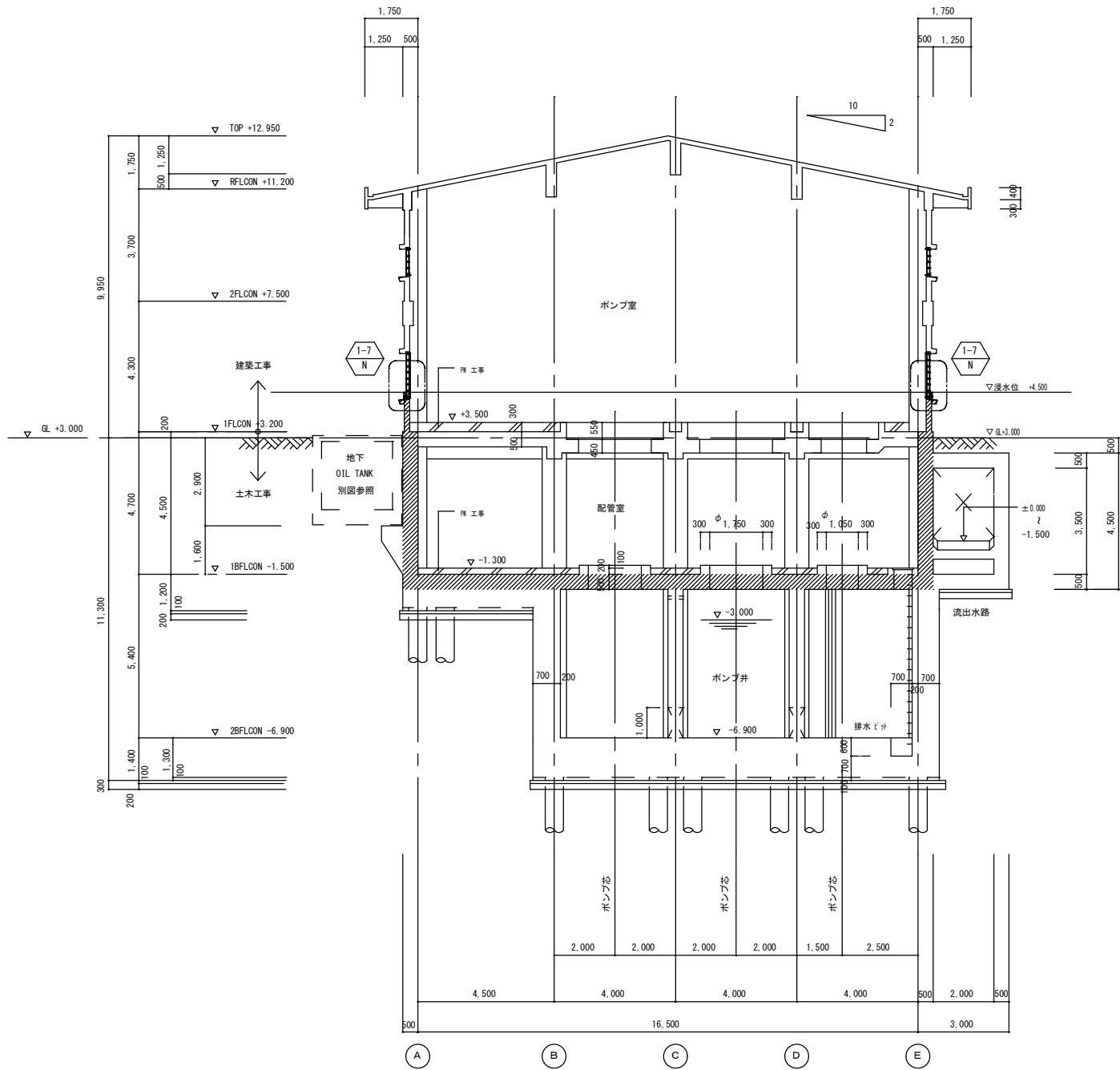
D-D断面図 1/100



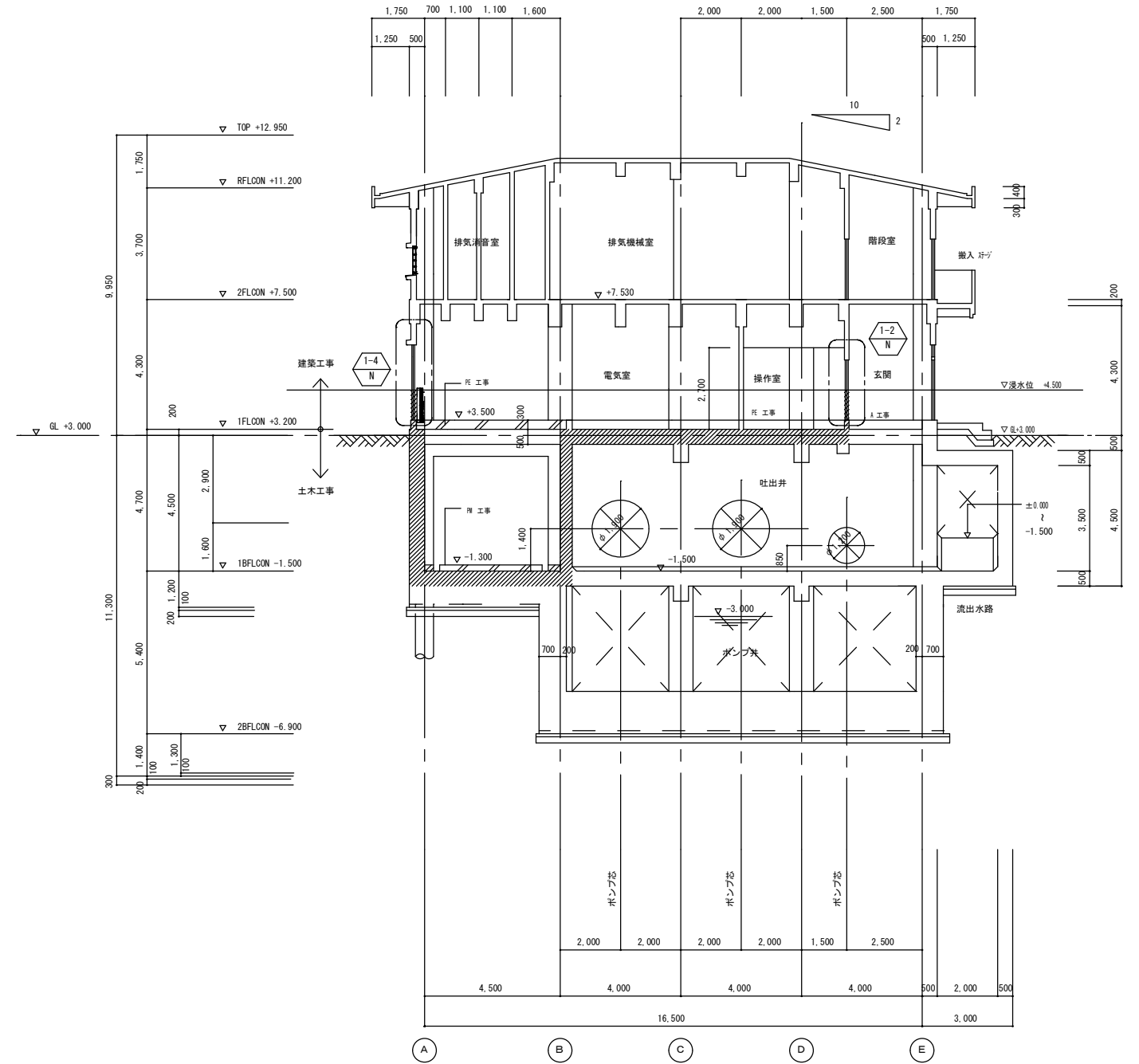
E-E断面図 1/100

- 凡 例
- 浸水対策重点範囲
- 改修前詳細番号を示す
- 改修箇所を示す

工 事 名		雨水排水ポンプ場耐水化工事 (7-1)			
工事場所		三原市 明神三丁目			
図面番号		A-20	縮尺	S=1/100	
図面名：		断面図 (3) (改修前)			
三 原 市					



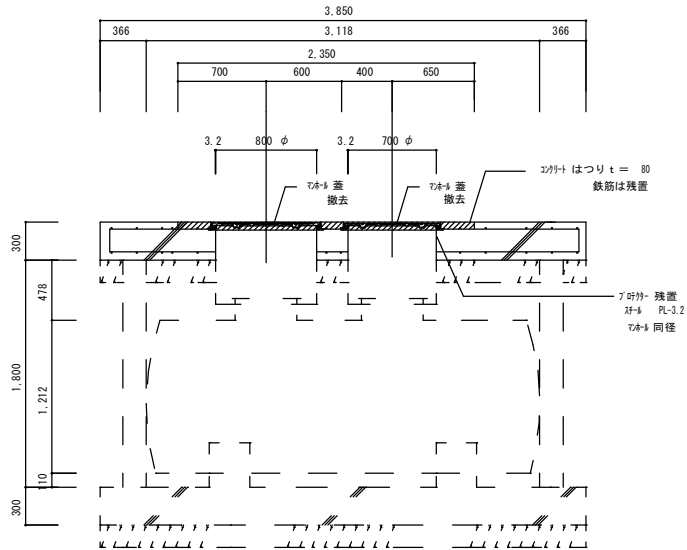
D-D断面図 1/100



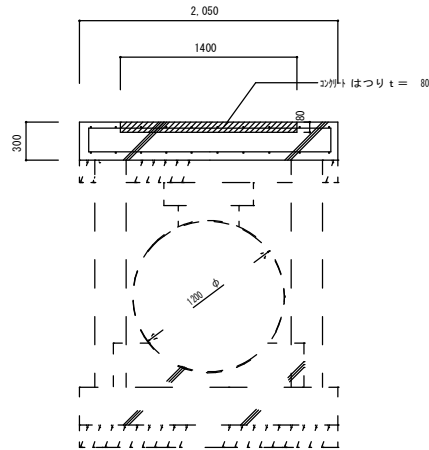
E-E断面図 1/100

- 凡 例
- 浸水対策重点範囲
- 改修後詳細番号を示す
- 改修箇所を示す

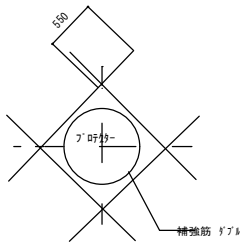
工 事 名	雨水排水ポンプ場耐水化工事（7-1）		
工事場所	三原市 明神三丁目		
図面番号	A-21	縮尺	S=1/100
断面図 ③（改修後）			
三 原 市			



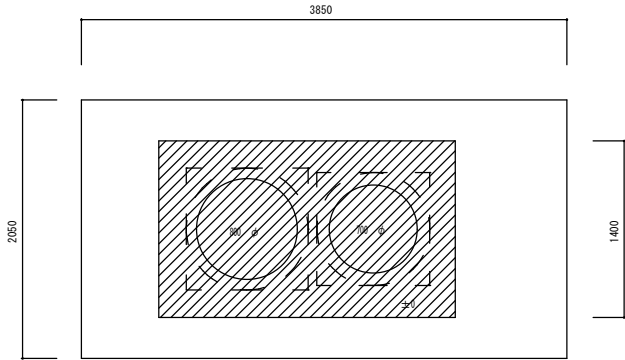
700φ 部 長辺方向断面詳細図 1/30



700φ 部 短辺方向断面詳細図 1/30



700φ 部開口補強詳細図 ノンスケール



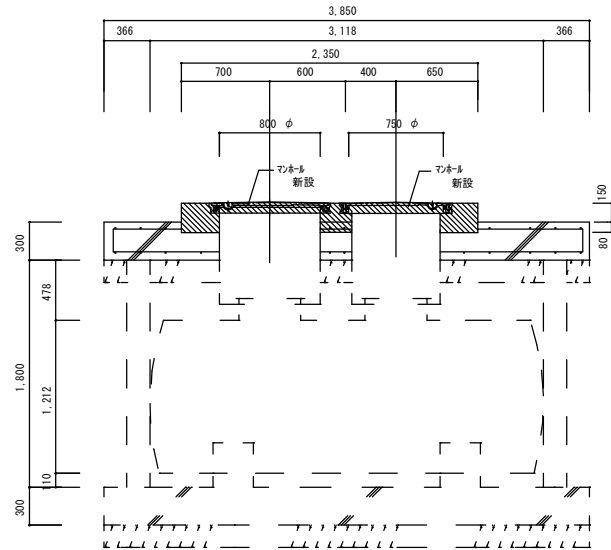
2,350

コンクリート はつり範囲図 1/30

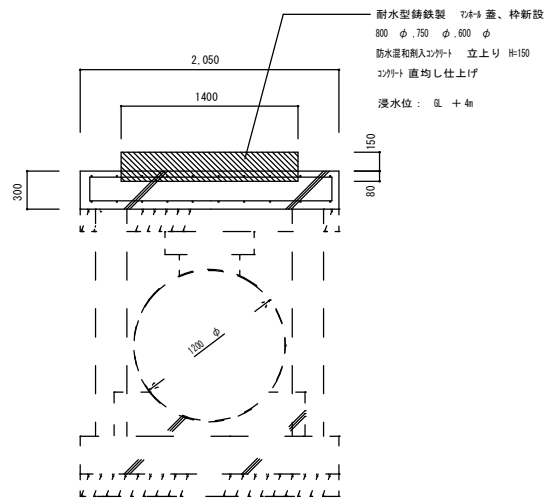
特記事項	
鉄 筋	異形鉄筋： SD295A
コンクリート	レディミキストコンクリート （普通 コンクリート）
	上部 570 × 478 の支柱： $f_c = 21\text{N/mm}^2$
	捨土： $f_c = 18\text{N/mm}^2$

凡 例

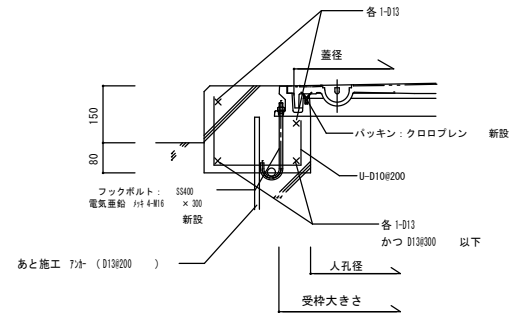
 撤去範囲を示す



700φ 部 長辺方向断面詳細図 1/30



700φ 部 短辺方向断面詳細図 1/30



枠廻り詳細図（参考図） 1/10

※納まり、形状等はメーカー仕様による

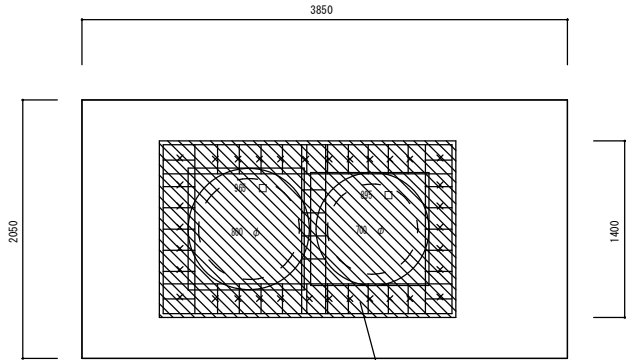
耐水マンホール仕様	
構造：	回転ロック方式
防水：	完全防水防臭型
内水圧	0.1 MPa 可能
外水圧	0.15 MPa 可能
受枠：	水抜穴付
破壊荷重：	250kN (≒ 25,500kgf) 以上

注)

- ・工事に先立ち、危険物の変更許可申請を行う。
- ・新設コンクリートは防水混和剤入コンクリートとする。
参考メーカー）太平洋マテリアル（株）、（株）日本サイベックス、ベストン（株）

凡 例

 改修範囲を示す



2,350

コンクリート 補修範囲図 1/30

改
修
前

改
修
後

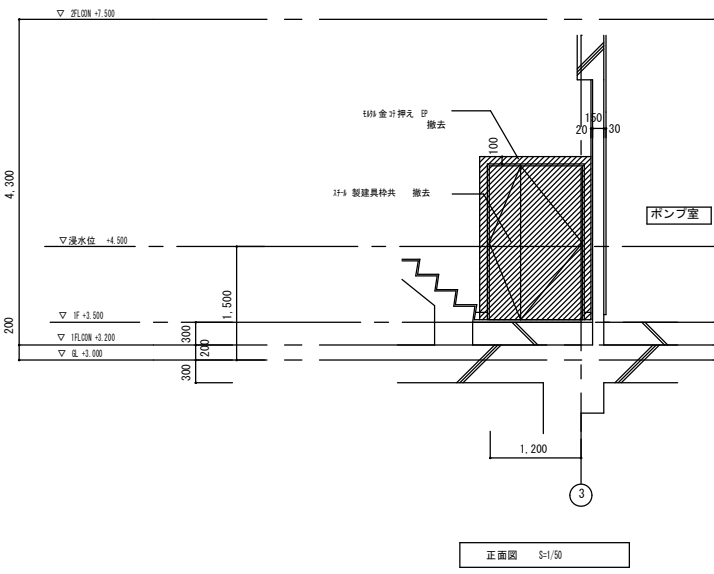
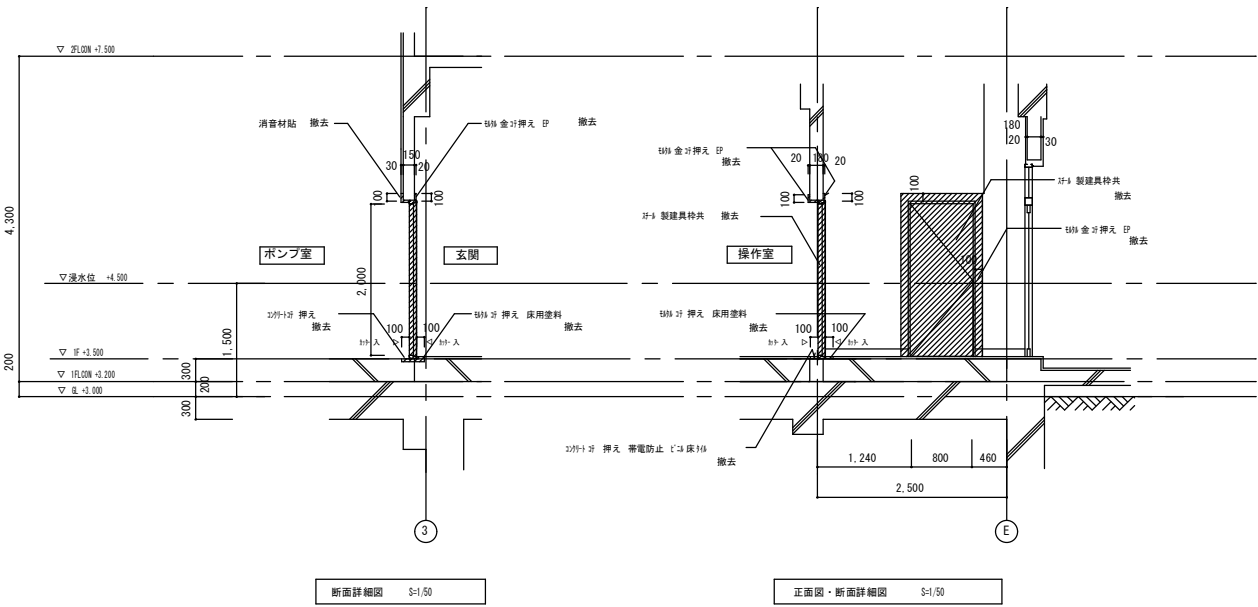
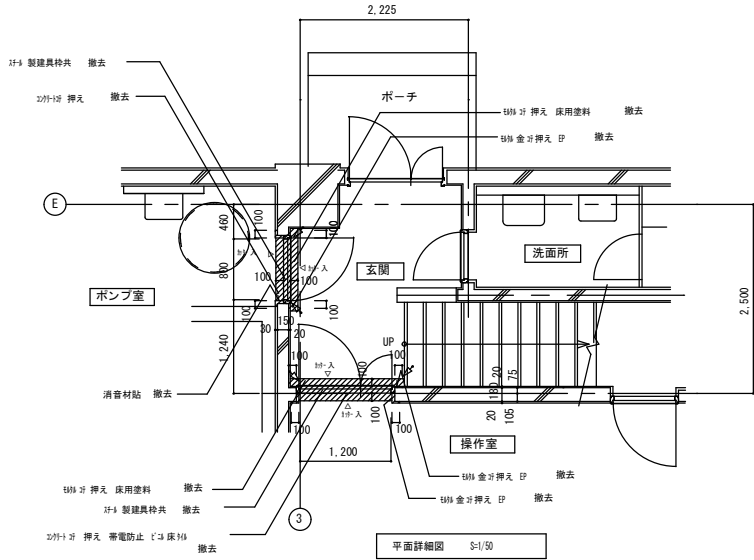
- 共通事項
- ・打継面となる範囲の既存構造体コンクリート面については、目視を行うこと
 - ・納まり・大きさは現場にて着工後再度計測を行い、現場監督員と検討・協議の上決定すること

工 事 名			
雨水排水ポンプ場耐水化工事（7-1）			
工事場所		三原市 明神三丁目	
図面番号	A-22	縮尺	S=1/30, 1/10
図面名：			
改修詳細図 (1)			
三 原 市			

1-1
0

1-2
0

内部 玄関 2F-4 製建具 改修前

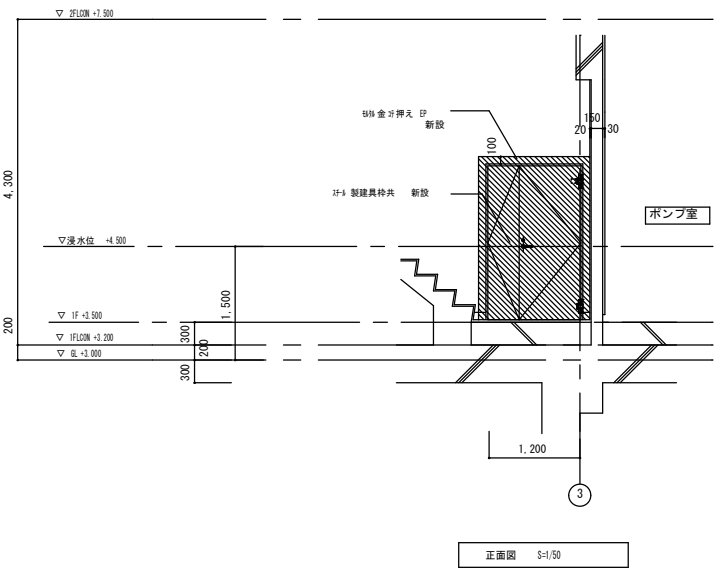
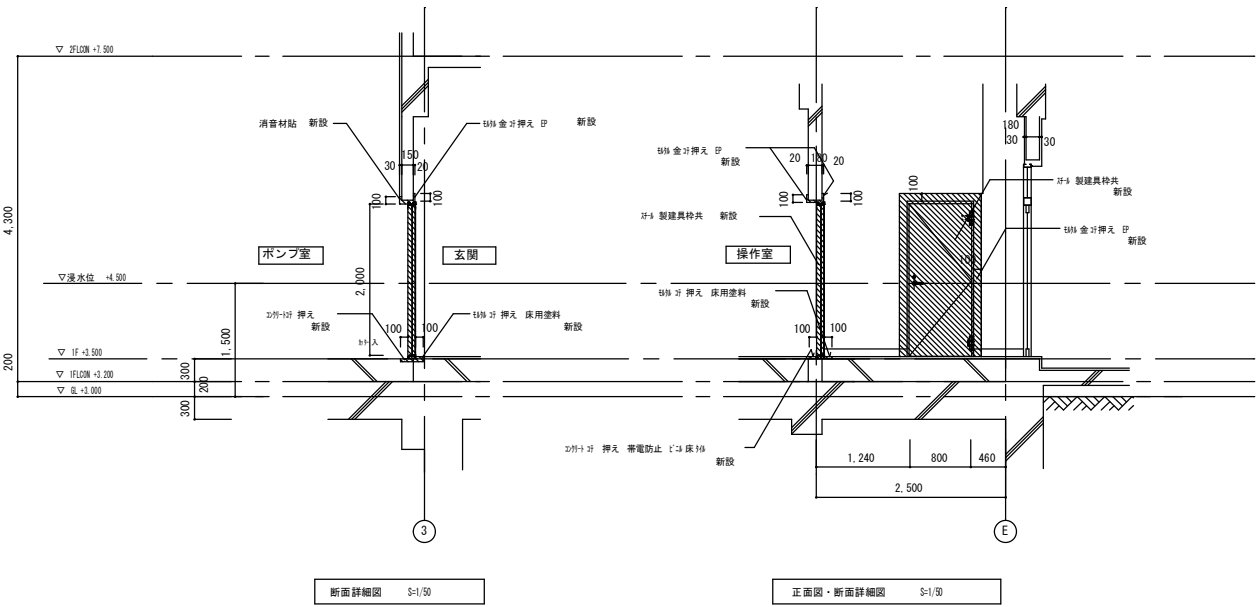
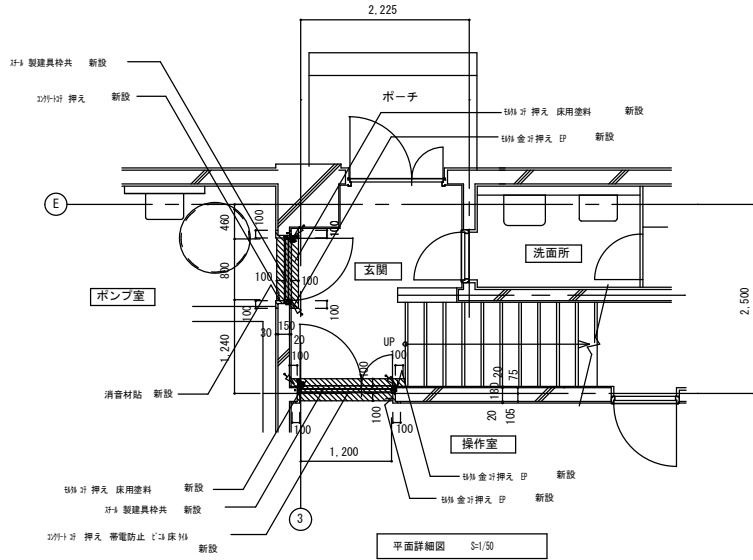


凡 例
撤去範囲を示す
シーリング撤去位置

1-1
N

1-2
N

内部 玄関 2F-4 製建具 改修後



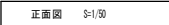
凡 例
改修範囲を示す
シーリング新設位置

工 事 名	雨水排水ポンプ場耐水化工事 (7-1)		
工事場所	三原市 明神三丁目		
図面番号	A-23	縮尺	S=1/50
図面名： 改修詳細図 (2)			
三 原 市			

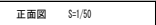
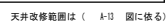
改修前

改修後

共通事項
・打組面となる範囲の既存構造体コンクリート面については、目視を行うこと
・新設する建具廻り等は防水モルタルを充填の上、シーリング施工とする。
・建具等撤去部周囲は、コンクリート面にカッター入れを行う
・納まり・大きさ等は現場にて着工後再度計測を行い、現場監督員と検討・協議の上決定すること

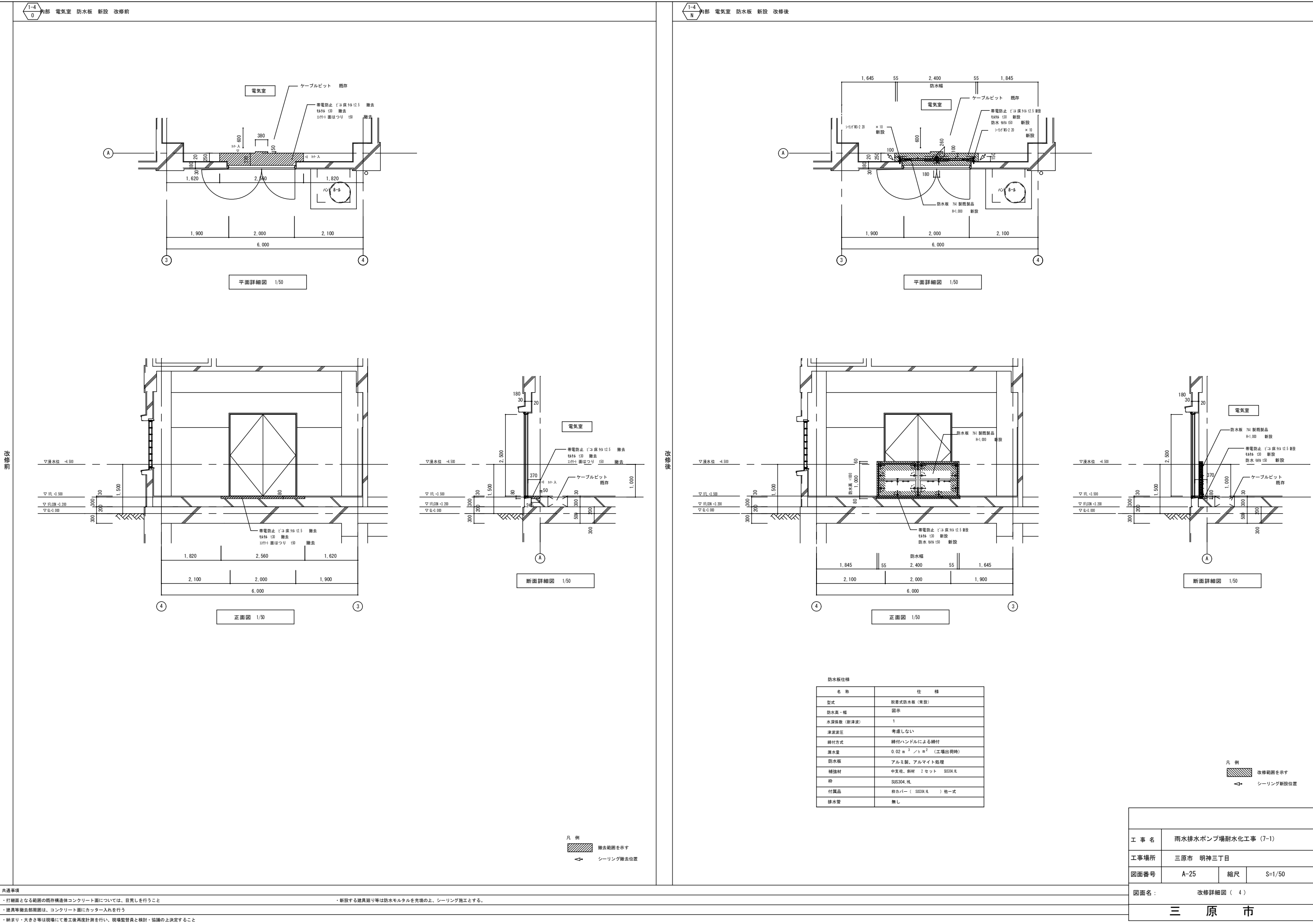


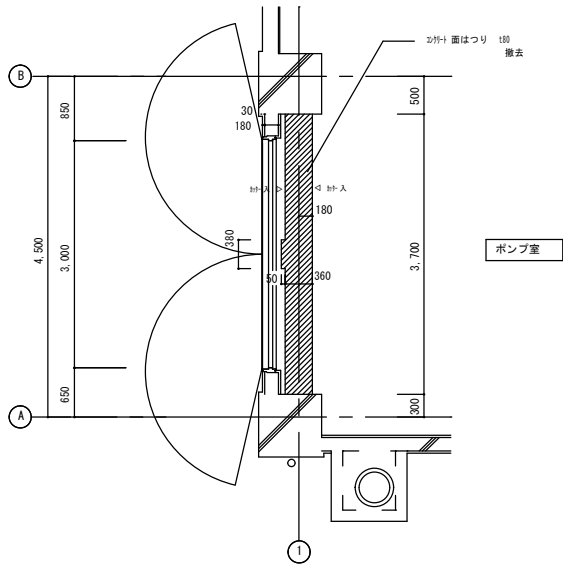
撤去範囲を示す
シーリング撤去位置



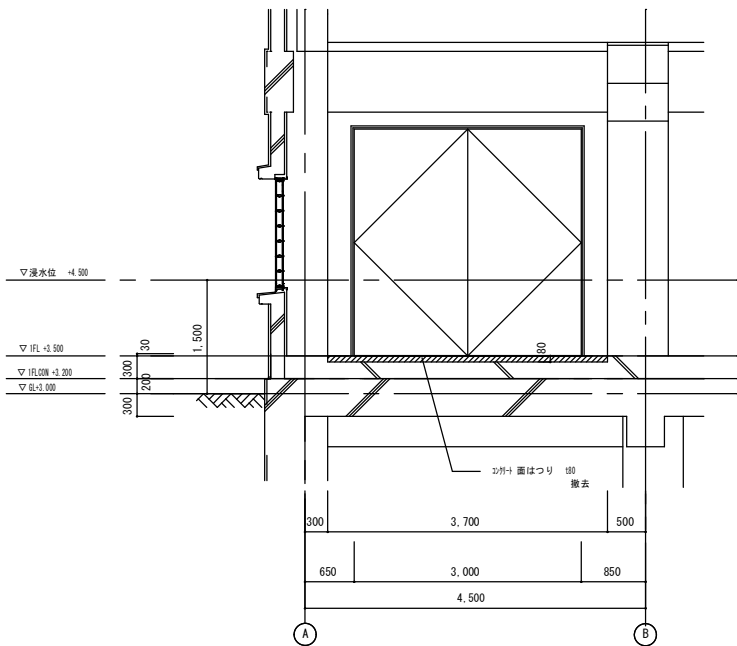
※) 躯体貫通孔は鉄筋探索の上
配筋を切断しないように ㊦抜きにより行う

工 事 名	雨水排水ポンプ場耐水化工事（7-1）		
工事場所	三原市 明神三丁目		
図面番号	A-24	縮尺	S=1/50, 1/20, 1/10
図面名： 改修詳細図（3）			
三 原 市			

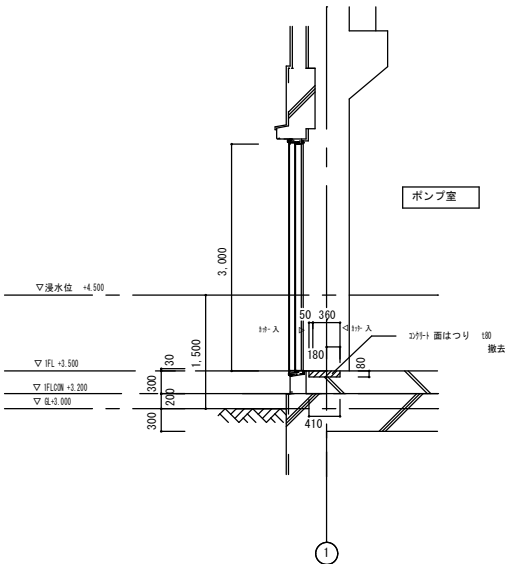




平面詳細図 1/50

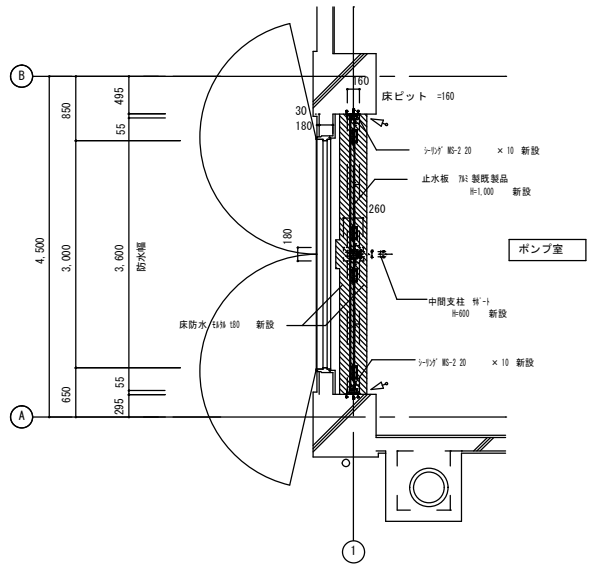


正面図 1/50

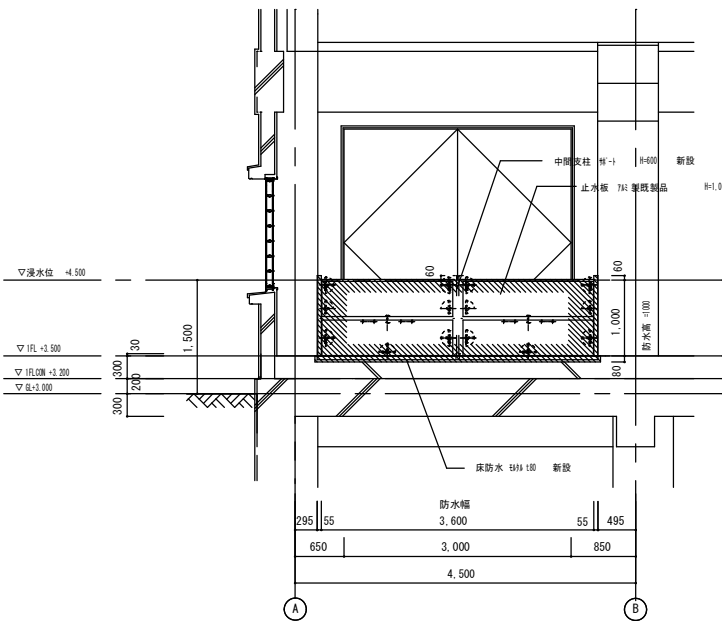


断面詳細図 1/50

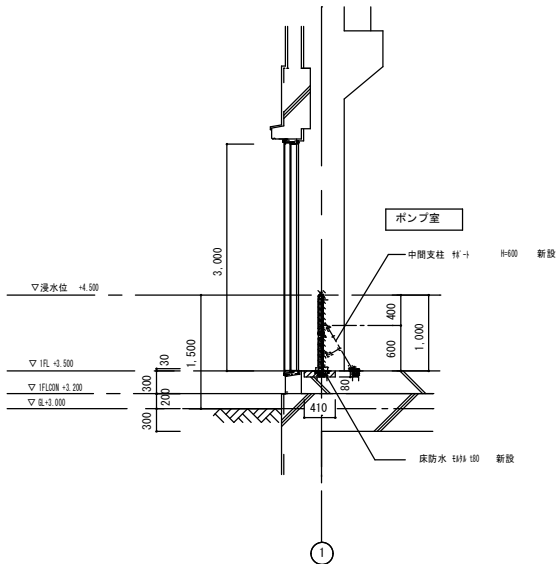
凡 例
撤去範囲を示す
シーリング撤去位置



平面詳細図 1/50



正面図 1/50

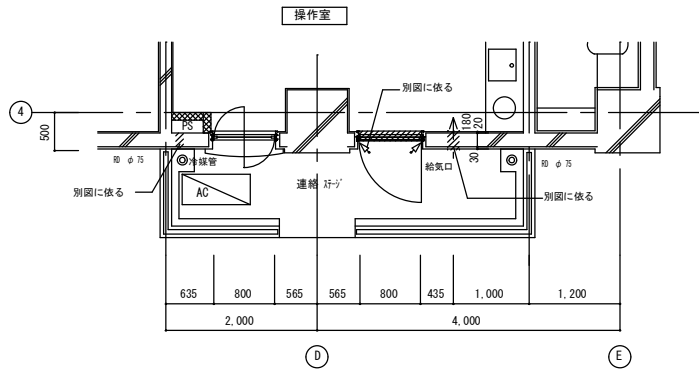


断面詳細図 1/50

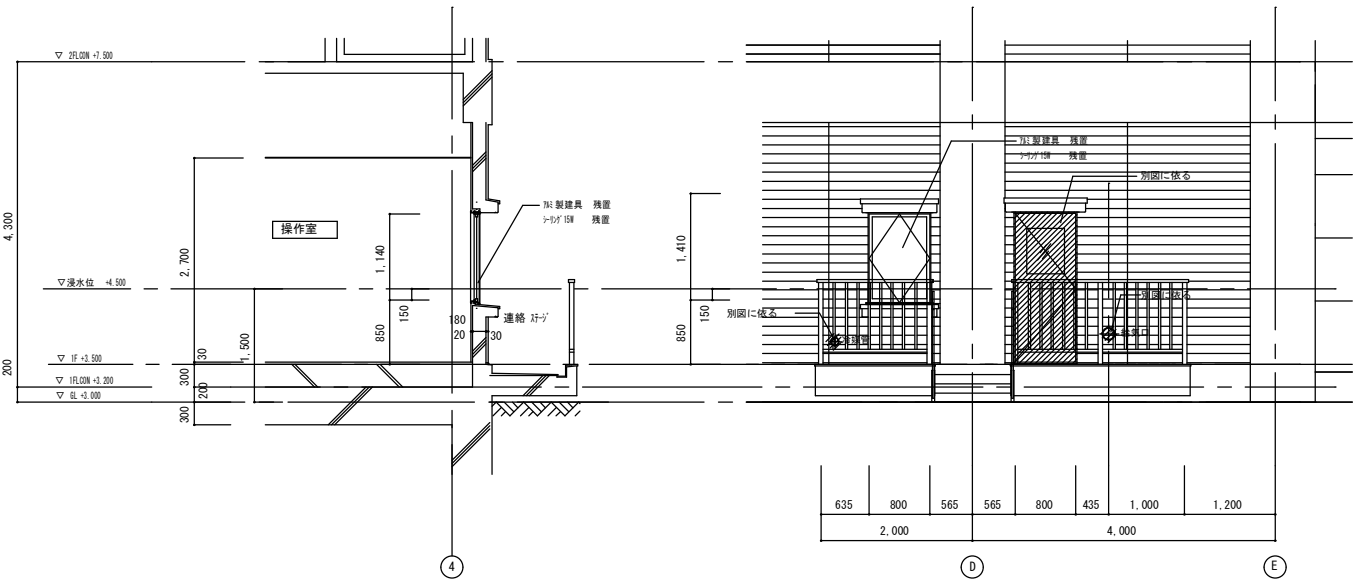
防水板仕様	
名 称	仕 様
型式	脱着式防水板（新設）
防水高・幅	図示
水深係数（耐津波）	1
津波波圧	考慮しない
継付方式	継付ハンドルによる継付
漏水量	0.02 m ³ / ㎡・m ² （工場出荷時）
防水板	アルミ製、アルマイト処理
補強材	中支柱、斜材 2セット SUS304L
枠	SUS304、PE
付属品	持カバー（ SUS304L ）他一式
排水管	無し

凡 例
改修範囲を示す
シーリング新設位置

工 事 名		雨水排水ポンプ場耐水化工事（7-1）	
工事場所		三原市 明神三丁目	
図面番号		A-26	縮尺 S=1/50
図面名：		改修詳細図（ 5 ）	
三 原 市			



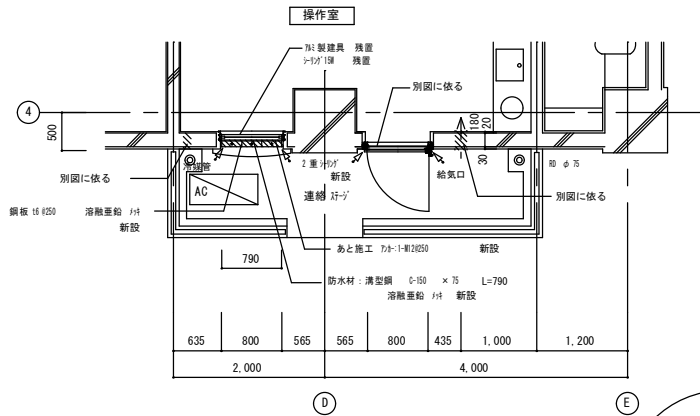
平面詳細図 S=1/50



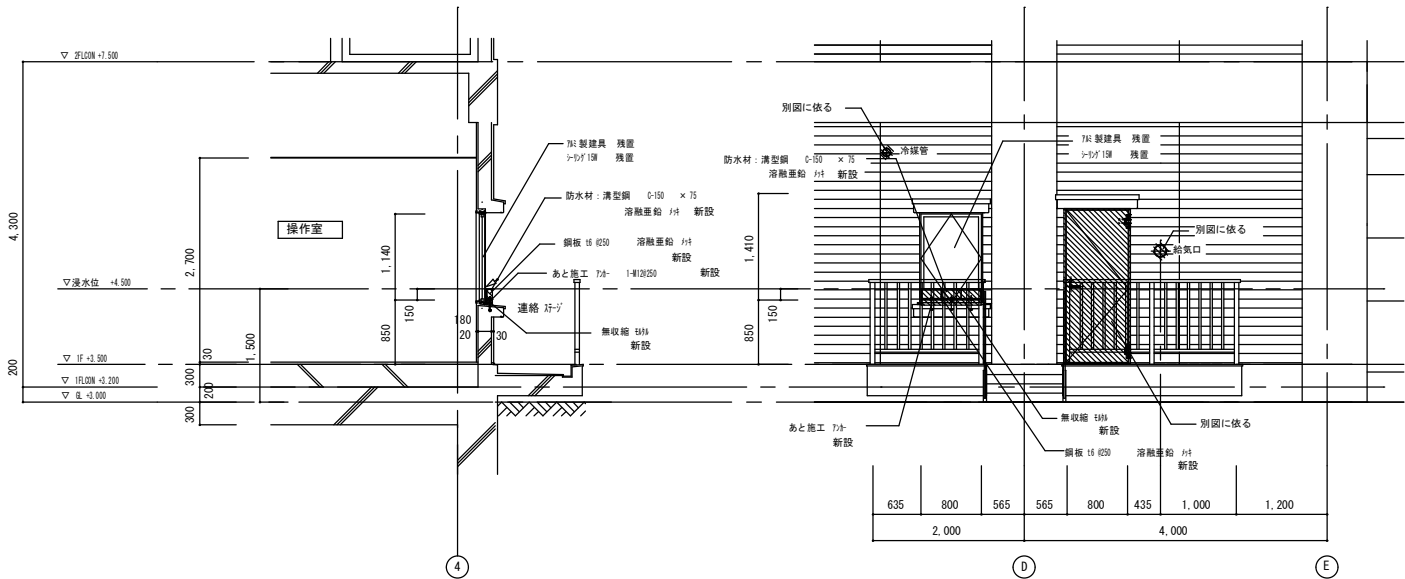
断面詳細図 S=1/50

正面図 S=1/50

凡 例
撤去範囲を示す
シーリング撤去位置

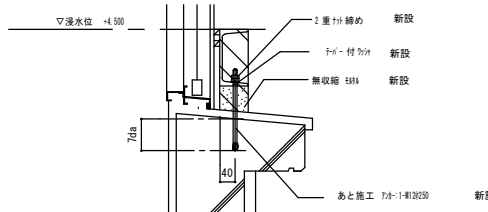


平面詳細図 S=1/50

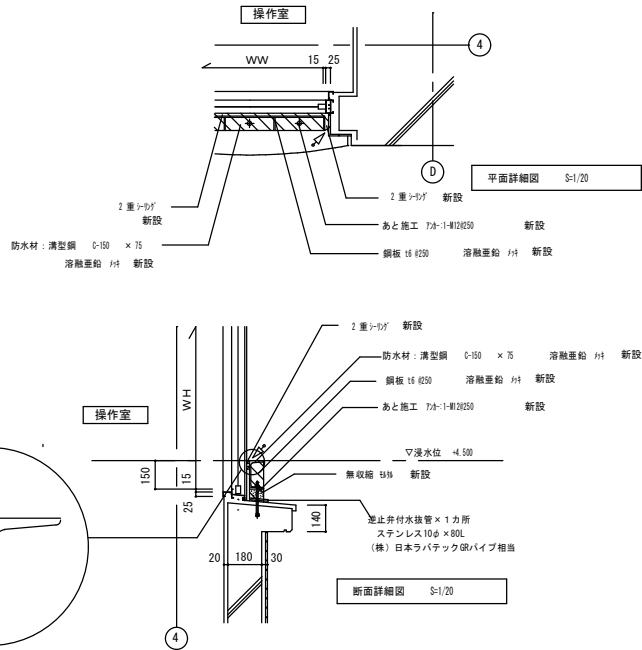


断面詳細図 S=1/50

正面図 S=1/50



あと施工 詳細図 S=1/10



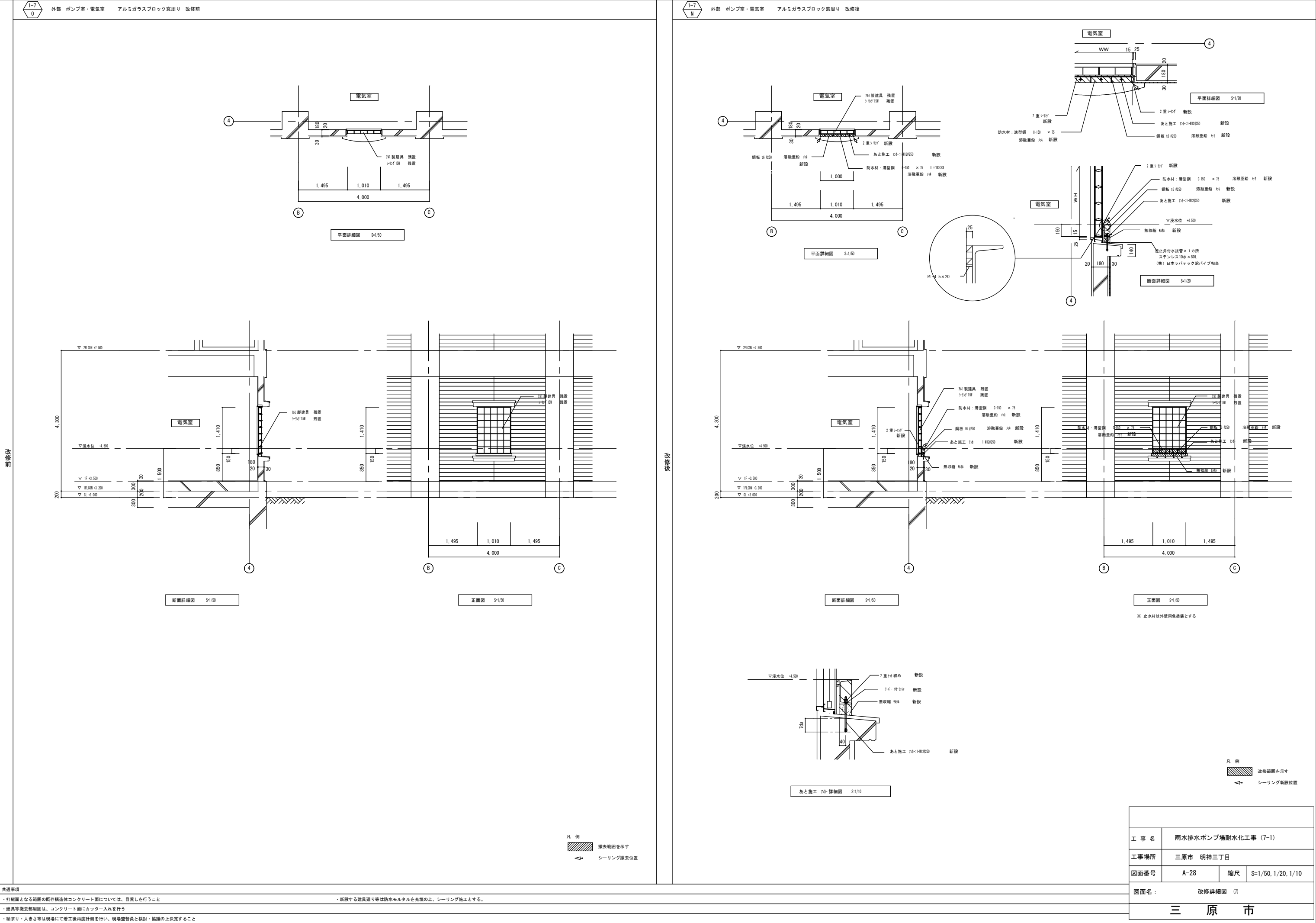
凡 例
改修範囲を示す
シーリング新設位置

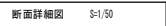
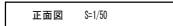
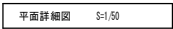
改修前

改修後

共通事項
・打組面となる範囲の既存構造体コンクリート面については、目視を行うこと
・新設する建具廻り等は防水モルタルを充填の上、シーリング施工とする。
・建具等撤去部周囲は、コンクリート面にカッター入れを行う
・納まり・大きさ等は現場にて着工後再度計測を行い、現場監督員と検討・協議の上決定すること

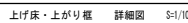
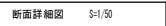
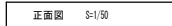
工 事 名		雨水排水ポンプ場耐水化工事（7-1）	
工事場所		三原市 明神三丁目	
図面番号		A-27	縮尺 S=1/50, 1/20, 1/10
図面名：		改修詳細図 (6)	
三 原 市			





凡 例

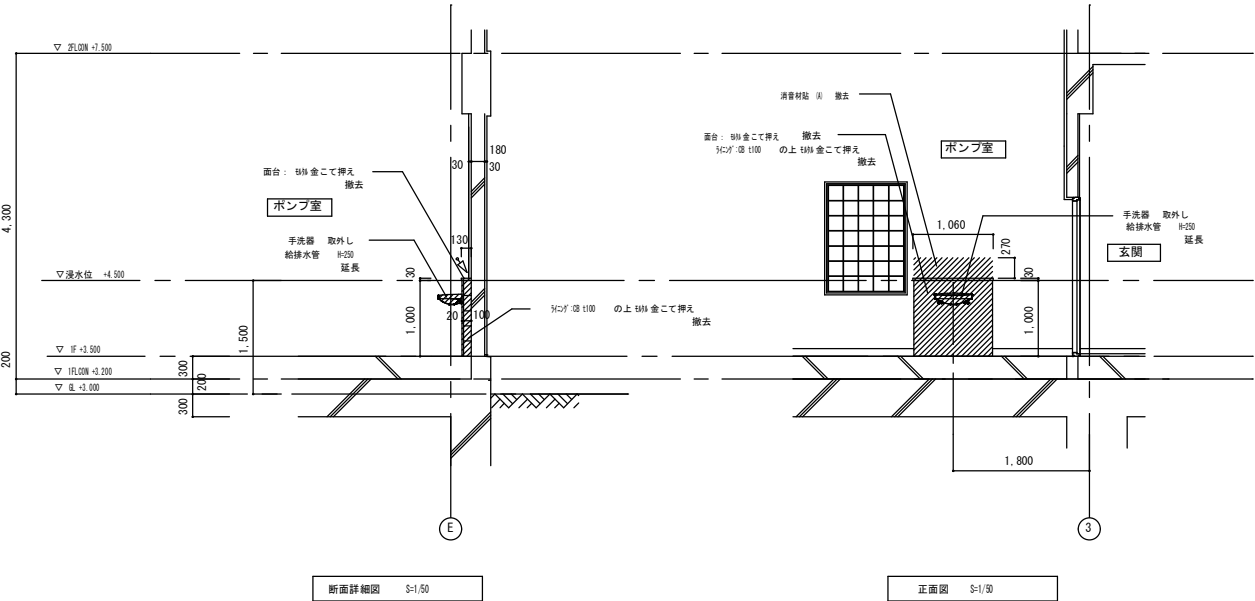
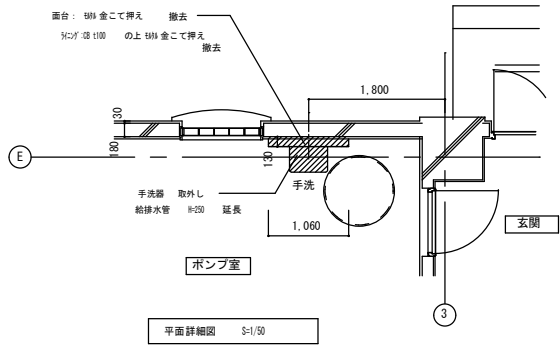
	撤去範囲を示す
	シーリング撤去位置



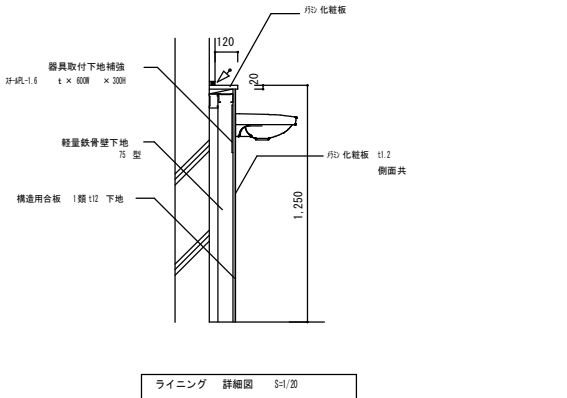
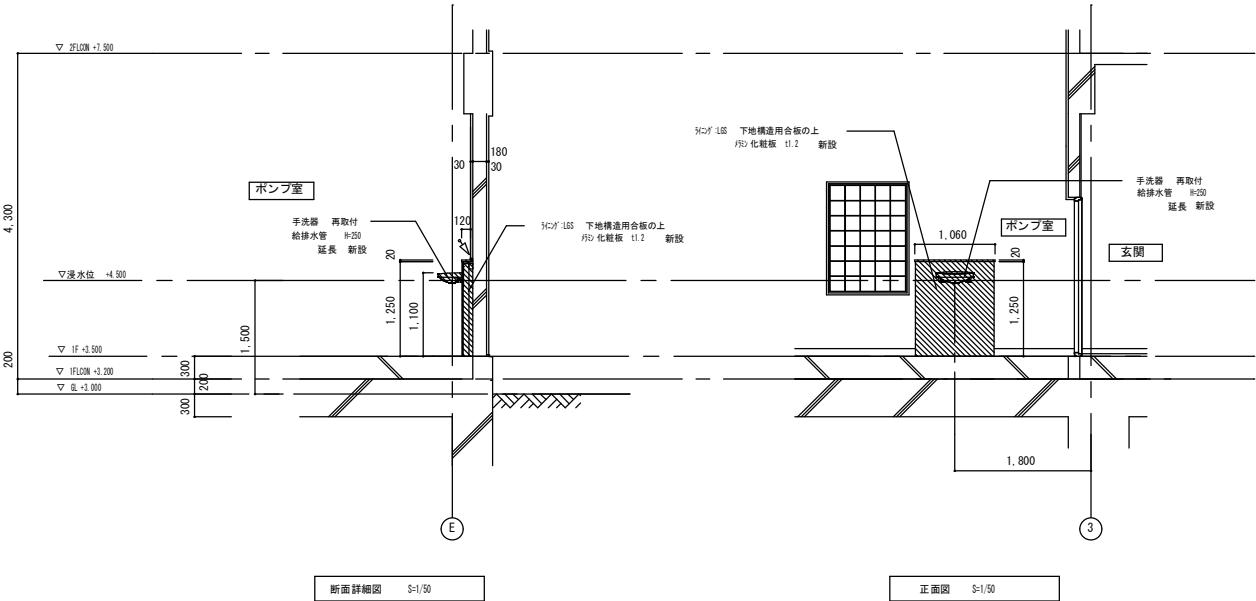
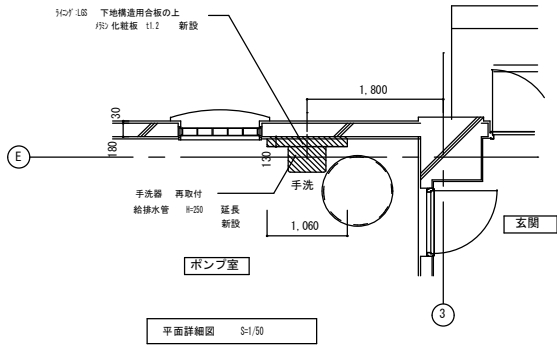
 改修範囲を示す
 シーリング新設位置

工 事 名	雨水排水ポンプ場耐水化工事（7-1）		
工事場所	三原市 明神三丁目		
図面番号	A-29	縮尺	S=1/50, 1/10
図面名： 改修詳細図 ③			
三 原 市			

改修前



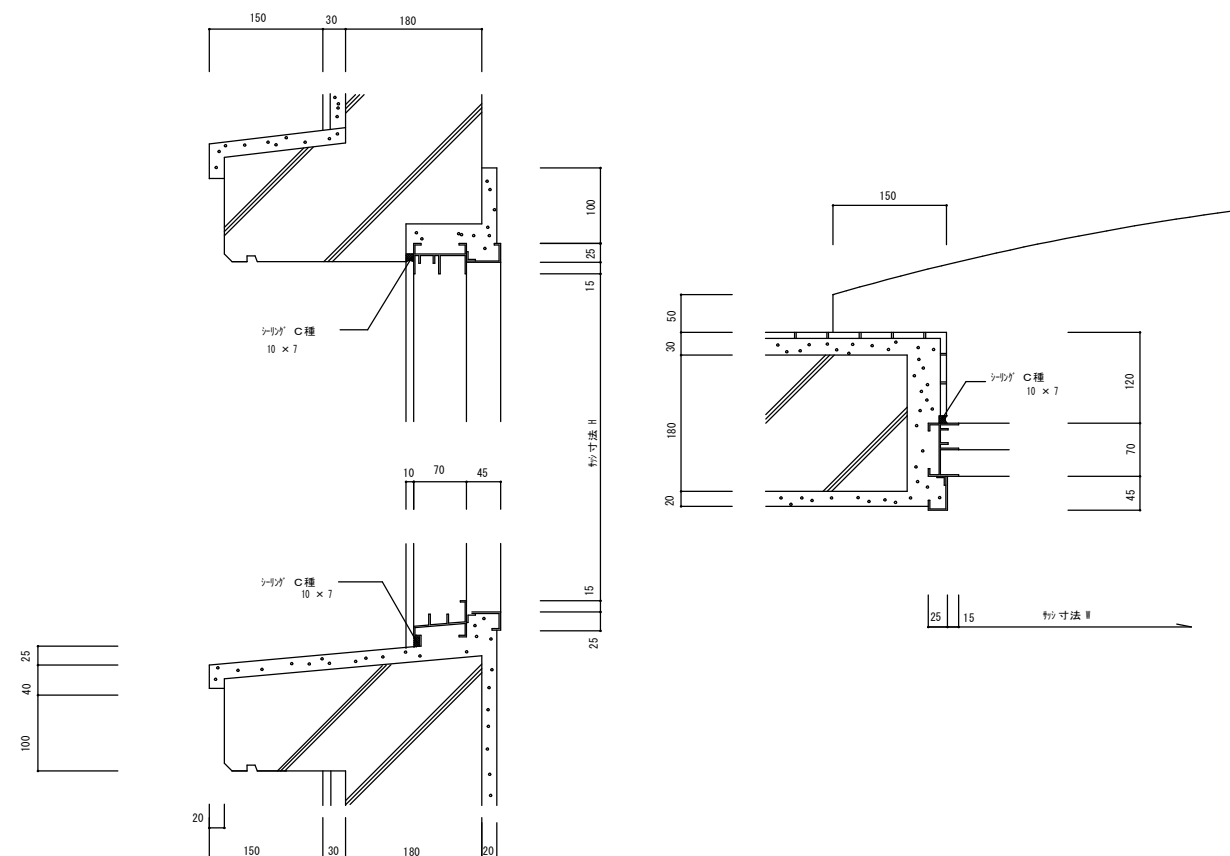
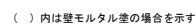
凡 例
撤去範囲を示す
シーリング撤去位置



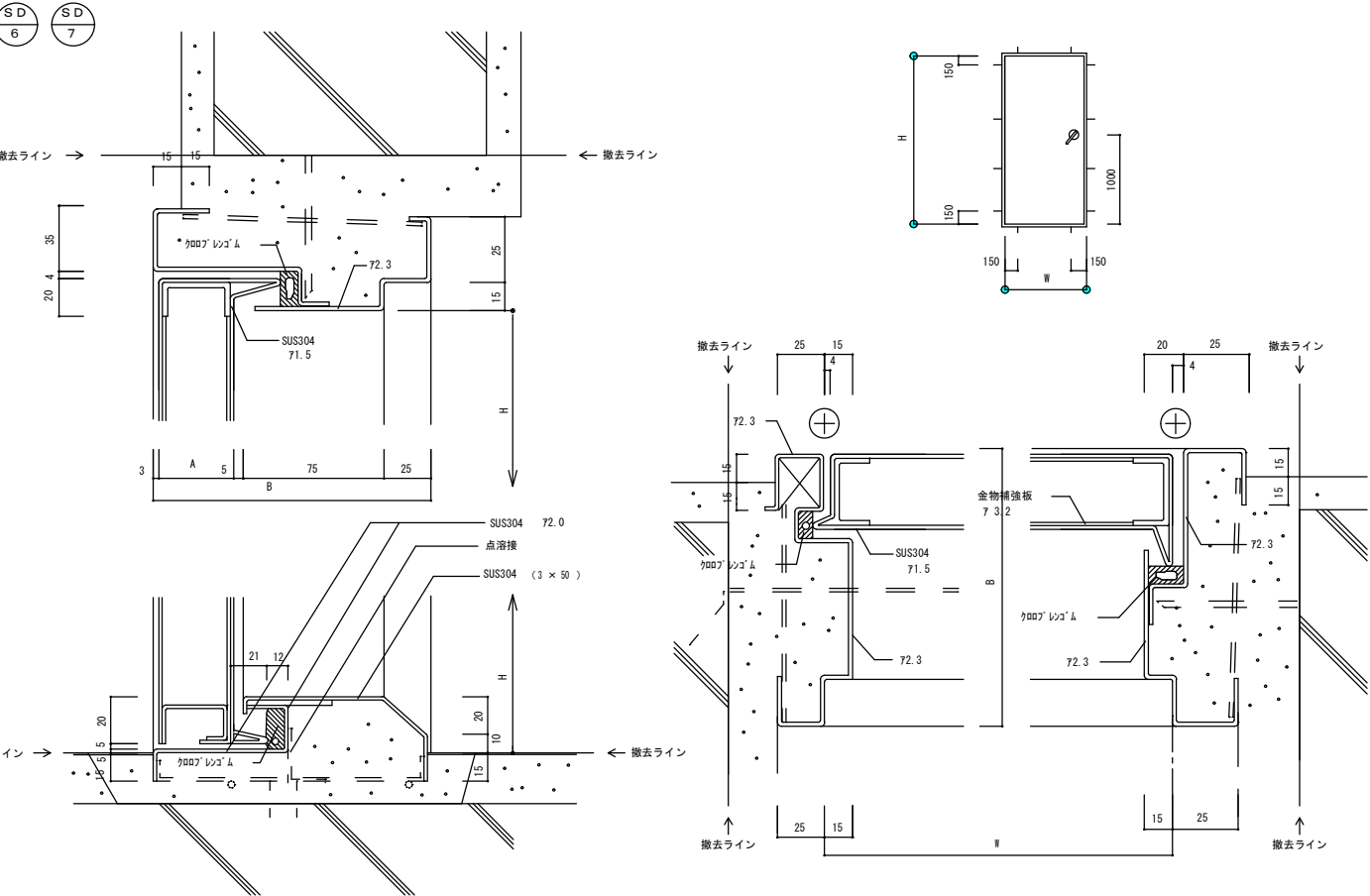
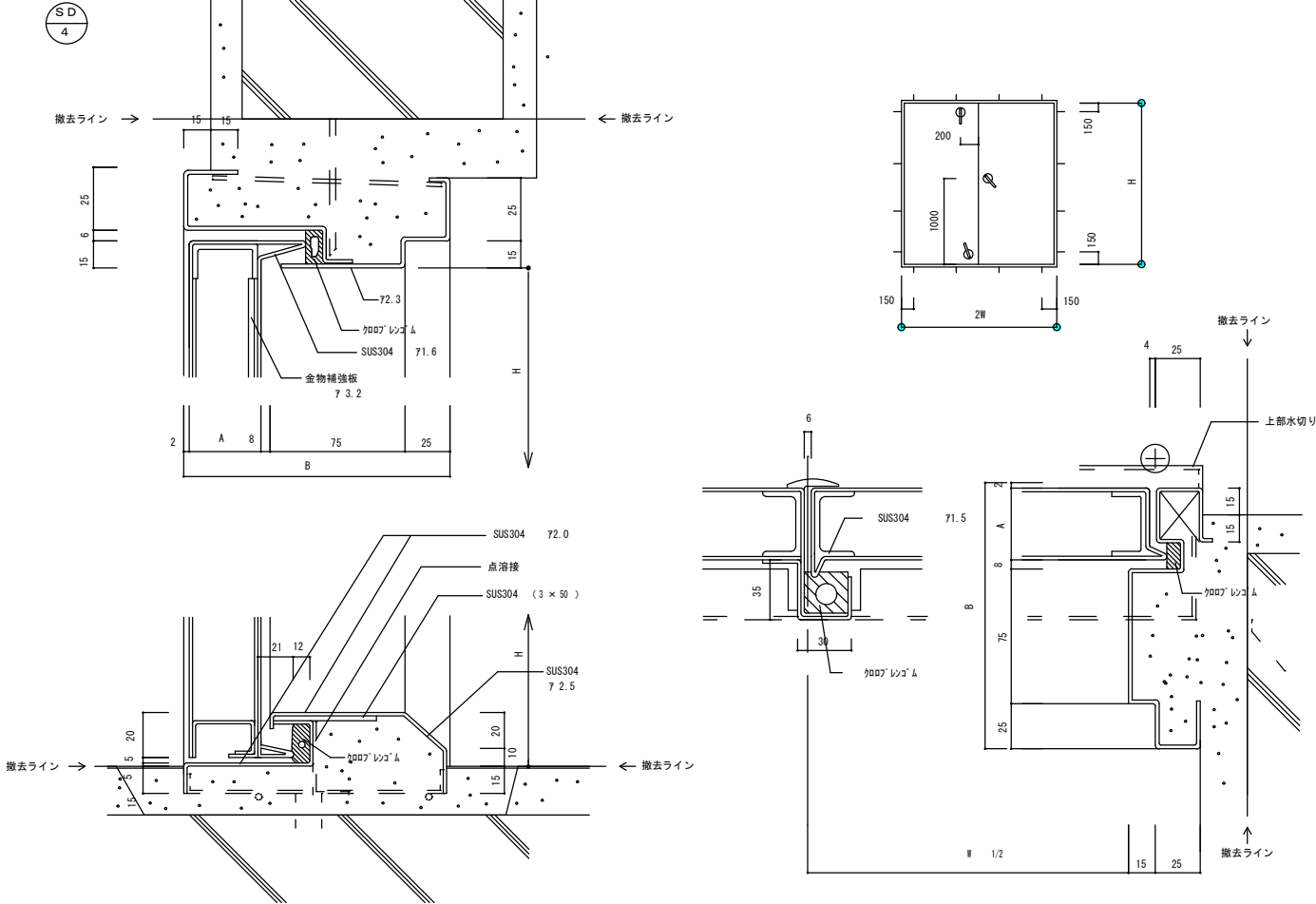
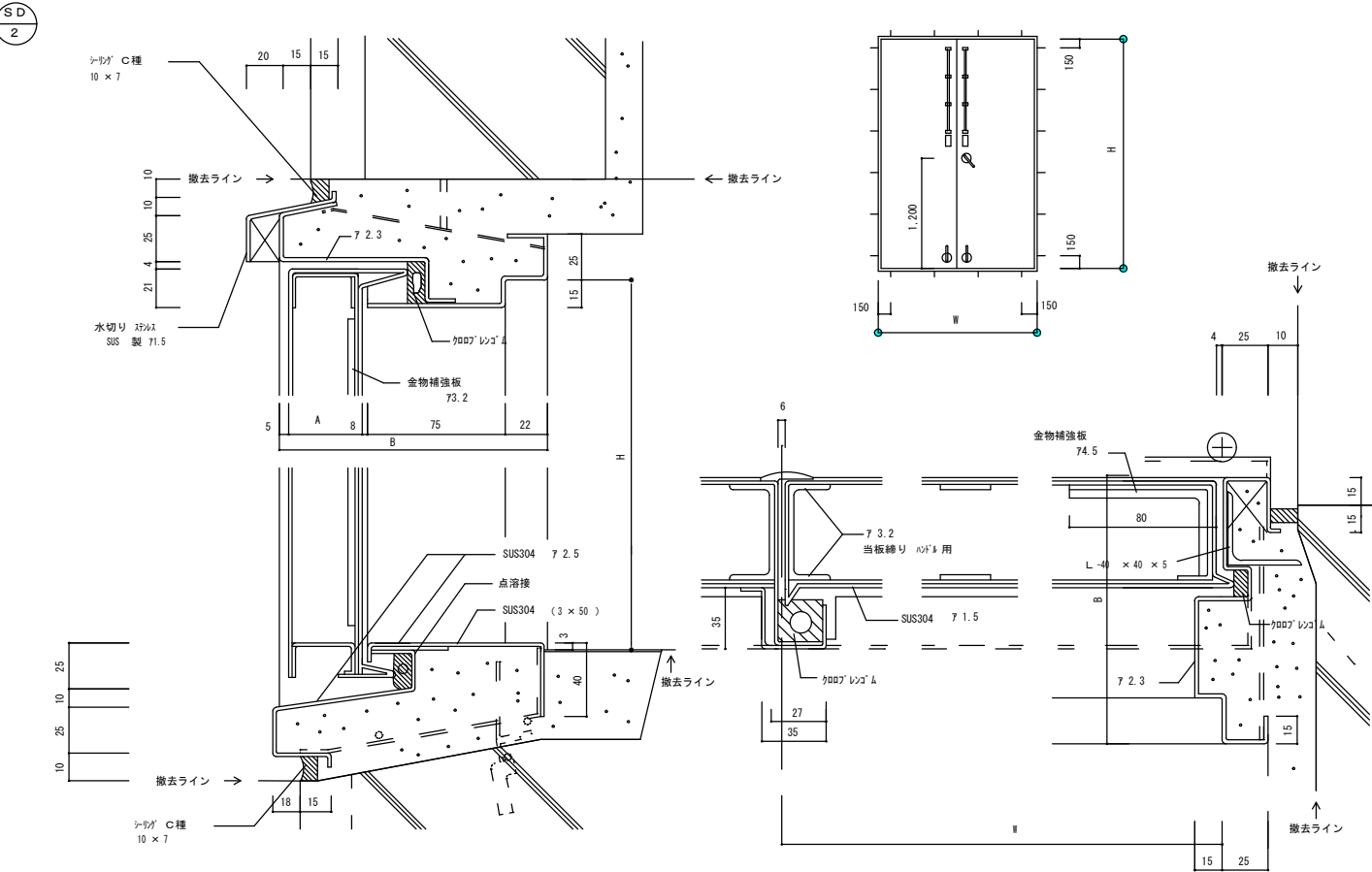
凡 例
撤去範囲を示す
シーリング撤去位置

- 共通事項
- ・打組面となる範囲の既存構造体コンクリート面については、目視を行うこと
 - ・新設する建具廻り等は防水モルタルを充填の上、シーリング施工とする。
 - ・建具等撤去部周囲は、コンクリート面にカッター入れを行う
 - ・納まり・大きさ等は現場にて着工後再度計測を行い、現場監督員と検討・協議の上決定すること

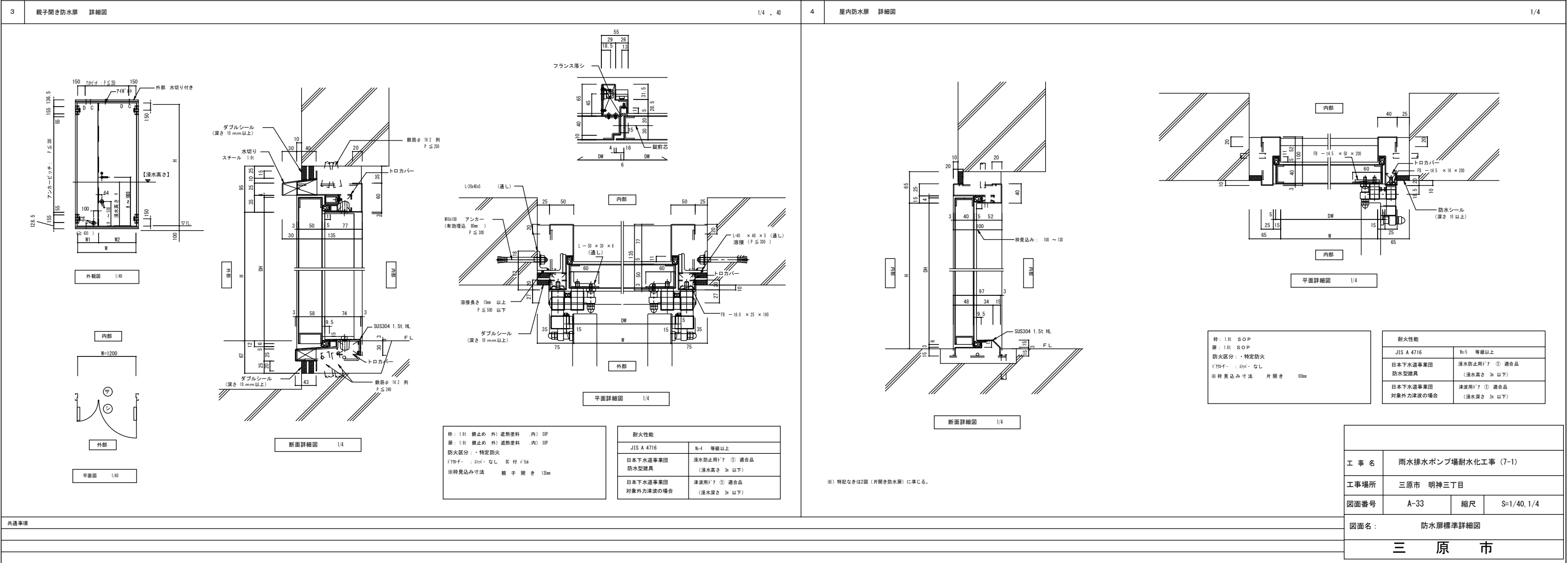
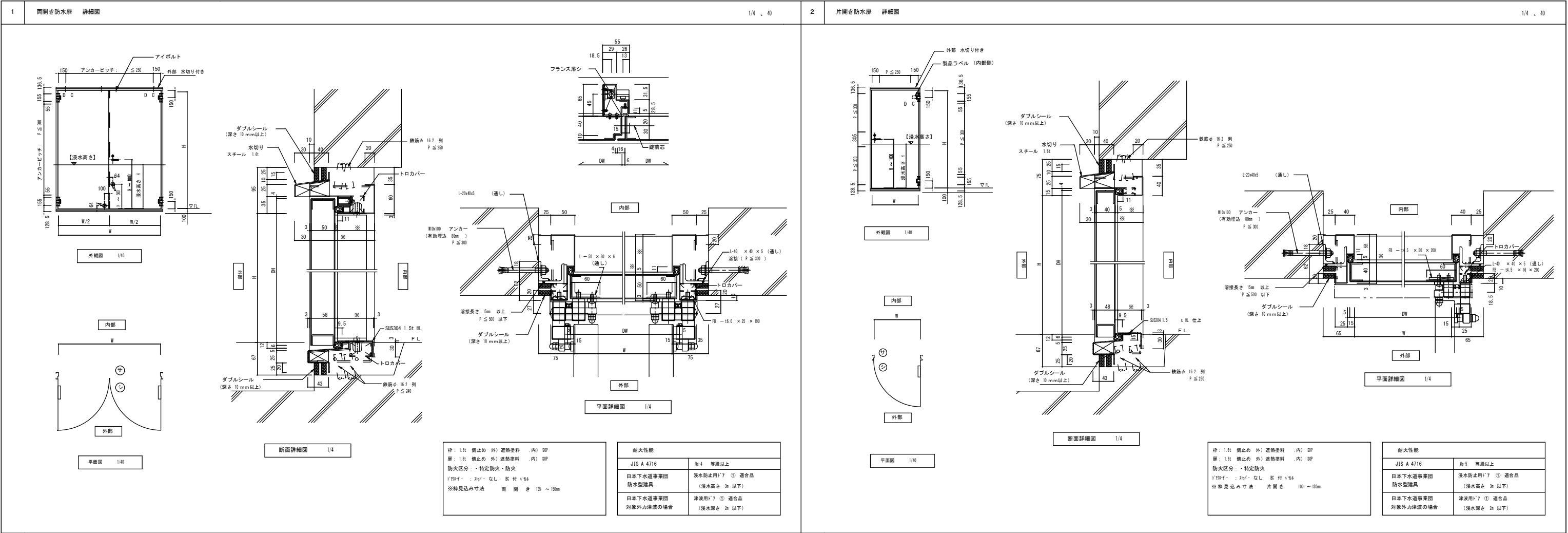
工 事 名	雨水排水ポンプ場耐水化工事 (7-1)		
工事場所	三原市 明神三丁目		
図面番号	A-30	縮尺	S=1/50, 1/20
図面名： 改修詳細図 (9)			
三 原 市			



工 事 名	雨水排水ポンプ場耐水化工事（7-1）		
工事場所	三原市 明神三丁目		
図面番号	A-31	縮尺	S=1/40, 5.2
図面名：	建具枠廻り詳細及び記号		（参考図）1
三 原 市			



工 事 名		雨水排水ポンプ場耐水化工事（7-1）			
工事場所		三原市 明神三丁目			
図面番号		A-32	縮尺	S=1/40.2	
図面名：		建具枠廻り詳細及び記号（参考図）2			
三 原 市					



建具	リスト

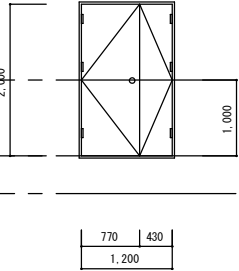
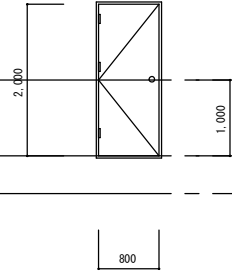
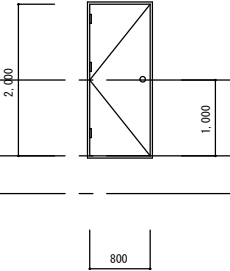
改修前

共通事項	1. 特記なき限り外部はシリンダ錠錠（内部サムターン）とし内部は本締り付きモノロックとする。 但し、押板、押棒の場合は、シリンダ本締り錠とする。	7. 防火戸には順位調整器付属とする（片開戸を除く）	建具略号	種別	戸	窓	ガラリ	オーバーヘッドドア	紙障子	ふすま	シャッター	網戸	凡例	A G	アルミ製 額縁	W	アルミ水切	F E	フタル酸樹脂エナメルペイント塗	工事名	雨水排水ポンプ場耐水化工事（7-1）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	2. バイブスペース、ダクトスペースの点検扉の鍵はシリンダ本締り錠（特記なき限り同一キー）とする。 （内部はサムターン付）	8. 戸は全て特定防火設備（仕様規定）とする。																				工 事 場 所	三原市 明神三丁目																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	3. A H、F Hを除きD Cの有無にかかわらず出入口には戸当り、および止め（外面開扉のみ）をつける。 壁仕上げボード類等の場合は床付とする。（但し、通行に支障のあるものは除く。）	9. 防水扉は詳細図A-33号図による。																						図面番号	A-34	縮尺	S=1/50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	4. 大型、気密鋼製建具はシリンダ本締り錠付きとする。	10. 特記なき扉、鋼材はS O P塗装とする。																										図面名	建具リスト（改修前）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	5. 特記なき限り鋼製戸の見込みは4 0mmとする。	11. 屋外スチール製防水扉屋外面はフッ素樹脂塗装とする。 エスケー化研（株）水性クールテクトF（G1-15） 同等品																												三 原 市																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	6. 特記なき限りの取手はレバーハンドルとする。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													</

建 具 略 号	種 別	戸	窓	ガラリ	オーバー ヘッドドア	紙障子	ふすま	シャッター	網戸	凡 例	A G	アルミ製 断縁	工 事 名 雨水排水ポンプ場耐水化工事 (7-1) 工事場所 三原市 明神三丁目 図面番号 A-34 縮尺 S=1/50 図面名 : 建具リスト (改修前) 三 原 市			
	アルミニウム製	AD	AW	AG	AOD			AS	aW		W	アルミ水切				
	鋼 製	SD	SW	SG	SOD				SS		FE	フタル酸樹脂エナメルペイント塗				
	鋼 製 軽 量	LD							LS							
	ステンレス製	SSD	SSW	SSG					SSS							
ガ ラ ス 略 号	木 製	WD	WW	WG		P	H									
	F 型板ガラス			金 物 略 号	D C	ドアクローザー、ストッパーなし										
	FL フロート板ガラス				A H	オートヒンジ										
	FW 網入型板ガラス				F H	フロアヒンジ										
	PW 網入みがき板ガラス			号	P H	ピボットヒンジ										

建具 リスト

改
修
後

符号 ・ 名称 ・ 個数		SD 4N 親子開きスチール フラッシュ戸 （防水扉） 1	SD 6N 片開きスチール フラッシュ戸 （防水扉） 1	SD 7N 片開きスチール フラッシュ戸 （防水扉） 1
場所		I階 操作室	I階 操作室	I階 ポンプ室
仕上（枠共）		スチール製 S O P	スチール製 外）フッ素樹脂遮熱塗装 、内）S O P	スチール製 S O P
建具	見込 （ランマ）	50	40	40
	硝子 （ランマ）	－	－	－
	ガラリ	－	－	－
建具枠	見込取合 窓摺	135 スチール製	100 スチール製	100 スチール製
枠記号 窓摺（水切）記号		－	－	－
建具金物		二軸丁番 （×2）、D C 特定防火設備 、対象外力：洪水（水深係数1）	二軸丁番 （×2）、D C 特定防火設備 、対象外力：洪水（水深係数1）	二軸丁番 （×2）、D C 特定防火設備 、対象外力：洪水（水深係数1）
その他		A－33－3号図（下枠のみ同4号図）	A－33－2号図	A－33－2号図
形状・寸法				

SD-4N 、6N 、7N 共通仕様

耐火性能	
JIS A 4716	耐火等級
日本下水道事業団 防水型建具	浸水防止用F7 ① 適合品 （浸水高さ 3m 以下）

符号 ・ 名称 ・ 個数						
場所						
仕上（枠共）						
建具	見込 （ランマ）					
	硝子 （ランマ）					
	ガラリ					
建具枠	見込取合 窓摺					
枠記号 窓摺（水切）記号						
建具金物						
その他						
形状・寸法						
▽ 浸水位 +4.500 ー						
▽ IFL +3.500 ー						
▽ G.L. +3.000 ー						

1. 特記なき限り外部はシリンダ箱錠（内部サムターン）とし内部は本締り付きモノロックとする。 但し、押板、押棒の場合は、シリンダ本締り錠とする。 2. パイプスペース、ダクトスペースの点検扉の鍵はシリンダ本締り錠（特記なき限り同一キー）とする。 （内部はサムターン付） 3. A H、F Hを除きD Cの有無にかかわらず出入口には戸当り、あおり止め（外部両開扉のみ）をつける。 壁仕上げボード類等の場合は床付とする。（但し、通行に支障のあるものは除く。） 4. 大型、気密鋼製建具はシリンダ本締り錠付きとする。 5. 特記なき限り鋼製戸の見込みは4.0mmとする。 6. 特記なき限り扉の取手はレバーハンドルとする。	7. 防火戸（防火設備）には順位調整器付属とする（片開戸を除く） 8. 戸は全て特定防火設備（仕様規定）とする。 9. 防水扉は詳細図A-33号図による。 10. 特記なき扉、鋼材はS O P 塗装とする。 11. 屋外スチール製防水扉屋外面はフッ素樹脂遮熱塗装とする。 エスケー化研（株）水性クールテクト F（G115） 同等品	建具略号	種 別	戸	窓	ガラリ	オーバーヘッドドア	紙障子	ふすま	シャッター	網戸	凡例	A G	アルミ製 額縁			工 事 名	雨水排水ポンプ場耐水化工事（7-1）										
													W	アルミ水切														
													F E	フタル酸樹脂エナメルペイント塗														
																工事場所					三原市 明神三丁目							
																図面番号					A-35		縮尺	S=1/50	図面名：	建具リスト（改修後）		
									三 原 市																			



工 事 名	雨水排水ポンプ場耐水化工事（7-1）		
工事場所	三原市 明神三丁目		
図面番号	A-36	縮尺	S=1/100
図面名：		仮設計計画図（参考図）	
三 原 市			

明神雨水排水ポンプ場
機械設備

第1章 総 則

第1節 適用範囲

本特記仕様書は、雨水排水ポンプ場耐水化工事（7-1）（明神雨水排水ポンプ場）に適用する。

第2節 責任施工

本工事は、受注者による責任施工である。

設計図書に記載なき事項についても技術上あるいは、全設備より見て当然必要と思われることは、職員（以下監督員という）の指示に従い、設計図書の意図する性能、機能を十分満足するよう設計、施工しなければならない。

第3節 施工基準

(1) 本工事に対する施工基準は、下記のものとする。

- a 特記仕様書
- b 設計図
- c 設計書
- d 現場説明事項

(2) 準拠規格

一般仕様書、特記仕様書において規定して記載されたもの以外は、すべて次の規格及び基準に準拠すること。また、この書基準は、最新版を適用すること。

- a 日本産業規格 J I S
- b 機械設備標準仕様書 日本下水道事業団
- c 下水道施設計画・設計指針と解説
- d 機械設備工事一般仕様書 日本下水道事業団
- e 機械設備工事必携 日本下水道事業団
- f 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）
- g 公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）
- h その他関係法規並びに監督員が指示する仕様書、各種基準

(3) 承諾図

受注者は、承諾を受けるために監督員と打合せを行い、施工図面等の工事に必要な図面を2部作成し提出すること。

- a 機器の据付配置図
- b 機器相互間の配管図
- c 施工図

一旦、承諾を受けても実際に施工上不都合があると認められる場合、あるいは設備上、機器の変更、追加等が必要と認められる場合には、監督員の指示に従って訂正図を提出し、再承諾を受けた後に機器等を製作すること。

また、承諾図返却後、決定図を監督員の指示する部数を提出すること。

(4) 疑義等

設計図書に関して疑義が生じた場合は、すべて監督員の解釈による。

設計図書に記載されていない事項であっても施工上当然必要と思われる事項は、受注者の負担においてこれを施工すること。

第4節 関係法規、責務の遵守

受注者は、本工事の施工に当り、諸官庁の命令指示、建設業法、労働基準法、労働安全衛生法、職業安定法、道路交通法、電気事業法その他関係法規、並びに工事施工に関する協定事項に違反しないこと。

第5節 手続きの代行

受注者は本工事施工に当り、諸官公庁及び当該電気供給者の検査を受ける必要があるものについては、すべての手続きを代行し、常に連絡を密にして、設備使用開始に際し支障のないようにすること。

ただし、手続書類は提出前に監督員の承諾を受けること。

第6節 現場の管理

受注者は、工事現場内において監理技術者、主任技術者(下請を含む。)に工事名、工期、顔写真、所属会社名及び証明印の入った名札を着用すること。

第7節 検査

三原市工事検査規程の定めるところによる。

第8節 主任(監理)技術者の配置等

(1) 主任(監理)技術者の専任期間等

本工事に配置される技術者については、工場製作のみが行われている期間は専任を要しない。

なお、当該工場製作過程において、同一工場内で他の同種工事に係る製作と一元的な管理体制のもとで製作を行うことが可能である場合は、同一の技術者がこれらの製作を一括して管理することができる。

(2) 主任(監理)技術者の変更の特例

本工事に配置される技術者については、工場から現地への工事の現場が移行する時点において変更ができる。

なお、発注者と受注者の協議により、交代の時期は工程上一定の区切りと認められる時点とするほか、交代前後における技術者の技術力が同等以上に確保されるとともに、一定期間重複して工事現場に設置し、工事の継続性、品質等を確保すること。

第9節 工事カルテの作成および登録

受注者は、工事实績情報サービス(CORINS)に基づき「工事カルテ」を作成し、監督職員の

確認を受けた後に(財)日本建設情報総合センターに登録し、「工事カルテ」の写しを監督職員に提出すること。

第10節 完成図書の提出

施設引渡しの際、下記の完成図書を提出すること。

完成図書はA 4 版，取外し可能な折り込み製本とし表紙，背表紙は金文印刷したものを 3 部納入のこと。

- (1) 完成図面
- (2) 各種検討書，計算書
- (3) 各種配管図
- (4) 付属品，予備品リスト
- (5) 各種試験，検査成績書
- (6) 各種官庁手続き書類
- (7) 取扱説明書
- (8) 運転操作説明書
- (9) 故障時連絡一覧表
- (10) その他必要なもの

第11節 かし担保期間

完成検査に合格した日から 2 年間とする。

かし担保期間終了時，請負人は技術者を派遣し異常の有無を確認後，監督員と協議し承認を得ること。

保証期間内に請負人の責任に帰すべき原因による事故が発生した場合，監督員の指示する期間内に無償で改造，補修または新品と取替えた後，検査に合格しなければならない。

第12節 契約内容の変更

本工事の内容に著しい影響を与える事情が生じたときは，協議の上，契約内容を変更することができる。

ただし，監督員が特段の理由があると認めたときを除き，契約内容の変更は行わない。

第13節 その他

(1) 責任施工

受注者は既設構造物その他に損傷を与えないよう，または機能を阻害しないよう適切な保護を行うこと。これらに損傷または損失を与えた場合，受注者の負担において復旧すること。

本工事の施工にあたって本仕様書，添付図面，別紙設計書に明示していないものがあっても，設備の性能発揮に当然必要なものは監督員の指示に従い，受注者の費用をもって施工し

なければならない。また、重要寸法についてはあらかじめ現地実測の上決定し、万一数量寸法等に誤記があった場合は、監督員と打ち合わせ善処しなければならない。

(2) 耐震設計

耐震を十分考慮した構造および施工とすること。

(3) 工事保険等

受注者は、本工事において第三者に与えた損害を補填する保険又はその他必要とする建設工事に関連する保険等に加入しなければならない。また、加入した保険等については、保険証券の写し（保険以外の場合はそれに代わるもの）を監督員に提出すること。なお、加入に必要な保険料等は、設計で現場管理費に見込んでいる。

(4) 工事損失等

本工事の施工に伴い、通常避けることのできない地盤沈下、振動等により建物等に損害等（以下「工事損失」という。）が発生した場合においては、次のとおりとする。なお、工事損失に伴う補償費用は、設計で現場管理費に見込んでいる。

- a 原因調査 監督員と協力して行うこと。
- b 補償交渉 監督員と協力して処理解決に当ること。
- c 応急措置 監督員から応急措置を講じる必要があると指示された場合は、直ちに応急措置を講じること。
- d 補償費用負担割合 発注者は、工事損失に伴う補償費用のうち請負代金の100分の1を超える額を負担すること。

第2章 工 事 概 要

第1節 耐水化対策

本工事は、洪水や河川の氾濫等により、ポンプ棟のポンプ井開口部からの浸水によりポンプ場の運転に支障が生じる恐れがあるため、対策を行うものである。

第2節 対策箇所

- (1) ポンプ井排水ピットマンホール蓋 1箇所
- (2) ポンプ井マンホール蓋 1箇所
- (3) ポンプドレン管 1箇所（No. 1）
- (4) その他発注図面のとおり

第3章 土木・機械工事

第1節 一般事項

- (1) 本工事の施工にあたっては、監督員の指示に従い、本仕様書及び設計図書に基づき、関係法令、規定、基準に準拠し、責任を持って施工しなければならない。また、作業の安全及び通行人等第三者への災害防止等についても十分に配慮し、安全対策を講じること。
- (2) 機器の搬入、据付の際は機器本体、構造物に対して損傷を与えることのないように注意すること。
- (3) 工事の施工にあたっては、施工図を提出のうえ監督員の指示によること。また、実施にあたっては安全かつ効率的に行うこと。
- (4) 電力会社等への諸手続きは、受託者が自らの費用において行うこと。
- (5) 槽内作業の場合は、酸素欠乏及び硫化水素危険作業に該当するため、法令・規則等を遵守し安全に行うこと。

第2節 各種工事

(1) ポンプ井排水ピットマンホール蓋更新工事

- 1) ポンプ井排水ピットマンホール蓋は、耐内水圧マンホール蓋に更新し、ポンプ井内部から浸水しないように、施工を行うこと。

マンホール蓋仕様：φ1000 耐内水圧0.01MPa以上

(2) ポンプ井マンホール蓋更新工事

- 1) ポンプ井マンホール蓋は、耐内水圧マンホール蓋に更新し、ポンプ井内部から浸水しないように、施工を行うこと。

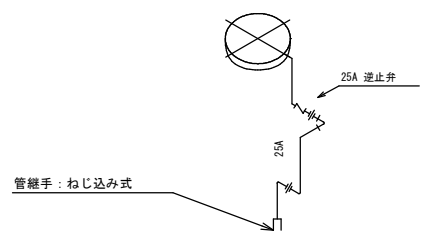
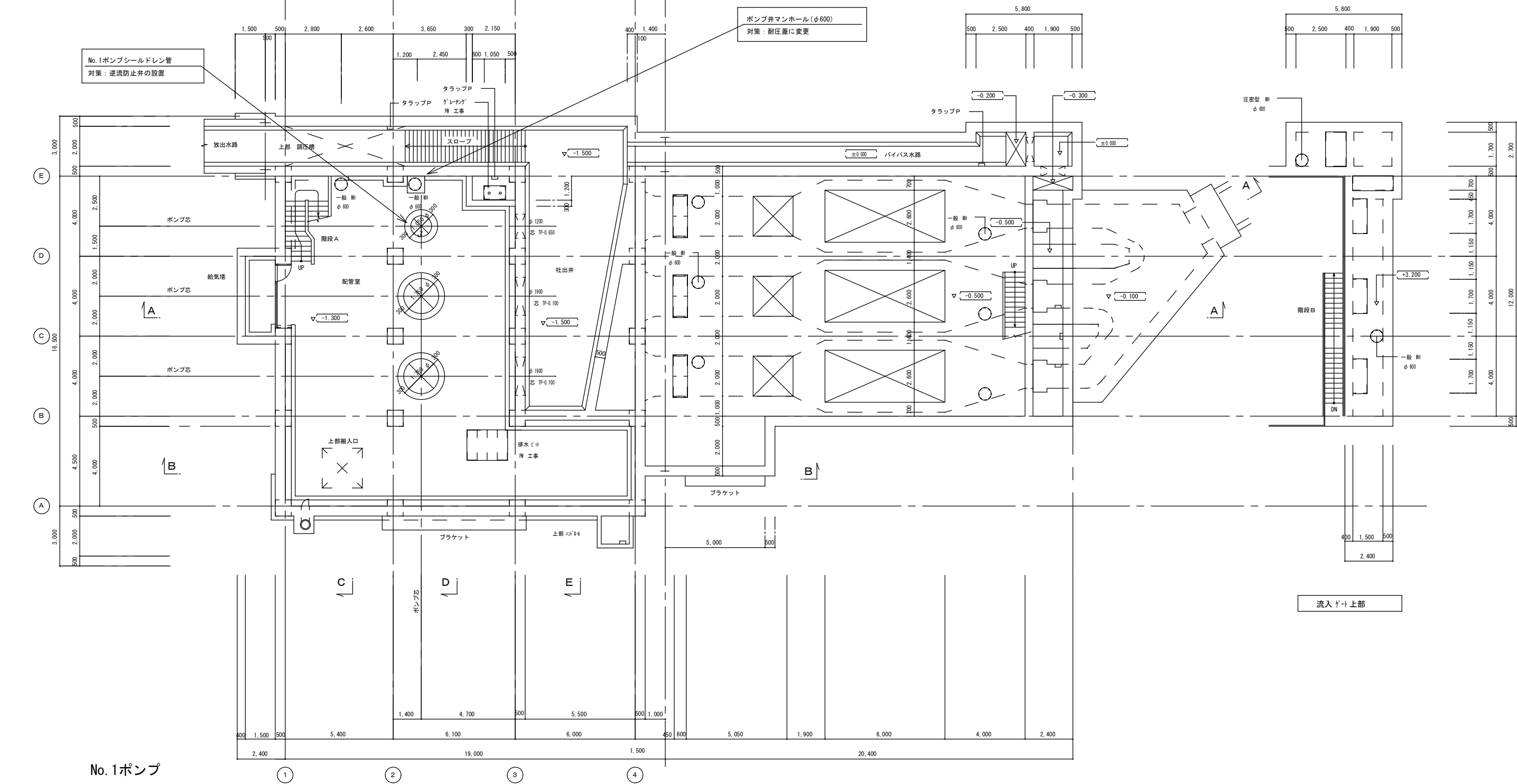
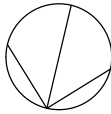
マンホール蓋仕様：φ600 耐内水圧0.03MPa以上

(3) ポンプドレン管、逆流防止弁取付工事

- 1) ポンプドレン管は、ポンプ井からの逆流対策として、逆流防止弁の取付を行う。

逆流防止弁仕様：25A×1箇所

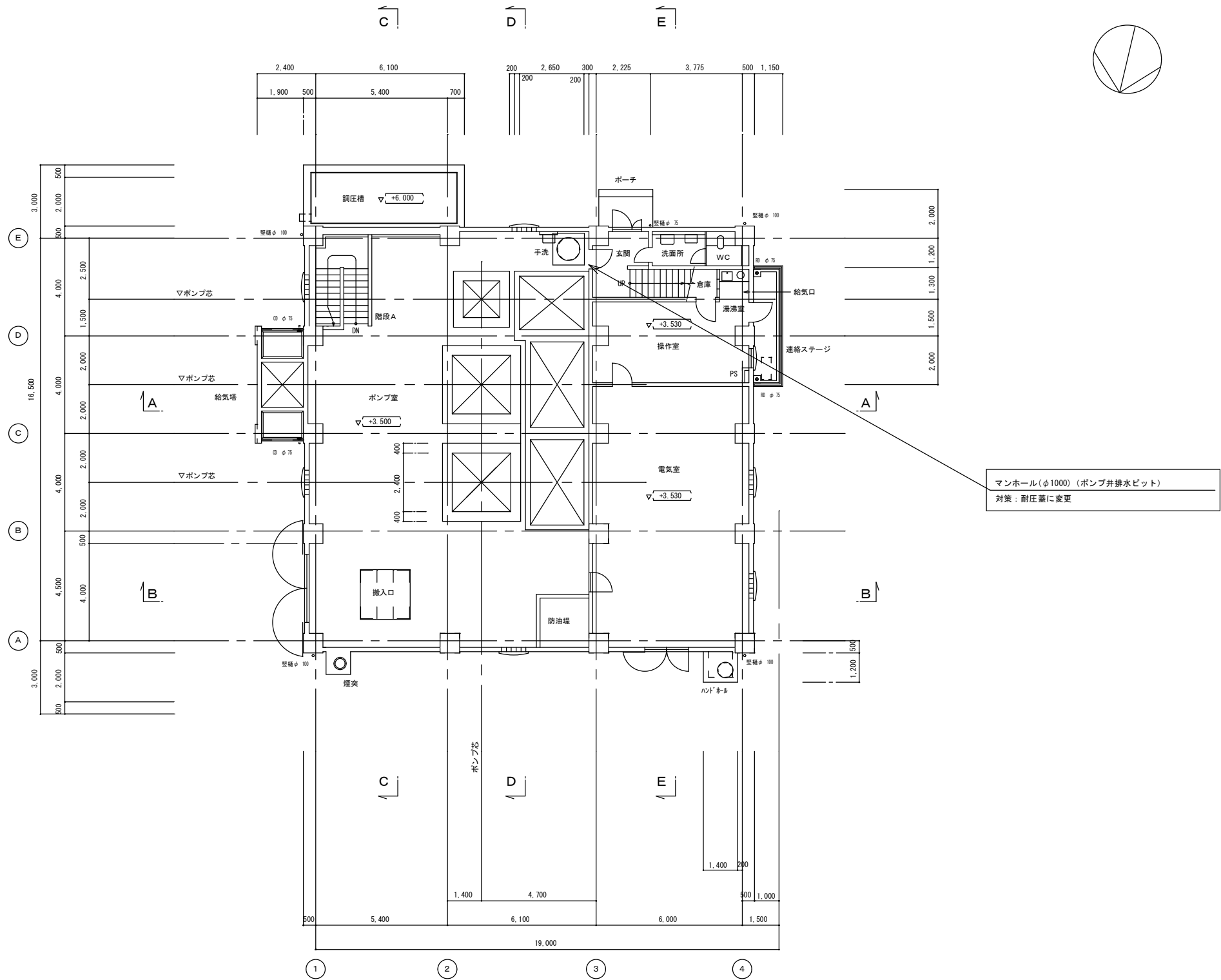
スイングチャッキ (SCS13A) SUS10K ねじ込み形



No. 1ポンプシールドレン
配管施工要領図

地下1階平面図 1/100

三 原 市			
工 事 名	雨水排水ポンプ場耐水化工事 (7-1)		
工事場所	三原市 明神三丁目		
図面番号	M-1	縮尺	S=1/100
図面名： 明神雨水排水ポンプ場 地下1階平面図 (今回)			



1階平面図 1/100

工 事 名	雨水排水ポンプ場耐水化工事 (7-2)		
工事場所	三原市 明神三丁目		
図面番号	M-2	縮尺	S=1/100
図面名： 明神雨水排水ポンプ場 1階平面図 (今回)			
三 原 市			

明神雨水排水ポンプ場
電気設備

第1章 総 則

第1節 適用範囲

本特記仕様書は、雨水排水ポンプ場耐水化工事（7-1）（明神雨水排水ポンプ場）に適用する。

第2節 責任施工

本工事は、受注者による責任施工である。

設計図書に記載なき事項についても技術上あるいは、全設備より見て当然必要と思われることは、職員（以下監督員という）の指示に従い、設計図書の意図する性能、機能を十分満足するよう設計、施工しなければならない。

第3節 施工基準

(1) 本工事に対する施工基準は、下記のものとする。

- a 特記仕様書
- b 設計図
- c 設計書
- d 現場説明事項

(2) 準拠規格

一般仕様書、特記仕様書において規定して記載されたもの以外は、すべて次の規格及び基準に準拠すること。また、この書基準は、最新版を適用すること。

a 日本産業規格	J I S
b 電気規格調査会標準規格	J E C
c 日本電機工業会標準規格	J E M
d 電線技術委員会標準資料	J C S
e 電気設備技術基準	経済産業省令
f 内線規程	J E A C
g 電気用品取締法	
h 下水道施設計画・設計指針と解説	
I 電気設備工事一般仕様書	日本下水道事業団
j 電気設備工事必携	日本下水道事業団
k 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）	
l 公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）	
m その他関係法規並びに監督員が指示する仕様書、各種基準	

(3) 承諾図

受注者は、承諾を受けるために監督員と打合せを行い、施工図面等の工事に必要な図面を2部作成し提出すること。

- a 機器の据付配置図

b 機器相互間の配管図、配線図

c 施工図

一旦、承諾を受けても実際に施工上不都合があると認められる場合、あるいは設備上、機器の変更、追加等が必要と認められる場合には、監督員の指示に従って訂正図を提出し、再承諾を受けた後に機器等を製作すること。

また、承諾図返却後、決定図を監督員の指示する部数を提出すること。

(4) 疑義等

設計図書に関して疑義が生じた場合は、すべて監督員の解釈による。

設計図書に記載されていない事項であっても施工上当然必要と思われる事項は、受注者の負担においてこれを施工すること。

第4節 関係法規、責務の遵守

受注者は、本工事の施工に当り、諸官庁の命令指示、建設業法、労働基準法、労働安全衛生法、職業安定法、道路交通法、電気事業法その他関係法規、並びに工事施工に関する協定事項に違反しないこと。

第5節 手続きの代行

受注者は本工事施工に当り、諸官公庁及び当該電気供給者の検査を受ける必要があるものについては、すべての手続きを代行し、常に連絡を密にして、設備使用開始に際し支障のないようにすること。

ただし、手続書類は提出前に監督員の承諾を受けること。

第6節 現場の管理

受注者は、工事現場内において監理技術者、主任技術者(下請を含む。)に工事名、工期、顔写真、所属会社名及び証明印の入った名札を着用すること。

第7節 検査

三原市工事検査規程の定めるところによる。

第8節 主任(監理)技術者の配置等

(1) 主任(監理)技術者の専任期間等

本工事に配置される技術者については、工場製作のみが行われている期間は専任を要しない。

なお、当該工場製作過程において、同一工場内で他の同種工事に係る製作と一元的な管理体制のもとで製作を行うことが可能である場合は、同一の技術者がこれらの製作を一括して管理することができる。

(2) 主任(監理)技術者の変更の特例

本工事に配置される技術者については、工場から現地への工事の現場が移行する時点において変更ができる。

なお、発注者と受注者の協議により、交代の時期は工程上一定の区切りと認められる時点

とするほか、交代前後における技術者の技術力が同等以上に確保されるとともに、一定期間重複して工事現場に設置し、工事の継続性、品質等を確保すること。

第9節 工事カルテの作成および登録

受注者は、工事实績情報サービス（CORINS）に基づき「工事カルテ」を作成し、監督職員の確認を受けた後に（財）日本建設情報総合センターに登録し、「工事カルテ」の写しを監督職員に提出すること。

第10節 完成図書の提出

施設引渡しの際、下記の完成図書を提出すること。

完成図書はA4版、取外し可能な折り込み製本とし表紙、背表紙は金文印刷したものを3部納入のこと。

- (1) 完成図面
- (2) 各種検討書、計算書
- (3) 各種結線、接続図
- (4) 付属品、予備品リスト
- (5) 各種試験、検査成績書
- (6) 各種官庁手続き書類
- (7) 取扱説明書
- (8) 運転操作説明書
- (9) 故障時連絡一覧表
- (10) その他必要なもの

第11節 かし担保期間

完成検査に合格した日から2年間とする。

かし担保期間終了時、請負人は技術者を派遣し異常の有無を確認後、監督員と協議し承認を得ること。

保証期間内に請負人の責任に帰すべき原因による事故が発生した場合、監督員の指示する期間内に無償で改造、補修または新品と取替えた後、検査に合格しなければならない。

第12節 契約内容の変更

本工事の内容に著しい影響を与える事情が生じたときは、協議の上、契約内容を変更することができる。

ただし、監督員が特段の理由があると認めたときを除き、契約内容の変更は行わない。

第13節 その他

- (1) 責任施工

受注者は既設構造物その他に損傷を与えないよう、または機能を阻害しないよう適切

な保護を行うこと。これらに損傷または損失を与えた場合、受注者の負担において復旧すること。

本工事の施工にあたって本仕様書、添付図面、別紙設計書に明示していないものがあっても、設備の性能発揮に当然必要なものは監督員の指示に従い、受注者の費用をもって施工しなければならない。また、重要寸法についてはあらかじめ現地実測の上決定し、万一数量寸法等に誤記があった場合は、監督員と打ち合わせ善処しなければならない。

(2) 耐震設計

耐震を十分考慮した構造および施工とすること。

(3) 工事保険等

受注者は、本工事において第三者に与えた損害を補填する保険又はその他必要とする建設工事に関連する保険等に加入しなければならない。また、加入した保険等については、保険証券の写し（保険以外の場合はそれに代わるもの）を監督員に提出すること。なお、加入に必要な保険料等は、設計で現場管理費に見込んでいる。

(4) 工事損失等

本工事の施工に伴い、通常避けることのできない地盤沈下、振動等により建物等に損害等（以下「工事損失」という。）が発生した場合においては、次のとおりとする。なお、工事損失に伴う補償費用は、設計で現場管理費に見込んでいる。

- a 原因調査 監督員と協力して行うこと。
- b 補償交渉 監督員と協力して処理解決に当ること。
- c 応急措置 監督員から応急措置を講じる必要があると指示された場合は、直ちに応急措置を講じること。
- d 補償費用負担割合 発注者は、工事損失に伴う補償費用のうち請負代金の100分の1を超える額を負担すること。

第2章 工 事 概 要

第1節 耐水化対策

本工事は、洪水や河川の氾濫等により、ポンプ棟外壁部等からの浸水や場外設備の水没によりポンプ場の運転に支障が生じる恐れがあるため、対策を行うものである。

第2節 移設設備

- (1) 取引計器収納盤 1面（高所移設）
- (2) 接地測定用端子盤 1面（高所移設）
- (3) 給油口ユニットボックス 1面（高所移設）
- (4) 地下燃料タンク液位盤 1面（高所移設）
- (5) その他発注図面のとおり

第3節 配線開口部の浸水対策

- (1) ポンプ井排水ピット配線開口部 1箇所

第3章 電 気 工 事

第1節 一般事項

- (1) 本工事の施工にあたっては、監督員の指示に従い、本仕様書及び設計図書に基づき、関係法令、規定、基準に準拠し、責任を持って施工しなければならない。また、作業の安全及び通行人等第三者への災害防止等についても十分に配慮し、安全対策を講じること。
- (2) 機器の搬入、据付の際は機器本体、構造物に対して損傷を与えることのないように注意すること。
- (3) 工事の施工にあたっては、施工図を提出のうえ監督員の指示によること。また、実施にあたっては安全かつ効率的に行うこと。
- (4) 電力会社等への諸手続きは、受託者が自らの費用において行うこと。
- (5) 槽内作業の場合は、酸素欠乏及び硫化水素危険作業に該当するため、法令・規則等を遵守し安全に行うこと。

第2節 各種工事

(1) 盤等の据付工事

- 1) 自立盤は、所要の強度を持つ金具で架台等に強固に取付けること。
- 2) 壁掛盤・装柱盤は、所定の金具で強固に取付けること。

(2) 電線管工事

- 1) 電線管は施工場所により、次の管を使用すること。
 - a) 露出配管 耐衝撃性硬質ビニル電線管又は厚鋼電線管
 - b) 地中配管 波付硬質合成樹脂管
 - c) 接地線用 硬質ビニル電線管（露出、地中とも）
- 2) 地中電線管部は、ケーブル埋設シートを敷設すること。

(3) 配線工事

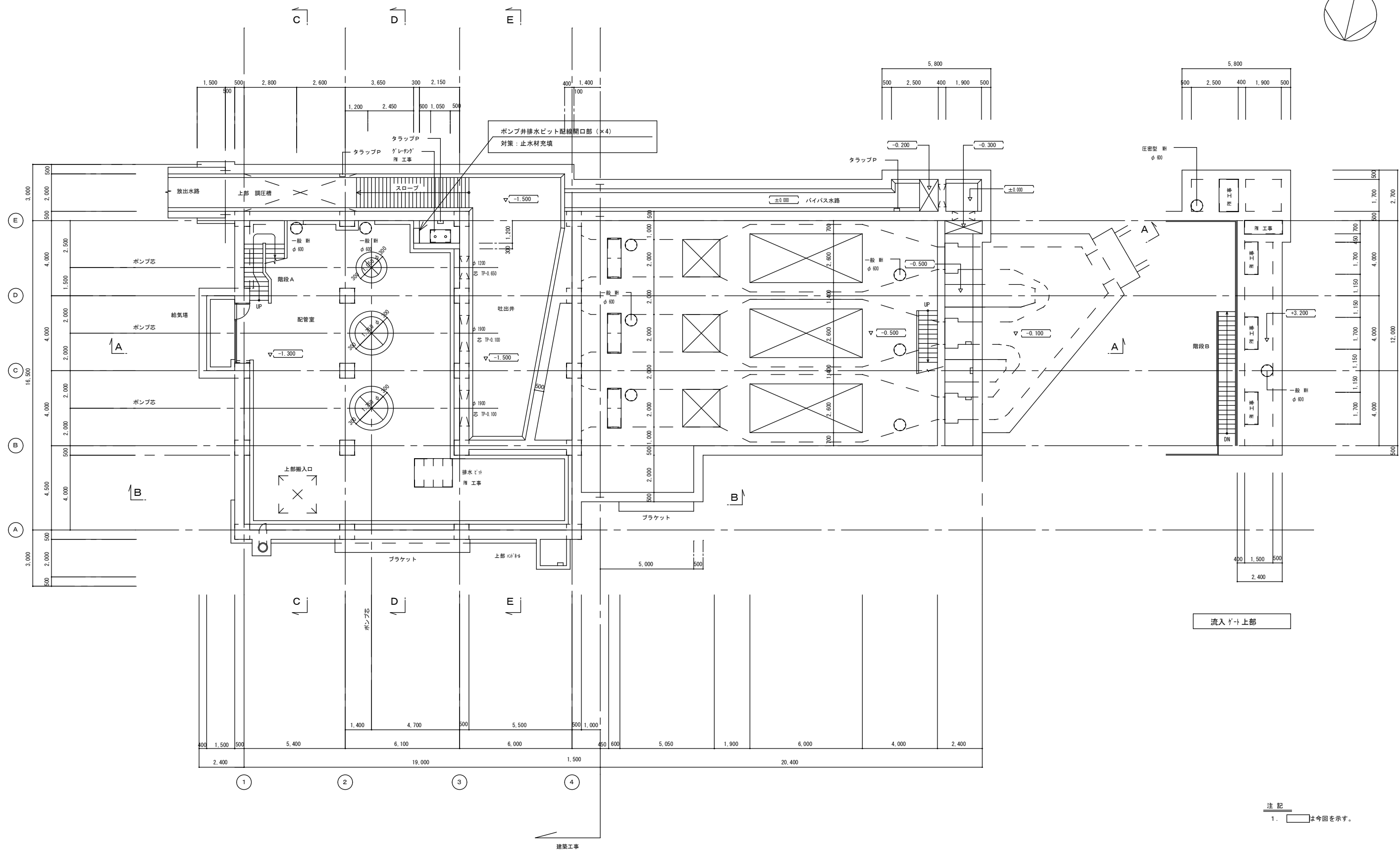
- 1) 配線は使用目的により次の電線またはケーブルを使用すること。
 - a) 電源回路 架橋ポリエチレン絶縁耐熱性ポリエチレンシースケーブル (EM-CE)
 - b) 制御回路 制御用ポリエチレン絶縁耐熱性ポリエチレンシースケーブル (EM-CEE)
 - c) 接地回路 耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE)
- 2) 端子への接続
各端子への接続は圧着端子（丸型）で行うこと。

(4) 接地工事

接地工事の接地極は、連結式接地棒を使用し各種接地抵抗値の基準値内になるように施工すること。

(5) 止水工事

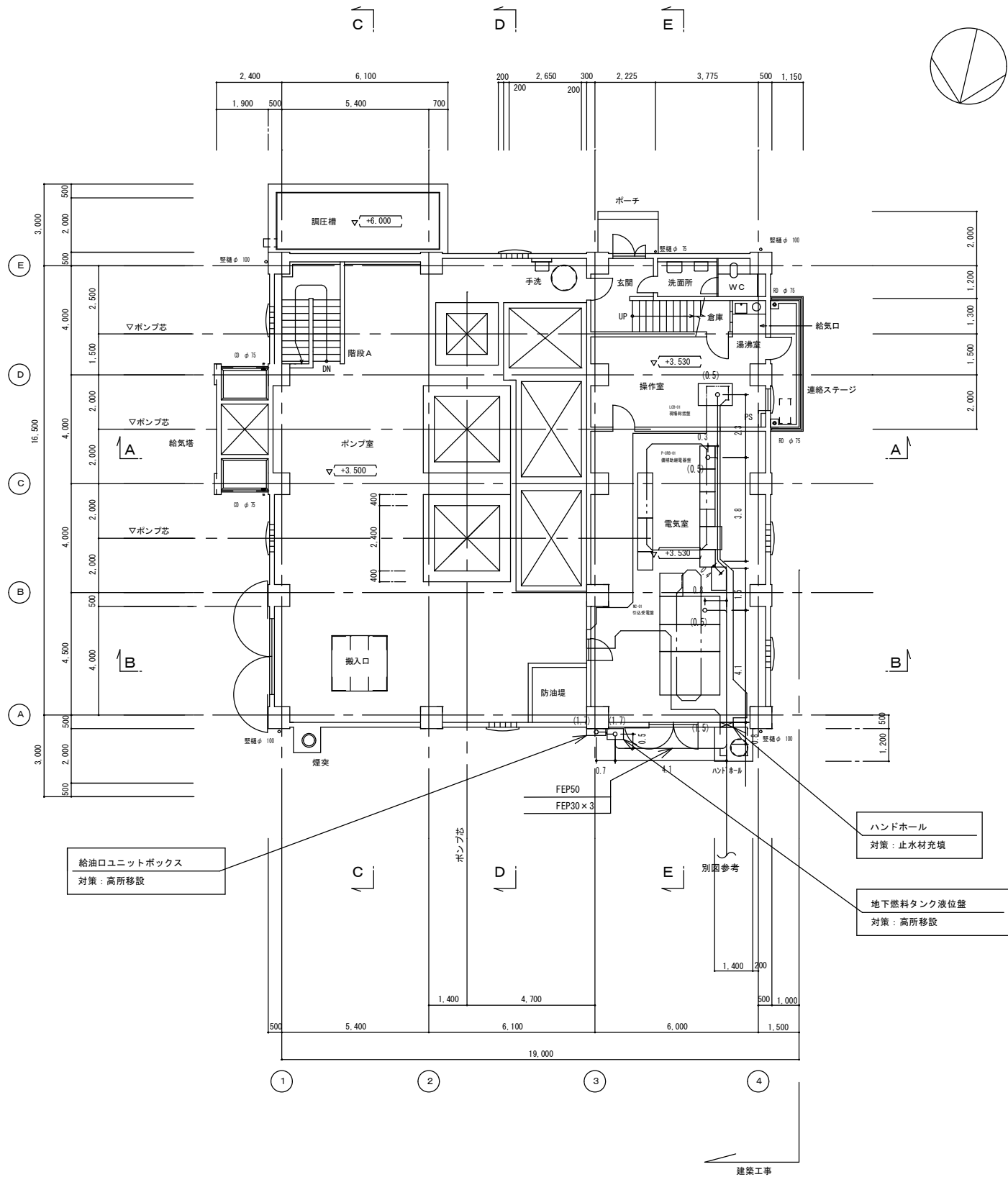
配線開口部の浸水対策は、耐水性を有する止水材およびモルタル充填により、貫通部の閉塞措置を行うこと。



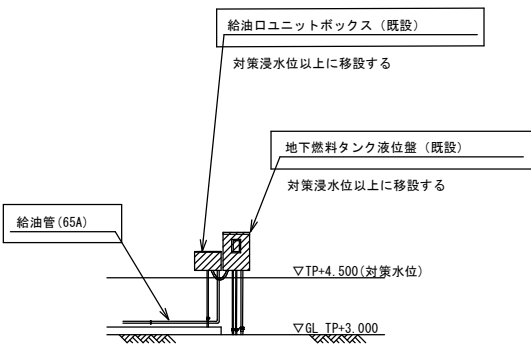
地下1階平面図 1/100

注記
1. は今回を示す。

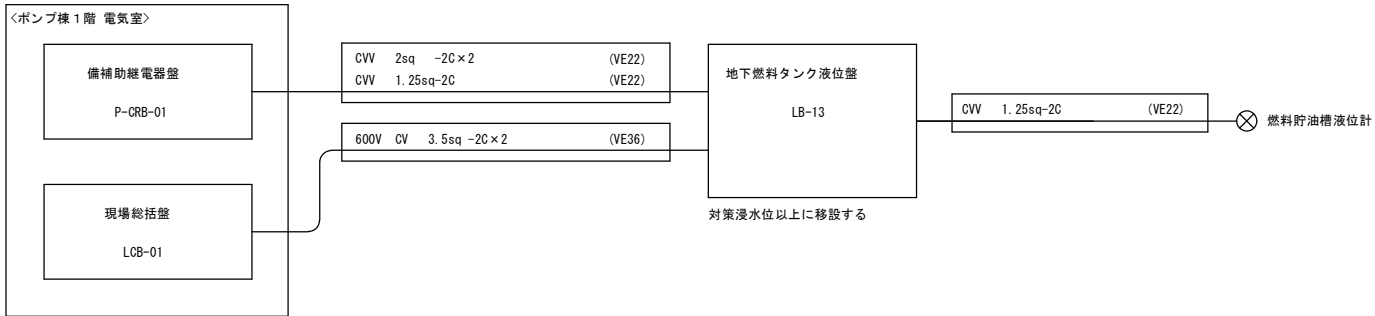
三原市			
工事名	雨水排水ポンプ場耐水化工事 (7-1)		
工事場所	三原市 明神三丁目		
図面番号	E-2	縮尺	S=1/100
図面名: 明神雨水排水ポンプ場 地下1階平面図 (今回)			



1 階平面図 1/100



壁掛盤等要領図(今回) S=1/100

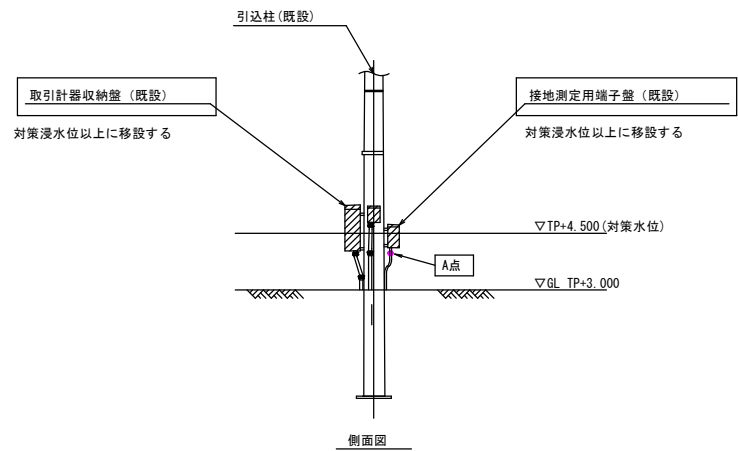


配線系統図(今回) S=NON

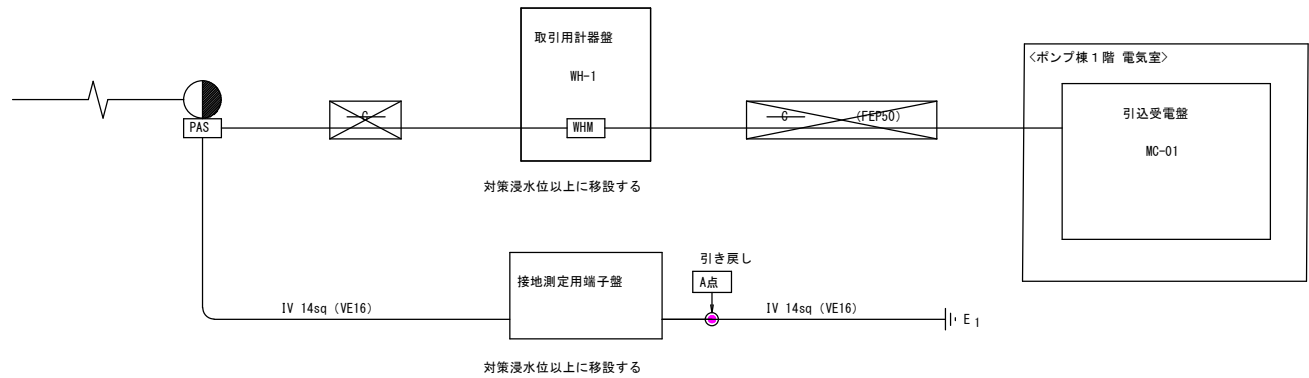
注 記
1. [] は今回を示す。

配線種類	
配線種類	配 線 場 所
ラック上配線	
FEP管内配線	
露出電線管内配線	
埋込電線管内配線	
ビット、ダクト内配線	

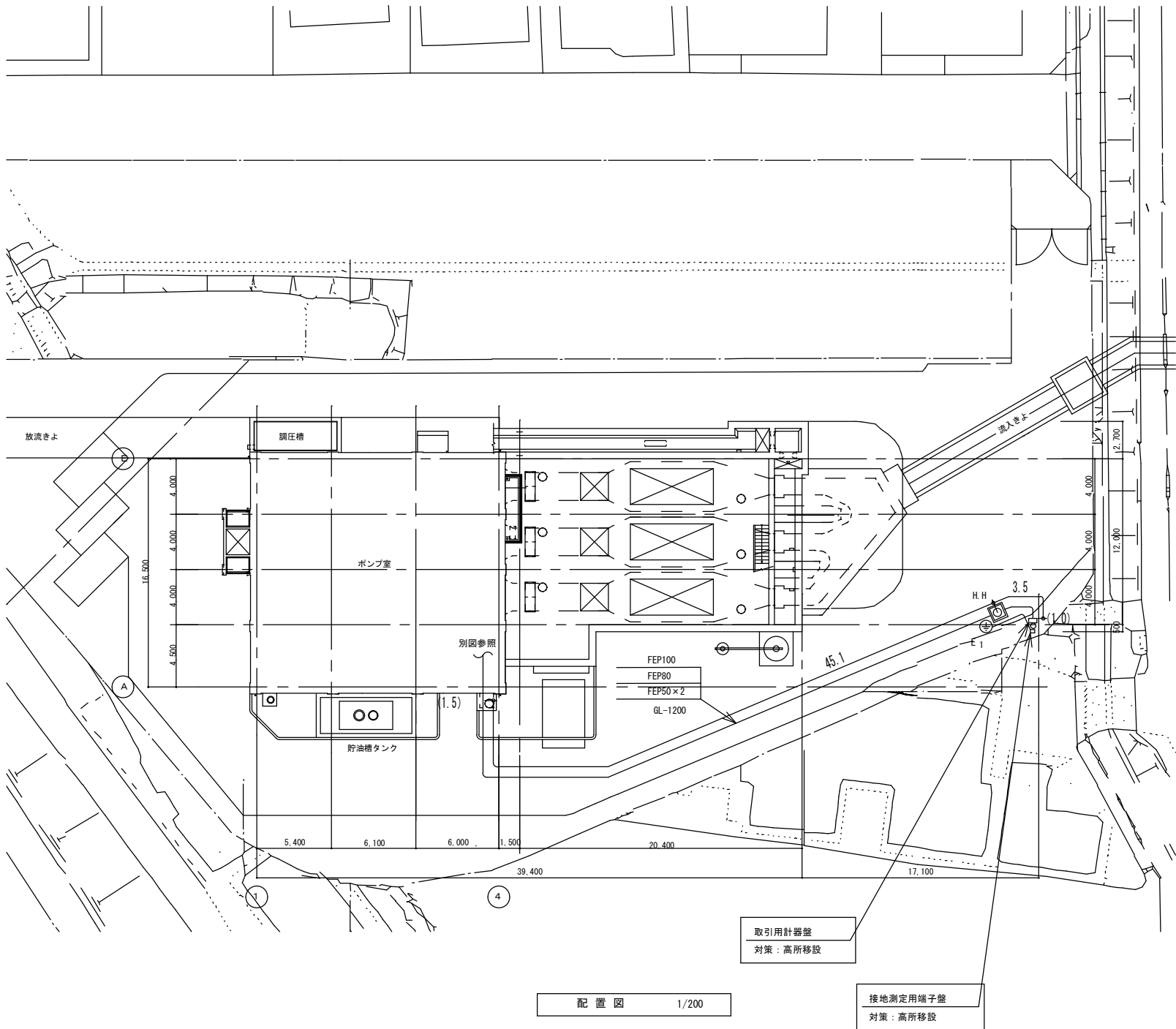
工 事 名		雨水排水ポンプ場耐水化工事 (7-1)	
工事場所		三原市 明神三丁目	
図面番号	E-3	縮尺	S=1/100
図面名： 明神雨水排水ポンプ場 1階平面図 (今回)			
三 原 市			



引込柱要領図(撤去) S=1/100



配線系統図(撤去) S=NON

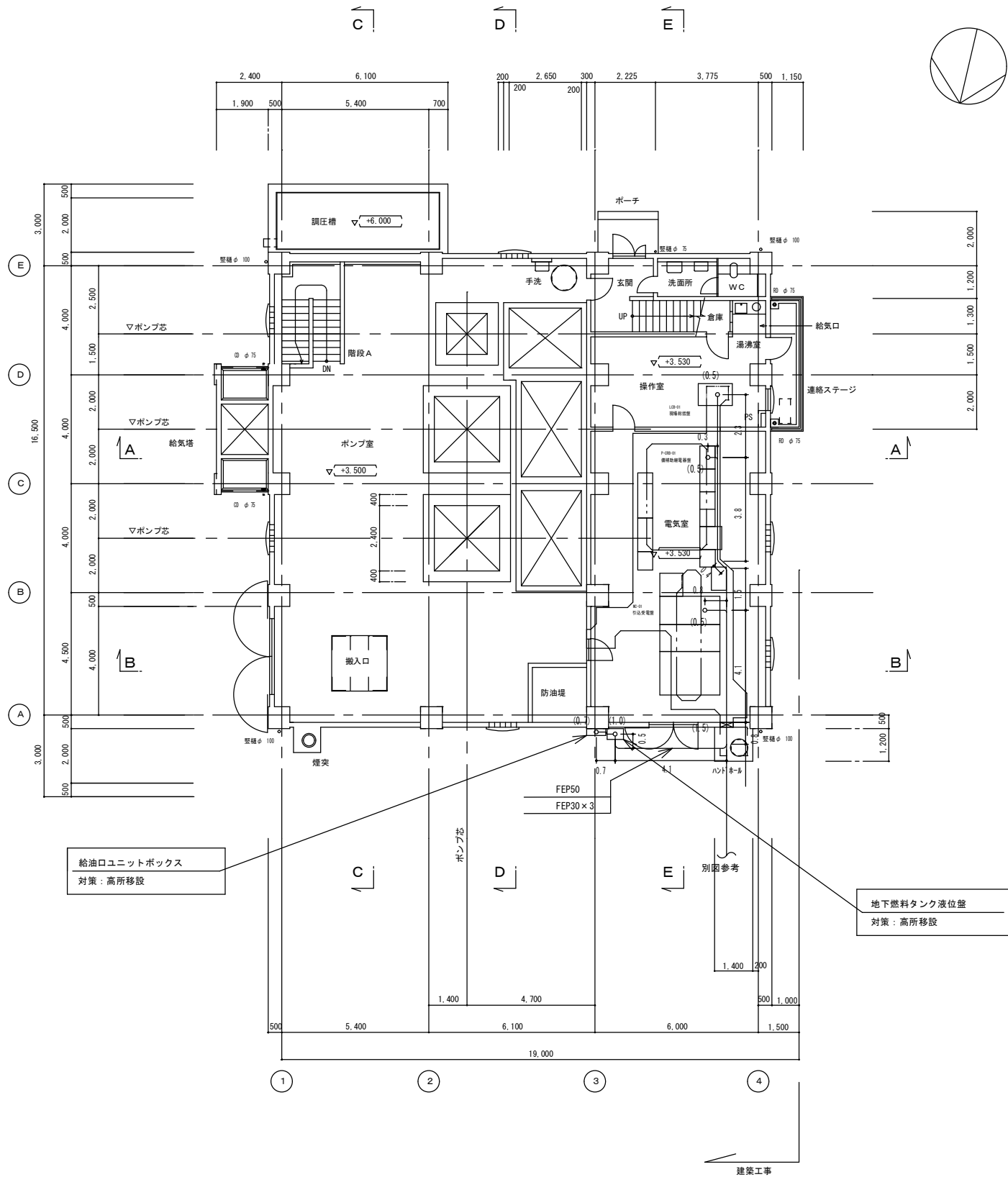


配置図 1/200

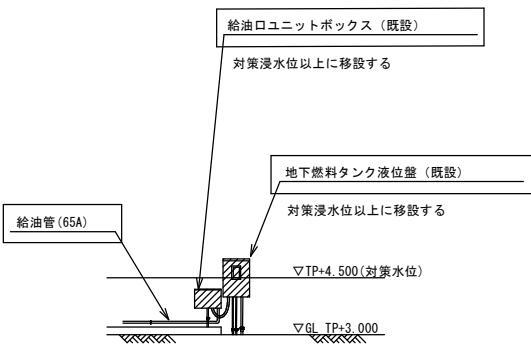
注記
1. は撤去を示す。

配線種類	
配線種類	配線場所
——	ラック上配線
——	FEP管内配線
——	露出電線管内配線
——	埋込電線管内配線
——	ビット、ダクト内配線

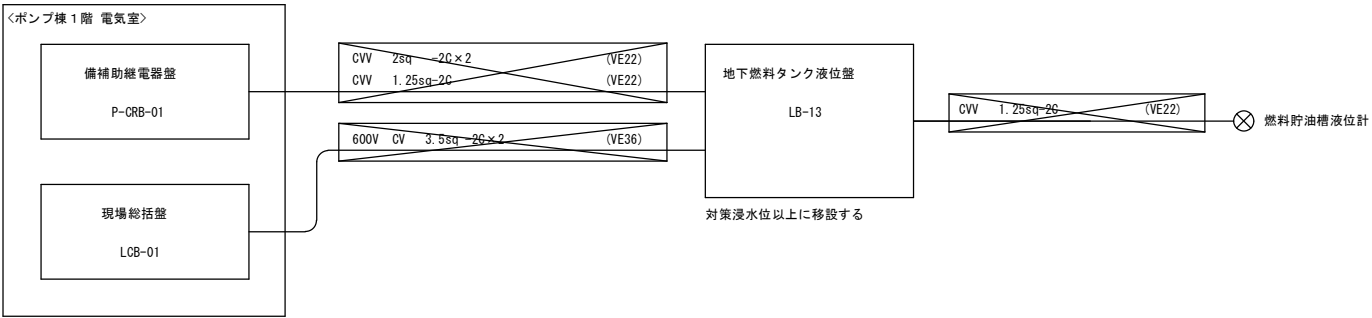
工事名			
雨水排水ポンプ場耐水化工事(7-1)			
工事場所			
三原市 明神三丁目			
図面番号		縮尺	S=1/10000, 200
図面名： 明神雨水排水ポンプ場 配置図(撤去)			
三原市			



1 階平面図 1/100



壁掛盤等要領図(撤去) S=1/100



配線系統図(撤去) S=NON

注記
1. は撤去を示す。

配線種類	
配線種類	配線場所
ラック上配線	
FEP管内配線	
露出電線管内配線	
埋込電線管内配線	
ビット、ダクト内配線	

工事名 雨水排水ポンプ場耐水化工事 (7-1)			
工事場所 三原市 明神三丁目			
図面番号	E-5	縮尺	S=1/100
図面名: 明神雨水排水ポンプ場 1 階平面図 (撤去)			
三原市			

本工事費内訳書

東町雨水排水ポンプ場

費 目	工 種	種 別	細 別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
		雨水排水ポンプ場耐水化工事(7-1)						
		建築工事費		式	1.0			
		機械設備工事費		式	1.0			
		電気設備工事費		式	1.0			
		小計						
		消費税相当額	10%	式	1.0			
		本工事費						

東町雨水排水ポンプ場
建築

[illegible]

④ 建具改修工事	⑫ 鍵	クローザー類 (品質・性能)	① ドアクローザー	② ヒンジクローザー	③ フロアヒンジ				
		性能試験項目	区分	① ドアクローザー	② ヒンジクローザー	③ フロアヒンジ			
⑤ 塗装改修工事	① 材料	② 下地調整、 素地ごしらえ	① Grade2	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)
			1	5以上	35以上	5以上	35以上	5以上	35以上
③ 錆止め塗料塗り	② 錆止め塗料塗り	① 下地調整、 素地ごしらえ	① Grade2	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)
			1	5以上	35以上	5以上	35以上	5以上	35以上
⑥ 修理工事改	⑦ その他	⑧ 鉄筋	① Grade2	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)
			1	5以上	35以上	5以上	35以上	5以上	35以上
⑨ 床コンクリート 直均し仕上げ	⑩ 逆流防止弁	⑪ 防水型マンホール	① Grade2	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)
			1	5以上	35以上	5以上	35以上	5以上	35以上
⑫ 鍵	⑬ 錠	⑭ 錠	① Grade2	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)
			1	5以上	35以上	5以上	35以上	5以上	35以上
⑮ 錠	⑯ 錠	⑰ 錠	① Grade2	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)
			1	5以上	35以上	5以上	35以上	5以上	35以上
⑱ 錠	⑲ 錠	⑳ 錠	① Grade2	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)
			1	5以上	35以上	5以上	35以上	5以上	35以上
㉑ 錠	㉒ 錠	㉓ 錠	① Grade2	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)
			1	5以上	35以上	5以上	35以上	5以上	35以上
㉔ 錠	㉕ 錠	㉖ 錠	① Grade2	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)
			1	5以上	35以上	5以上	35以上	5以上	35以上
㉗ 錠	㉘ 錠	㉙ 錠	① Grade2	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)
			1	5以上	35以上	5以上	35以上	5以上	35以上
㉚ 錠	㉛ 錠	㉜ 錠	① Grade2	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)
			1	5以上	35以上	5以上	35以上	5以上	35以上
㉝ 錠	㉞ 錠	㉟ 錠	① Grade2	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)
			1	5以上	35以上	5以上	35以上	5以上	35以上
㊱ 錠	㊲ 錠	㊳ 錠	① Grade2	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)
			1	5以上	35以上	5以上	35以上	5以上	35以上
㊴ 錠	㊵ 錠	㊶ 錠	① Grade2	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)
			1	5以上	35以上	5以上	35以上	5以上	35以上
㊷ 錠	㊸ 錠	㊹ 錠	① Grade2	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)
			1	5以上	35以上	5以上	35以上	5以上	35以上
㊺ 錠	㊻ 錠	㊼ 錠	① Grade2	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)
			1	5以上	35以上	5以上	35以上	5以上	35以上
㊽ 錠	㊾ 錠	㊿ 錠	① Grade2	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)
			1	5以上	35以上	5以上	35以上	5以上	35以上
㋀ 錠	㋁ 錠	㋂ 錠	① Grade2	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)
			1	5以上	35以上	5以上	35以上	5以上	35以上
㋃ 錠	㋄ 錠	㋅ 錠	① Grade2	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)
			1	5以上	35以上	5以上	35以上	5以上	35以上
㋆ 錠	㋇ 錠	㋈ 錠	① Grade2	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)
			1	5以上	35以上	5以上	35以上	5以上	35以上
㋉ 錠	㋊ 錠	㋋ 錠	① Grade2	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)
			1	5以上	35以上	5以上	35以上	5以上	35以上
㋌ 錠	㋍ 錠	㋎ 錠	① Grade2	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)
			1	5以上	35以上	5以上	35以上	5以上	35以上
㋏ 錠	㋐ 錠	㋑ 錠	① Grade2	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)
			1	5以上	35以上	5以上	35以上	5以上	35以上
㋒ 錠	㋓ 錠	㋔ 錠	① Grade2	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)
			1	5以上	35以上	5以上	35以上	5以上	35以上
㋕ 錠	㋖ 錠	㋗ 錠	① Grade2	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)
			1	5以上	35以上	5以上	35以上	5以上	35以上
㋘ 錠	㋙ 錠	㋚ 錠	① Grade2	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)
			1	5以上	35以上	5以上	35以上	5以上	35以上
㋛ 錠	㋜ 錠	㋝ 錠	① Grade2	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)
			1	5以上	35以上	5以上	35以上	5以上	35以上
㋞ 錠	㋟ 錠	㋠ 錠	① Grade2	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)
			1	5以上	35以上	5以上	35以上	5以上	35以上
㋡ 錠	㋢ 錠	㋣ 錠	① Grade2	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)
			1	5以上	35以上	5以上	35以上	5以上	35以上
㋥ 錠	㋦ 錠	㋧ 錠	① Grade2	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)
			1	5以上	35以上	5以上	35以上	5以上	35以上
㋨ 錠	㋩ 錠	㋪ 錠	① Grade2	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)
			1	5以上	35以上	5以上	35以上	5以上	35以上
㋬ 錠	㋭ 錠	㋮ 錠	① Grade2	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)
			1	5以上	35以上	5以上	35以上	5以上	35以上
㋰ 錠	㋱ 錠	㋲ 錠	① Grade2	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)
			1	5以上	35以上	5以上	35以上	5以上	35以上
㋴ 錠	㋵ 錠	㋶ 錠	① Grade2	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)
			1	5以上	35以上	5以上	35以上	5以上	35以上
㋸ 錠	㋹ 錠	㋺ 錠	① Grade2	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)
			1	5以上	35以上	5以上	35以上	5以上	35以上
㋼ 錠	㋽ 錠	㋾ 錠	① Grade2	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)
			1	5以上	35以上	5以上	35以上	5以上	35以上
㋿ 錠	㍀ 錠	㍁ 錠	① Grade2	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)
			1	5以上	35以上	5以上	35以上	5以上	35以上
㍅ 錠	㍆ 錠	㍇ 錠	① Grade2	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)
			1	5以上	35以上	5以上	35以上	5以上	35以上
㍊ 錠	㍋ 錠	㍌ 錠	① Grade2	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)
			1	5以上	35以上	5以上	35以上	5以上	35以上
㍏ 錠	㍐ 錠	㍑ 錠	① Grade2	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)
			1	5以上	35以上	5以上	35以上	5以上	35以上
㍕ 錠	㍖ 錠	㍗ 錠	① Grade2	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)
			1	5以上	35以上	5以上	35以上	5以上	35以上
㍛ 錠	㍜ 錠	㍝ 錠	① Grade2	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)
			1	5以上	35以上	5以上	35以上	5以上	35以上
㍟ 錠	㍠ 錠	㍡ 錠	① Grade2	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)
			1	5以上	35以上	5以上	35以上	5以上	35以上
㍤ 錠	㍥ 錠	㍦ 錠	① Grade2	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)
			1	5以上	35以上	5以上	35以上	5以上	35以上
㍩ 錠	㍪ 錠	㍫ 錠	① Grade2	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)
			1	5以上	35以上	5以上	35以上	5以上	35以上
㍯ 錠	㍰ 錠	㍱ 錠	① Grade2	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)
			1	5以上	35以上	5以上	35以上	5以上	35以上
㍷ 錠	㍸ 錠	㍹ 錠	① Grade2	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)
			1	5以上	35以上	5以上	35以上	5以上	35以上
㍽ 錠	㍾ 錠								

[illegible]

工 事 名	雨水排水ポンプ場耐水化工事（7-1）		
工事場所	三原市東町一丁目		
図面番号	A-4	縮尺	-
図面名：	建築改修工事特記仕様書（ 4 ）		
三 原 市			

6-3 あと施工アンカー工事	①	あと施工アンカー	材料等 ○接着系アンカー アンカーの種類 ※カプセル方式回転・打撃式 ・ () 接着剤の品質 ○有機系 ・無機系 アンカー筋の径及び埋込み長さ ※設計図による アンカー筋の種類 ○(D19) アンカー筋の新設壁内への定着の長さ ※設計図による ○性能確認試験 試験方法及び試験数 ※設計図による ○金属系アンカー アンカー本体の径及び埋込み長さ ※設計図による セット方式 ※本体打込み式改良型 ・ () 接合筋の種類、径、長さ ※設計図による ・性能確認試験 試験方法及び試験数 ※設計図による	[8.2.4]																						
	②	穿孔	埋込み配管等の探査方法 [8.12.4] ※鉄筋探知器（金属探知器）により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う ・はつり出しによる ・ ()																							
	③	施工確認試験	試験方法 [8.12.7] ※引張試験機による引張試験 確認強度 ※設計図による																							
	④	施工管理技術者	（社）日本建築あと施工アンカー協会が定める「あと施工アンカー技術管理規程」 資格以上の能力を有する者とする。	[8.12.1]																						
6-4 グラウト工事	①	柱底均しモルタル及びグラウト材	・柱底均しモルタル ※無収縮モルタル ・ () ○グラウト材 [8.2.11] 無収縮グラウト材の材質等 <table><tr><td>混和材</td><td>セメント系（酸化カルシウム及びカルシウム・サルファ・アルミネート等）によって膨張する性質を利用するものとする。</td></tr><tr><td>セメント</td><td>JIS R 5210 「ポルトランドセメント」に適合した普通または早強ポルトランドセメントとする。</td></tr><tr><td>砂</td><td>土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に選されたものを絶対乾燥状態で使用する。 ただし、現場調合形に使用される砂の乾燥状態については、規定しない。</td></tr></table> 無収縮グラウト材の品質及び試験方法 <table><tr><td>コンシステンシー</td><td>フロートによる流下時間 経過後完了から 1 分以内の値 : 8 ± 2 秒</td></tr><tr><td>ブリージング</td><td>経リ遅延 1 時間後のブリージング率 : 2.0 %以下</td></tr><tr><td>凝結時間</td><td>凝結開始時間 : 1 時間以上 凝結時間 : 10 時間以内</td></tr><tr><td>無収縮性</td><td>材齢 7 日 収縮しない</td></tr><tr><td>圧縮強度</td><td>材齢 3 日 20.0 N/mm² 以上 材齢 28 日 40.0 N/mm² 以上</td></tr><tr><td>塩化物量</td><td>0.20 % 以下</td></tr></table> 試験方法 <table><tr><td>1) 圧縮試験方法</td><td>試験法 JIS A 1109 「無収縮モルタル品質管理試験方法」による。プレミックス形と現場調合形で混和材が同一の場合の試験はプレミックス形のみとする。</td></tr><tr><td>2) 塩化物量の試験は</td><td>JIS A 1114 「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。</td></tr></table>	混和材	セメント系（酸化カルシウム及びカルシウム・サルファ・アルミネート等）によって膨張する性質を利用するものとする。	セメント	JIS R 5210 「ポルトランドセメント」に適合した普通または早強ポルトランドセメントとする。	砂	土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に選されたものを絶対乾燥状態で使用する。 ただし、現場調合形に使用される砂の乾燥状態については、規定しない。	コンシステンシー	フロートによる流下時間 経過後完了から 1 分以内の値 : 8 ± 2 秒	ブリージング	経リ遅延 1 時間後のブリージング率 : 2.0 %以下	凝結時間	凝結開始時間 : 1 時間以上 凝結時間 : 10 時間以内	無収縮性	材齢 7 日 収縮しない	圧縮強度	材齢 3 日 20.0 N/mm ² 以上 材齢 28 日 40.0 N/mm ² 以上	塩化物量	0.20 % 以下	1) 圧縮試験方法	試験法 JIS A 1109 「無収縮モルタル品質管理試験方法」による。プレミックス形と現場調合形で混和材が同一の場合の試験はプレミックス形のみとする。	2) 塩化物量の試験は	JIS A 1114 「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。	[8.2.12] [8.2.11]
	混和材	セメント系（酸化カルシウム及びカルシウム・サルファ・アルミネート等）によって膨張する性質を利用するものとする。																								
	セメント	JIS R 5210 「ポルトランドセメント」に適合した普通または早強ポルトランドセメントとする。																								
	砂	土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に選されたものを絶対乾燥状態で使用する。 ただし、現場調合形に使用される砂の乾燥状態については、規定しない。																								
コンシステンシー	フロートによる流下時間 経過後完了から 1 分以内の値 : 8 ± 2 秒																									
ブリージング	経リ遅延 1 時間後のブリージング率 : 2.0 %以下																									
凝結時間	凝結開始時間 : 1 時間以上 凝結時間 : 10 時間以内																									
無収縮性	材齢 7 日 収縮しない																									
圧縮強度	材齢 3 日 20.0 N/mm ² 以上 材齢 28 日 40.0 N/mm ² 以上																									
塩化物量	0.20 % 以下																									
1) 圧縮試験方法	試験法 JIS A 1109 「無収縮モルタル品質管理試験方法」による。プレミックス形と現場調合形で混和材が同一の場合の試験はプレミックス形のみとする。																									
2) 塩化物量の試験は	JIS A 1114 「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。																									
1	埋戻し及び盛土	埋戻し及び盛土の材料及び工法 [8.28.3] ※改修標準仕様書 [8.28.3]②(ウ)③ 表 8.28.1 による ・ 4 種 適用場所 () ・ 5 種 適用場所 () ・ 6 種 適用場所 () 土質 () 受渡場所 () ・ 7 種 適用場所 () ・ 材料 (75 μm 以下の含有率 (重量百分率) の上限を 50 %未満とする) 工法 ()	[8.28.3]																							
2	山留めの撤去	鋼矢板等の抜き跡の処理 [8.28.3] ※直ちに砂で充填する ・意匠図による 山留めの存置 ・行う 存置範囲 ※現場説明書の施工条件明示による	[8.28.3]																							
3	杭地業	支持層の位置及び土質（基礎ぐいの先端位置含む） [8.28.4] ※構造図による 杭の材料、工法、寸法、施工方法等 [8.2.14][8.28.4] ※構造図による ・試験杭の位置、本数及び寸法並びに施工方法 [8.28.4] ※構造図による ・杭の継手の箇所数、材料、工法等 [8.2.14] ※構造図による ・杭の溶接継手 [8.28.4] 技能資格者の技量 ※構造図による 溶接部の確認 ※構造図による ・杭頭を処理する [8.28.4] 処理方法（切断にともなう補強方法含む） ※構造図による ・杭頭の中詰め材料 (4.3.7) ・基礎のコンクリートと同調合のもの ・構造図による 杭の精度 [8.28.4] 水平方法の位置ずれ ・杭径の 1/4 かつ 100mm 以下 ・構造図による 杭の鉛直度 1/100 以内 ・構造図による 記録する施工状況等 [8.28.4] ※構造図による	[8.28.4] [8.2.14] [8.28.4] [8.2.14] [8.28.4] [8.28.4] [8.28.4] [8.28.4] [8.28.4] [8.28.4] [8.28.4]																							
6-5 土工事及び地業工事																										

④

砂利地業

材料
○再生クラッシュラン
・切込砂利又は切込砕石
砂利厚さ
※60mm ・ () mm

[8.2.15]

[8.28.4]

⑤

捨コンクリート地業

捨コンクリートの厚さ
※50mm ・ () mm
コンクリートの種類
※普通コンクリート ・ ()
設計基準強度
※18N/mm² ・ () N/mm²
スラブ
※15mm 又は 18mm ・ () mm

[8.28.4]

[8.11.1]

[8.11.1]

構造関係改修工事

共通一般事項

1. 適用範囲

(a) 耐震改修共通事項は、耐震改修工事における構造関係の共通事項とする。

(b) 耐震改修共通事項以外については、設計図及び監督職員の指示による。

2. 設計図書の図面間で配筋方法に相違がある場合の優先順位は以下のとおりとする。

1.改修特記仕様書

2.図面

2-1

耐震改修標準図、構造関係共通事項（配筋標準図、鉄骨標準図）を除く図面

2-2

耐震改修標準図、構造関係共通事項（配筋標準図、鉄骨標準図）

3. 国土交通省大臣官房官庁営繕部制定「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）(令和4年度版）」

3. 用語の定義

(a) 異形鉄筋の径（本文、図・表において「 0、d」で示す。）は、呼び名に用いた数値とする。

(b) 長さ、厚さの単位は、特記なき限り mm とする。

4. 設計図中で使用する記号は、表1. 1、表1. 2を標準とする。

表1. 1 鉄筋の断面表示

記 号	●	×	⊗	○	○	⊙	⊗	⊙
異形鉄筋	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32

5. 注意事項

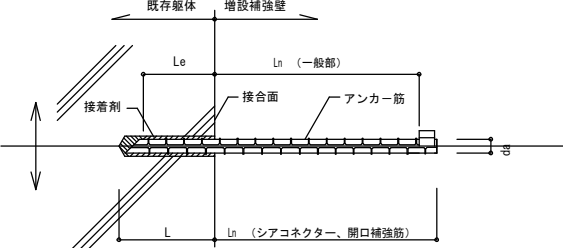
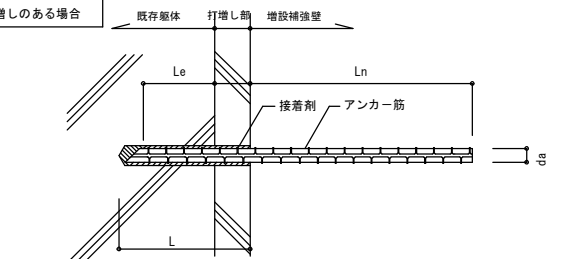
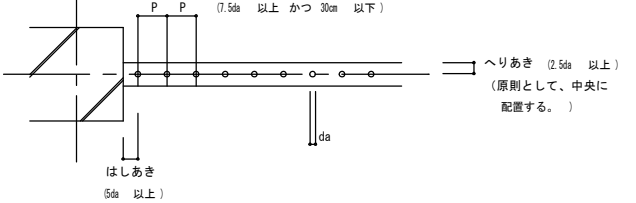
(a) 増設部分と既存コンクリート躯体との接触面については既存コンクリート躯体面を目荒らしとし、コンクリート打設前に十分な水湿しを行う。

(b) 壁、スラブ、階段等の配筋種別は、横仕 別図 各部配筋（ 4.1）～（ 6.2）による。

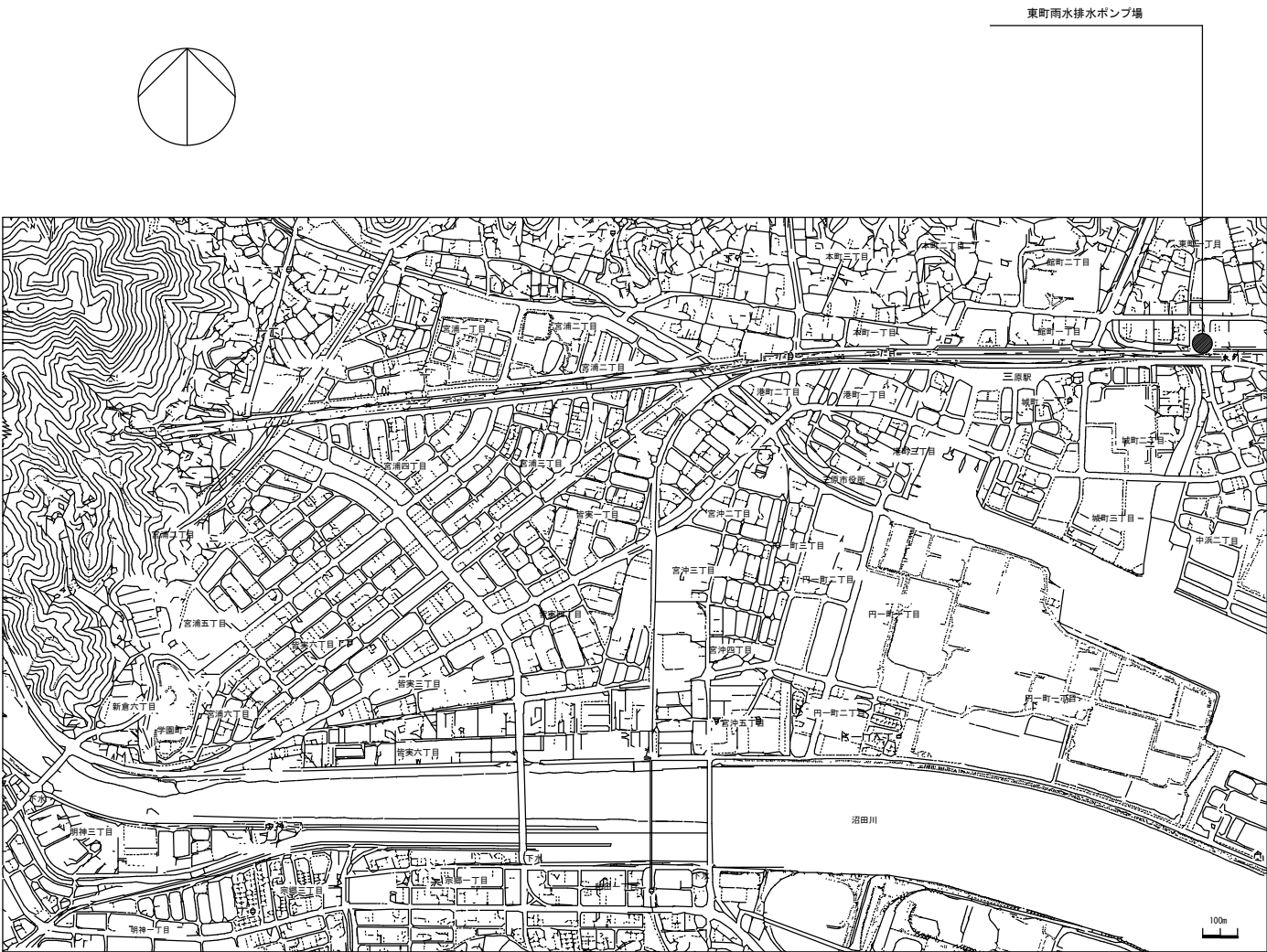
(c) 目地にシーリングがある場合の最小かつり厚さは改修仕様（表 8.3.6 ）の「仕上げなし」の項による。

(d) あと施工アンカーの規定穿孔深さは、はつり出しや目荒らしの底面を基準とする。

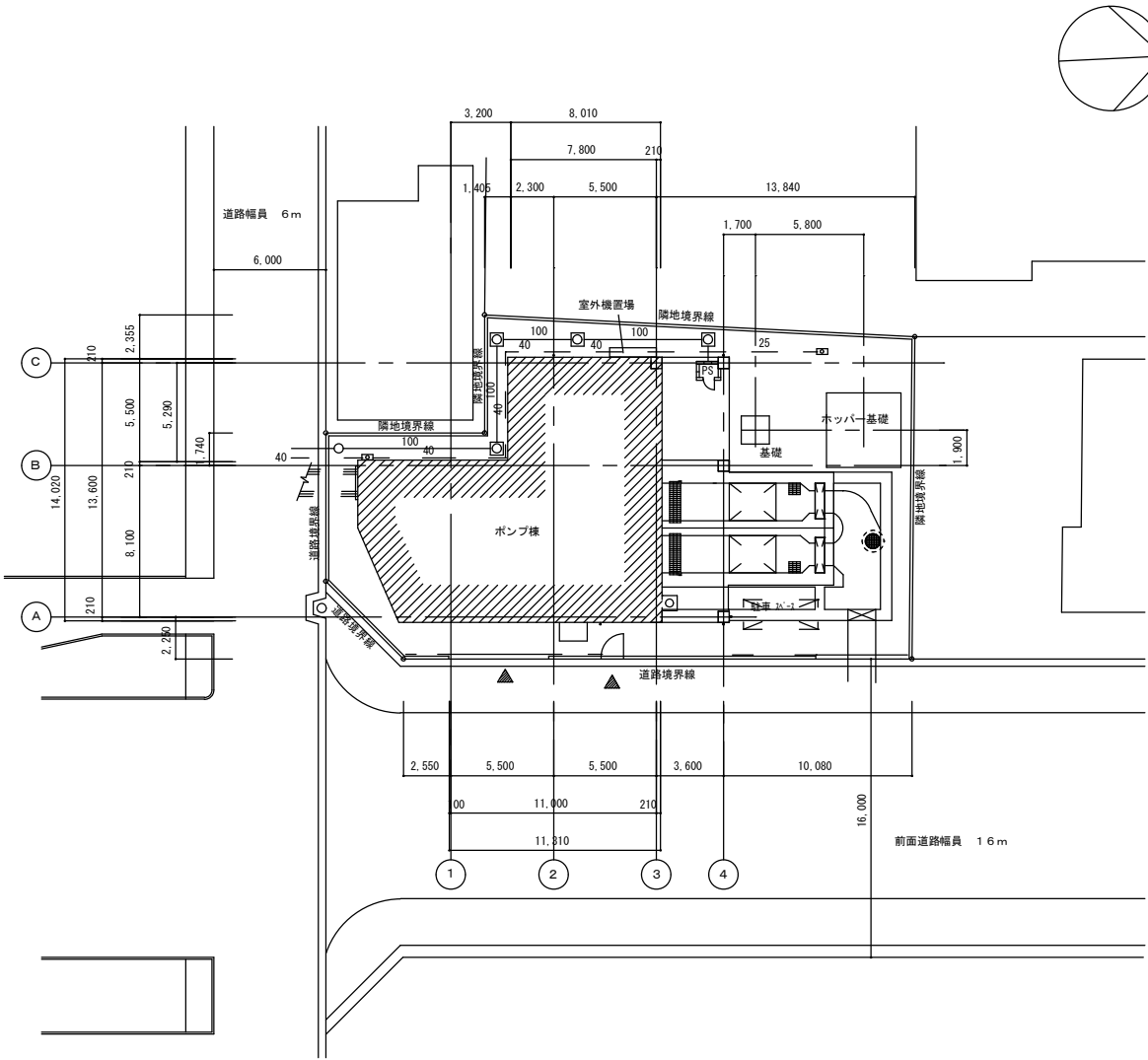
(e) 穿孔に使用する機械は、 [○ハンマドリル ・コアドリル]とし、金属検知により電源供給が停止出来る付属装置（メタルセンサーリール）を使用する。穿孔の際に鉄筋に当たった場合は、直ちに監督職員に報告し、指示を受ける。

あと施工アンカー													
(1) 接着系アンカー   L : コンクリートの穿孔深さ Le : アンカー - の有効埋め込み長さ Ln : 有効埋め込み長さ・定着長さ da : アンカー・軸部の直径、アンカー筋の呼び名 ※ 接着剤は、打増し部を含め、穿孔深さ全域にすき間なく充填すること													
アンカー関係共通事項 <table><tr><td>接着系アンカー - の有効 埋め込み長さ</td><td>一般部 : Le = 7da シアコネクター : Le = 7da 開口補強筋 : Le = 12da</td></tr><tr><td>接着系アンカー - の有効 定着長さ</td><td>一般部 : Ln = 20da シアコネクター : Ln = 増打壁厚 - かつり厚 開口補強筋 : Ln = L + 50 (= 補強筋との継手長さ + 余長)</td></tr><tr><td>アンカー筋形状</td><td>一般部 : ナット付き異形棒鋼とし、ナットからねじ山が 2 山以上でること。 シアコネクター : ナットなし ただし、フォームタイを兼用する場合は、端部にナットを付ける。 開口補強筋 : ナットなし ※既存躯体側の先端形状は 45 ° カットとする。</td></tr></table>		接着系アンカー - の有効 埋め込み長さ	一般部 : Le = 7da シアコネクター : Le = 7da 開口補強筋 : Le = 12da	接着系アンカー - の有効 定着長さ	一般部 : Ln = 20da シアコネクター : Ln = 増打壁厚 - かつり厚 開口補強筋 : Ln = L + 50 (= 補強筋との継手長さ + 余長)	アンカー筋形状	一般部 : ナット付き異形棒鋼とし、ナットからねじ山が 2 山以上でること。 シアコネクター : ナットなし ただし、フォームタイを兼用する場合は、端部にナットを付ける。 開口補強筋 : ナットなし ※既存躯体側の先端形状は 45 ° カットとする。						
接着系アンカー - の有効 埋め込み長さ	一般部 : Le = 7da シアコネクター : Le = 7da 開口補強筋 : Le = 12da												
接着系アンカー - の有効 定着長さ	一般部 : Ln = 20da シアコネクター : Ln = 増打壁厚 - かつり厚 開口補強筋 : Ln = L + 50 (= 補強筋との継手長さ + 余長)												
アンカー筋形状	一般部 : ナット付き異形棒鋼とし、ナットからねじ山が 2 山以上でること。 シアコネクター : ナットなし ただし、フォームタイを兼用する場合は、端部にナットを付ける。 開口補強筋 : ナットなし ※既存躯体側の先端形状は 45 ° カットとする。												
施工確認試験荷重 <table><tr><td>アンカー筋呼び名 (da)</td><td>荷 重 (kN)</td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table> (2) あと施工アンカーの位置と間隔  へりあき (2.5da 以上) (原則として、中央に配置する。)		アンカー筋呼び名 (da)	荷 重 (kN)										
アンカー筋呼び名 (da)	荷 重 (kN)												

工 事 名			
雨水排水ポンプ場耐水化工事（7-1）			
工事場所			
三原市東町一丁目			
図面番号	A-5	縮尺	-
図面名 : 建築改修工事特記仕様書（ 5 ）			
三 原 市			



案内図 1/10000



配置図 1/200

凡例



改修後は詳細図参照



対象施設



汚水樹



埋設給水管



改修前詳細番号を示す



改修箇所を示す

▽+0.000

T P標高を示す

工 事 名	雨水排水ポンプ場耐水化工事 (7-1)		
工事場所	三原市 東町一丁目		
図面番号	A-6	縮尺	S=1/10000, 200
図面名： 案内図・配置図			
三 原 市			

仕 上 表																		
共 通 事 項			略 号			外部付属物及び詳細番号						内部付属物及び詳細番号						
1. 外部仕上表及び内、外部付属物の適用分類、詳細番号は、 ○印のついたものを適用する。 2. 仕上表に記載の詳細番号のうち、（例）1－0 2－3は建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官庁官庁宮橋部監修）を示す。 3. 特記以外の木、鉄部の塗装はSOPとする。 4. 天井仕上ボード張りのうち、GB－NC（Ⅱ T）及びDR（下地GB共）は突付け張りとし、天井回り縁は、塩ビ製とする。 5. 打放し仕上げの出隅部分は、面取りを行う。 6. 壁 GB－Rの目地工法は継目処理工法による。 7. 天井下地は特記のない限りは軽量鉄骨下地とする。 8. 天井DRは、GB－Rとの接合部を行う。 9. なまこタイル 中津鋼材（株）なまこ壁「蔵」同等品			C	コンクリート下地	複層塗材（E）	合成樹脂エマルション系複層仕上塗材	・ 屋上点検口	・ 5－2 1－1	・ くつ洗いいし	・ 8－2 2－1	・ 8－2 2－2	・ 流し台	・ 6－1 1－1	・ 図 示	・ カーテンボックス	・ 鋼 製	・ 3－3 1－1・2	
			CB	コンクリートブロック下地	複層塗材（CE）	ポリマーセメント系複層仕上塗材	・ 屋上管類貫通部	・ 5－2 2－1	・ 電気用ハンドホール蓋	・ 図 示			・ フード	・ 6－1 1－2	・ 図 示	・ ブラインドボックス	・ アルミ製	・ 3－3 2－5・6・7
			W	木造下地	複層塗材（RE）	反応硬化形合成樹脂エマルション系複層仕上塗材	・ クーリングタワー基礎	・ 5－2 2－2	・ 5－2 2－3	・ 文字板	・ 図 示		・ コンロ台	・ 6－1 1－1	・ 図 示	・ 3－3 1－3		
			S	軽量鉄骨下地	複層塗材（S i）	けい酸系複層仕上塗材	・ テレビアンテナ基礎			・ 庁名板	・ 図 示		・ 流し上部水切り	・ 6－1 1－3	・ 6－1 1－4	・ 屋内掲示板	・ 既製品	
			A L C	A L C板	CL	クリアラッカー塗り	・ 屋上換気塔	・ 5－2 1－2	・ 図 示	・ 郵便受	・ 図 示		・ 図 示			・ 手すり	・ アルミ	・ 図 示
			GB－R	せつこうボード	F E	フタル酸樹脂エナメル塗り	・ 煙 突	・ 図 示	・ 7－2 1－1	・ 目地	・ 図 示	・ つり戸だな	・ 6－1 1－5	・ 図 示	・ 階段手すり	・ アルミ	・ 図 示	
			GB－NC（N）	不燃複層せつこうボード（化粧無し：下地張り用）	A E	アクリル樹脂エナメル塗り	・ と い	・ 5－3 1. 3 2. 3 3				・ 水切りだな	・ 6－1 1－5	・ 図 示	・ 7－1 2－	・ 7－1 2－		
			GB－NC（NT）	不燃複層せつこうボード（化粧有り：トラバーチン模様）	D P（U E）	2液形ポリウレタンエナメル塗り	・ ルーフドレン	・ 5－3 2－1				・ 脱衣箱	・ 6－3 2－1		・ 断熱材打込み	・ 7－0 1－1		
			GB－D	化粧せつこうボード	D P（A S E）	アクリルシリコン樹脂エナメル塗り		・ 5－3 3－1				・ 天井点検口	・ 3－4 2－2		・ 押 入	・ 6－4 6－1	・ 図 示	
			GB－S	シーリングせつこうボード	D P（F U E）	常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗り		・ 図 示				・ 床点検口	・ 既製品		・ クレンジャーダー	・ 図 示		
			GB－F	強化せつこうボード	E P－G	つや有合成樹脂エマルションベイント塗り		・ 図 示				・ 一般使用	・ 既製品	・ 6－2 2	・ 出入口	・ 図 示		
			ケイカル板	けい酸カルシウム板（タイプ2）	E P	合成樹脂エマルションベイント塗り	・ トップライト	・ 図 示				・ 車いす使用者	・ 6－2 3－1・2・3		・ マンホール蓋	・ 図 示		
			DR	ロックウール化粧吸音板 トラバーチン模様	E P－M	多彩模様塗料塗り	・ EX P. J金物	・ 既製品	・ S－1 3			・ オストメイト用便所	・ 6－2 4－1・2・3・4		・ 室名札	・ 8－4 3－1		
			DR（凹凸）	ロックウール化粧吸音板 凹凸模様	E P－T	合成樹脂エマルション模様塗料塗り	・ 手すり	・ アルミ				・ 車いす使用者便所	・ 6－2 5－1		・ ピクトグラム	・ 8－4 4－1		
			DR（軒天）	ロックウール化粧吸音板 軒天井用：トラバーチン模様	U C	ウレタン樹脂ワニス塗り		・ ステンレス（図示）				・ 多機能便所	・ 6－2 6－1・2・3・4		・ 庁舎案内板、	・ 8－4 2－1		
			DR（軒天凹凸）	ロックウール化粧吸音板 軒天井用：凹凸模様	O S	オイルステイン塗り		・ スチール（図示）				・ 便所手すり	・ 6－2 8－1・2・3・4・5		・ 各階案内板			
			P F板	押出法ポリスチレンフォーム保温材	S O P	合成樹脂顔合ベイント塗り	・ 旗 竿	・ 図 示				・ トラフ	・ 1－2 1－		・ 下足箱	・ 図 示		
			木毛板	木質系セメント板	G P	グラファイトベイント塗り	・ くつきマット	・ 8－2 1－1・2・3				・ くつきマット	・ 8－2 1－					
			T B	テラゾーブロック	A C	アクリル樹脂ワニス塗り（アクリル樹脂クリヤ塗り）						・ タラップ	・ 図 示					
			外装薄塗材（E）	外装合成樹脂エマルション系薄付け仕上塗材	N A D	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り						・ グレーチング受枠	・ 図 示					
			内装薄塗材（S i）	内装けい酸質系薄付け仕上塗材	L E	ラッカーエナメル塗り						・ 浴室まわり	・ 6－3 1－					
			内装薄塗材（E）	内装合成樹脂エマルション系薄付け仕上塗材	W P	木材保護塗料塗り												
			C（B）	コンクリート下地（打放シB）	T P	ポリプロピレン防錆被覆タラップ B=400												
			C（C）	コンクリート下地（打放シC）	T S	ステンレスタラップ B=400												
			M	モルタル	V P	塩化ビニル樹脂エナメル塗り												
			軽量吹付	軽量骨材仕上塗材														

外部仕上表（上段－改修前 下段－改修後）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	床				腰 壁				外 壁				屋 根								ピロティ揚裏				搬入ステージ								備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
													下地・防水層				押え・仕上、軒先								床・巾木、立上部、揚裏				手 摺																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	下地	仕 上	詳細番号	改修内容	下地	仕 上	詳細番号	改修内容	下地	仕 上	詳細番号	改修内容	下地	仕 上	詳細番号	改修内容	下地	仕 上	詳細番号	改修内容	下地	仕 上	詳細番号	改修内容	下地	仕 上	詳細番号	改修内容	下地	仕 上	詳細番号	改修内容																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
改修前	C	導水渠及び吐出井 上部 2ヶ所 直均し 犬走り・室外機置場 2ヶ所 直均し		F	C	⑧ 打増 120 の上 なまこ ⑨⑩⑪ 角貼 B=254 打継目地 化粧目地 根廻り ⑧ 打増 120 B=406		D F F F	C	⑧ 打増 120 の上複層塗材 ⑨⑩ 打継目地 化粧目地		D F F	C	下地： 2ヶ所 金ネ押え ⑧ 防水層： パナソニック t40		F F	C	7.777777777777777 和風瓦葺 軒先： ⑧ 打増 120 の上複層塗材 ⑨⑩ 軒天： ⑧ 打増 120 の上複層塗材 ⑨⑩		F F F F	S	DR 112		F	C	床：防水 ⑨⑩ ⑪ 目地切⑧ ⑩⑪ 程度 巾木：防水 ⑨⑩ ⑪⑫ 立上り内側：防水 ⑨⑩ ⑪⑫ 立上り外側： ⑧ 打増 120 の上複層塗材 ⑨⑩ 揚裏： ⑧ 打増 120 の上複層塗材 ⑨⑩		F F F F					F				F																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								</

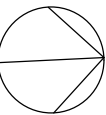
特記なき限り

改 修 仕 後 の 材 料 の 厚 さ	材 料 名		種別	壁 (a/n)	天井 (a/n)	備 考	材 料 名		種別	壁 (a/n)	天井 (a/n)	備 考	工 事 区 分 略 号	<	>	C	:	土木工事	改 修 内 容 凡 例	改修前		改修後	
	GB－R		仕上	1 2 . 5	1 2 . 5	NM－8 6 1 9	けい酸カルシウム板 （タイプ2）			1 2	6	NM－8 5 7 8		<	>	AM	:	建築機械設備工事		A： 仕上撤去		a： 仕上新設	
			下地	1 2 . 5			押出法ポリスチレン フォーム保温材（PF板）			3 8	3 8			<	>	AE	:	建築電気設備工事		B： 図示の仕上撤去		b： 図示の仕上新設	
	GB－NC（N）		下地		9 . 5	NM－8 6 1 3 又は同等	壁紙							<	>	PM	:	プラント機械設備工事		C： 下地共撤去		c： 下地共新設	
	GB－NC（NT）				9 . 5									<	>	PE	:	プラント電気設備工事		D： 図示の下地共撤去		d： 図示の下地共新設	
	GB－D（W）				1 2 . 5	NM－8 6 1 4														E： 図示の塗装塗り替え		e： 図示の塗装塗り替え	
	DR				1 2	NM－8 5 9 9														F： 既存のまま		f： 既存のまま	
																				※） 特記なきは改修前に同じ			

工 事 名	東町雨水排水ポンプ場耐水化改修工事		
工事場所	三原市 東町一丁目		
図面番号	A-7	縮尺	-
図面名：		仕上表 (I)	
三 原 市			

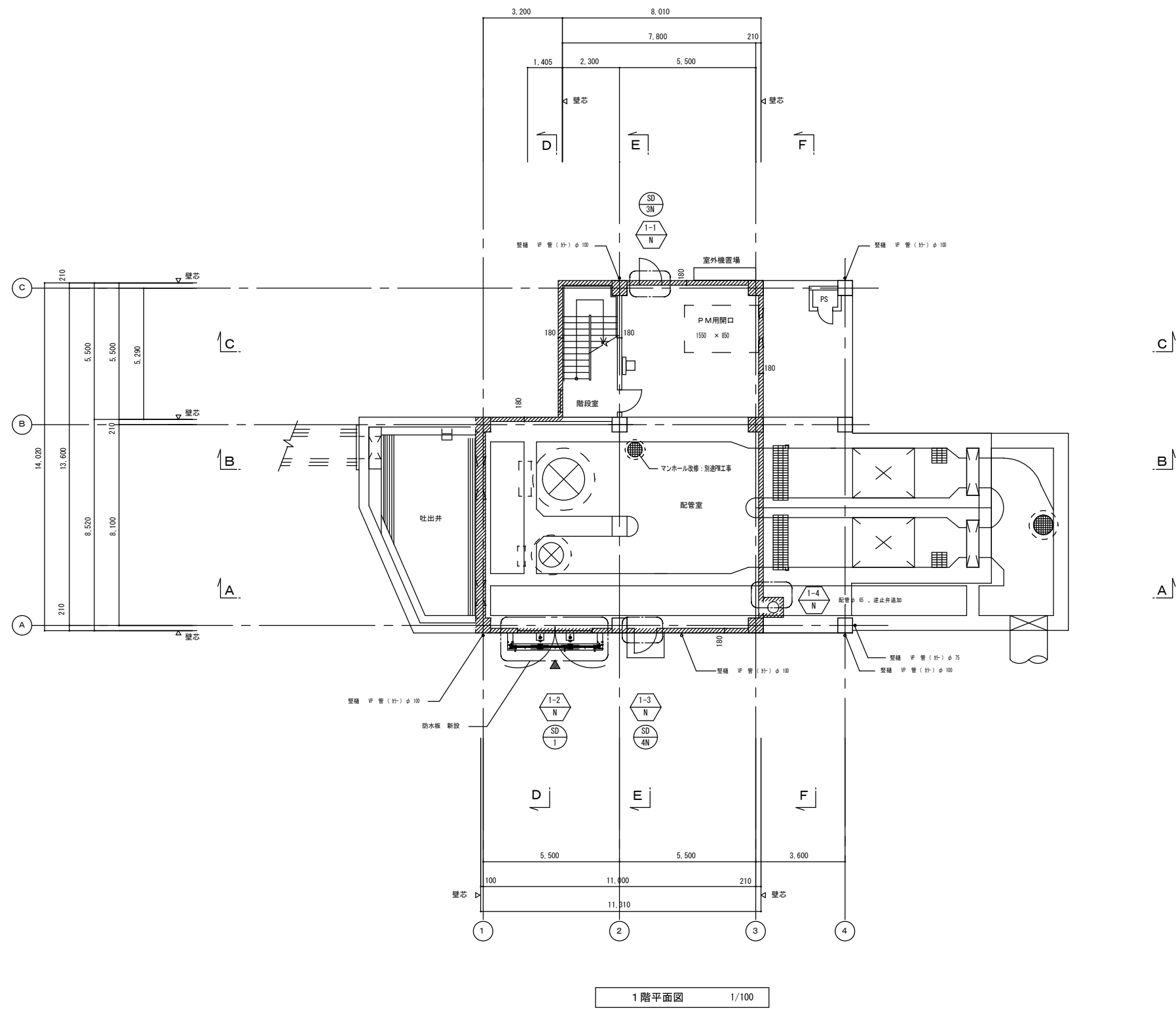
内部仕上表（上段－改修前 下段－改修後）																																							
階	室 名		床				幅 木					腰 壁					壁						天 井						備 考										
			下地	仕 上		詳細番号	改修内容	下地	仕 上		高さ	詳細番号	改修内容	下地	仕 上		高さ	詳細番号	改修内容	柱型仕上	詳細番号	改修内容	下地	仕 上		詳細番号	改修内容	梁型仕上	天井高	改修内容		改修内容							
地下 1 F	流入渠	改修前	C	2ヶ所ト 直均し			F											C	0(B)			F				C	0(C)			F			直天		3ヶ所ト P	（土木工事）	F		
		改修後																																					
	導水渠	改修前	C	2ヶ所ト 直均し			F											C	0(B)			F				C	0(C)			F	0(B)		直天	F	3ヶ所ト P	（土木工事）	F		
		改修後																																					
	ポンプ井	改修前	C	2ヶ所ト 直均し			F											C	0(B)			F				C	0(C)			F	0(B)		直天	F	3ヶ所ト P	（土木工事）	F		
		改修後																																					
	吐出井	改修前	C	2ヶ所ト 直均し			F											C	0(B)			F				C	0(C)			F			直天						
		改修後																																					
	バイパス水路	改修前	C	2ヶ所ト 直均し			F											C	0(B)			F				C	0(C)			F			直天						
		改修後																																					
1 F	配管室	改修前	C	かさ上げ 2ヶ所ト 直均しの上床用塗料塗			F	C	0(B)		100		F						C	消音材貼 ステンレスファスナー止		一部	F A	0(B)		一部	F A	C	消音材貼			F	0(B)		－	F	4ヶ所ト 蓋（鉄板製） 800 φ（土木工事） 上部 400φ×10 t 吊		F F
		改修後																			一部	f a			一部	f a													
地 上 部	階段室	改修前	C	かさ上げ 2ヶ所ト 直均し モルタル 1ヶ所			F	C	VP		100		F						C	EP			F	EP			F	C	EP（段裏共）			F	直天	F	スチール/スチール		F		
		改修後																																					

工 事 名	雨水排水ポンプ場耐水化工事（7-1）		
工事場所	三原市 東町一丁目		
図面番号	A-8	縮尺	-
図面名： 仕上表（2）			
三 原 市			

 浸水対策重点範囲

改修箇所を示す

工 事 名	雨水排水ポンプ場耐水化工事 (7-1)		
工事場所	三原市 東町一丁目		
図面番号	A-10	縮尺	S=1/100
図面名: 1階平面図 (改修前)			
三 原 市			



1階平面図 1/100

浸水対策重点範囲

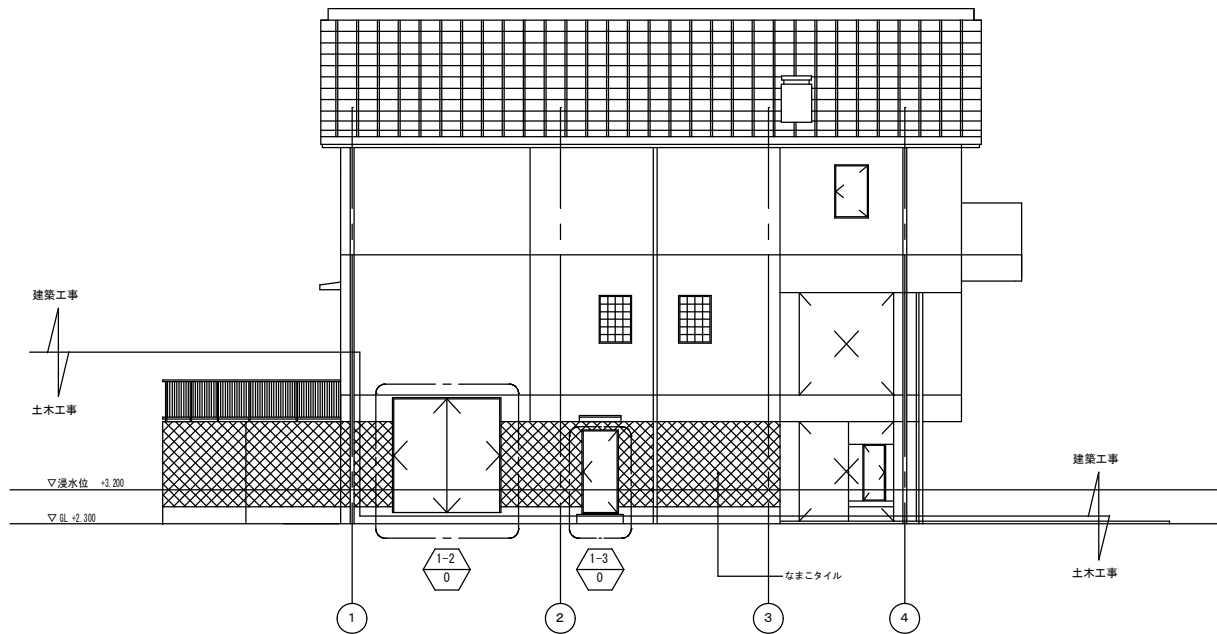
凡 例



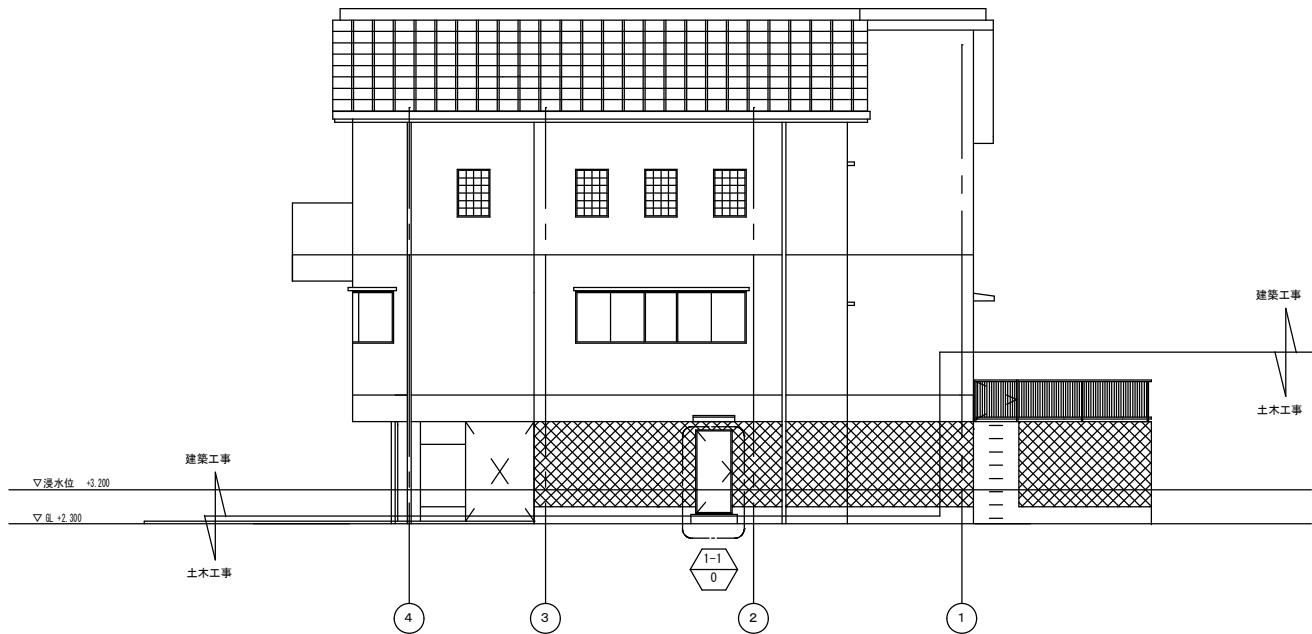
改修後詳細番号を示す

改修箇所を示す

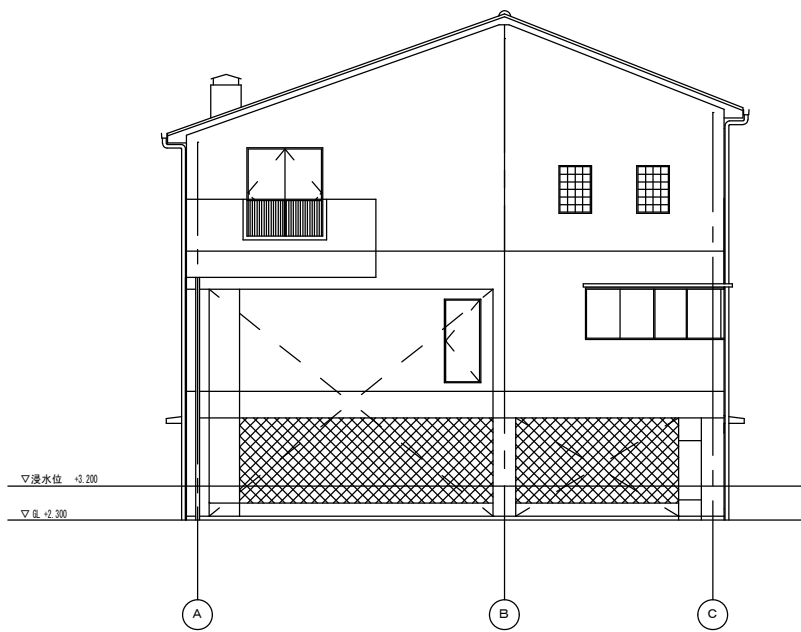
工 事 名		雨水排水ポンプ場耐水化工事 (7-1)	
工事場所		三原市 東町一丁目	
図面番号		A-11	縮尺 S=1/100
図面名 :		1階平面図 (改修後)	
三		原 市	



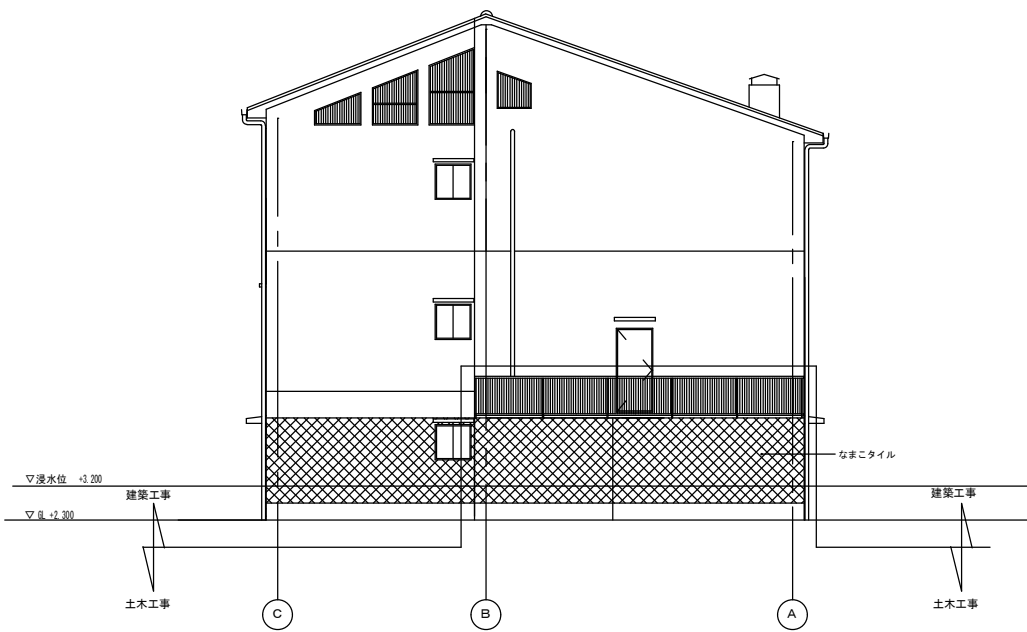
東立面図 1/100



西立面図 1/100



北立面図 1/100



南立面図 1/100

凡 例

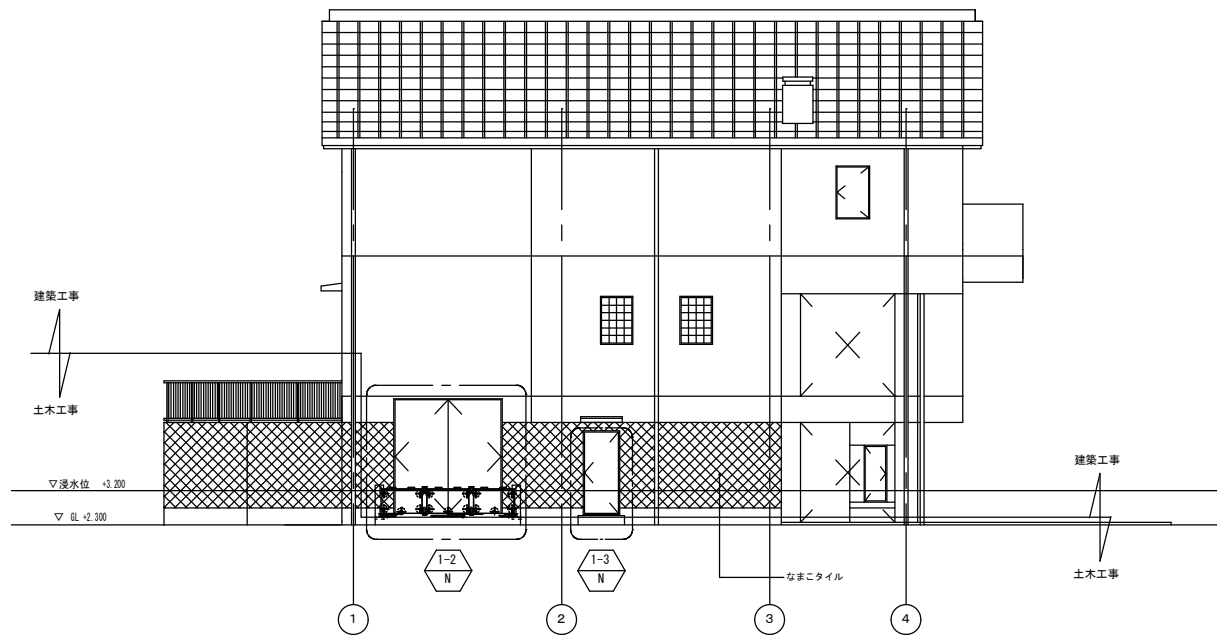


改修前詳細番号を示す

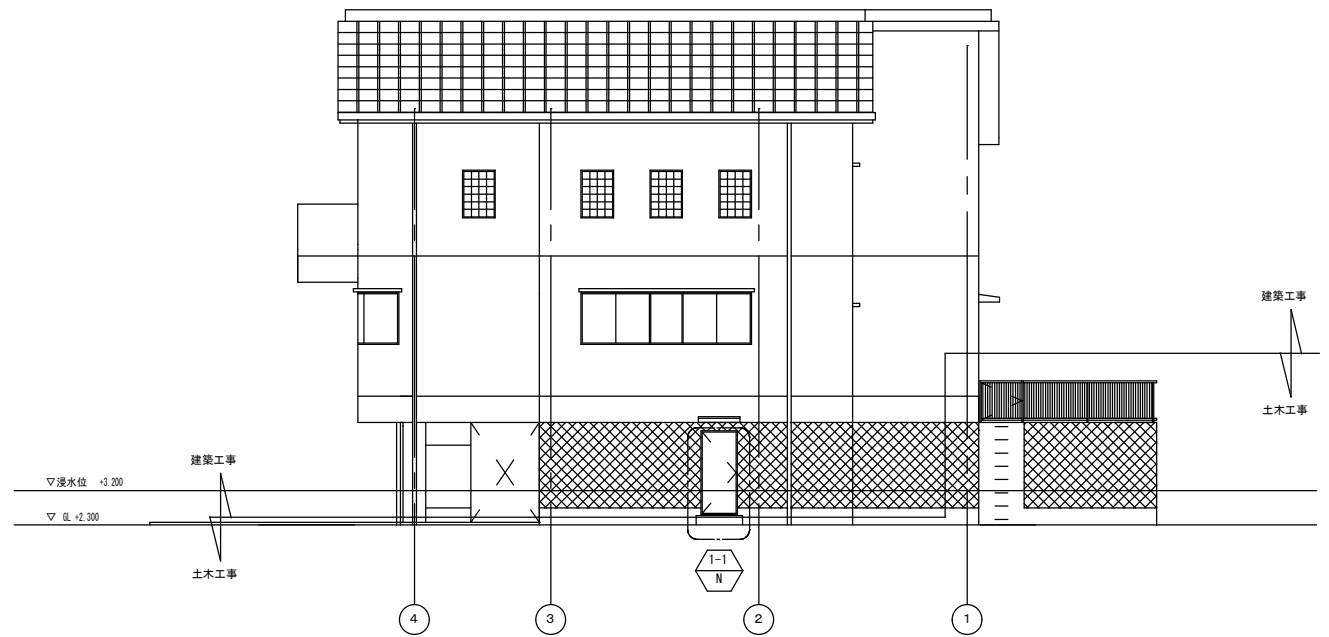


改修箇所を示す

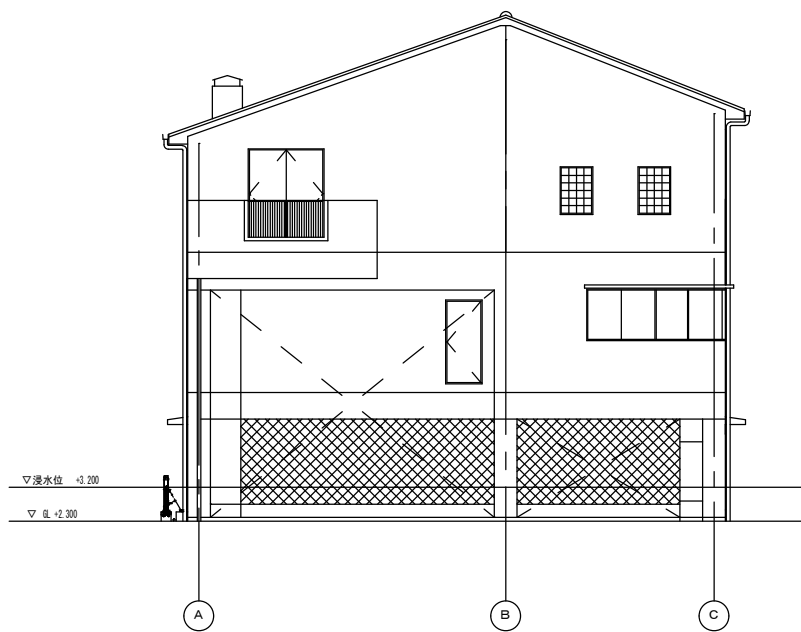
エ 事 名			
雨水排水ポンプ場耐水化工事 (7-1)			
工事場所			
三原市 東町一丁目			
図面番号	A-12	縮尺	S=1/100
図面名 :			
立面図 (改修前)			
三 原 市			



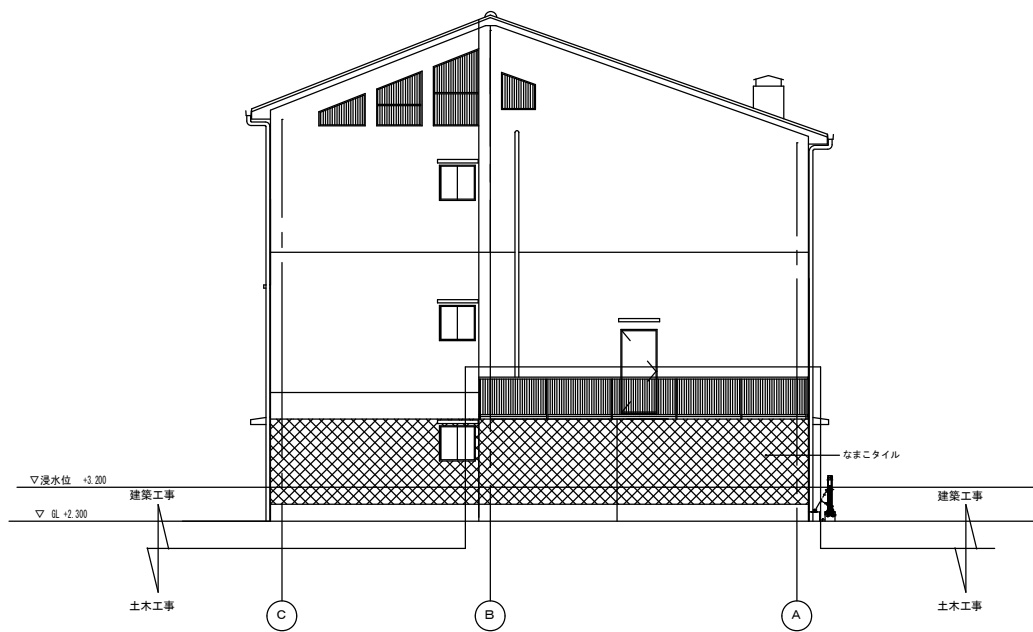
東立面図 1/100



西立面図 1/100



北立面図 1/100



南立面図 1/100

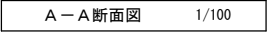
凡 例



改修後詳細番号を示す

改修箇所を示す

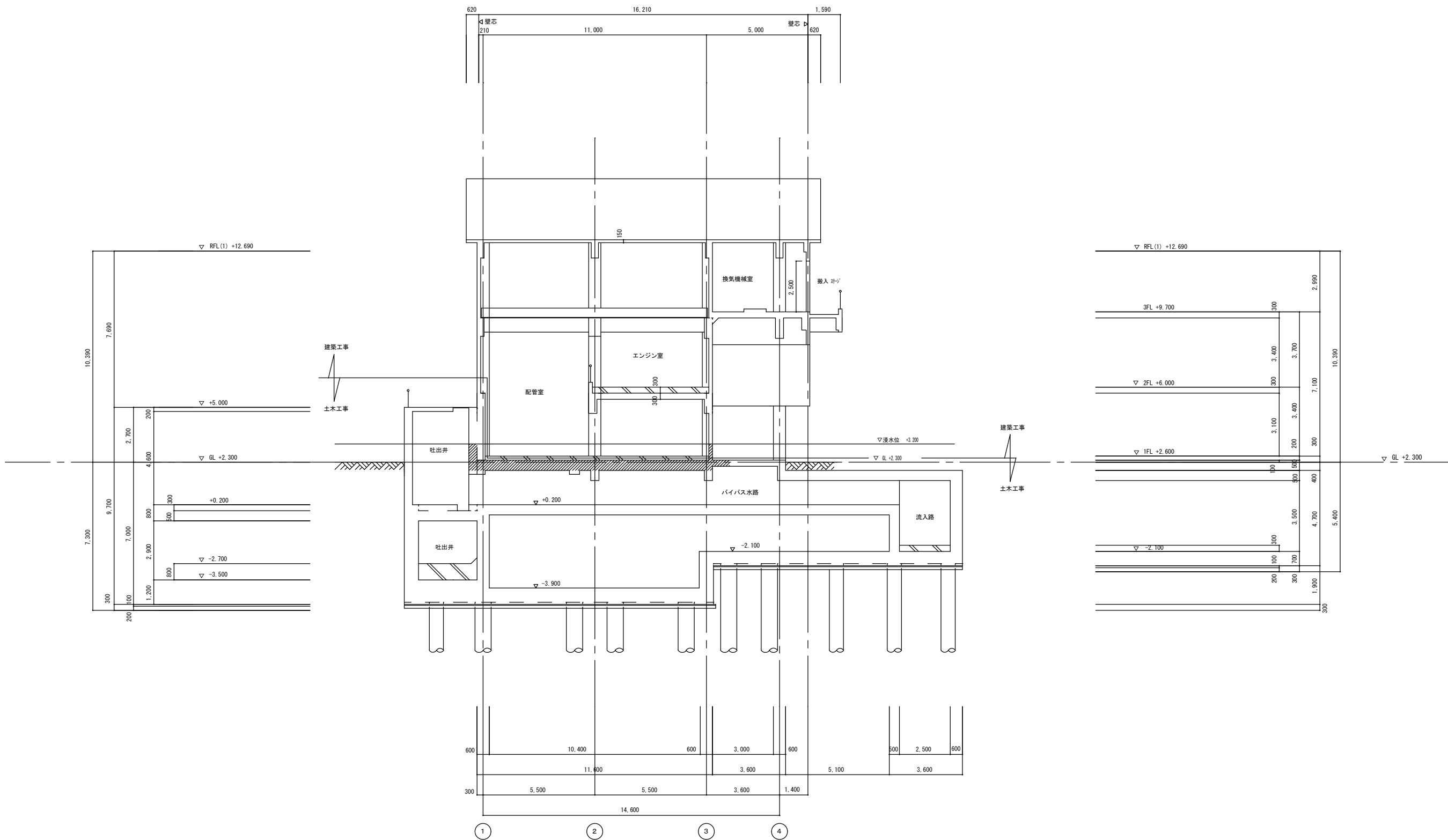
工 事 名	雨水排水ポンプ場耐水化工事（7-1）		
工事場所	三原市 東町一丁目		
図面番号	A-13	縮尺	S=1/100
図面名：		立面図（改修後）	
三 原 市			



凡 例

	改修前詳細番号を示す
	改修箇所を示す
$\nabla +0.000$	T P 標高を示す

工 事 名	雨水排水ポンプ場耐水化工事（7-1）		
工事場所	三原市 東町一丁目		
図面番号	A-14	縮尺	S=1/100
図面名：断面図（ 1 ）（改修前）			
三 原 市			

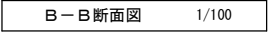


A-A断面図 1/100

浸水対策重点範囲

- 凡 例
- 改修後詳細番号を示す
 - 改修箇所を示す
 - 改修箇所を示す

断面図 (1) (改修後)			
工 事 名	雨水排水ポンプ場耐水化工事 (7-1)		
工事場所	三原市 東町一丁目		
図面番号	A-15	縮尺	S=1/100
三 原 市			

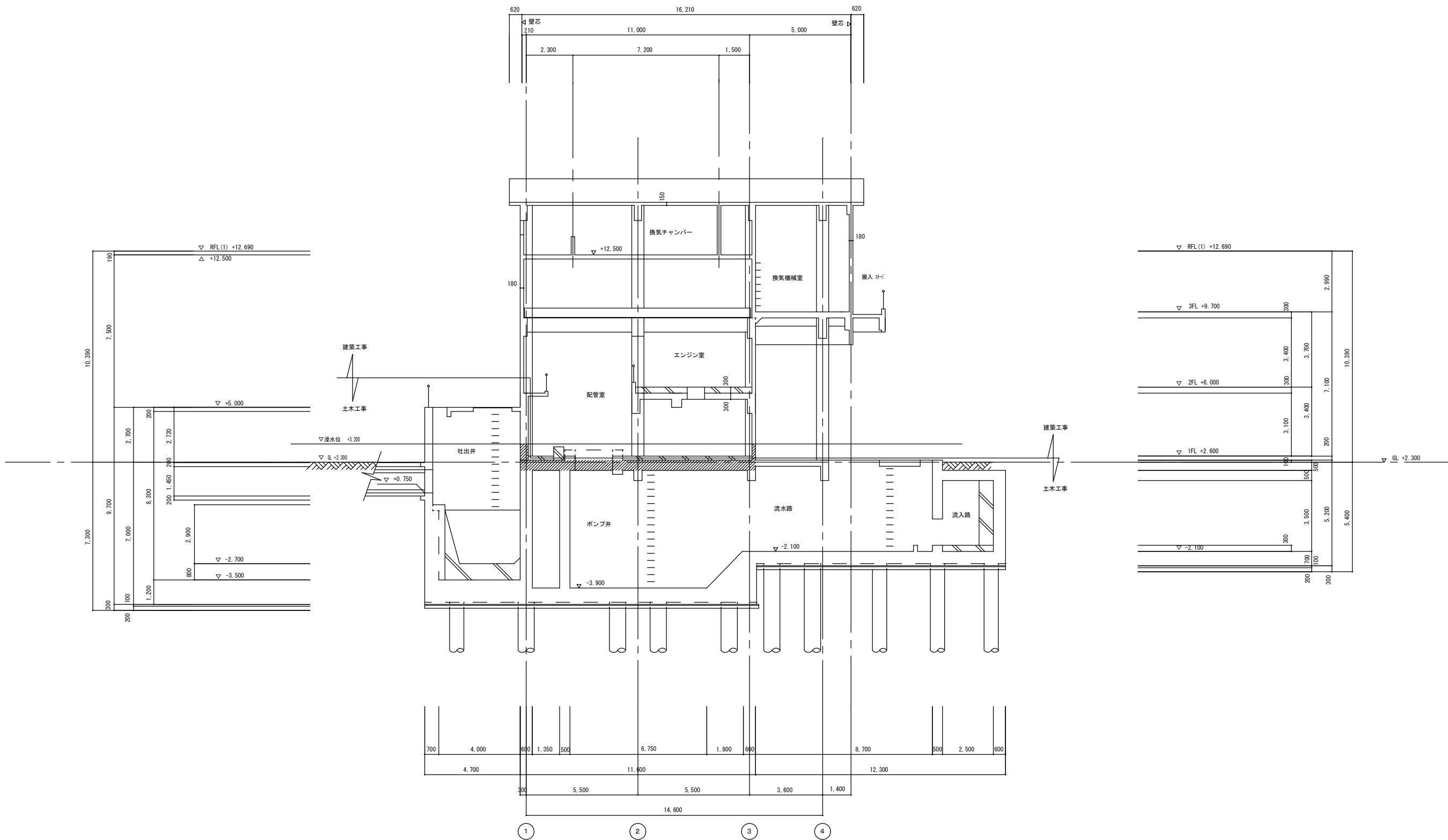


▽ +0.000

TP標高を示す

 浸水対策重点範囲

工 事 名	雨水排水ポンプ場耐水化工事（7-1）		
工事場所	三原市 東町一丁目		
図面番号	A-16	縮尺	S=1/100
図面名：断面図（ 2 ）（改修前）			
三 原 市			

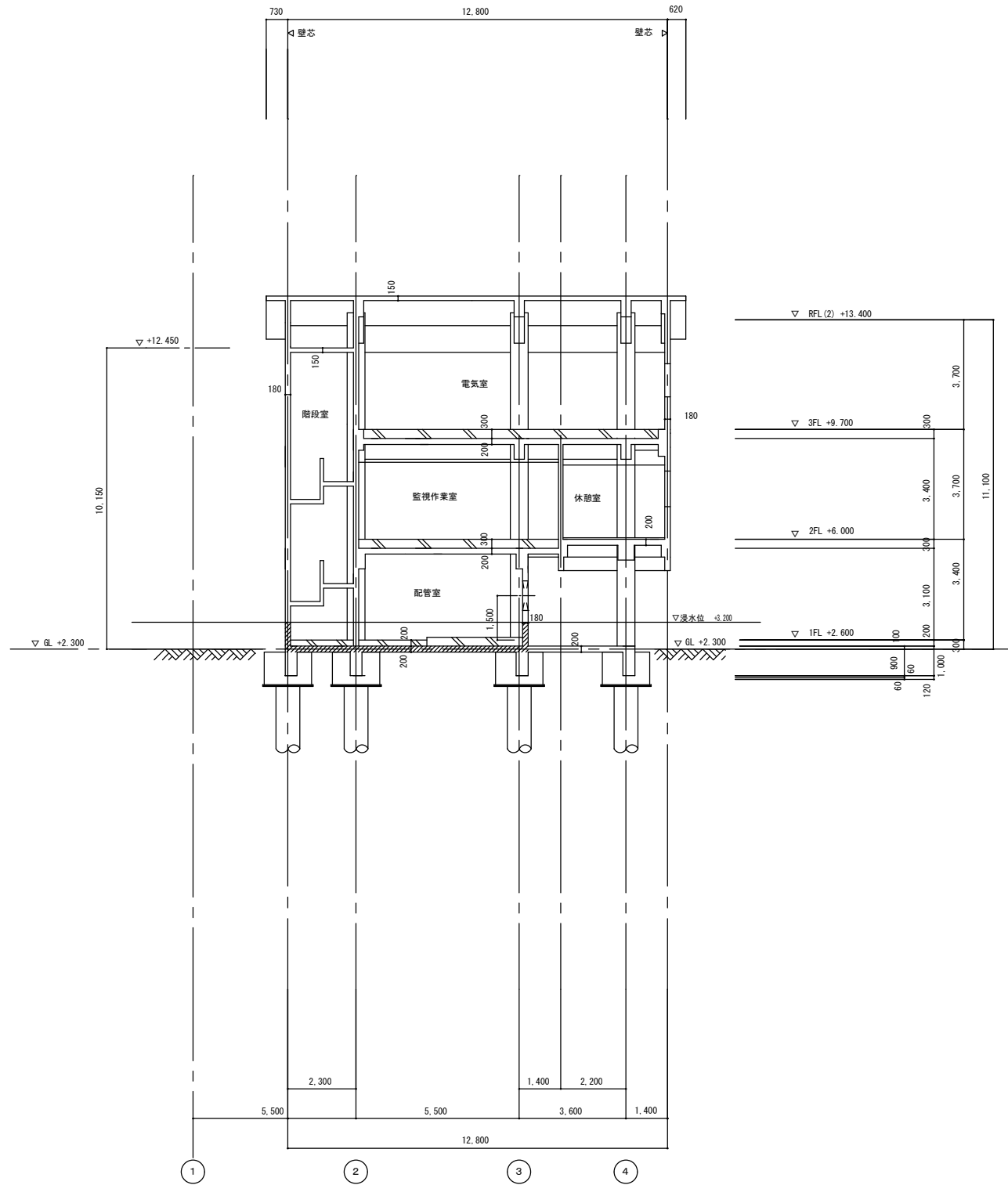


B-B断面図 1/100

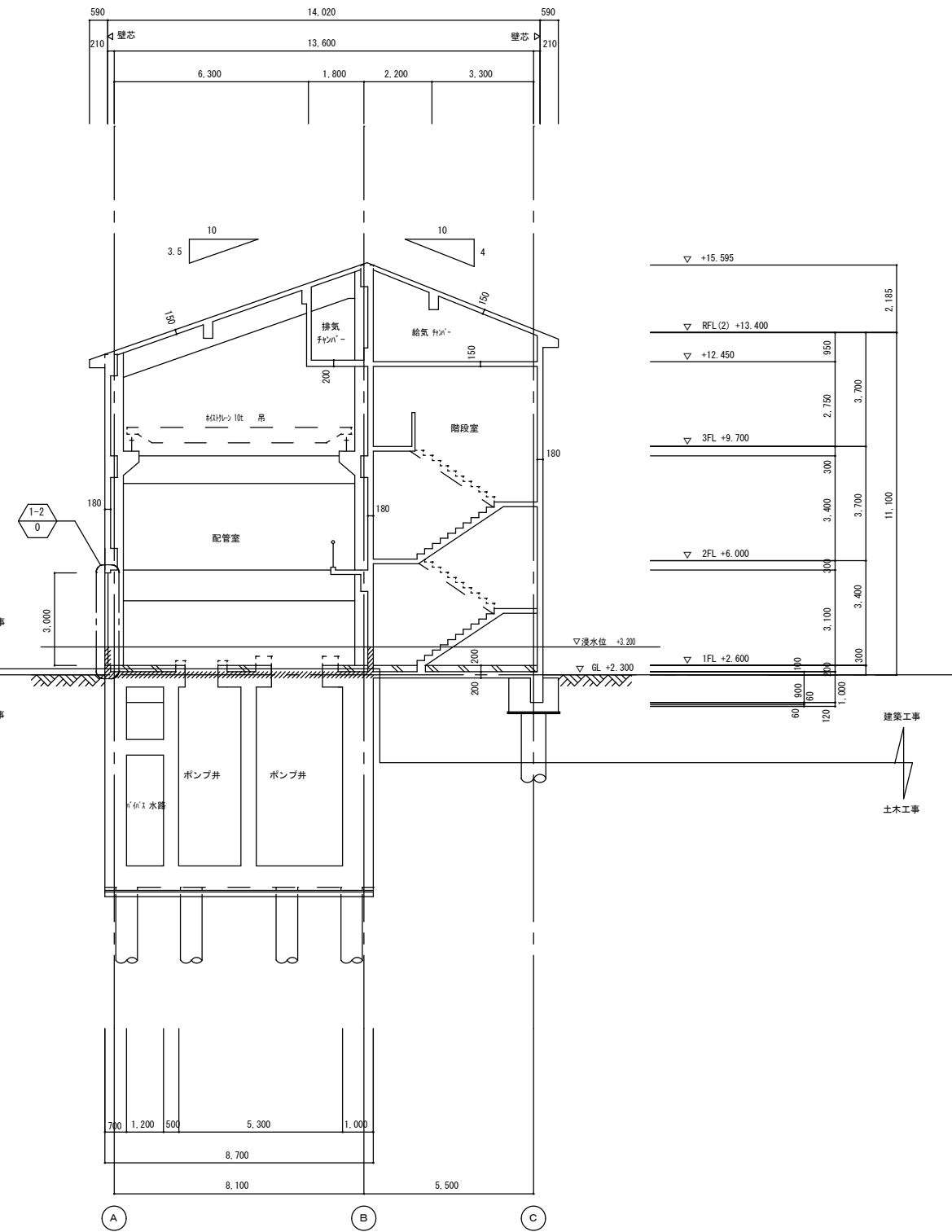
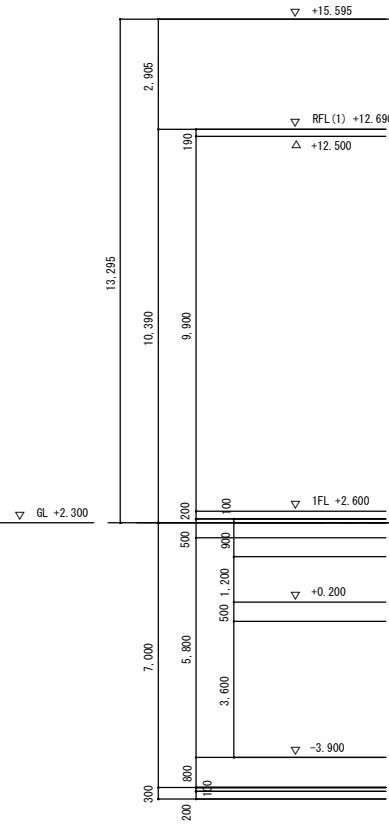
浸水対策重点範囲

- 凡 例
- 改修後詳細番号を示す
 - 改修箇所を示す
 - T P 標高を示す

工 事 名	雨水排水ポンプ場耐水化工事 (7-1)		
工事場所	三原市 東町一丁目		
図面番号	A-17	縮尺	S=1/100
図面名:		断面図 (2) (改修後)	
三 原 市			



C-C断面図 1/100



D-D断面図 1/100

浸水対策重点範囲

凡 例



改修前詳細番号を示す

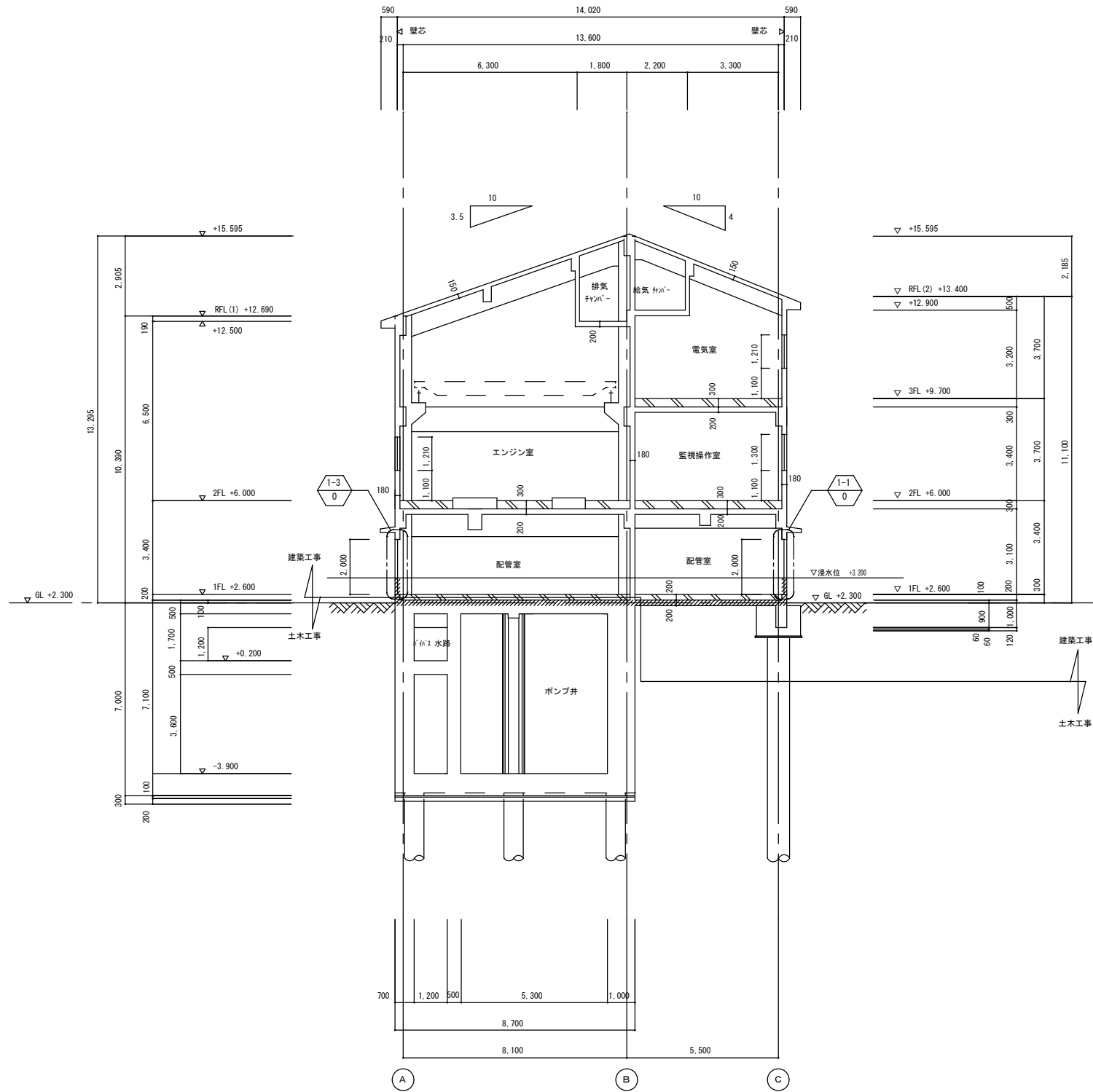


改修箇所を示す

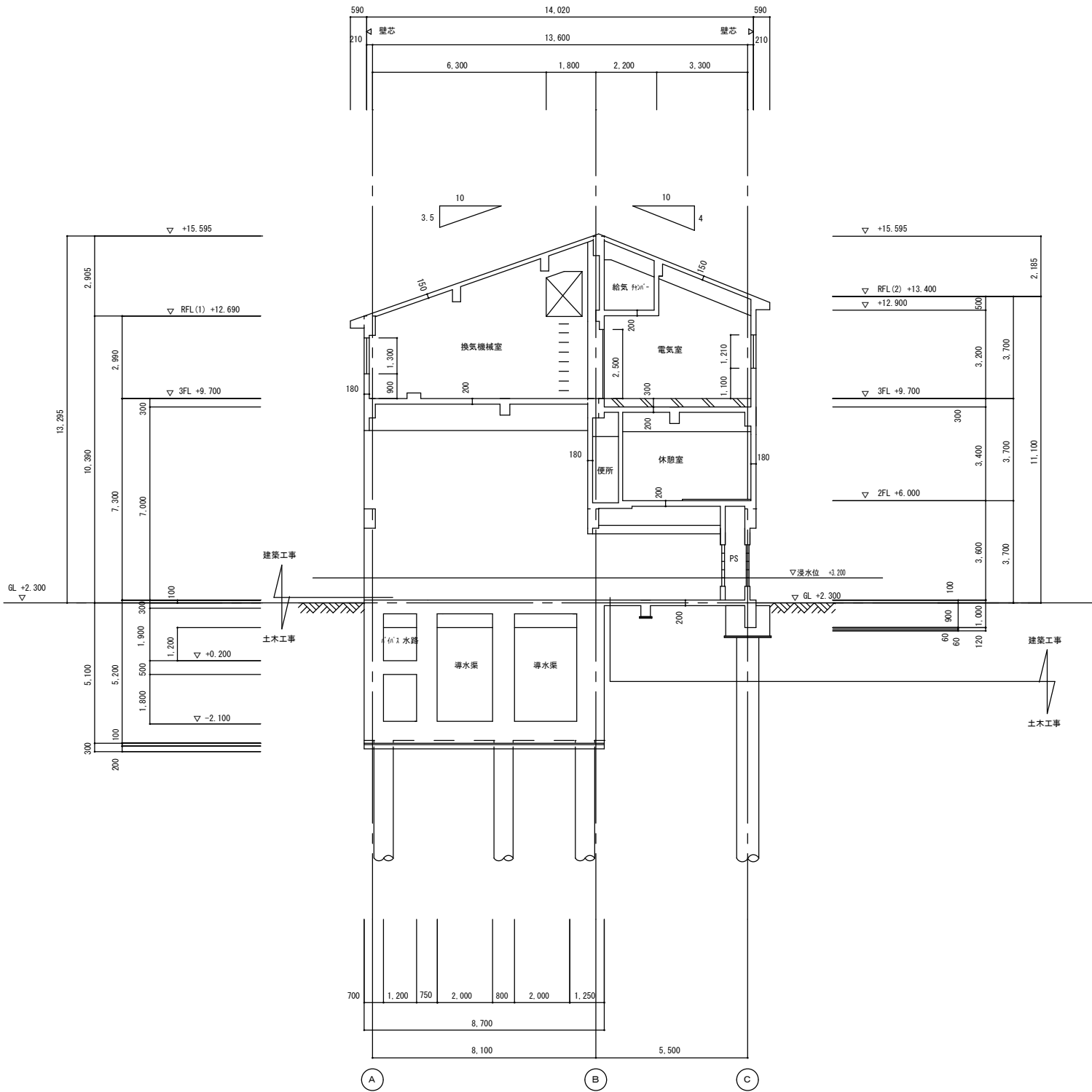
▽ +0.000

T P 標高を示す

工 事 名	雨水排水ポンプ場耐水化工事 (7-1)		
工事場所	三原市 東町一丁目		
図面番号	A-18	縮尺	S=1/100
断面名:	断面図 (3) (改修前)		
三 原 市			



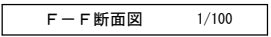
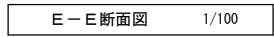
E-E断面図 1/100



F-F断面図 1/100

- 凡 例
- 改修前詳細番号を示す
 - 改修箇所を示す
 - 浸水対策重点範囲
 - $\nabla +0.000$ T P 標高を示す

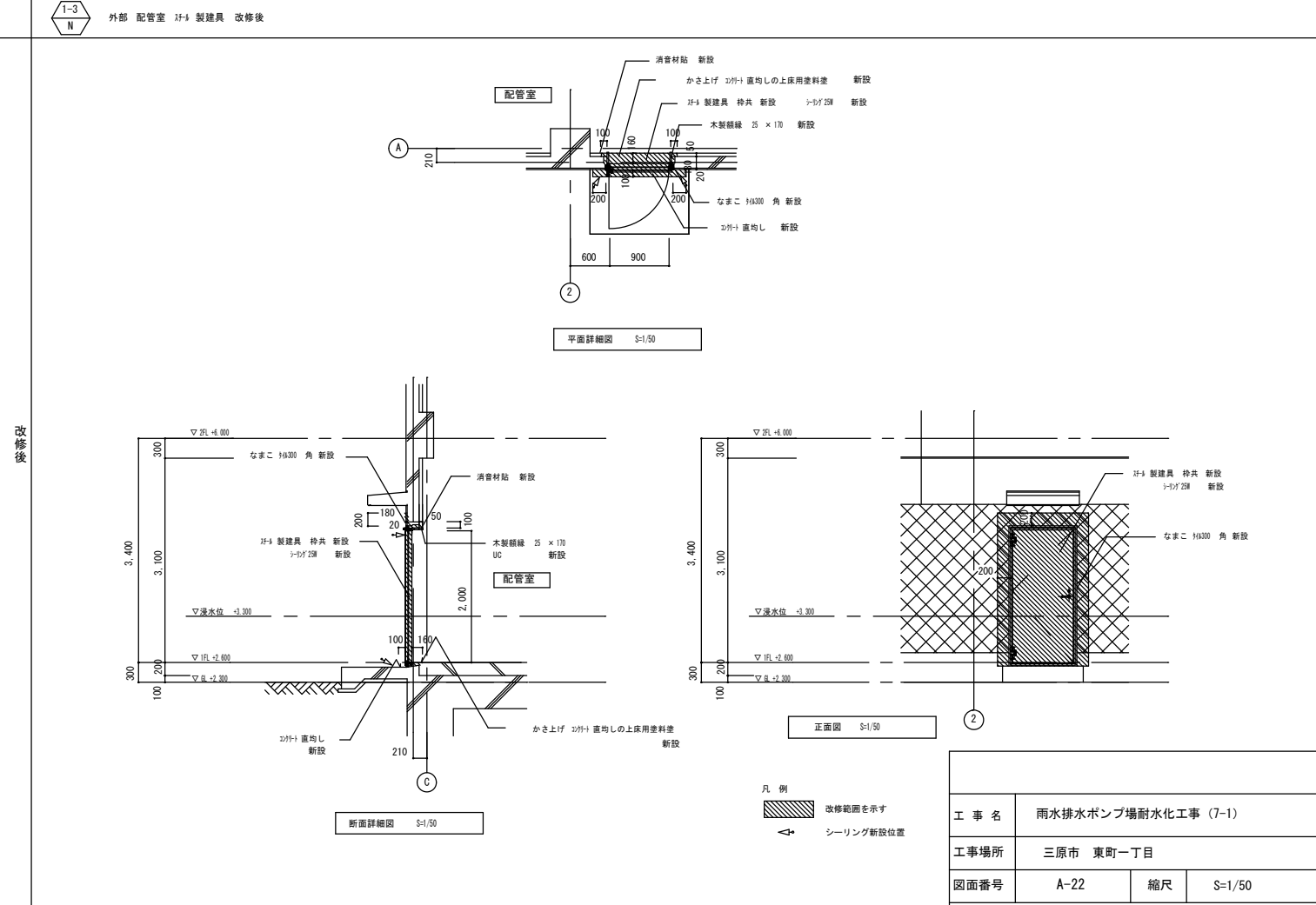
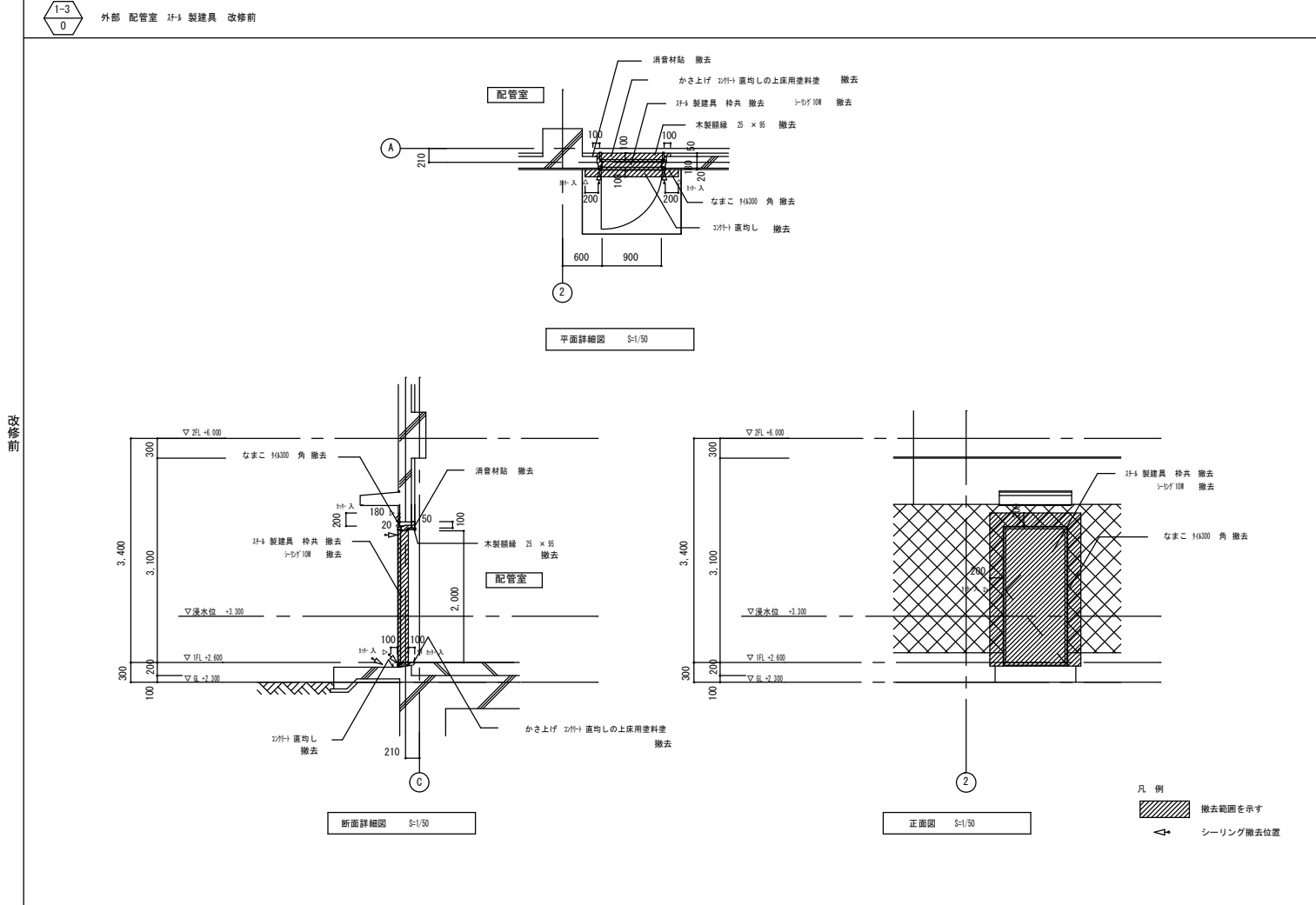
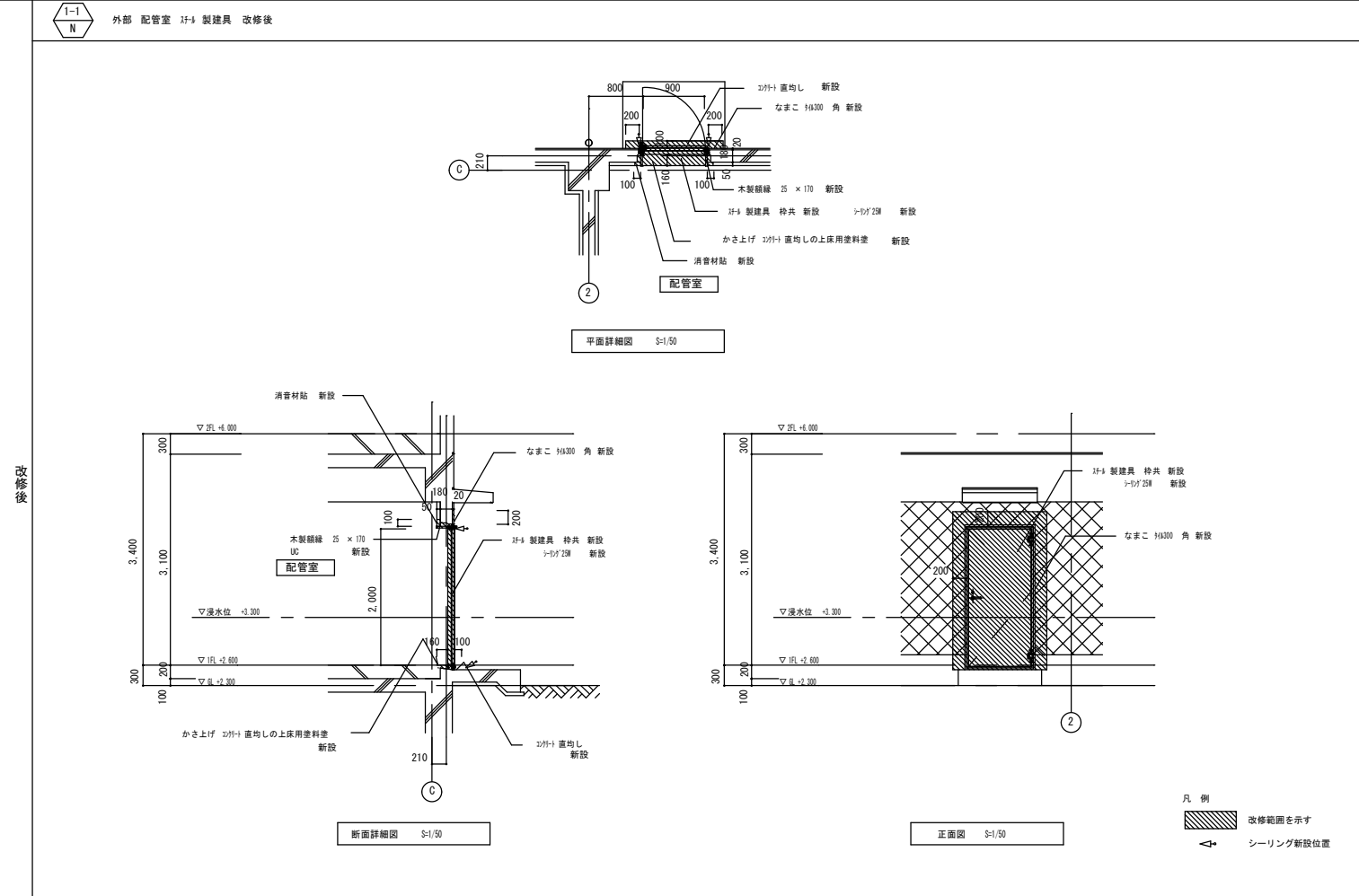
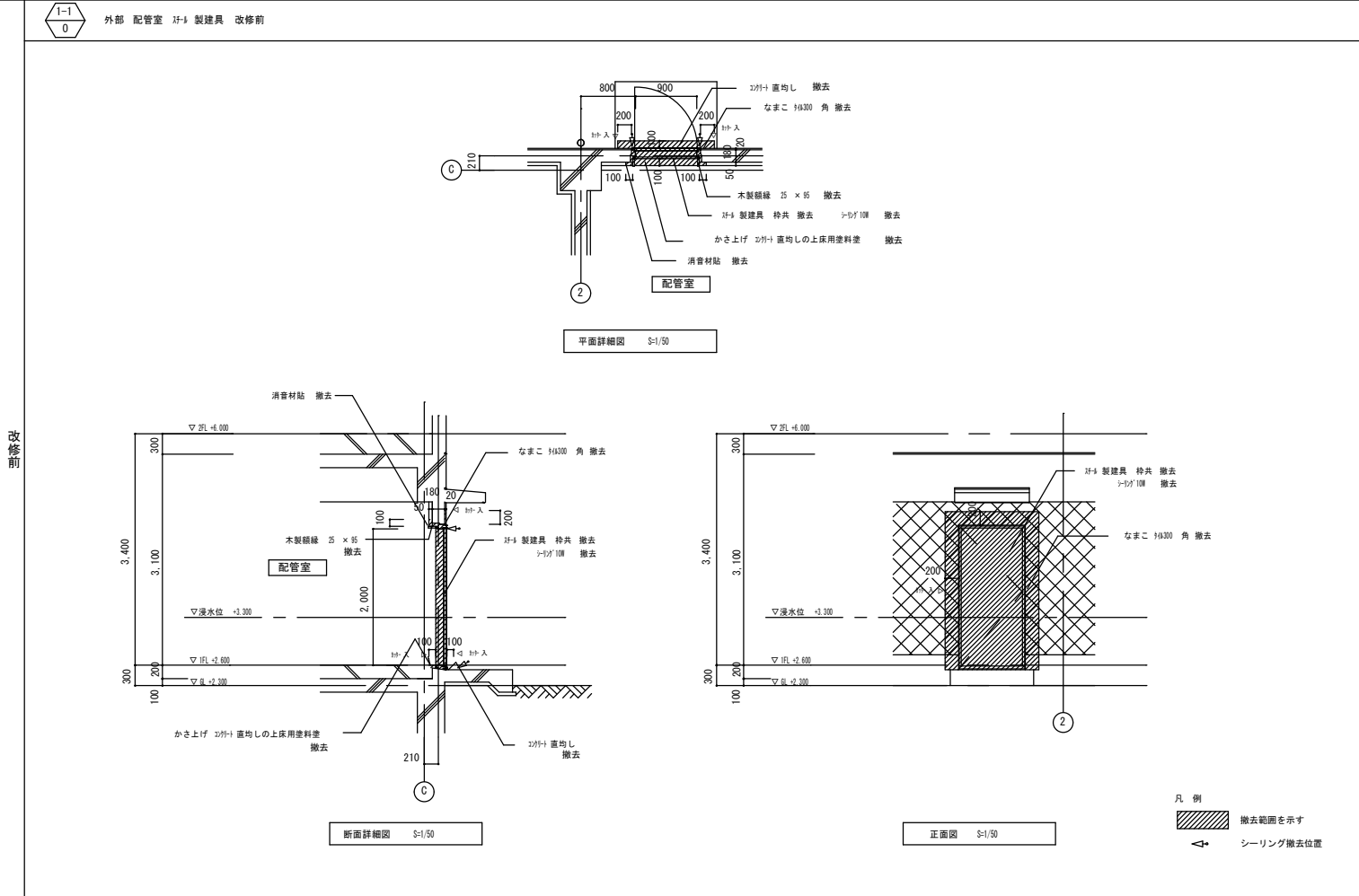
工 事 名	雨水排水ポンプ場耐水化工事 (7-1)		
工事場所	三原市 東町一丁目		
図面番号	A-20	縮尺	S=1/100
図面名：		断面図 (4) (改修前)	
三 原 市			



TP 標高を示す

 浸水対策重点範囲

工 事 名	雨水排水ポンプ場耐水化工事（7-1）		
工事場所	三原市 東町一丁目		
図面番号	A-21	縮尺	S=1/100
図面名：断面図（４）（改修後）			
三 原 市			



共通事項

- ・打継面となる範囲の既存構造物コンクリート面については、目視を行うこと
- ・新設する建具廻り等は防水モルタルを充填の上、シーリング施工とする。
- ・建具等撤去部周囲は、コンクリート面にカッター入れを行う
- ・納まり・大きき等は現場にて着工後再度計測を行い、現場監督員と検討・協議の上決定すること

工 事 名	雨水排水ポンプ場耐水化工事 (7-1)		
工事場所	三原市 東町一丁目		
図面番号	A-22	縮尺	S=1/50
図面名：改修詳細図 (I)			
三 原 市			



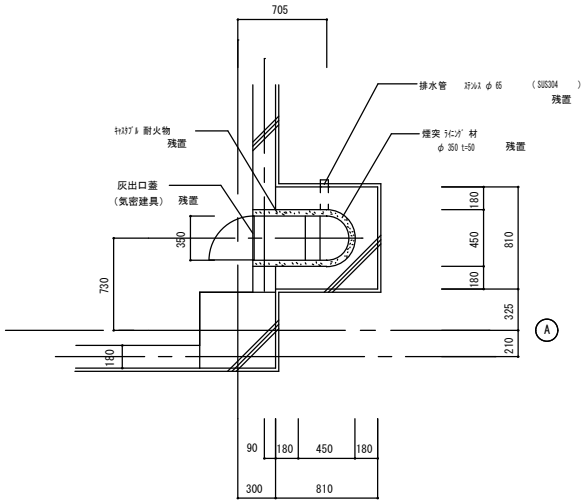
外部 配管室 防水板 改修後



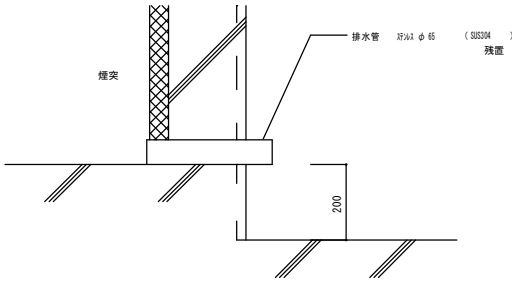
 改修範囲を示す
 シーリング新設位置

三 原 市

改修前



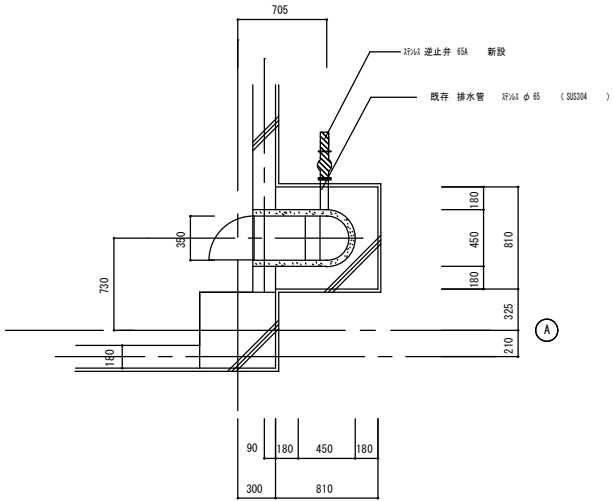
③
平面詳細図 1/30



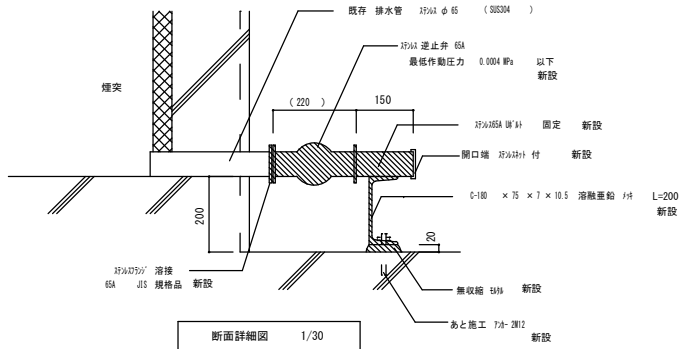
断面詳細図 1/30

凡 例
撤去範囲を示す
シーリング撤去位置

改修後



③
平面詳細図 1/30



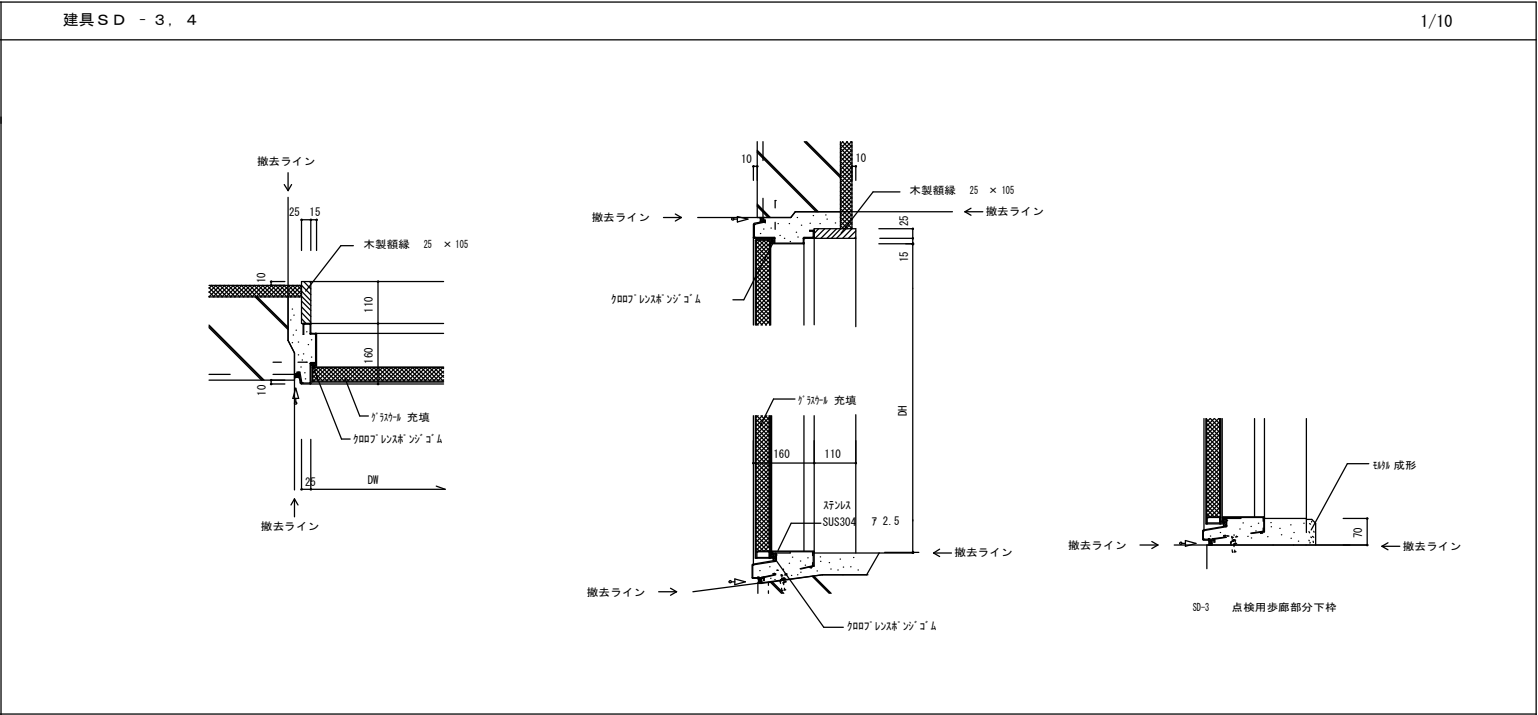
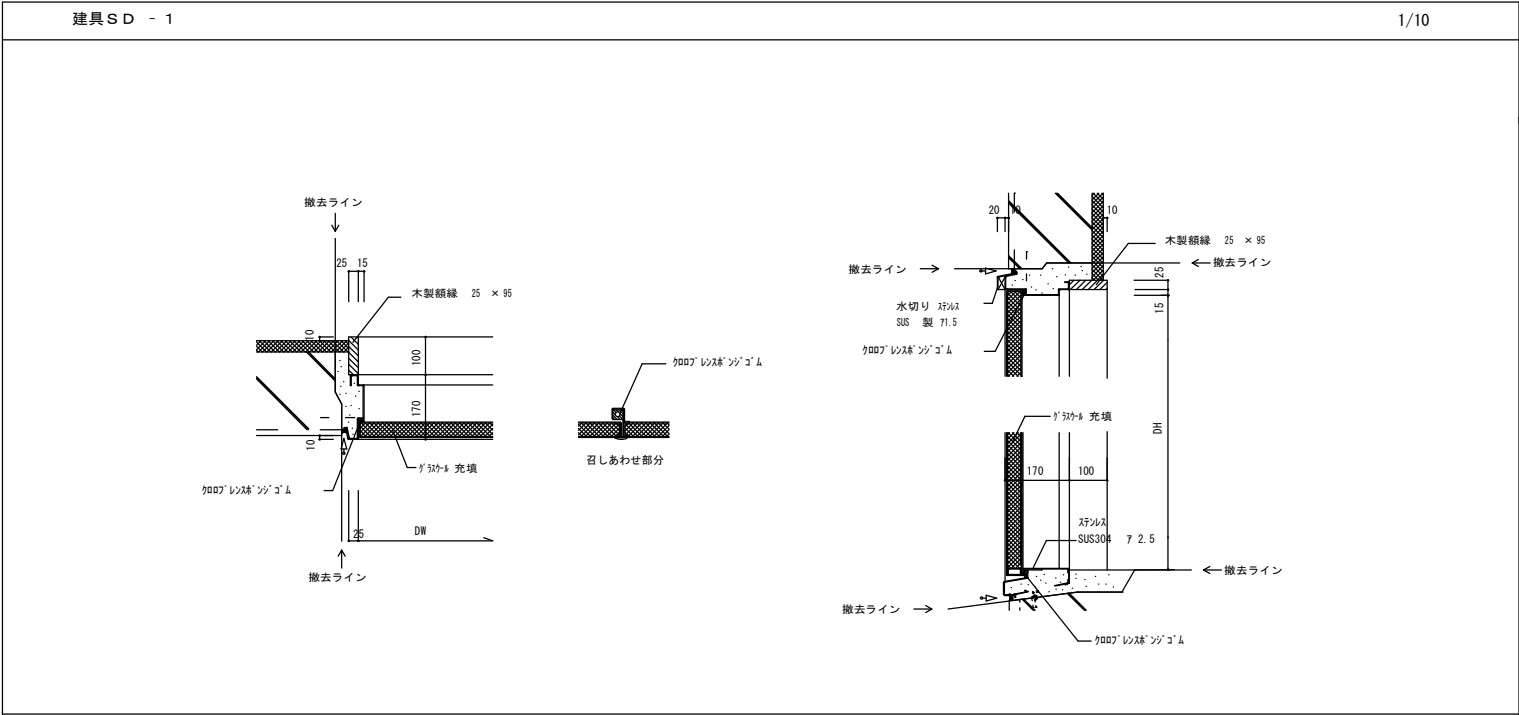
断面詳細図 1/30

凡 例
改修範囲を示す
シーリング新設位置

共通事項

- ・打継面となる範囲の既存構造物コンクリート面については、目荒しを行うこと
- ・新設する建具廻り等は防水モルタルを充填の上、シーリング施工とする。
- ・建具等撤去部周囲は、コンクリート面にカッター入れを行う
- ・納まり・大きさ等は現場にて着工後再度計測を行い、現場監督員と検計・協議の上決定すること

工 事 名		雨水排水ポンプ場耐水化工事（7-1）		
工事場所		三原市 東町一丁目		
図面番号		A-24	縮尺	S=1/30
図面名：		改修詳細図（ 3 ）		
三 原 市				



工事名			
雨水排水ポンプ場耐水化工事 (7-1)			
工事場所			
三原市 東町一丁目			
図面番号		A-25	S=1/10
図面名 :			
建具枠廻り詳細及び記号 (参考図)			
三原市			

建具	リスト

[illegible][illegible]

建 具 略 号	種 別	戸	窓	ガラリ	オーバ ヘッドドア	紙障子	ふすま	シャッター	網戸	凡 例	A G	アルミ製 緑緑	エ 事 名 雨水排水ポンプ場耐水化工事 (7-1) 工事場所 三原市 東町一丁目 図面番号 A-27 縮尺 S=1/50 図面名： 建具リスト (改修前) 三 原 市			
	アルミニウム製	AD	AW	AG	AOD			AS	aW		W	アルミ水切				
	鋼 製	SD	SW	SG	SOD			SS			FE	フタル酸樹脂エナメルペイント塗				
	鋼 製 軽 量	LD						LS								
	ステンレス製	SSD	SSW	SSG				SSS								
木 製	WD	WW	WG			P	H									
ガラ ス 略 号	F 型板ガラス			金	D C ドアクローザー、ストッパーなし											
	FL フロート板ガラス			物	A H オートヒンジ											
	FW 網入型板ガラス			略	F H フロアヒンジ											
	PW 網入みがき板ガラス			号	P H ビボットヒンジ											

改修後

改修後	符号・名称・個数		SD 3N 片開きスチールフラッシュ戸（防水扉）1	SD 4N 片開きスチールフラッシュ戸（防水扉）1		
	場所		I階 配管室	I階 配管室		
	仕上（枠共）		スチール製（外） フッ素樹脂遮熱塗装 （内）SOP	スチール製（外） フッ素樹脂遮熱塗装 （内）SOP		
	建具	見込（ランマ）	40	40		
		硝子（ランマ）	－	－		
		ガラリ	－	－		
	建具枠	見込取合 番摺	100 スチール製	100 スチール製		
	枠記号 番摺（水切）記号		－	－		
	建具金物		二軸丁番（×2）、B 特定防火設備、対象外力：津波（水深係数 2）	二軸丁番（×2）、B 特定防火設備、対象外力：津波（水深係数 2） 面付本締錠（水圧解除装置付） ※）水圧解除用注水口は浸水位より上に設置		
	その他		A-26-2号図	A-26-2号図		
形状・寸法						

符号・名称・個数		
場所		
仕上（枠共）		
建具	見込（ランマ）	
	硝子（ランマ）	
	ガラリ	
建具枠	見込取合 番摺	
枠記号 番摺（水切）記号		
建具金物		
その他		
形状・寸法		

SD-3N、4N、防水板 共通仕様

耐水性能

JIS A 4716

W5-5 等級

日本下水道事業団
防水型建具

津波用ドア ①
（浸水高さ 2m 以下）

対象外力（耐水）

○津波・洪水（津波対象外）

浸水高 TP +3.2m

QL TP +2.3m

扉下端 TP +0.3m

津波波圧

$qz = \rho \cdot g \cdot (ah + z)$

qz:構造設計用の津波の進行方向の津波波圧 (KN/m²)

ρ :水の単位体積質量 (t/m³)

g:重力加速度 (m/s²)

h:設計用浸水深（想定浸水深） (m)

z:当該部分の地盤面からの高さ (0 ≦ z ≦ ah) (m)

a:水深係数（流速を考慮した津波波圧を設定するために、浸水深に乗じる係数）

共
通
事
項

1．特記なき限り外部はシリンダ箱錠（内部サムターン）とし内部は本締り付きモノロックとする。
但し、押板、押棒の場合は、シリンダ本締り錠とする。

2．パイプスペース、ダクトスペースの点検扉の鍵はシリンダ本締り錠（特記なき限り同一キー）とする。
（内部はサムターン付）

3．AH、FHを除きDCの有無にかかわらず出入口には戸当り、あおり止め（外部両開扉のみ）をつける。
壁仕上げボード類等の場合は床付とする。（但し、通行に支障のあるものは除く。）

4．大型、気密鋼製建具はシリンダ本締り錠付きとする。

5．特記なき限り鋼製戸の見込みは40mmとする。

6．特記なき限り扉の取手はレバーハンドルとする。

7．防火戸（防火設備）には原位調整器付属とする（片開戸を除く）

8．戸は全て特定防火設備（仕様規定）とする。

9．防水扉は詳細図A-26号図による。

10．特記なき扉、鋼材はSOP塗装とする。

11．屋外のスチール製防水扉屋外面はフッ素樹脂遮熱塗装とする。 エスケー化研（株）水性クールテクトF（KF-175） 同等品

建
具
略
号

種 別	戸	窓	ガラリ	オーバーヘッドドア	紙障子	ふすま	シャッター	網戸
アルミニウム製	AD	AW	AG	AOD			AS	aW
鋼 製	SD	SW	SG	SOD			SS	
鋼 製 軽 量	LD						LS	
ステンレス製	SSD	SSW	SSG				SSS	
木 製	WD	WW	WG		P	H		

ガラ
ス
略
号

F 型板ガラス	金 物 略 号	DC ドアクローザー、ストッパーなし
FL フロート板ガラス		AH オートヒンジ
FW 網入型板ガラス		FH フロアヒンジ
PW 網入みがき板ガラス		PH ビボットヒンジ

凡
例

AG	アルミ製 額縁
W	アルミ水切
FE	フタル酸樹脂エナメルペイント塗

工 事 名

雨水排水ポンプ場耐水化工事（7-1）

工事場所

三原市 東町一丁目

図面番号

A-28

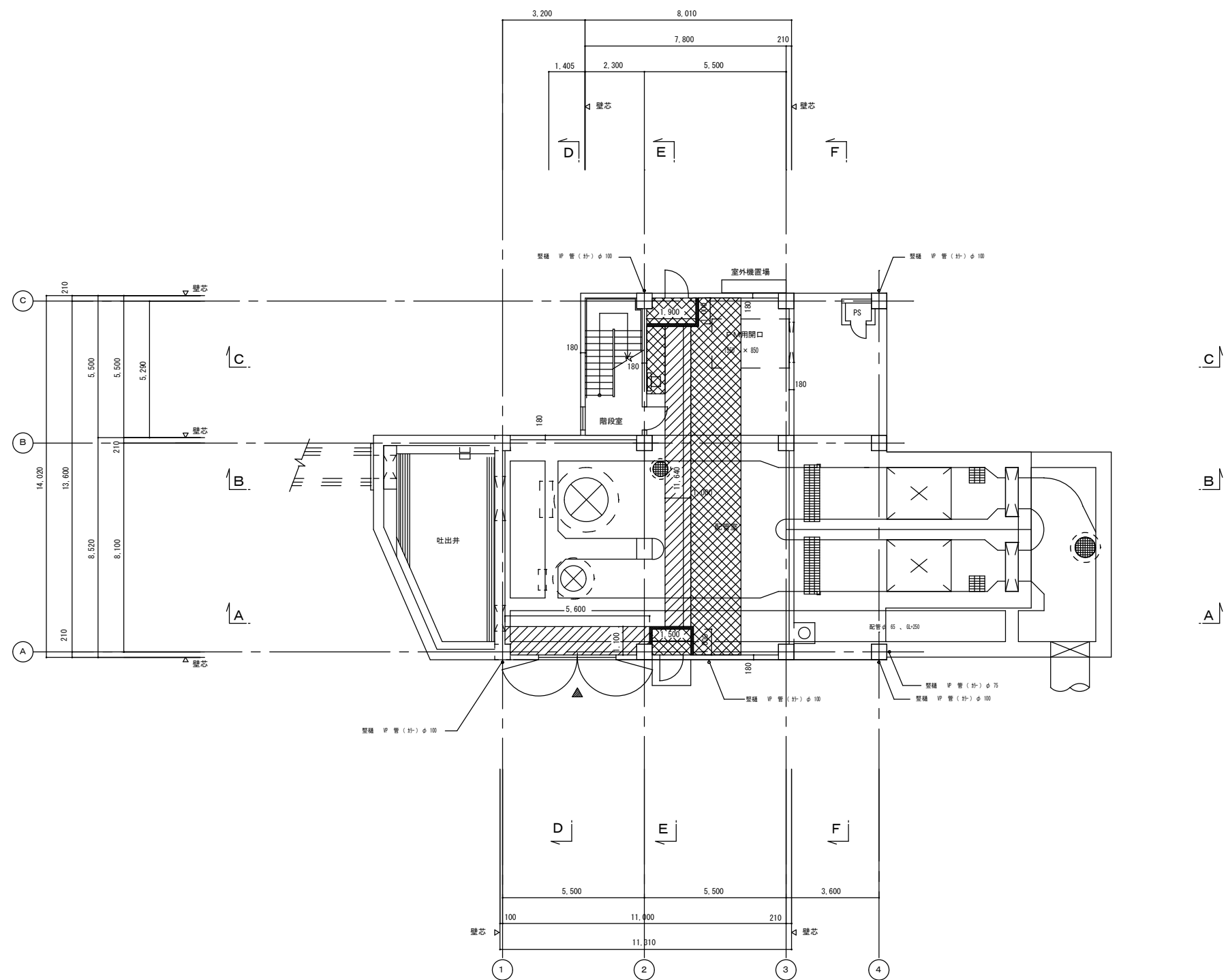
縮尺

S=1/50

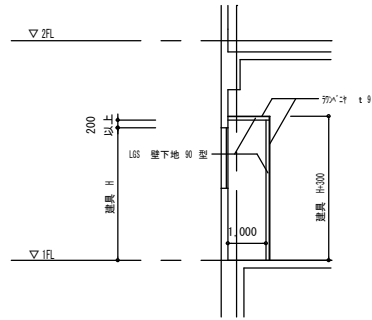
図面名：

建具リスト（改修後）

三 原 市



1階平面図 1/100



仮設間仕切 (B) 断面図 1/100

- 凡 例
- 仮設間仕切 (特記なきは 8 種)
 - 養生範囲を示す
 - 通路養生範囲を示す
 - 外部足場を示す

工 事 名	雨水排水ポンプ場耐水化工事 (7-1)		
工事場所	三原市 東町一丁目		
図面番号	A-29	縮尺	S=1/100
図面名：		仮設計画図 (参考図)	
三 原 市			

東町雨水排水ポンプ場
機械設備

第1章 総 則

第1節 適用範囲

本特記仕様書は、雨水排水ポンプ場耐水化工事（7-1）（東町雨水排水ポンプ場）に適用する。

第2節 責任施工

本工事は、受注者による責任施工である。

設計図書に記載なき事項についても技術上あるいは、全設備より見て当然必要と思われることは、職員（以下監督員という）の指示に従い、設計図書の意図する性能、機能を十分満足するよう設計、施工しなければならない。

第3節 施工基準

(1) 本工事に対する施工基準は、下記のものとする。

- a 特記仕様書
- b 設計図
- c 設計書
- d 現場説明事項

(2) 準拠規格

一般仕様書、特記仕様書において規定して記載されたもの以外は、すべて次の規格及び基準に準拠すること。また、この書基準は、最新版を適用すること。

- a 日本産業規格 J I S
- b 機械設備標準仕様書 日本下水道事業団
- c 下水道施設計画・設計指針と解説
- d 機械設備工事一般仕様書 日本下水道事業団
- e 機械設備工事必携 日本下水道事業団
- f 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）
- g 公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）
- h その他関係法規並びに監督員が指示する仕様書、各種基準

(3) 承諾図

受注者は、承諾を受けるために監督員と打合せを行い、施工図面等の工事に必要な図面を2部作成し提出すること。

- a 機器の据付配置図
- b 機器相互間の配管図
- c 施工図

一旦、承諾を受けても実際に施工上不都合があると認められる場合、あるいは設備上、機器の変更、追加等が必要と認められる場合には、監督員の指示に従って訂正図を提出し、再承諾を受けた後に機器等を製作すること。

また、承諾図返却後、決定図を監督員の指示する部数を提出すること。

(4) 疑義等

設計図書に関して疑義が生じた場合は、すべて監督員の解釈による。

設計図書に記載されていない事項であっても施工上当然必要と思われる事項は、受注者の負担においてこれを施工すること。

第4節 関係法規、責務の遵守

受注者は、本工事の施工に当り、諸官庁の命令指示、建設業法、労働基準法、労働安全衛生法、職業安定法、道路交通法、電気事業法その他関係法規、並びに工事施工に関する協定事項に違反しないこと。

第5節 手続きの代行

受注者は本工事施工に当り、諸官公庁及び当該電気供給者の検査を受ける必要があるものについては、すべての手続きを代行し、常に連絡を密にして、設備使用開始に際し支障のないようにすること。

ただし、手続書類は提出前に監督員の承諾を受けること。

第6節 現場の管理

受注者は、工事現場内において監理技術者、主任技術者(下請を含む。)に工事名、工期、顔写真、所属会社名及び証明印の入った名札を着用すること。

第7節 検査

三原市工事検査規程の定めるところによる。

第8節 主任(監理)技術者の配置等

(1) 主任(監理)技術者の専任期間等

本工事に配置される技術者については、工場製作のみが行われている期間は専任を要しない。

なお、当該工場製作過程において、同一工場内で他の同種工事に係る製作と一元的な管理体制のもとで製作を行うことが可能である場合は、同一の技術者がこれらの製作を一括して管理することができる。

(2) 主任(監理)技術者の変更の特例

本工事に配置される技術者については、工場から現地への工事の現場が移行する時点において変更ができる。

なお、発注者と受注者の協議により、交代の時期は工程上一定の区切りと認められる時点とするほか、交代前後における技術者の技術力が同等以上に確保されるとともに、一定期間重複して工事現場に設置し、工事の継続性、品質等を確保すること。

第9節 工事カルテの作成および登録

受注者は、工事实績情報サービス(CORINS)に基づき「工事カルテ」を作成し、監督職員の

確認を受けた後に(財)日本建設情報総合センターに登録し、「工事カルテ」の写しを監督職員に提出すること。

第10節 完成図書の提出

施設引渡しの際、下記の完成図書を提出すること。

完成図書はA 4 版，取外し可能な折り込み製本とし表紙，背表紙は金文印刷したものを3部納入のこと。

- (1) 完成図面
- (2) 各種検討書，計算書
- (3) 各種配管図
- (4) 付属品，予備品リスト
- (5) 各種試験，検査成績書
- (6) 各種官庁手続き書類
- (7) 取扱説明書
- (8) 運転操作説明書
- (9) 故障時連絡一覧表
- (10) その他必要なもの

第11節 かし担保期間

完成検査に合格した日から2年間とする。

かし担保期間終了時，請負人は技術者を派遣し異常の有無を確認後，監督員と協議し承認を得ること。

保証期間内に請負人の責任に帰すべき原因による事故が発生した場合，監督員の指示する期間内に無償で改造，補修または新品と取替えた後，検査に合格しなければならない。

第12節 契約内容の変更

本工事の内容に著しい影響を与える事情が生じたときは，協議の上，契約内容を変更することができる。

ただし，監督員が特段の理由があると認めたときを除き，契約内容の変更は行わない。

第13節 その他

(1) 責任施工

受注者は既設構造物その他に損傷を与えないよう，または機能を阻害しないよう適切な保護を行うこと。これらに損傷または損失を与えた場合，受注者の負担において復旧すること。

本工事の施工にあたって本仕様書，添付図面，別紙設計書に明示していないものがあっても，設備の性能発揮に当然必要なものは監督員の指示に従い，受注者の費用をもって施工し

なければならない。また、重要寸法についてはあらかじめ現地実測の上決定し、万一数量寸法等に誤記があった場合は、監督員と打ち合わせ善処しなければならない。

(2) 耐震設計

耐震を十分考慮した構造および施工とすること。

(3) 工事保険等

受注者は、本工事において第三者に与えた損害を補填する保険又はその他必要とする建設工事に関連する保険等に加入しなければならない。また、加入した保険等については、保険証券の写し（保険以外の場合はそれに代わるもの）を監督員に提出すること。なお、加入に必要な保険料等は、設計で現場管理費に見込んでいる。

(4) 工事損失等

本工事の施工に伴い、通常避けることのできない地盤沈下、振動等により建物等に損害等（以下「工事損失」という。）が発生した場合においては、次のとおりとする。なお、工事損失に伴う補償費用は、設計で現場管理費に見込んでいる。

- a 原因調査 監督員と協力して行うこと。
- b 補償交渉 監督員と協力して処理解決に当ること。
- c 応急措置 監督員から応急措置を講じる必要があると指示された場合は、直ちに応急措置を講じること。
- d 補償費用負担割合 発注者は、工事損失に伴う補償費用のうち請負代金の100分の1を超える額を負担すること。

第2章 工 事 概 要

第1節 耐水化対策

本工事は、洪水や河川の氾濫等により、ポンプ棟のポンプ井開口部からの浸水によりポンプ場の運転に支障が生じる恐れがあるため、対策を行うものである。

第2節 対策箇所

- (1) ポンプ井マンホール蓋 1箇所
- (2) ポンプドレン管 1箇所（No. 1, 2）
- (3) ポンプ合わせ面 2箇所（No. 1, 2）
- (4) その他発注図面のとおり

第3章 土木・機械工事

第1節 一般事項

- (1) 本工事の施工にあたっては、監督員の指示に従い、本仕様書及び設計図書に基づき、関係法令、規定、基準に準拠し、責任を持って施工しなければならない。また、作業の安全及び通行人等第三者への災害防止等についても十分に配慮し、安全対策を講じること。
- (2) 機器の搬入、据付の際は機器本体、構造物に対して損傷を与えることのないように注意すること。
- (3) 工事の施工にあたっては、施工図を提出のうえ監督員の指示によること。また、実施にあたっては安全かつ効率的に行うこと。
- (4) 電力会社等への諸手続きは、受託者が自らの費用において行うこと。
- (5) 槽内作業の場合は、酸素欠乏及び硫化水素危険作業に該当するため、法令・規則等を遵守し安全に行うこと。

第2節 各種工事

(1) ポンプ井マンホール蓋更新工事

- 1) ポンプ井マンホール蓋は、耐内水圧マンホール蓋に更新し、ポンプ井内部から浸水しないように、施工を行うこと。

マンホール蓋仕様：φ600 耐内水圧0.03MPa以上

(2) ポンプドレン管、逆流防止弁取付工事

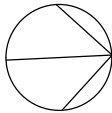
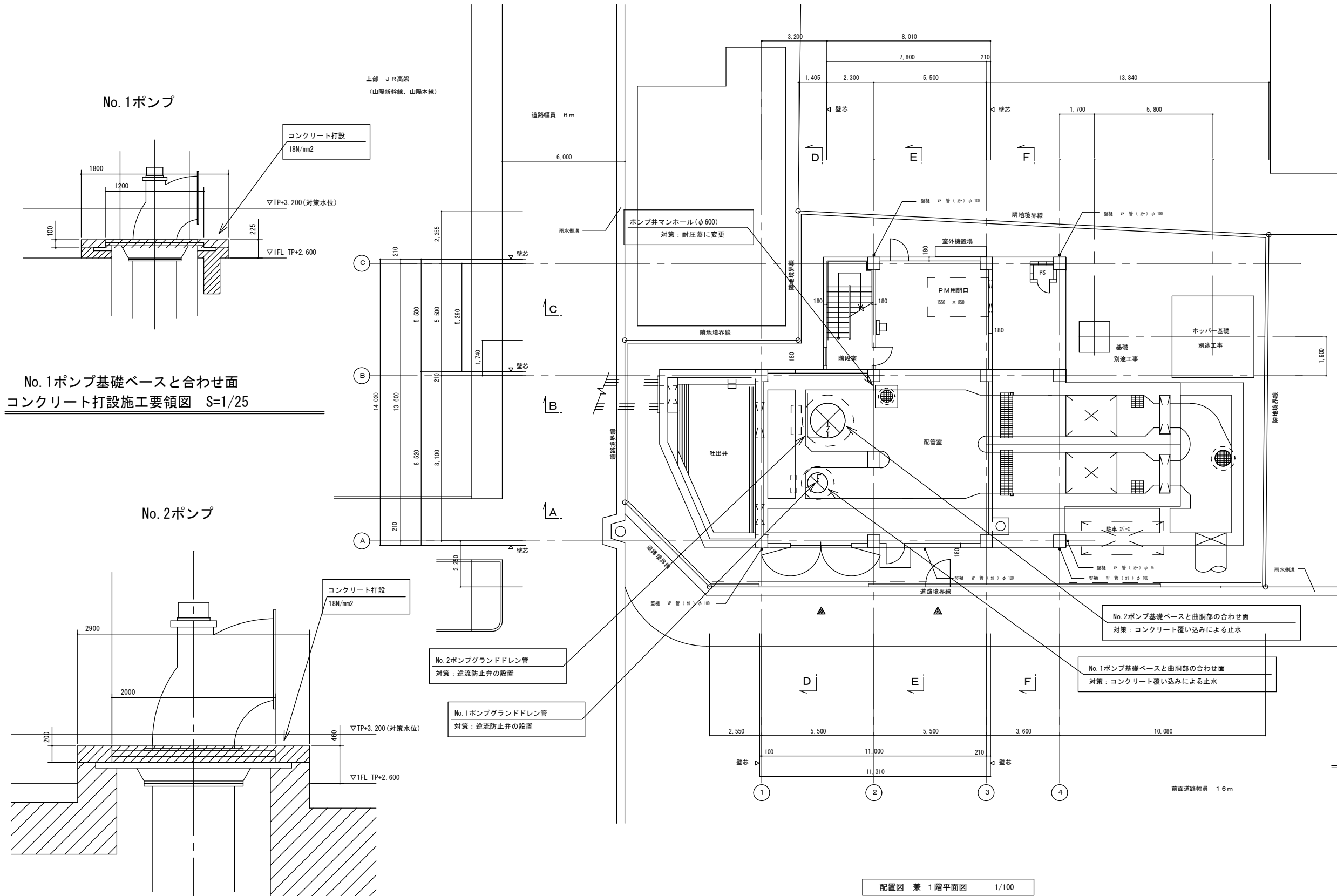
- 1) ポンプドレン管は、ポンプ井からの逆流対策として、逆流防止弁の取付を行う。

逆流防止弁仕様：15A×1箇所、25A×1箇所

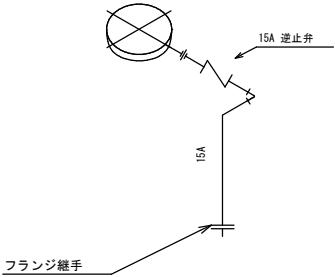
スイングチャッキ（SCS13A） SUS10K ねじ込み形

(3) ポンプ合わせ面対策工事

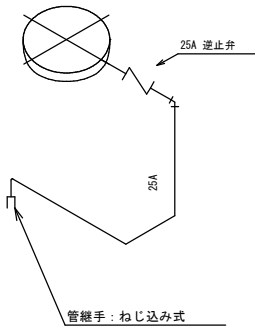
- 1) 本ポンプ場の浸水時において、ポンプ井内部からポンプ合わせ面より、浸水する恐れがある。そのため、ポンプ合わせ面より、浸水しないように止水工事を行う。



No. 1ポンプ



No. 2ポンプ



No. 1, 2ポンプグラウンドレン
配管施工要領図

工 事 名			
雨水排水ポンプ場耐水化工事 (7-1)			
工事場所			
三原市 東町一丁目			
図面番号		縮 尺	S=1/100
図面名： 東町雨水排水ポンプ場 1階平面図 (今回)			
三 原 市			

東町雨水排水ポンプ場
電気設備

第1章 総 則

第1節 適用範囲

本特記仕様書は、雨水排水ポンプ場耐水化工事（7-1）（東町雨水排水ポンプ場）に適用する。

第2節 責任施工

本工事は、受注者による責任施工である。

設計図書に記載なき事項についても技術上あるいは、全設備より見て当然必要と思われることは、職員（以下監督員という）の指示に従い、設計図書の意図する性能、機能を十分満足するよう設計、施工しなければならない。

第3節 施工基準

(1) 本工事に対する施工基準は、下記のものとする。

- a 特記仕様書
- b 設計図
- c 設計書
- d 現場説明事項

(2) 準拠規格

一般仕様書、特記仕様書において規定して記載されたもの以外は、すべて次の規格及び基準に準拠すること。また、この書基準は、最新版を適用すること。

a 日本産業規格	J I S
b 電気規格調査会標準規格	J E C
c 日本電機工業会標準規格	J E M
d 電線技術委員会標準資料	J C S
e 電気設備技術基準	経済産業省令
f 内線規程	J E A C
g 電気用品取締法	
h 下水道施設計画・設計指針と解説	
I 電気設備工事一般仕様書	日本下水道事業団
j 電気設備工事必携	日本下水道事業団
k 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）	
l 公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）	
m その他関係法規並びに監督員が指示する仕様書、各種基準	

(3) 承諾図

受注者は、承諾を受けるために監督員と打合せを行い、施工図面等の工事に必要な図面を2部作成し提出すること。

- a 機器の据付配置図

b 機器相互間の配管図、配線図

c 施工図

一旦、承諾を受けても実際に施工上不都合があると認められる場合、あるいは設備上、機器の変更、追加等が必要と認められる場合には、監督員の指示に従って訂正図を提出し、再承諾を受けた後に機器等を製作すること。

また、承諾図返却後、決定図を監督員の指示する部数を提出すること。

(4) 疑義等

設計図書に関して疑義が生じた場合は、すべて監督員の解釈による。

設計図書に記載されていない事項であっても施工上当然必要と思われる事項は、受注者の負担においてこれを施工すること。

第4節 関係法規、責務の遵守

受注者は、本工事の施工に当り、諸官庁の命令指示、建設業法、労働基準法、労働安全衛生法、職業安定法、道路交通法、電気事業法その他関係法規、並びに工事施工に関する協定事項に違反しないこと。

第5節 手続きの代行

受注者は本工事施工に当り、諸官公庁及び当該電気供給者の検査を受ける必要があるものについては、すべての手続きを代行し、常に連絡を密にして、設備使用開始に際し支障のないようにすること。

ただし、手続書類は提出前に監督員の承諾を受けること。

第6節 現場の管理

受注者は、工事現場内において監理技術者、主任技術者(下請を含む。)に工事名、工期、顔写真、所属会社名及び証明印の入った名札を着用すること。

第7節 検査

三原市工事検査規程の定めるところによる。

第8節 主任(監理)技術者の配置等

(1) 主任(監理)技術者の専任期間等

本工事に配置される技術者については、工場製作のみが行われている期間は専任を要しない。

なお、当該工場製作過程において、同一工場内で他の同種工事に係る製作と一元的な管理体制のもとで製作を行うことが可能である場合は、同一の技術者がこれらの製作を一括して管理することができる。

(2) 主任(監理)技術者の変更の特例

本工事に配置される技術者については、工場から現地への工事の現場が移行する時点において変更ができる。

なお、発注者と受注者の協議により、交代の時期は工程上一定の区切りと認められる時点

とするほか、交代前後における技術者の技術力が同等以上に確保されるとともに、一定期間重複して工事現場に設置し、工事の継続性、品質等を確保すること。

第9節 工事カルテの作成および登録

受注者は、工事实績情報サービス（CORINS）に基づき「工事カルテ」を作成し、監督職員の確認を受けた後に（財）日本建設情報総合センターに登録し、「工事カルテ」の写しを監督職員に提出すること。

第10節 完成図書の提出

施設引渡しの際、下記の完成図書を提出すること。

完成図書はA4版、取外し可能な折り込み製本とし表紙、背表紙は金文印刷したものを3部納入のこと。

- (1) 完成図面
- (2) 各種検討書、計算書
- (3) 各種結線、接続図
- (4) 付属品、予備品リスト
- (5) 各種試験、検査成績書
- (6) 各種官庁手続き書類
- (7) 取扱説明書
- (8) 運転操作説明書
- (9) 故障時連絡一覧表
- (10) その他必要なもの

第11節 かし担保期間

完成検査に合格した日から2年間とする。

かし担保期間終了時、請負人は技術者を派遣し異常の有無を確認後、監督員と協議し承認を得ること。

保証期間内に請負人の責任に帰すべき原因による事故が発生した場合、監督員の指示する期間内に無償で改造、補修または新品と取替えた後、検査に合格しなければならない。

第12節 契約内容の変更

本工事の内容に著しい影響を与える事情が生じたときは、協議の上、契約内容を変更することができる。

ただし、監督員が特段の理由があると認めたときを除き、契約内容の変更は行わない。

第13節 その他

- (1) 責任施工

受注者は既設構造物その他に損傷を与えないよう、または機能を阻害しないよう適切な保護を行うこと。これらに損傷または損失を与えた場合、受注者の負担において復旧すること。

本工事の施工にあたって本仕様書、添付図面、別紙設計書に明示していないものがあっても、設備の性能発揮に当然必要なものは監督員の指示に従い、受注者の費用をもって施工しなければならない。また、重要寸法についてはあらかじめ現地実測の上決定し、万一数量寸法等に誤記があった場合は、監督員と打ち合わせ善処しなければならない。

(2) 耐震設計

耐震を十分考慮した構造および施工とすること。

(3) 工事保険等

受注者は、本工事において第三者に与えた損害を補填する保険又はその他必要とする建設工事に関連する保険等に参加しなければならない。また、加入した保険等については、保険証券の写し（保険以外の場合はそれに代わるもの）を監督員に提出すること。なお、加入に必要な保険料等は、設計で現場管理費に見込んでいる。

(4) 工事損失等

本工事の施工に伴い、通常避けることのできない地盤沈下、振動等により建物等に損害等（以下「工事損失」という。）が発生した場合においては、次のとおりとする。なお、工事損失に伴う補償費用は、設計で現場管理費に見込んでいる。

- a 原因調査 監督員と協力して行うこと。
- b 補償交渉 監督員と協力して処理解決に当ること。
- c 応急措置 監督員から応急措置を講じる必要があると指示された場合は、直ちに応急措置を講じること。
- d 補償費用負担割合 発注者は、工事損失に伴う補償費用のうち請負代金の100分の1を超える額を負担すること。

第2章 工 事 概 要

第1節 耐水化対策

本工事は、洪水や河川の氾濫等により、ポンプ棟外壁部等からの浸水や場外設備の水没によりポンプ場の運転に支障が生じる恐れがあるため、対策を行うものである。

第2節 配線開口部の浸水対策

- (1) プルボックス内配線開口部 1箇所

第3章 電 気 工 事

第1節 一般事項

- (1) 本工事の施工にあたっては、監督員の指示に従い、本仕様書及び設計図書に基づき、関係法令、規定、基準に準拠し、責任を持って施工しなければならない。また、作業の安全及び通行人等第三者への災害防止等についても十分に配慮し、安全対策を講じること。
- (2) 機器の搬入、据付の際は機器本体、構造物に対して損傷を与えることのないように注意すること。
- (3) 工事の施工にあたっては、施工図を提出のうえ監督員の指示によること。また、実施にあたっては安全かつ効率的に行うこと。
- (4) 電力会社等への諸手続きは、受託者が自らの費用において行うこと。
- (5) 槽内作業の場合は、酸素欠乏及び硫化水素危険作業に該当するため、法令・規則等を遵守し安全に行うこと。

第2節 各種工事

(1) 盤等の据付工事

- 1) 自立盤は、所要の強度を持つ金具で架台等に強固に取付けること。
- 2) 壁掛盤・装柱盤は、所定の金具で強固に取付けること。

(2) 電線管工事

- 1) 電線管は施工場所により、次の管を使用すること。
 - a) 露出配管 耐衝撃性硬質ビニル電線管又は厚鋼電線管
 - b) 地中配管 波付硬質合成樹脂管
 - c) 接地線用 硬質ビニル電線管（露出、地中とも）
- 2) 地中電線管部は、ケーブル埋設シートを敷設すること。

(3) 配線工事

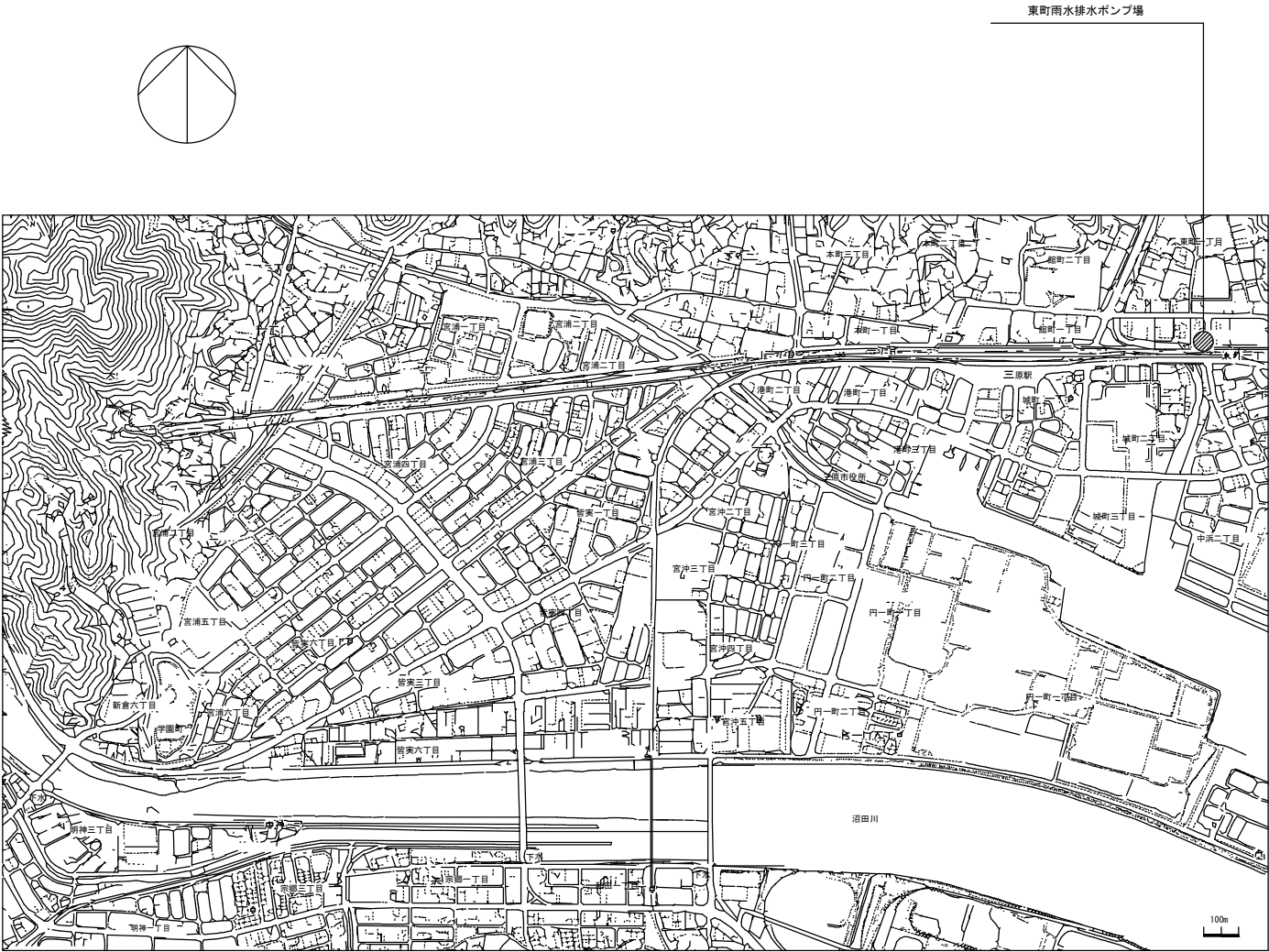
- 1) 配線は使用目的により次の電線またはケーブルを使用すること。
 - a) 電源回路 架橋ポリエチレン絶縁耐熱性ポリエチレンシースケーブル (EM-CE)
 - b) 制御回路 制御用ポリエチレン絶縁耐熱性ポリエチレンシースケーブル (EM-CEE)
 - c) 接地回路 耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE)
- 2) 端子への接続
各端子への接続は圧着端子（丸型）で行うこと。

(4) 接地工事

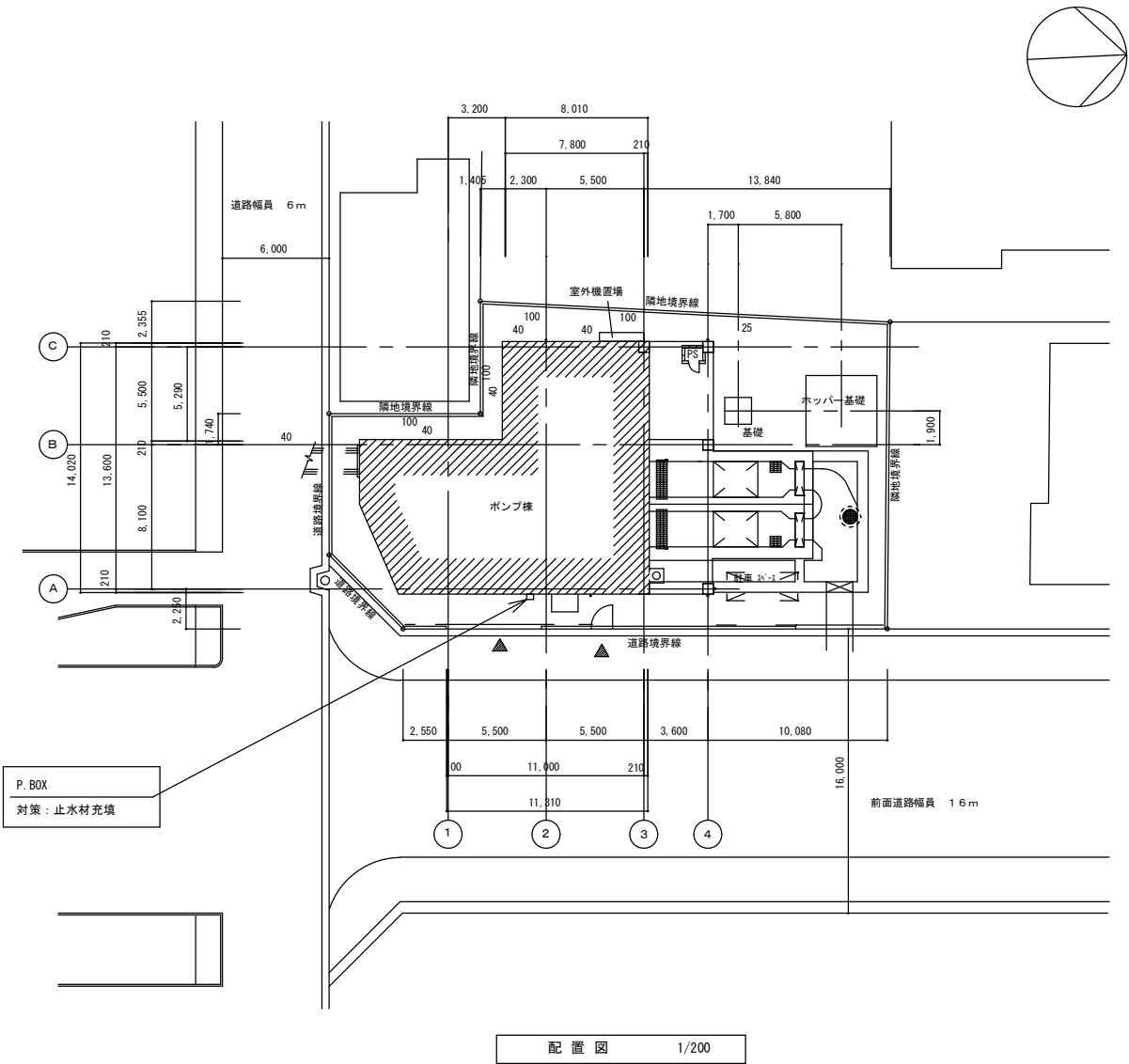
接地工事の接地極は、連結式接地棒を使用し各種接地抵抗値の基準値内になるように施工すること。

(5) 止水工事

配線開口部の浸水対策は、耐水性を有する止水材およびモルタル充填により、貫通部の閉塞措置を行うこと。



案内図 1/10000



注 記
1. は今回を示す。

工 事 名			
雨水排水ポンプ場耐水化工事（7-1）			
工事場所			
三原市 東町一丁目			
図面番号		縮尺	S=1/10000, 200
図面名： 東町雨水排水ポンプ場 案内図・配置図（今回）			
三 原 市			

本工事費内訳書

宗郷雨水排水ポンプ場

費 目	工 種	種 別	細 別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
		雨水排水ポンプ場耐水化工事(7-1)						
		建築工事費		式	1.0			
		機械設備工事費		式	1.0			
		電気設備工事費		式	1.0			
		小計						
		消費税相当額	10%	式	1.0			
		本工事費						

宗郷雨水排水ポンプ場
建築

[illegible]

[illegible]

[illegible]

工 事 名	雨水排水ポンプ場耐水化工事（7-1）		
工事場所	三原市和田一丁目		
図面番号	A-4	縮尺	-
図面名： 建築改修工事特記仕様書（ 4 ）			
三 原 市			

⑧ ①③ あと施工アンカー工事			①金属系アンカー アンカー本体の径及び埋込み長さ ※設計図による セット方式 ※本体打込み式改良型 ・ () 接合筋の種類、径、長さ ※設計図による ・性能確認試験 試験方法及び試験数 ※設計図による
	②	穿孔	埋込み配管等の探査方法 ※鉄筋探知器（金属探知器）により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う ・ ()
	③	施工確認試験	試験方法 ※引張試験機による引張試験 確認強度 ※設計図による
	④	施工管理技術者	(社) 日本建築あと施工アンカー協会が定める「あと施工アンカー技術管理士」の資格 資格以上の能力を有する者とする。

⑧ ①④ グラウト工事	①	柱底均しモルタル及びグラウト材	・柱底均しモルタル ※無収縮モルタル ・ ()
			①グラウト材 無収縮グラウト材の材質等
			混和材 セメント系（酸化カルシウム及びカルシウム・サルフォ・アルミネート等によって膨張する性質を利用するもの）とする。
			セメント JIS R 5210 「ポルトランドセメント」に適合した普通または早強ポルトランドセメントとする。
		砂	土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。 ただし、現場調合形に使用される砂の乾燥状態については、規定しない。
			無収縮グラウト材の品質及び試験方法
			コンシステンシー ロートによる流下時間 練混ぜ完了から 1 分以内の値 : 8 ±2 秒
			ブリージング 練り混ぜ 1 時間後のブリージング率 : 2.0 % 以下
		凝結時間	凝結開始時間 : 1 時間以上 凝結時間 : 10 時間以内
			無収縮性 材料 1 日 収縮しない
			圧縮強度 材料 3 日 20.0 N/mm ² 以上 材料 28 日 40.0 N/mm ² 以上
			塩化物量 0.20g/g 以下
		試験方法	1) JIS R 5200 試験方法 試験法 JIS R 5200 「無収縮モルタル品質管理試験方法」による。プレミックス形と現場調合形で混和材が同一の場合の試験はプレミックス形のみとする。
			2) 塩化物量の試験は、JIS R 1144 「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。

⑧ ①⑤ 土工事及び地業工事	1	埋戻し及び盛土	埋戻し及び盛土の材料及び工法 ※改修標準仕様書 8.28.3(2) (ウ)③ 表 8.28.1 による ・A 種 適用場所 () ・B 種 適用場所 () ・C 種 適用場所 () 土質 () 受渡場所 () ・D 種 適用場所 () ・品質 総粒分 (75 μm 以下) の含有率 (重力百分率) の上限を 50 % 未満とする ・材料 () 工法 ()
			鋼矢板等の抜き跡の処理 ※直ちに砂で充填する ・意匠図による 山留めの存置 ・行う 存置範囲 ※現場説明書の施工条件明示による
			杭地業 支持層の位置及び土質（基礎ぐいの先端位置含む） ※構造図による 杭の材料、工法、寸法、施工方法等 ※構造図による ・試験杭の位置、本数及び寸法並びに施工方法 ※構造図による ・杭の継手の箇所数、材料、工法等 ※構造図による ・杭の溶接継手 技能資格者の技量 ※構造図による 溶接部の確認 ※構造図による ・杭頭を処理する 処理方法（切断にともなう補強方法含む） ※構造図による ・杭頭の中詰め材料 ・基礎のコンクリートと同調合のもの ・構造図による 杭の精度 水平方法の位置ずれ ・径径の 1/4 かつ 10mm 以下 ・構造図による 杭の鉛直度 1/100 以内 ・構造図による 記録する施工状況等 ※構造図による
	④	砂利地業	材料 ①再生クラッシュラン ・切込砂利又は切込砕石 砂利厚さ ※ 60mm ・ () mm

⑤	捨コンクリート地業	捨コンクリートの厚さ ※ 50mm ・ () mm コンクリートの種類 ※普通コンクリート ・ () 設計基準強度 ※ 18N/mm ² ・ () N/mm ² スランプ ※ 15cm 又は 18cm ・ () cm
		[8.28.4] [8.11.1] [8.11.1]

構造関係改修工事 共通一般事項

1. 適用範囲
(a) 耐震改修共通事項は、耐震改修工事における構造関係の共通事項とする。
(b) 耐震改修共通事項以外については、設計図及び監督職員の指示による。
2. 設計図書の間で配筋方法に相違がある場合の優先順位は以下のとおりとする。
1. 改修特記仕様書
2. 図面
2-1 耐震改修標準図、構造関係共通事項（配筋標準図、鉄骨標準図）を除く図面
2-2 耐震改修標準図、構造関係共通事項（配筋標準図、鉄骨標準図）
3. 国土交通省大臣官房官庁営繕部制定「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）」（令和 4 年度版）」
3. 用語の定義
(a) 異形鉄筋の径（本文、図・表において「D、d」で示す。）は、呼び名に用いた数値とする。
(b) 長さ、厚さの単位は、特記なき限り mm とする。
4. 設計図中で使用する記号は、表 1. 1、表 1. 2 を標準とする。

表 1. 1 鉄筋の断面表示

記 号	●	×	⊗	○	○	⊙	⊗	⊙
異形鉄筋	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32

5. 注意事項
(a) 増設部分と既存コンクリート躯体との接合面については既存コンクリート躯体面を目荒らしとし、コンクリート打設前に十分な水湿しを行う。
(b) 壁、スラブ、階段等の配筋種別は、標仕 別図 各部配筋 (4.1) ～ (6.2) による。
(c) 目地にシーリングがある場合の最小かぶり厚さは改修標仕 (表 8.3.6) の「仕上げなし」の項による。
(d) あと施工アンカーの規定穿孔深さは、はつり出しや目荒らしの底面を基準とする。
(e) 穿孔に使用する機械は、〔○〕ハンマードリル ・コアドリル 〕とし、金属検知により電源供給が停止出来る付属装置（メタルセンサーリール）を使用する。穿孔の際に鉄筋に当たった場合は、直ちに監督職員に報告し、指示を受ける。

あと施工アンカー

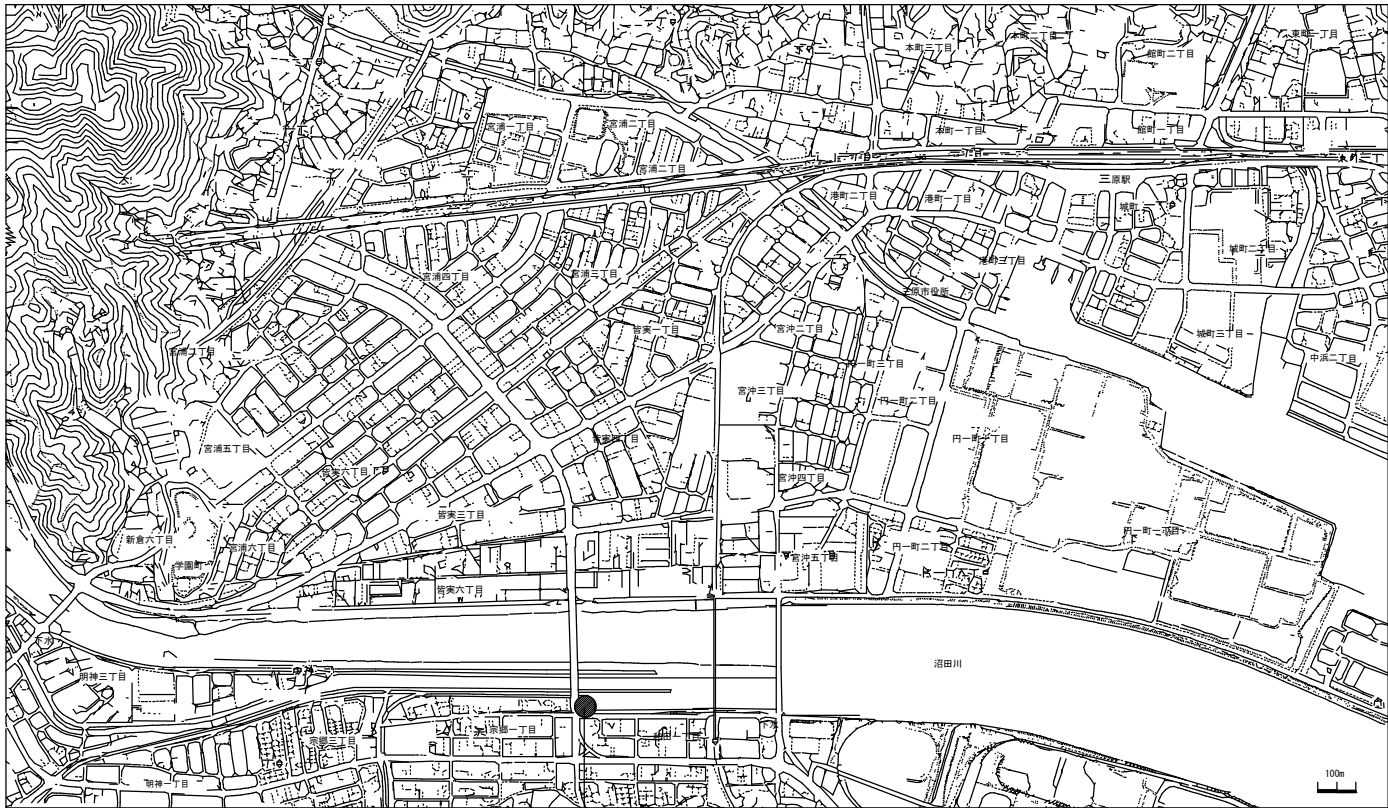
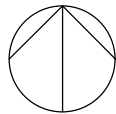
(1) 接着系アンカー
L : コンクリートの穿孔深さ Le : アンカーの有効埋め込み長さ Ln : 有効埋め込み長さ・定着長さ da : アンカー軸部の直径、アンカー筋の呼び名
※ 接着剤は、打増し部を含め、穿孔深さ全幅にすき間なく充填すること

アンカー関係共通事項	
接着系アンカーの有効埋め込み長さ	一般部 : Le ≧7da シアコネクター : Le ≧7da 開口補強筋 : Le ≧12da
接着系アンカーの有効定着長さ	一般部 : Ln ≧20da シアコネクター : Ln = 増打壁厚-かぶり厚 開口補強筋 : Ln ≧L + 50 (= 補強筋との継手長さ+余長)
アンカー筋形状	一般部 : ナット付き異形棒鋼とし、ナットからねじ山が 2 山以上でること。 シアコネクター : ナットなし ただし、フォームタイを兼用する場合は、端部にナットを付ける。 開口補強筋 : ナットなし ※既存躯体側の先端形状は 45° カットとする。

施工確認試験荷重	
アンカー筋呼び名 (da)	荷 重 (kN)

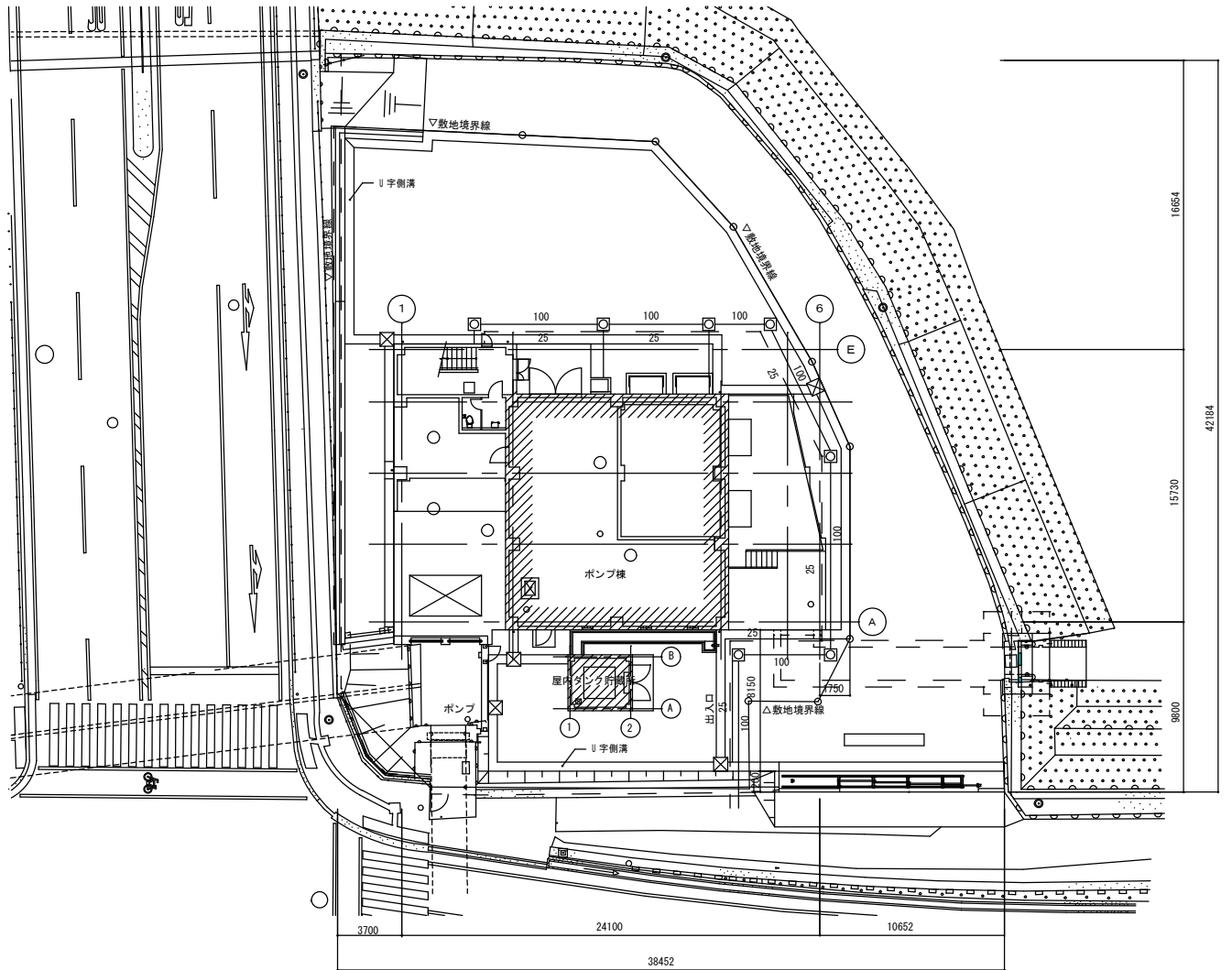
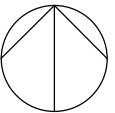
(2) あと施工アンカーの位置と間隔

三 原 市			
工 事 名	雨水排水ポンプ場耐水化工事（7-1）		
工事場所	三原市和田一丁目		
図面番号	A-5	縮尺	-
図面名： 建築改修工事特記仕様書（ 5 ）			



宗郷雨水排水ポンプ場

案内図 1/10000



配置図 1/200

凡 例



改修後は詳細図参照



対象施設



汚水樹



集水樹



埋設給水管



改修前詳細番号を示す



改修箇所を示す



T P 標高を示す

工 事 名	雨水排水ポンプ場耐水化工事 (7-1)		
工事場所	三原市 和田一丁目		
図面番号	A-6	縮尺	S=1/10000, 200
図面名：	案内図・配置図		
三 原 市			

[illegible][illegible]

特記なき限り																			
仕 上 材 料 の 厚 さ	材 料 名	種 別	壁 (㎡)	天井 (㎡)	備 考	材 料 名	種 別	壁 (㎡)	天井 (㎡)	備 考	工 事 区 分 略 号	< > C	:	土木工事	改 修 内 容 凡 例	改 修 前		改 修 後	
	GB-R	仕上	12.5	12.5	NM-8619	けい酸カルシウム板 (タイプ2)		12	6	NM-8578		< > AM	:	建築機械設備工事		A: 仕上撤去	a: 仕上新設		
		下地	12.5			押出法ポリスチレン フォーム保温材 (P板)		38	38			< > AE	:	建築電気設備工事		B: 図示の仕上撤去	b: 図示の仕上新設		
	GB-NC (N)	下地		9.5	NM-8613 又は同等	壁紙						< > PM	:	プラント機械設備工事		C: 下地共撤去	c: 下地共新設		
	GB-NC (NT)			9.5								< > PE	:	プラント電気設備工事		D: 図示の下地共撤去	d: 図示の下地共新設		
	GB-D (W)			12.5	NM-8614											E: 図示の下地調整	e: 図示の塗装塗り替え		
	DR				12	NM-8599										F: 既存のまま	f: 既存のまま		
										※) 特記なきは改修前に同じ									

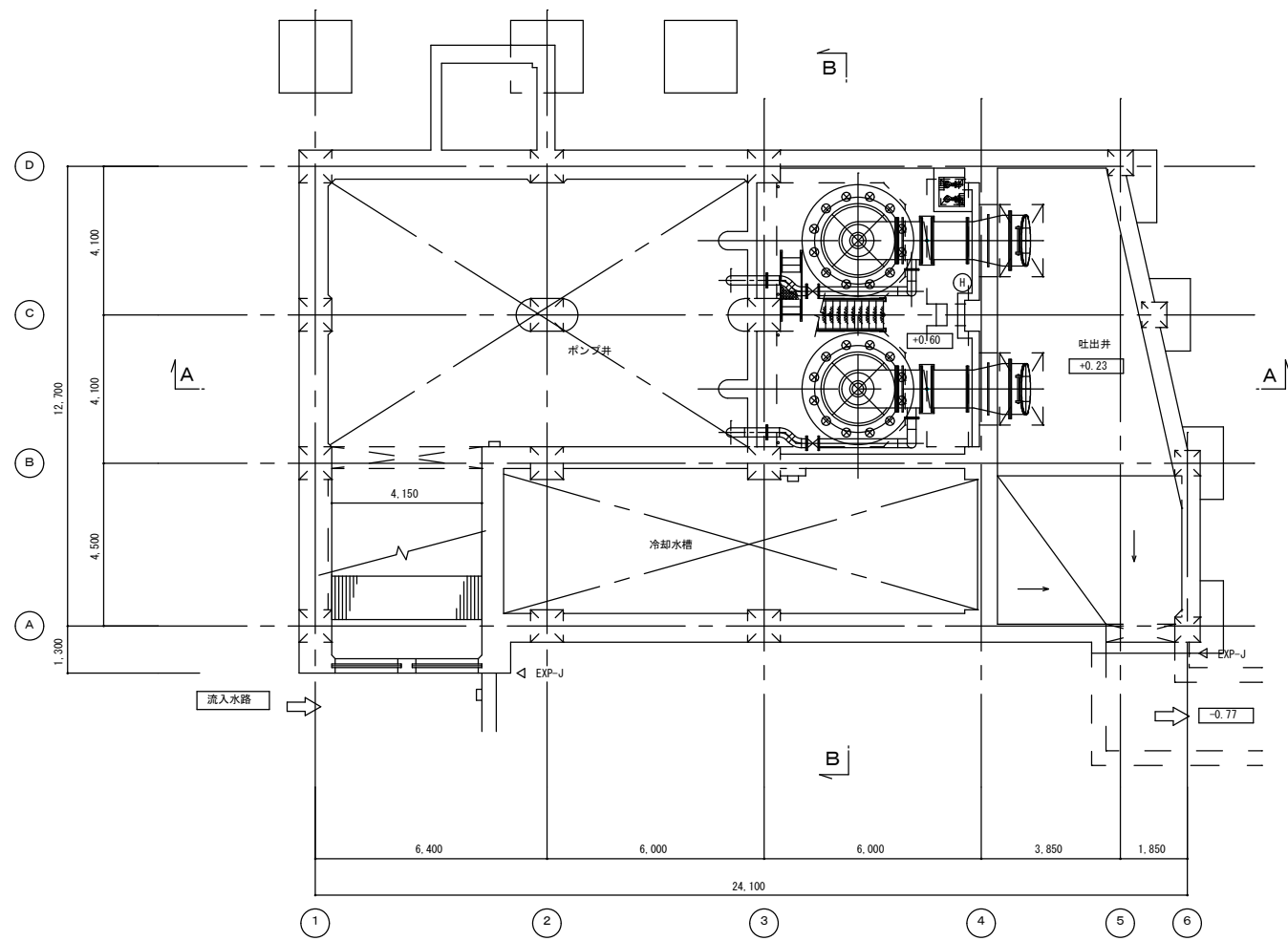
三 原 市

図面名: 仕上表 (1)

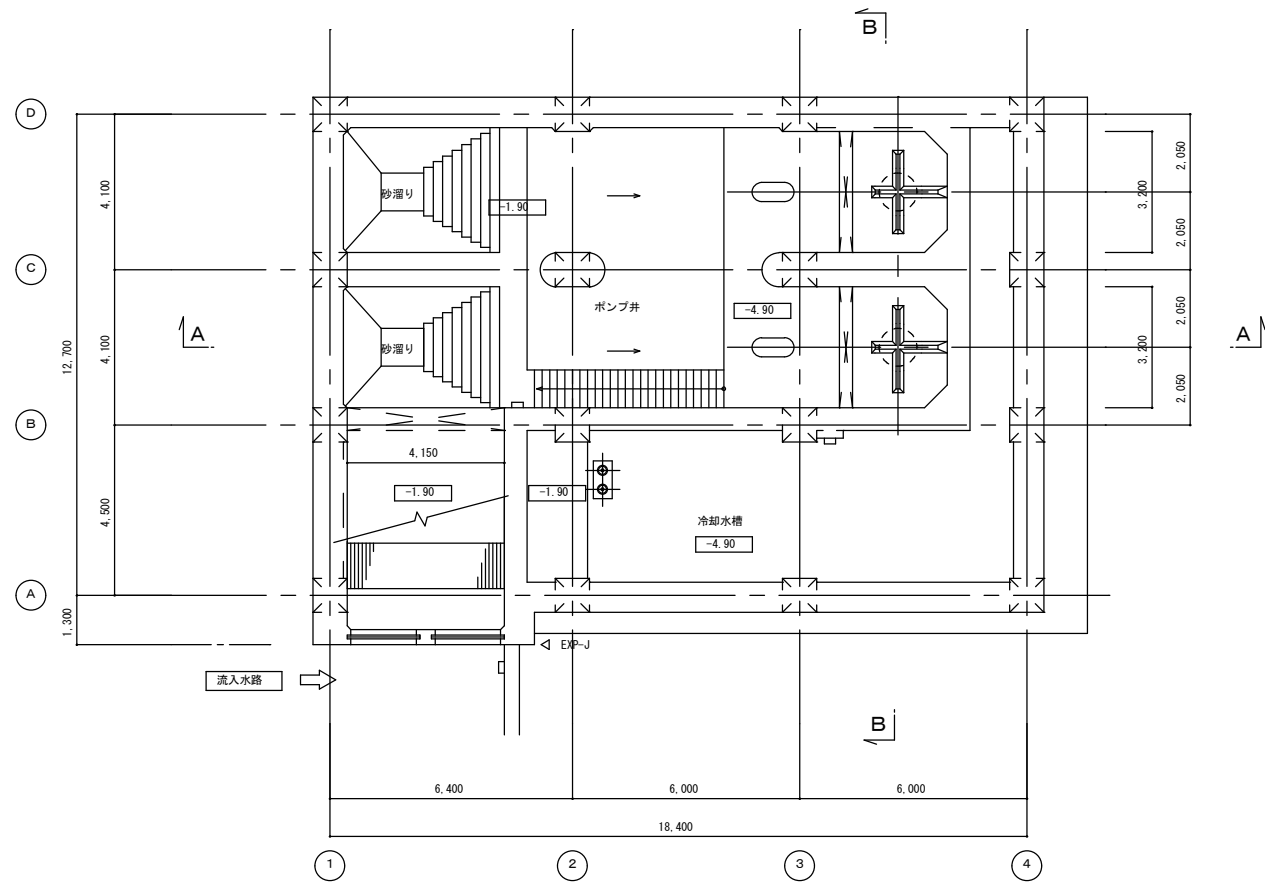
図面番号A-7縮尺-

工事場所三原市 和田一丁目

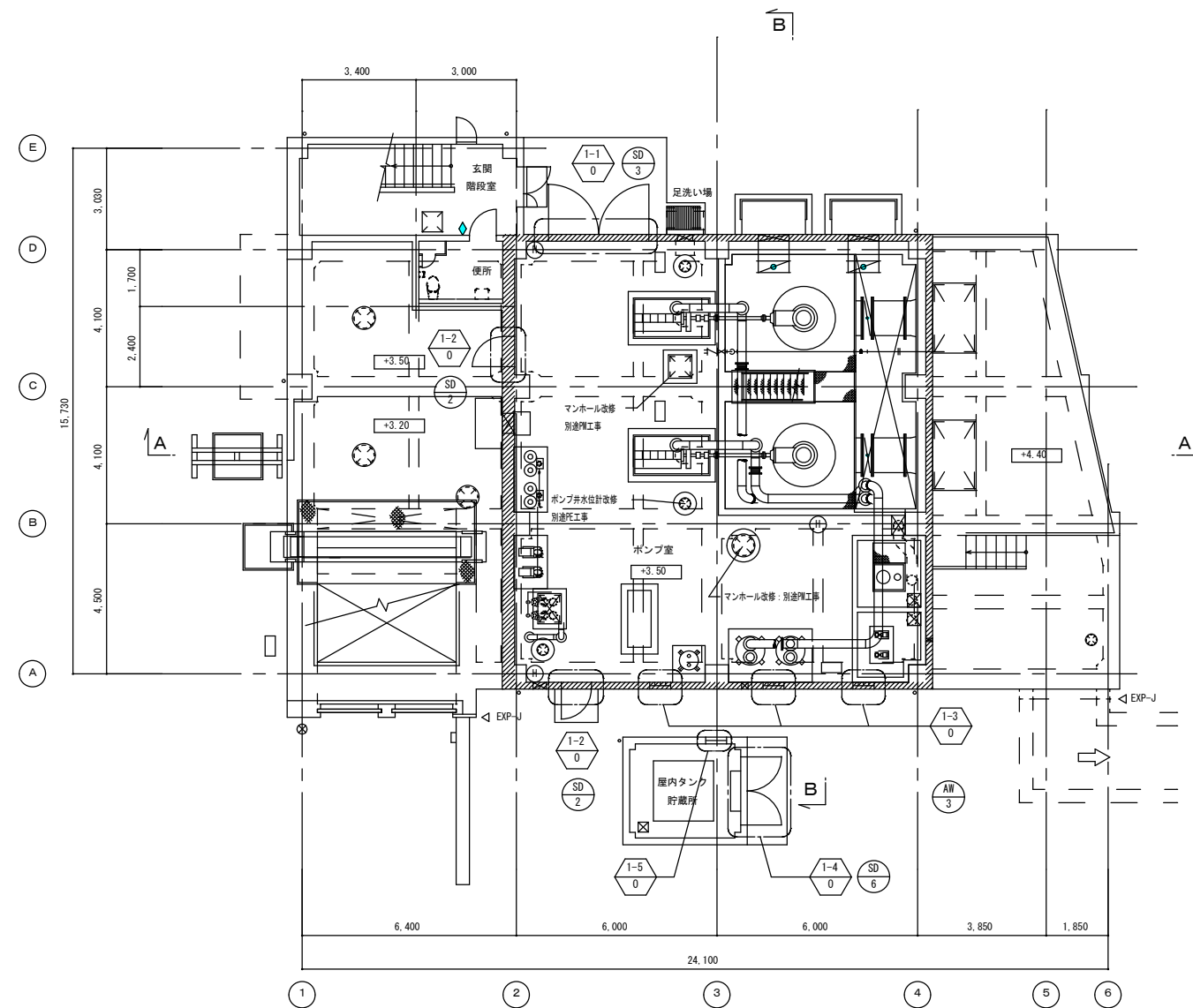
工 事 名雨水排水ポンプ場耐水化工事 (7-1)



地下1階平面図 1/100



ポンプ井平面図 1/100



1階平面図 1/100

浸水対策重点範囲

凡 例

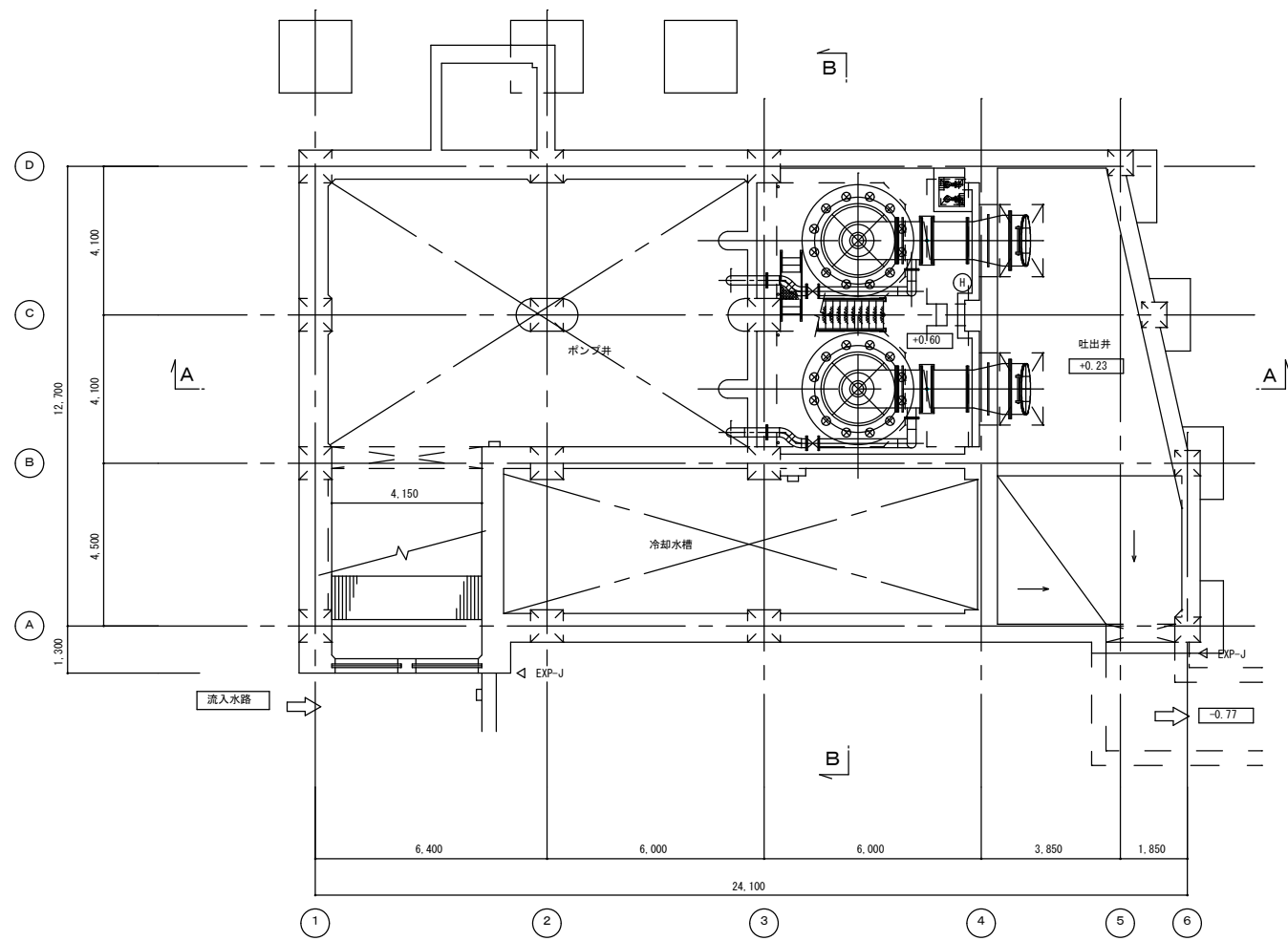


改修前詳細番号を示す

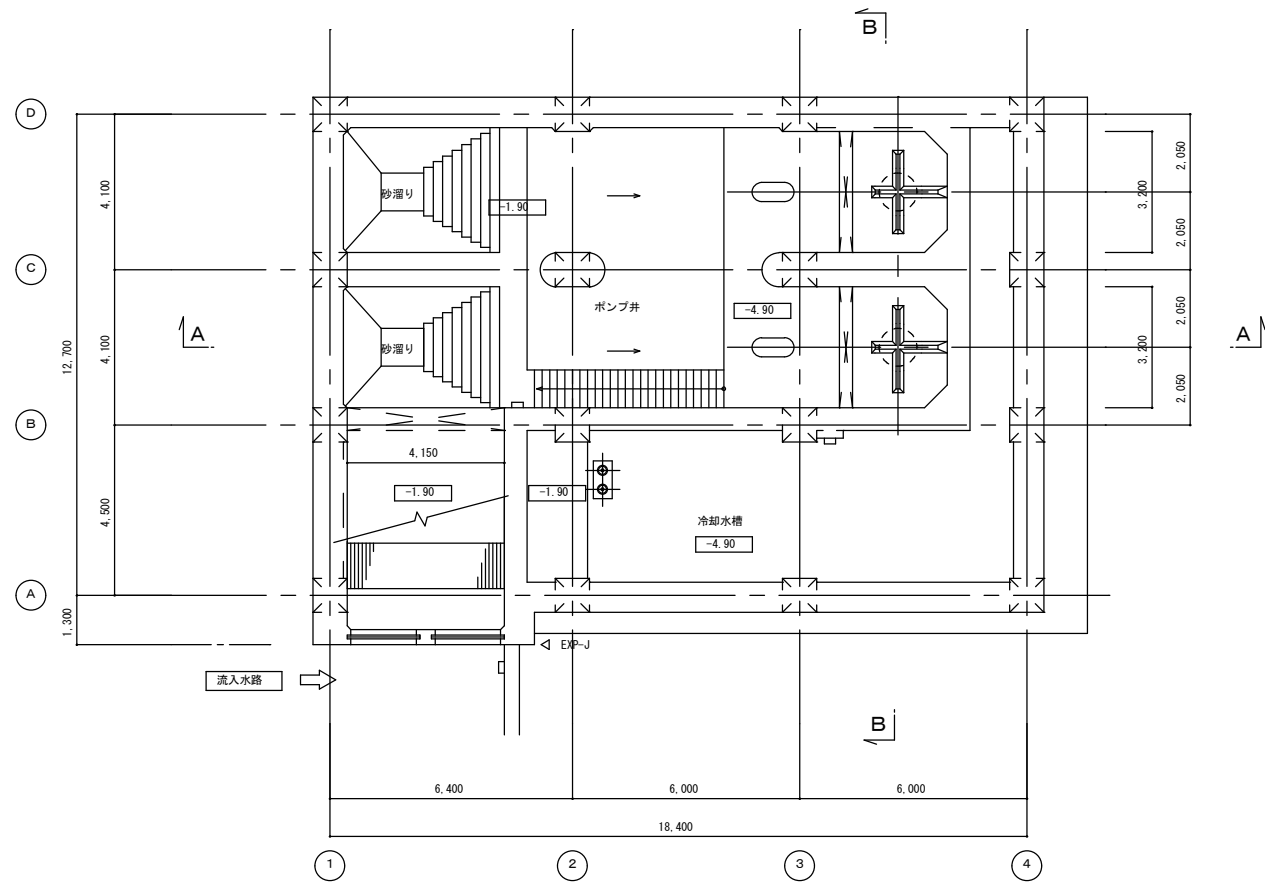


改修箇所を示す

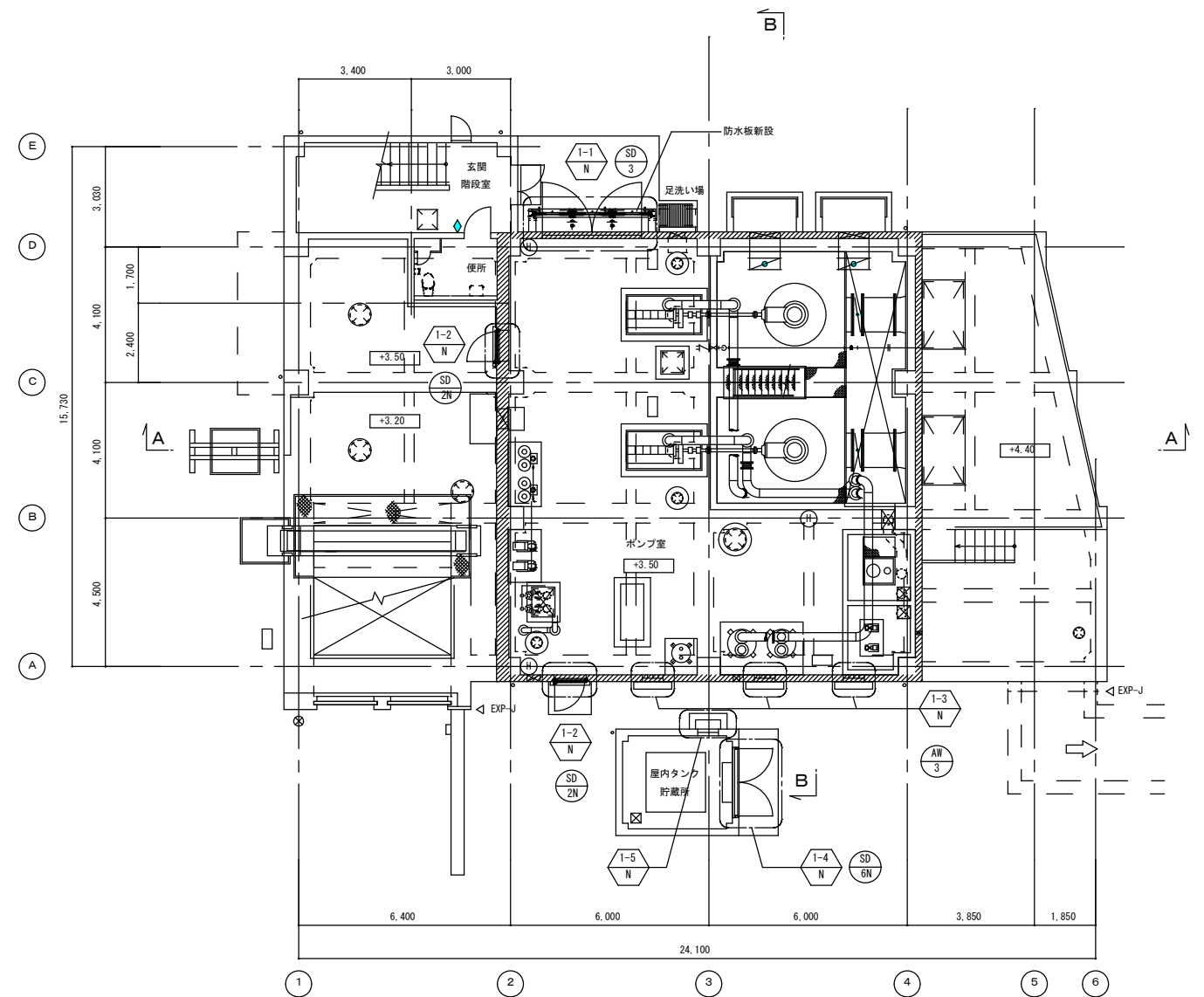
工 事 名	雨水排水ポンプ場耐水化工事（7-1）		
工事場所	三原市 和田一丁目		
図面番号	A-9	縮尺	S=1/100
図面名： 平面図（改修前）			
三 原 市			



地下1階平面図 1/100



ポンプ井平面図 1/100



1階平面図 1/100

凡 例

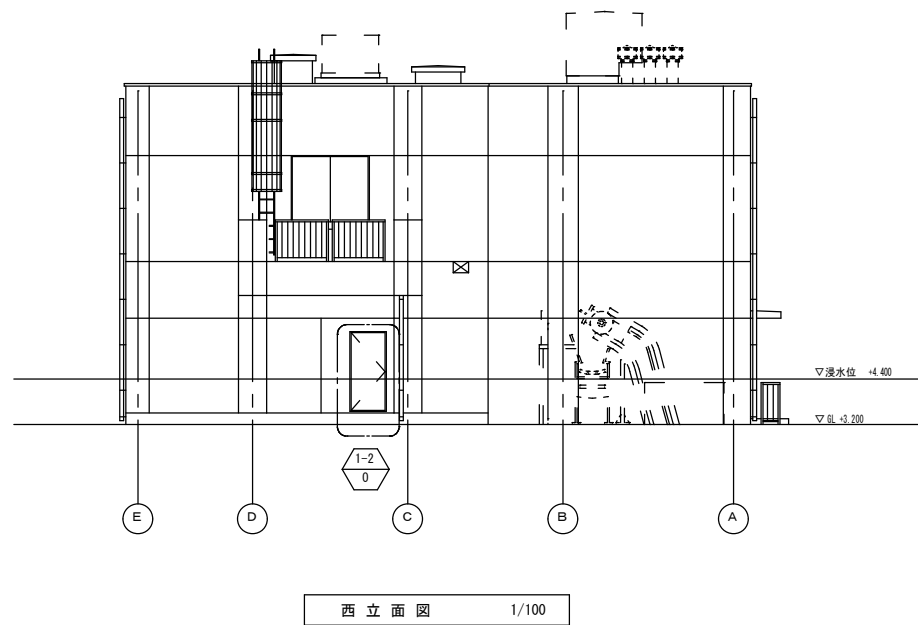
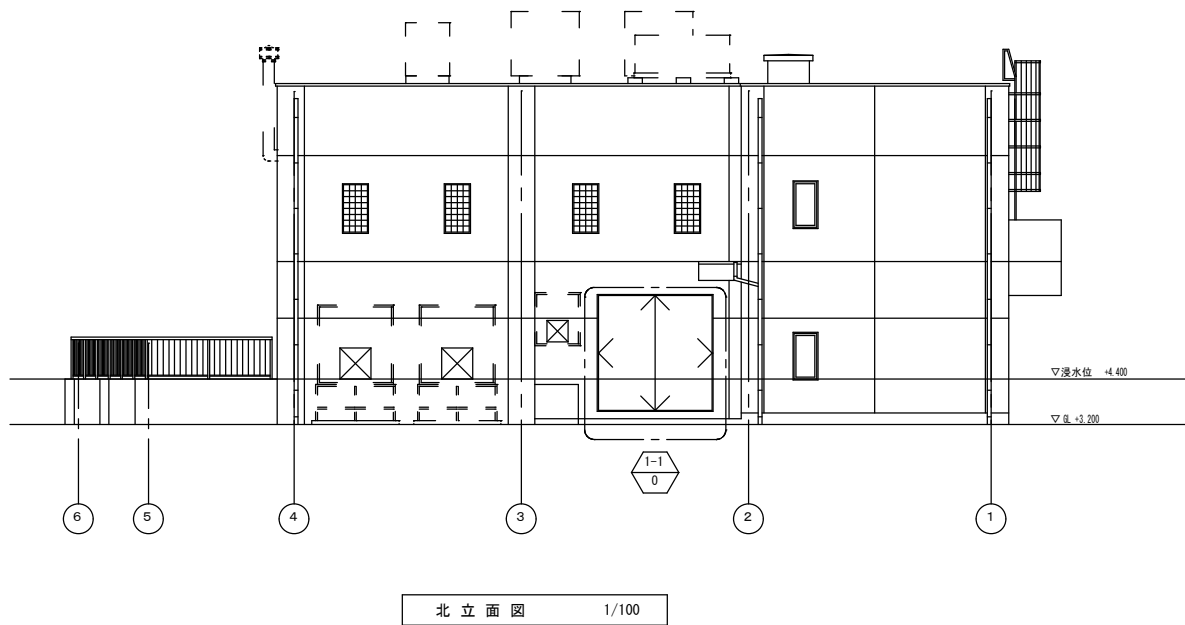
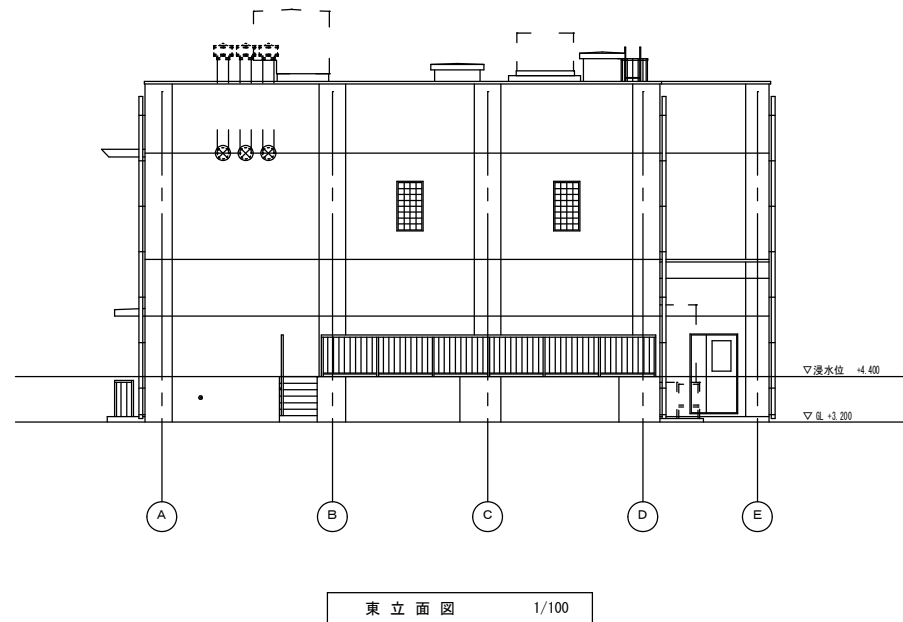
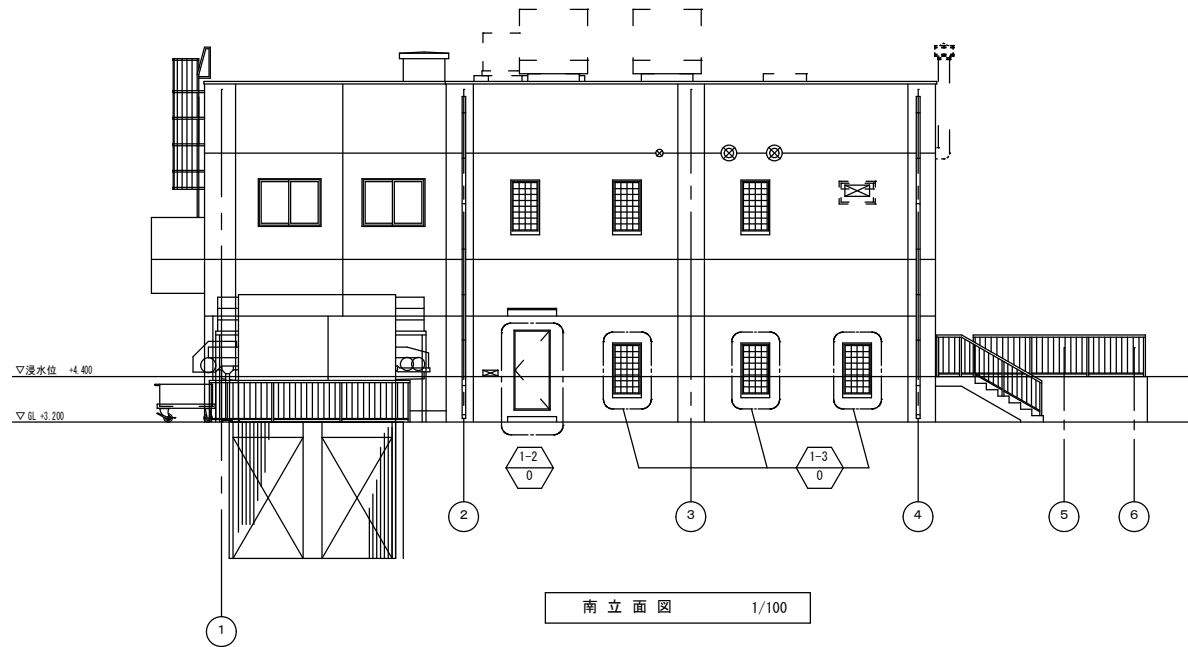
1-2
N

改修後詳細番号を示す

改修箇所を示す

浸水対策重点範囲

工 事 名	雨水排水ポンプ場耐水化工事 (7-1)		
工事場所	三原市 和田一丁目		
図面番号	A-10	縮尺	S=1/100
図面名： 平面図 (改修後)			
三 原 市			



凡 例

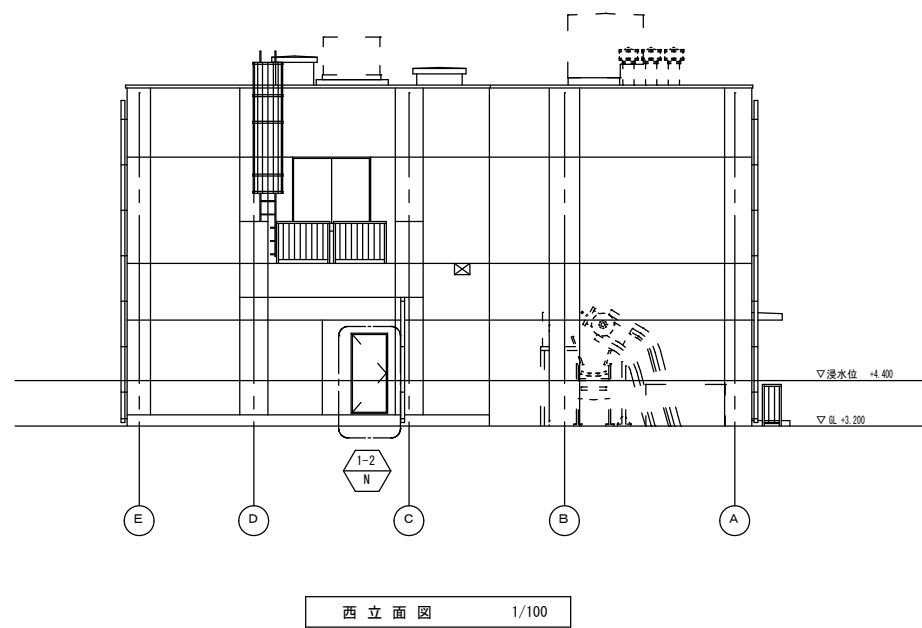
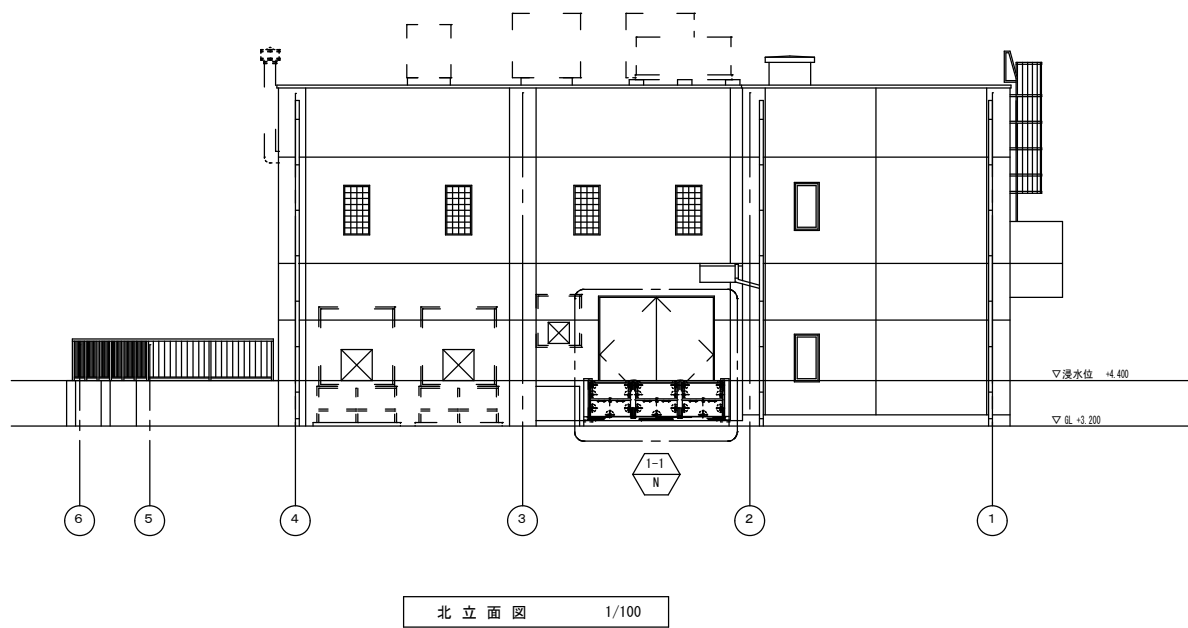
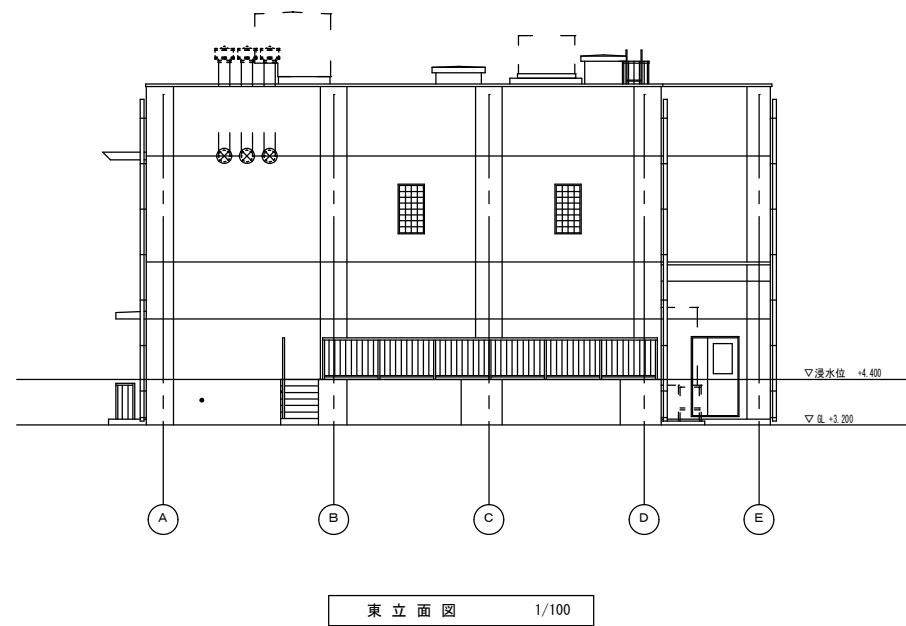
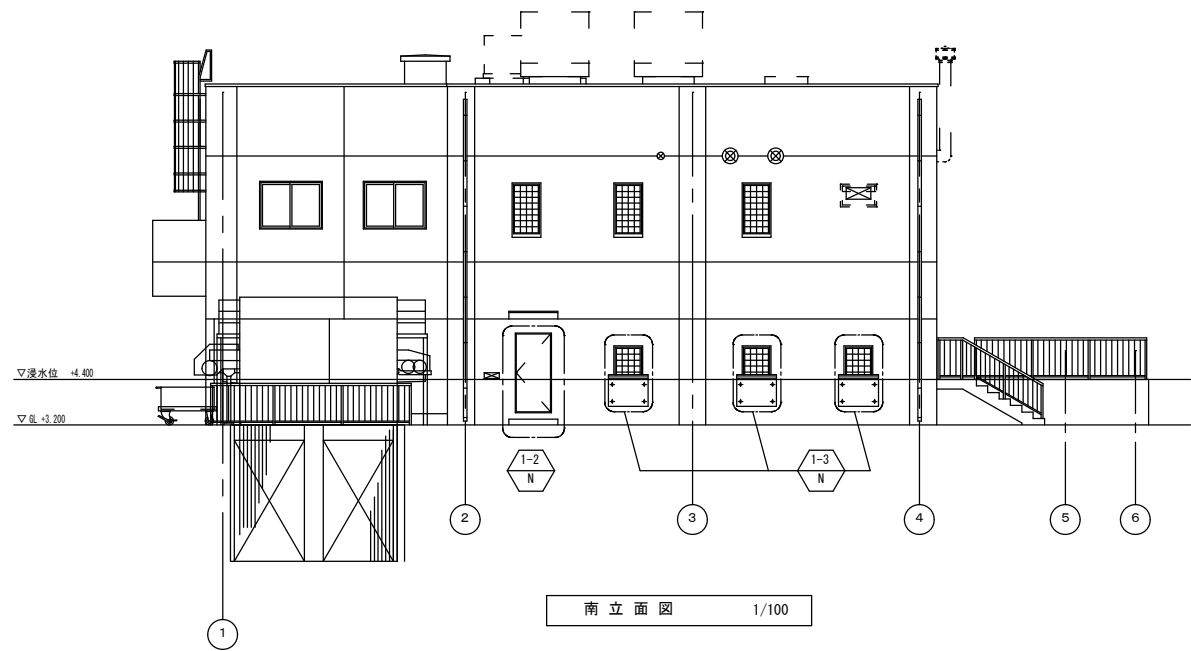


改修前詳細番号を示す



改修箇所を示す

工 事 名	雨水排水ポンプ場耐水化工事（7-1）		
工事場所	三原市 和田一丁目		
図面番号	A-11	縮尺	S=1/100
図面名：		立面図（改修前）	
三 原 市			



凡 例

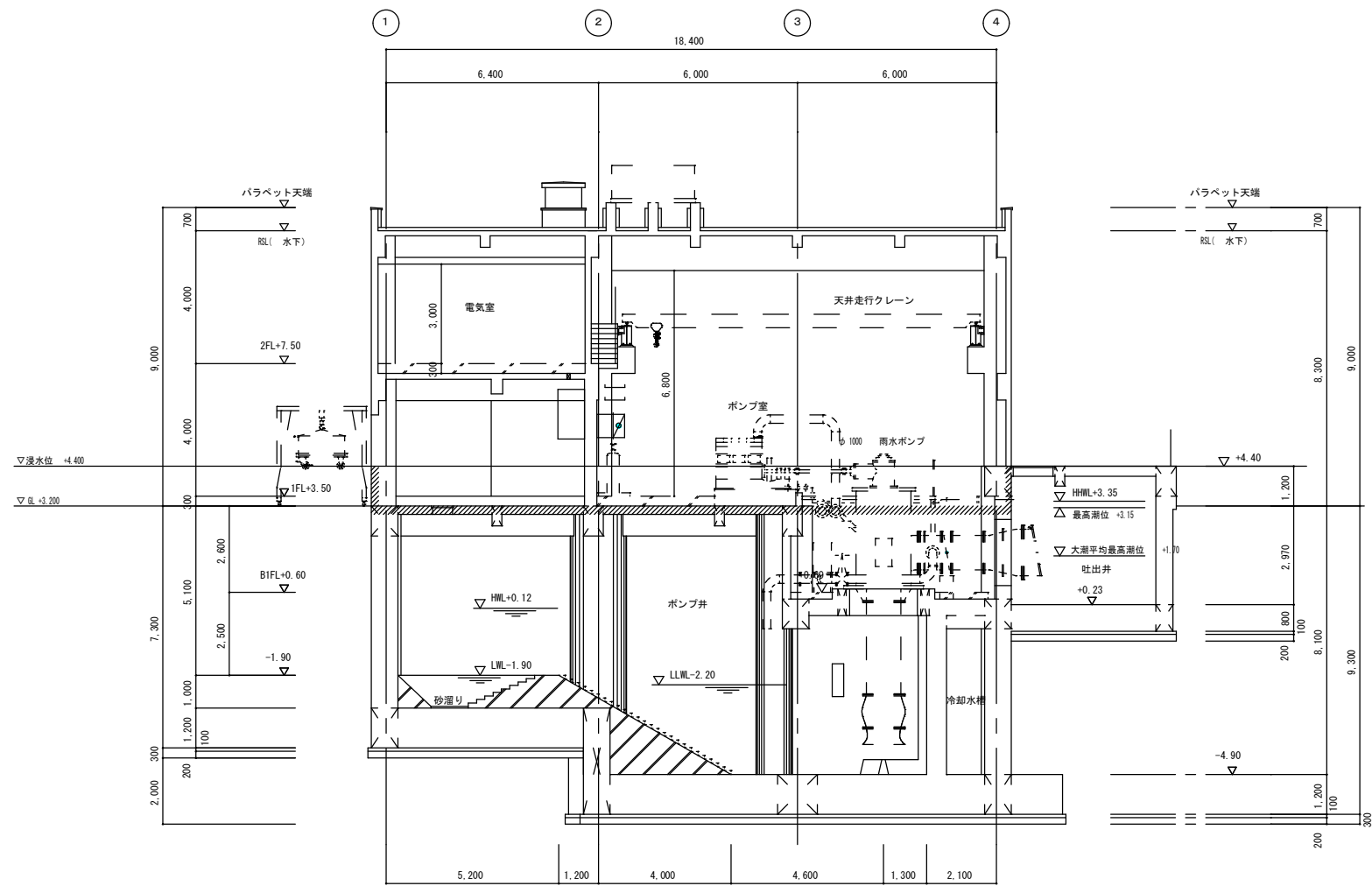


改修後詳細番号を示す

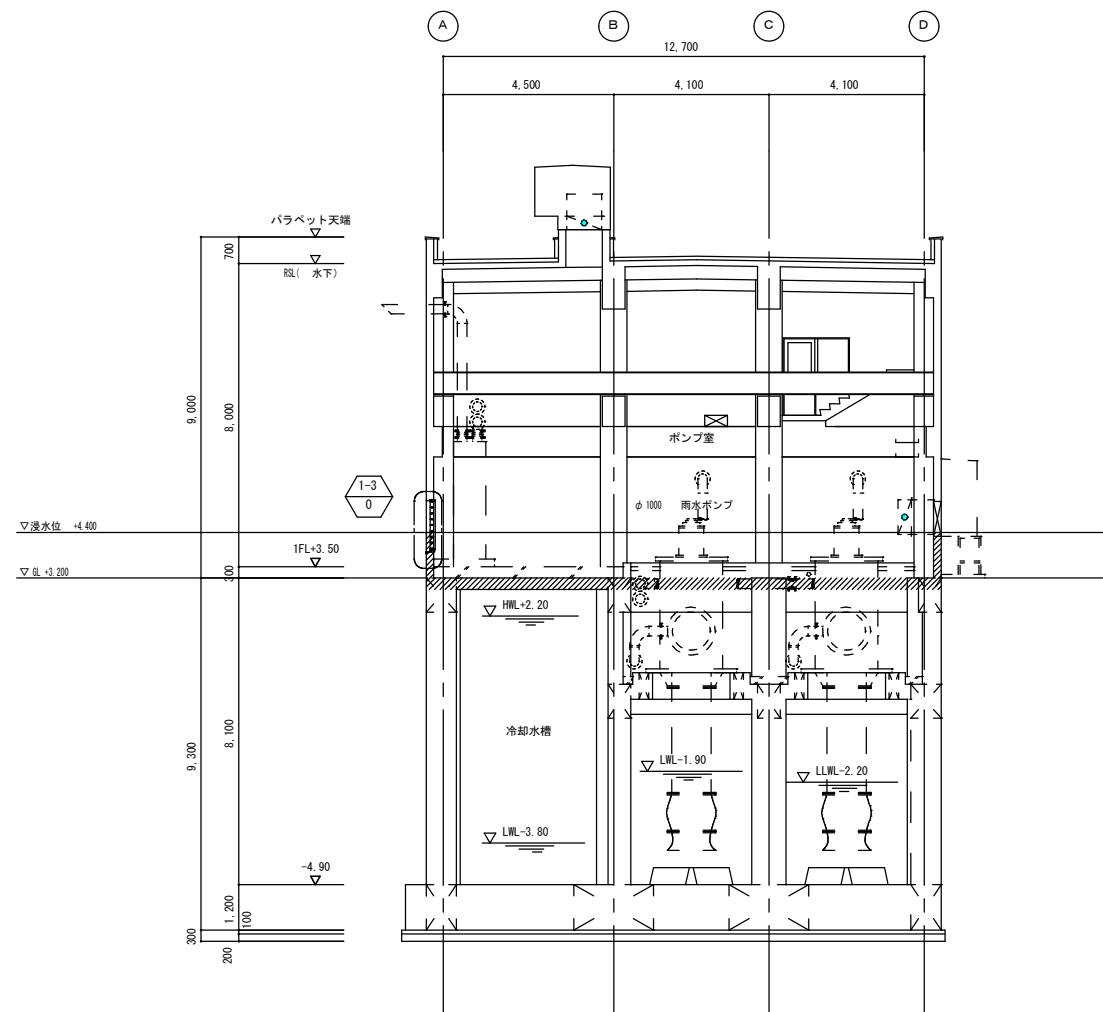


改修箇所を示す

工 事 名	雨水排水ポンプ場耐水化工事 (7-1)		
工事場所	三原市 和田一丁目		
図面番号	A-12	縮尺	S=1/100
図面名：		立面図 (改修後)	
三 原 市			



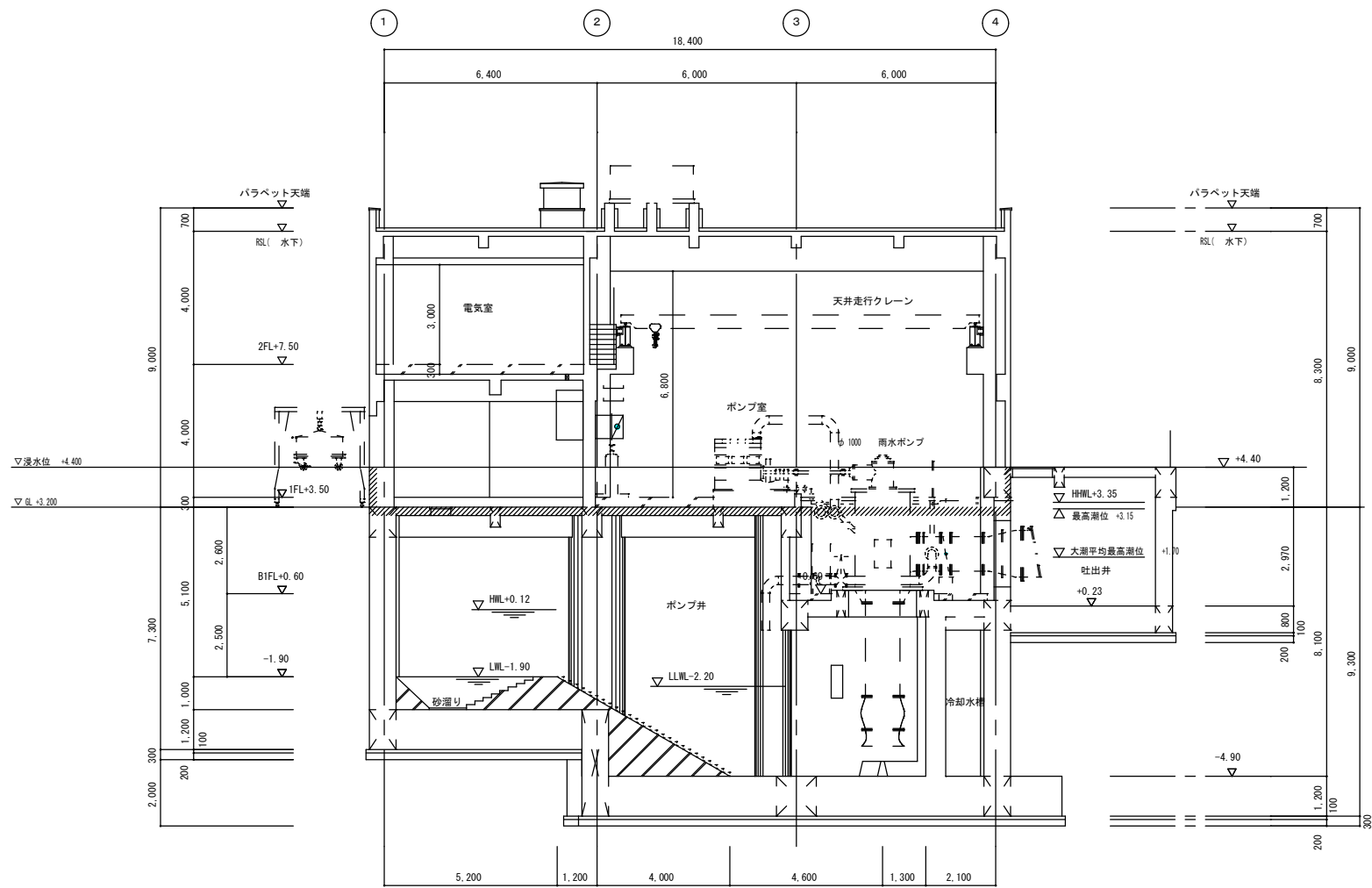
A-A断面図 1/100



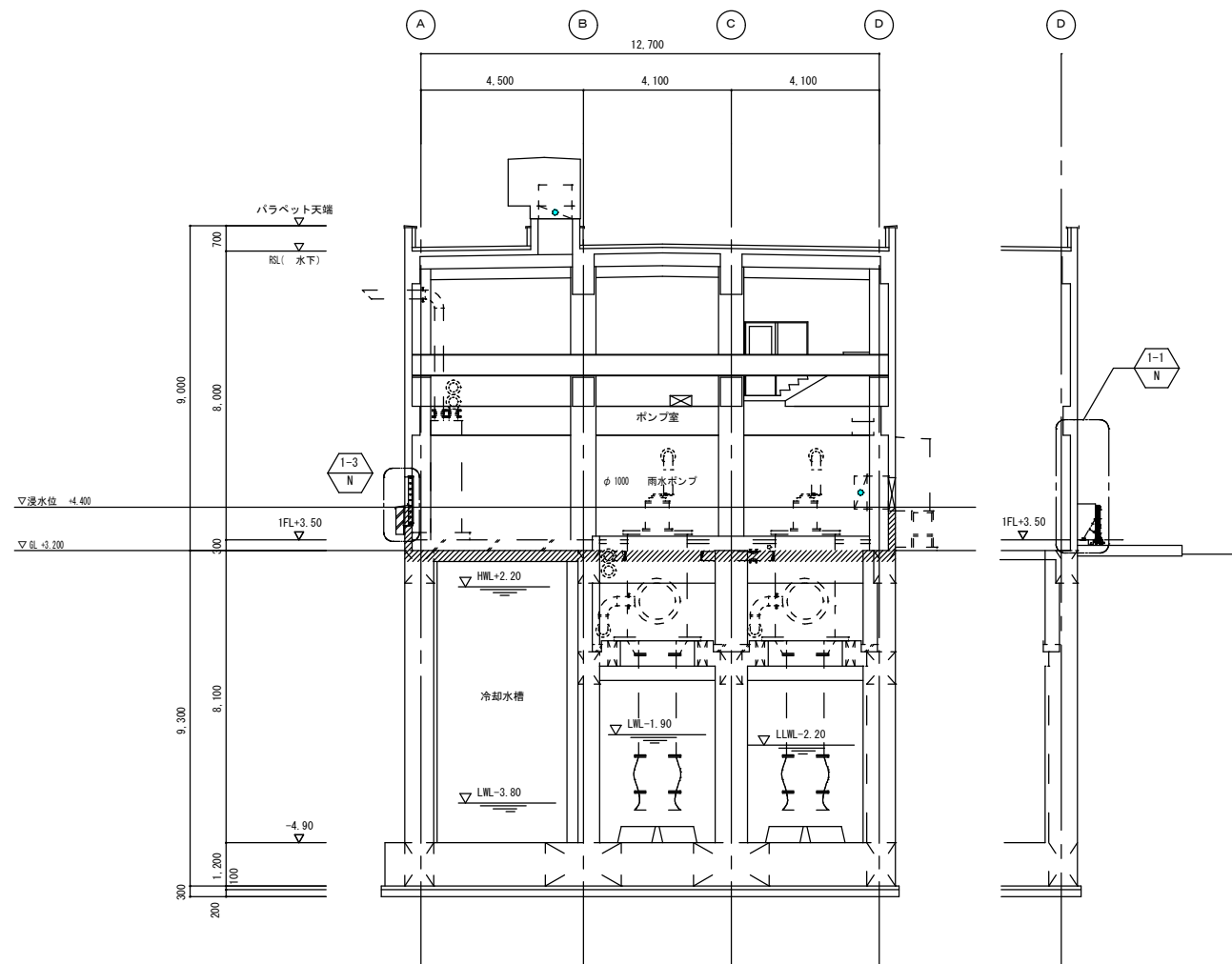
B-B断面図 1/100

- 凡 例
-  浸水対策重点範囲
-  改修前詳細番号を示す
-  改修箇所を示す

工 事 名		雨水排水ポンプ場耐水化工事 (7-1)	
工事場所		三原市 和田一丁目	
図面番号		A-13	縮尺 S=1/100
図面名：		断面図（改修前）	
三		原 市	



A-A断面図 1/100



B-B断面図 1/100

浸水対策重点範囲

凡 例

1-2
N

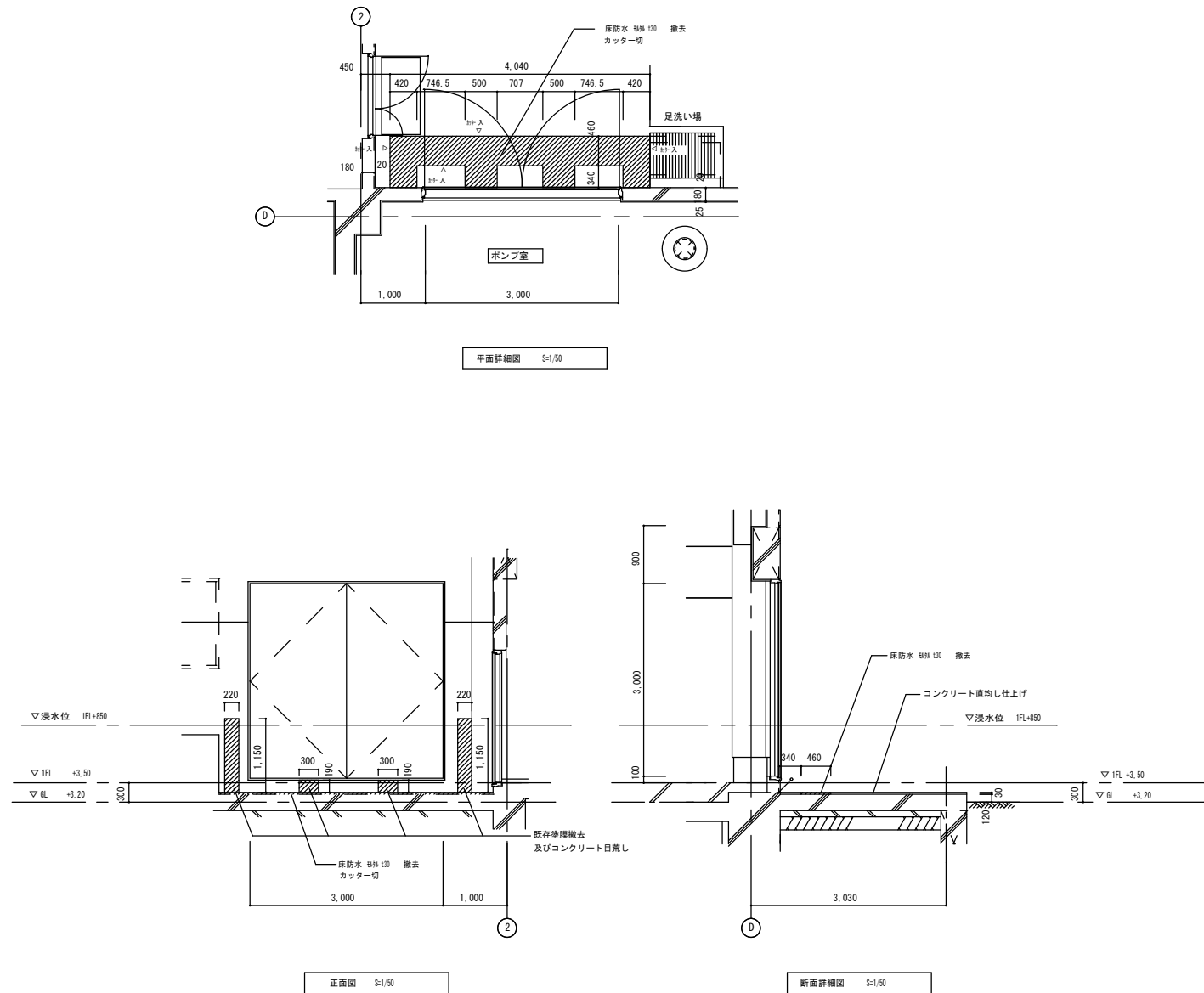
改修箇所を示す

改修後詳細番号を示す

改修箇所を示す

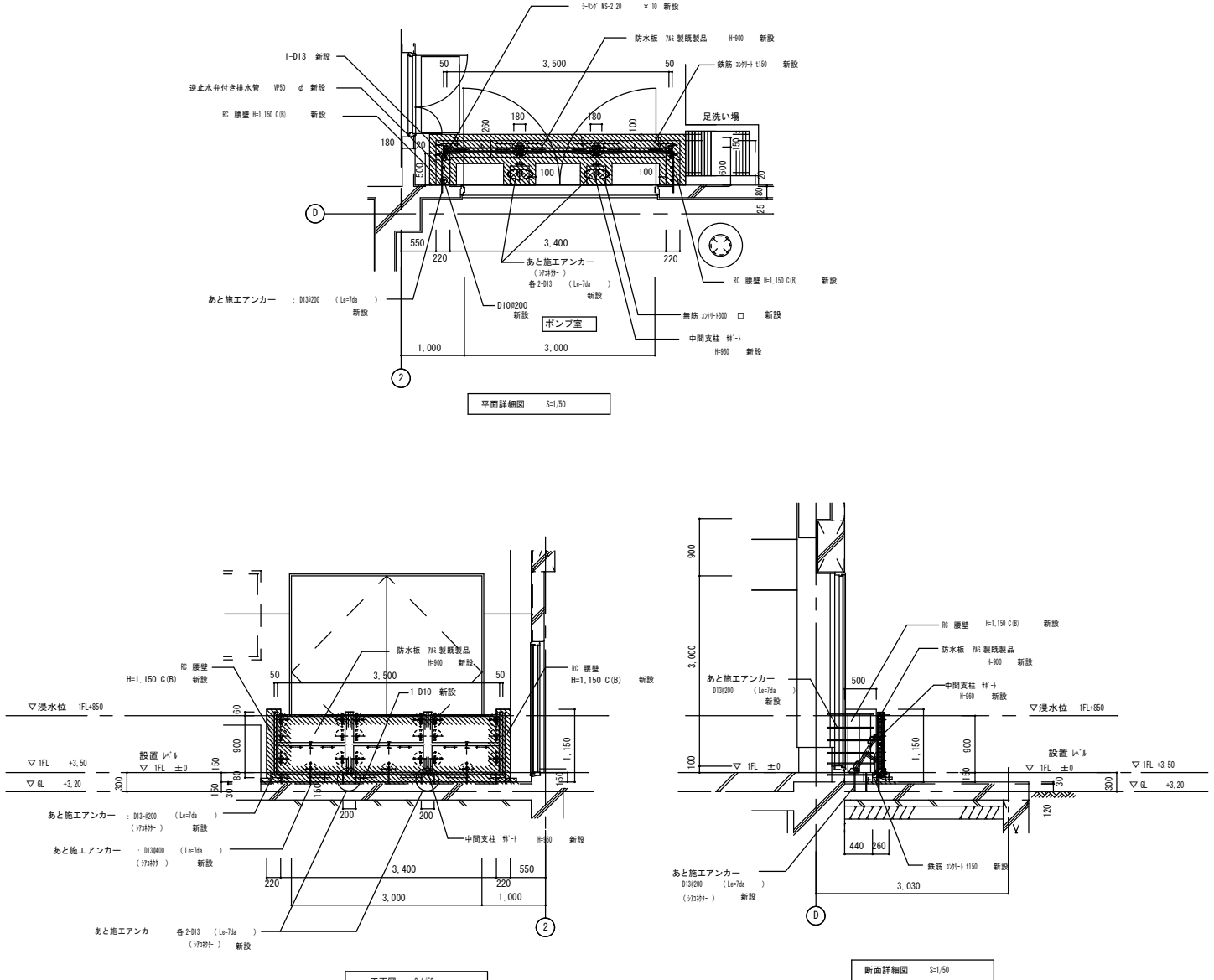
工 事 名		宗郷雨水排水ポンプ場耐水化改修工事	
工事場所		三原市 和田一丁目	
図面番号	A-14	縮尺	S=1/100
図面名：断面図（改修後）			
三 原 市			

改修前



凡 例
撤去範囲を示す
シーリング撤去位置

改修後



名 称	仕 様
型式	脱着式防水板（常設）
防水高・幅	図示
水深係数（耐津波）	2
津波波圧	2 m 相応
締付方式	締付ハンドルによる締付
漏水量	0.02 m ³ / t m ² （工場出荷時）
防水板	アルミ製、アルマイト処理
補強材	中支柱、斜材 2 セット SUS304 HL
枠	SUS304 HL
付属品	締めバー（ SUS304 HL ） 他一式
排水管	SIS 25A エルボ 1 本

凡 例
改修範囲を示す
シーリング新設位置

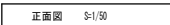
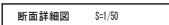
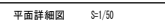
- 共通事項
- ・打継面となる範囲の既存構造物コンクリート面については、目荒しを行うこと

・新設する建具廻り等は防水モルタルを充填の上、シーリング施工とする。

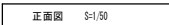
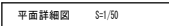
・建具等撤去部周囲は、コンクリート面にカッター入れを行う

・納まり・大きさ等は現場にて着工後再度計測を行い、現場監督員と検計・協議の上決定すること

工 事 名	雨水排水ポンプ場耐水化工事（7-1）		
工事場所	三原市 和田一丁目		
図面番号	A-15	縮尺	S=1/50
図面名：	改修詳細図（ 1 ）		
三 原 市			



改修後



凡 例

	改修範囲を示す
	シーリング新設位置

工 事 名	雨水排水ポンプ場耐水化工事（7-1）		
工事場所	三原市 和田一丁目		
図面番号	A-16	縮尺	S=1/50
図面名： 改修詳細図（ 2 ）			
三 原 市			



凡 係

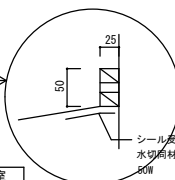
共通事項
・打継面となる範囲の既存構造物コンクリート面については、目視を行うこと
・建具等撤去部周囲は、コンクリート面にカッター入れを行う
・納まり・大きさ等は現場にて着工後再度計測を行い、現場監督員と検討・協議の上決定すること

・新設する建具廻り等は防水モルタルを充填の上、シーリング施工とする。

外部 ポンプ室 アルミガラスブロック窓周り 改修後



※) 水切銅板
両面塗装5.5%アルミニウム 亜鉛合金メッキ銅板
JIS G 3322 (2019)
ポリエステル樹脂塗装 (外壁同色)

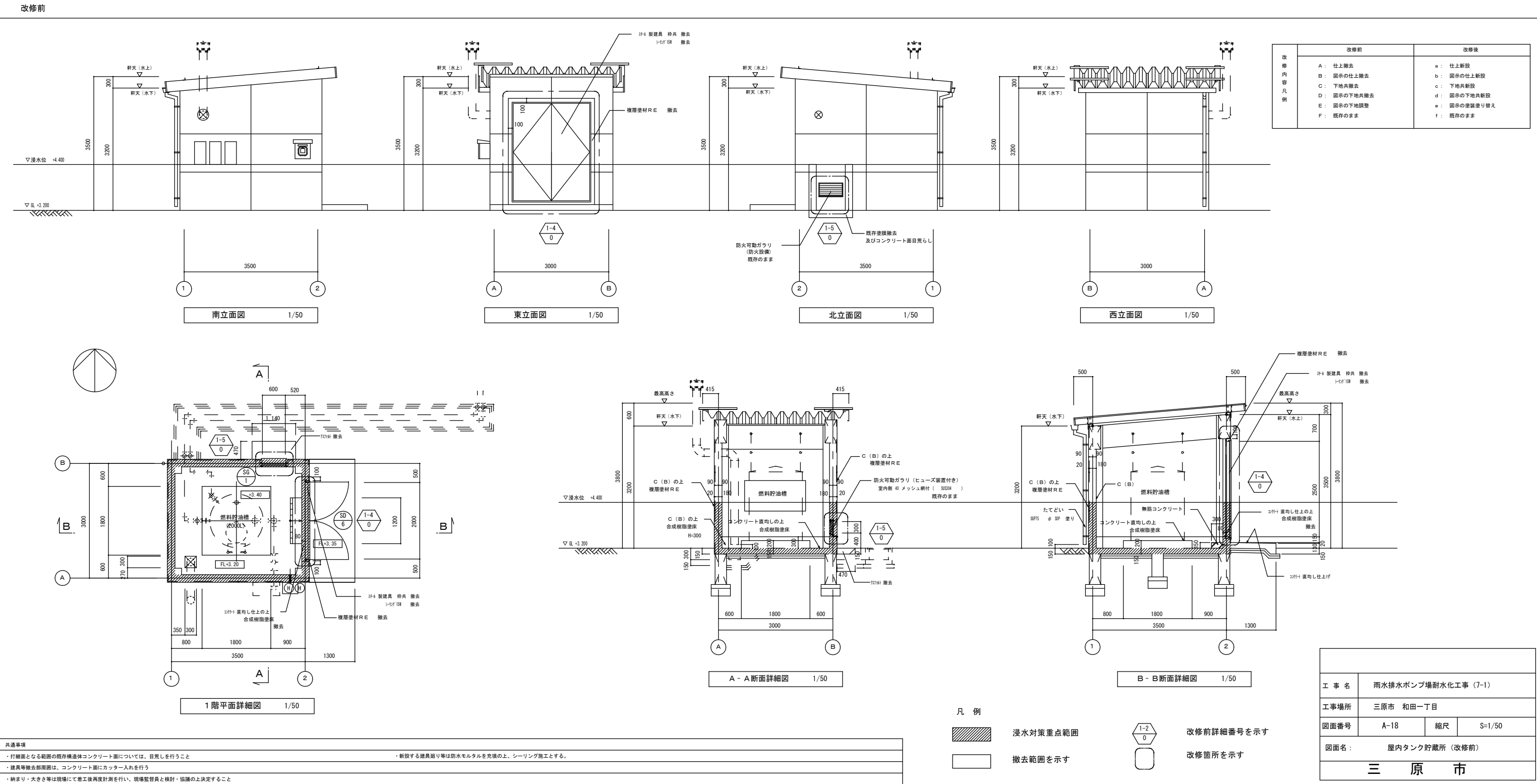


※ 防水板は外壁同色塗装とする
(複層塗材 既)

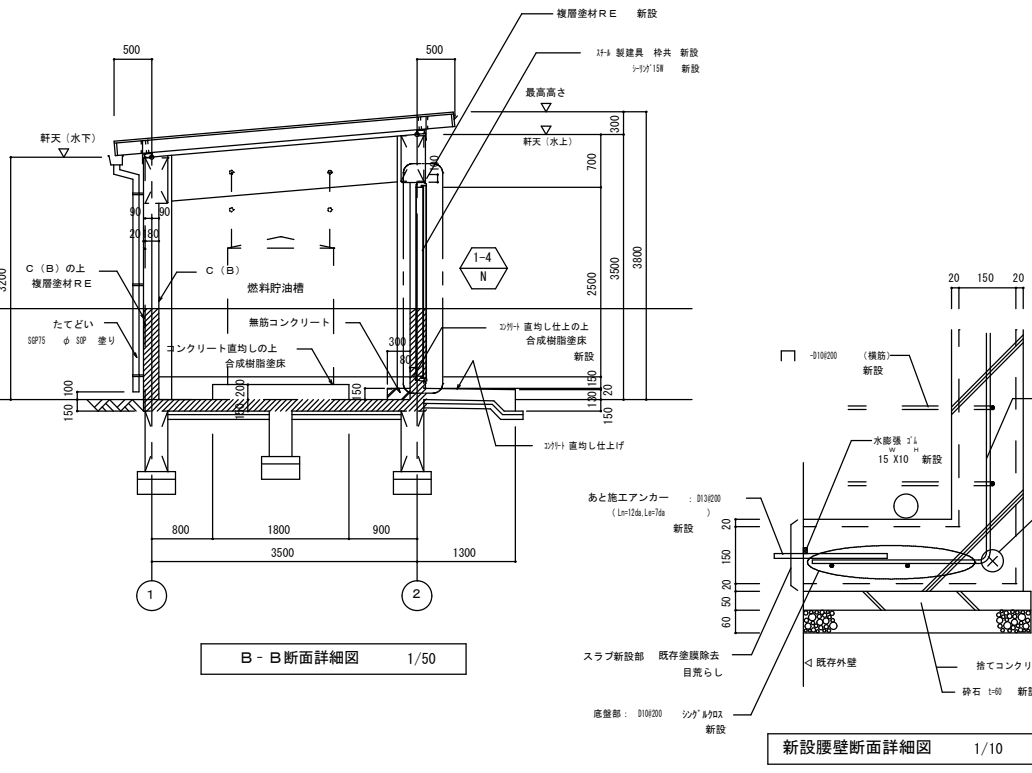
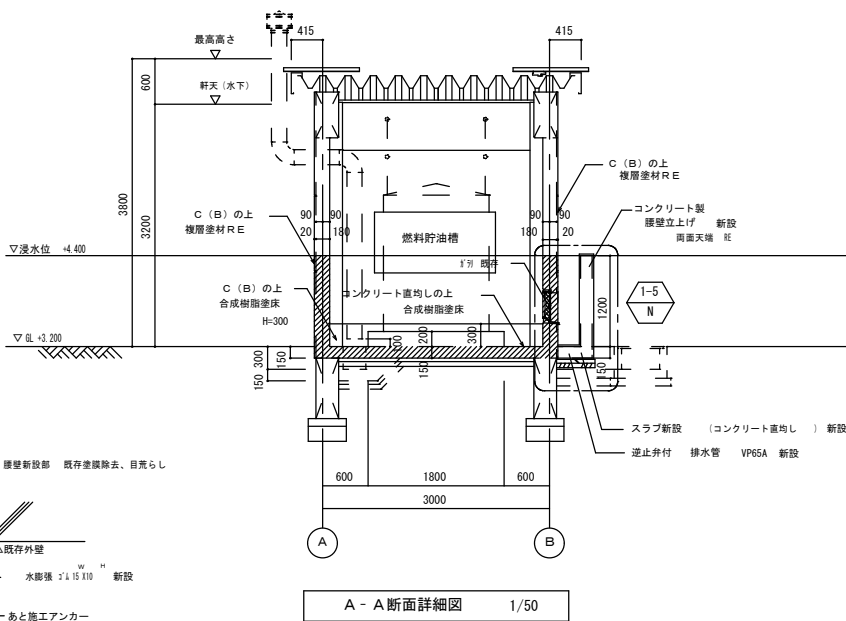
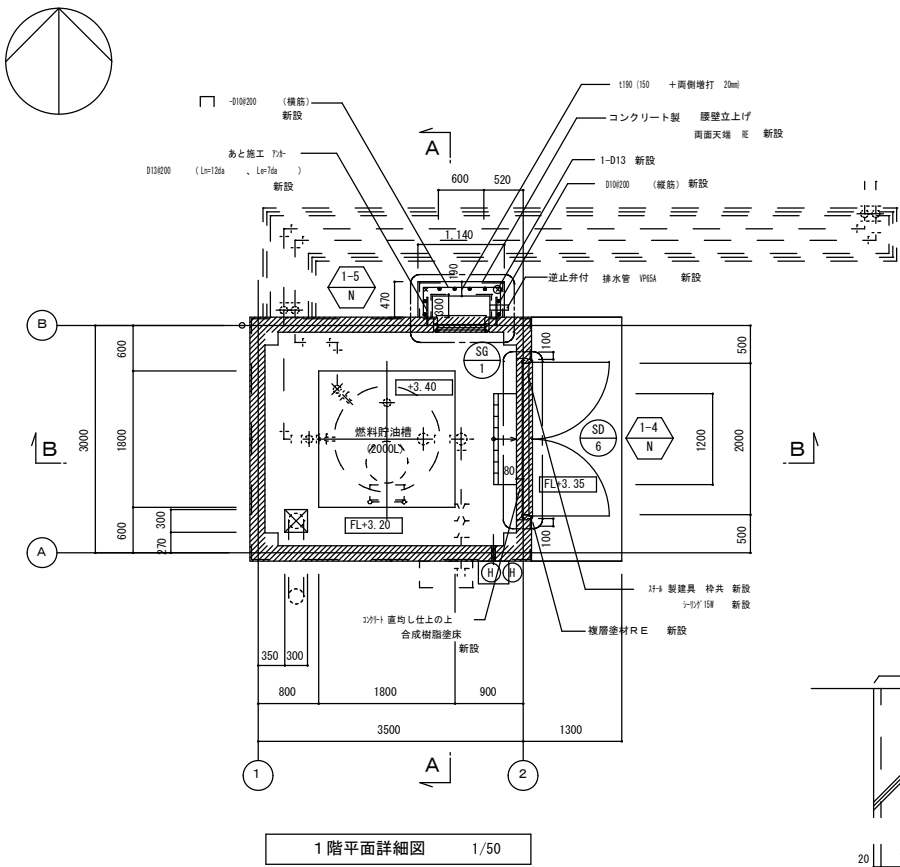
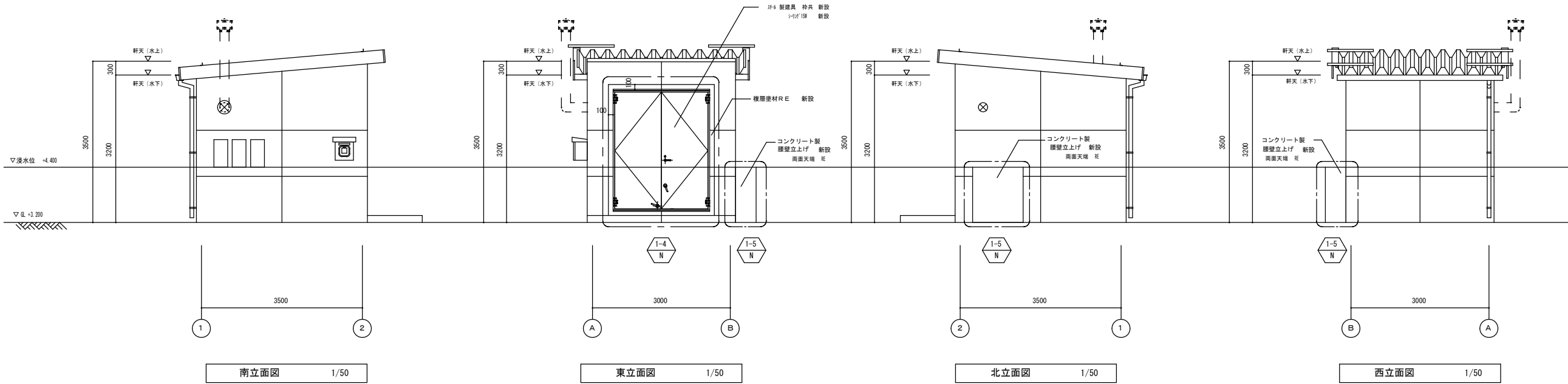
三 原 市

外部仕上表（上段－改修前　下段－改修後）																																
	床				腰　壁				外　壁				屋　根								ひさし										備　考	
													下地・防水層				押え・仕上				上　端				は　な				軒　天			
	下地	仕　上	詳細番号	改修内容	下地	仕　上	詳細番号	改修内容	下地	仕　上	詳細番号	改修内容	下地	仕　上	詳細番号	改修内容	下地	仕　上	詳細番号	改修内容	下地	仕　上	詳細番号	改修内容	下地	仕　上	詳細番号	改修内容		改修内容		
改修前	C	20F+ 直均し仕上		A					C	C⑧ の上複層塗材（RE）		A	C				S	折板葺き （塗装清融 55 %78:2% - 亜鉛合金めっき鋼板） CGLCCR-20-AZ150 山高＝ 165　厚さ　0.8			F	折板葺き （塗装清融 55 %78:2% - 亜鉛合金めっき鋼板） CGLCCR-20-AZ150 山高＝ 165　厚さ　0.8			F				F	たてどい 30P100　φ（30P 塗り）　（250A 色金物） 塩ビ製軒どい　H=150 少量危険物取扱所（A重油2000L）	F F	
改修後	C	20F+ 直均し仕上		a					C	C⑧ の上複層塗材（RE）		a																				

内部仕上表（上段－改修前　下段－改修後）																																
階	室　名		床				幅　木					腰　壁					壁								天　井					備　考		
			下地	仕　上	詳細番号	改修内容	下地	仕　上	高さ	詳細番号	改修内容	下地	仕　上	高さ	詳細番号	改修内容	下地	仕　上	詳細番号	改修内容	柱型仕上	詳細番号	改修内容	下地	仕　上	詳細番号	改修内容	梁型仕上	天井高			改修内容
1階	油　庫	改修前	C	20F+ 直均し仕上の上 合成樹脂塗床	1-01-3	B	C	20F+ 打放し（B）の上 合成樹脂塗床	300	2-02-8	F				C	C(B)		2-02-8	F	C(B)		2-02-8	F	C	折板用不燃断熱材　厚4		F	C(B)	直天	F	防液堤 タンク基礎	F F
		改修後	C	20F+ 直均し仕上の上 合成樹脂塗床	1-01-3	b																										



共通事項	
・打継面となる範囲の既存構造物コンクリート面については、目荒しを行うこと	・新設する建具廻り等は防水モルタルを充填の上、シーリング施工とする。
・建具等撤去部周囲は、コンクリート面にカッター入れを行う	
・納まり・大きさは現場にて着工後再度計測を行い、現場監督員と検計・協議の上決定すること	



換気開口面積
既存ガリリ $0.6m \times 0.3m \times \text{開口率 } 0.4 = 0.072m^2$
新設換気口 $0.6m \times 0.3m = 0.18m^2 > 0.072m^2 \quad \text{OK}$

共通事項	
・打継面となる範囲の既存構造物コンクリート面については、目荒しを行うこと	・新設する建具廻り等は防水モルタルを充填の上、シーリング施工とする。
・建具等撤去部周囲は、コンクリート面にカッター入れを行う	
・納まり・大きさ等は現場にて着工後再度計画を行い、現場監督員と検討・協議の上決定すること	

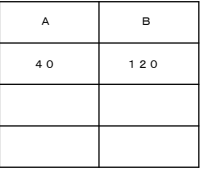
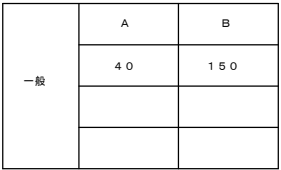
凡 例

- 浸水対策重点範囲
- 改修範囲を示す

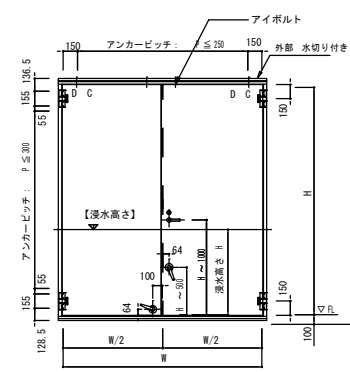


- 改修後詳細番号を示す
- 改修箇所を示す

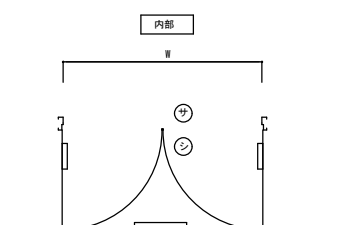
工 事 名	雨水排水ポンプ場耐水化工事 (7-1)		
工事場所	三原市 和田一丁目		
図面番号	A-19	縮尺	S=1/50, 10
図面名:	屋内タンク貯蔵所 (改修後)		
三 原 市			



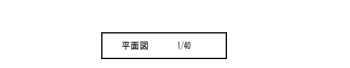
工 事 名	雨水排水ポンプ場耐水化工事（7-1）		
工事場所	三原市 和田一丁目		
図面番号	A-20	縮尺	S=1/3
図面名： 建具枠廻り詳細及び記号 （参考図）			
三 原 市			



外観図 1/40



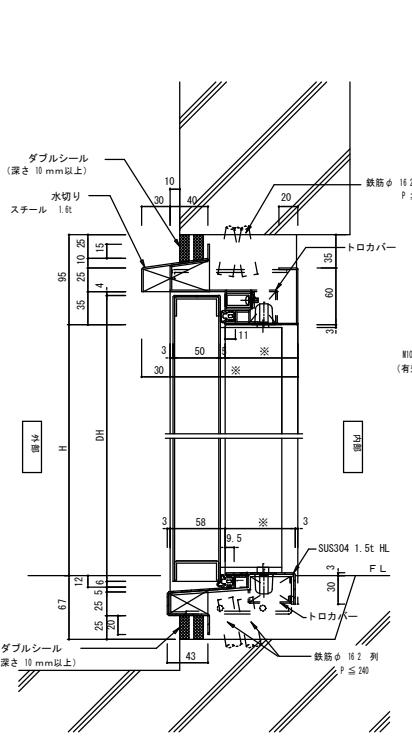
内部



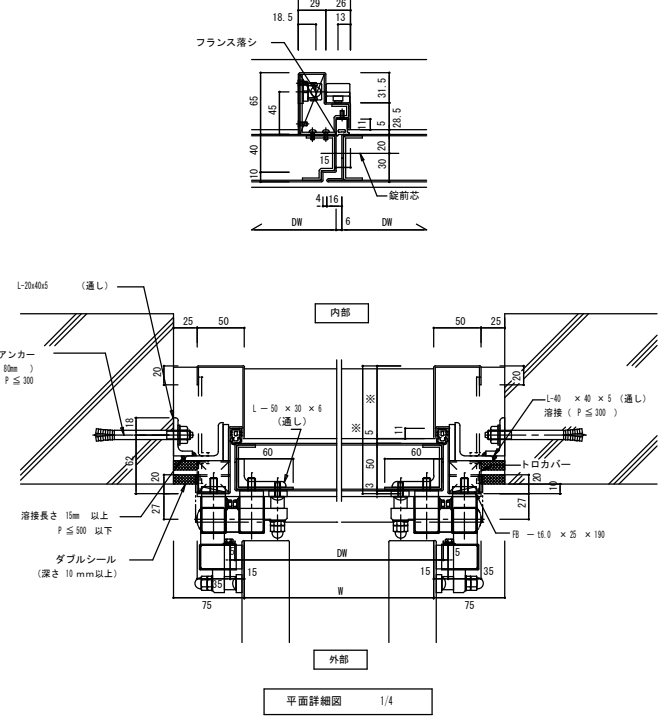
外部



平面図 1/40



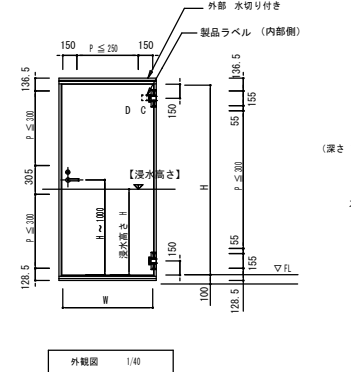
断面詳細図 1/4



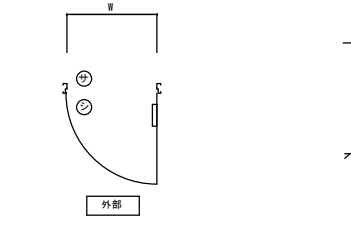
平面詳細図 1/4

種：1.6t 鎖止め 外) 遮熱塗料 (内) SP
扉：1.6t 鎖止め 外) 遮熱塗料 (内) SP
防火区分：・特定防火・防火
F7704-：270℃ なし 取付 4/54
※特見込み寸法 両開き 135～150mm

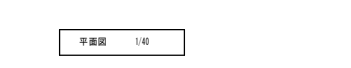
耐火性能	
JIS A 4716	耐火等級以上
日本下水道事業団	浸水防止用F7 ① 適合品 (浸水深さ 3m 以下)
日本下水道事業団	津波用F7 ① 適合品 (浸水深さ 2m 以下)



外観図 1/40



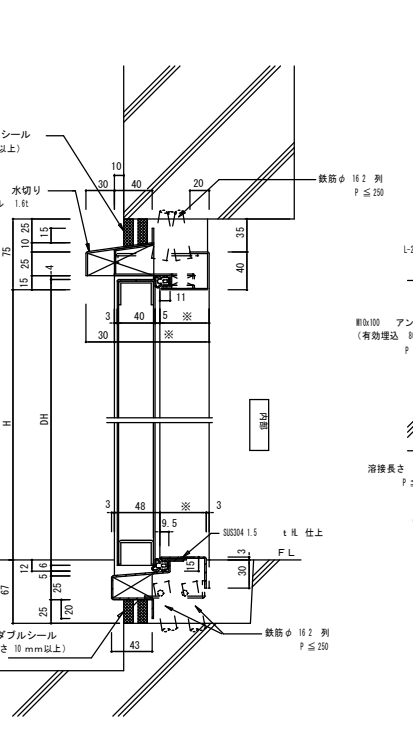
内部



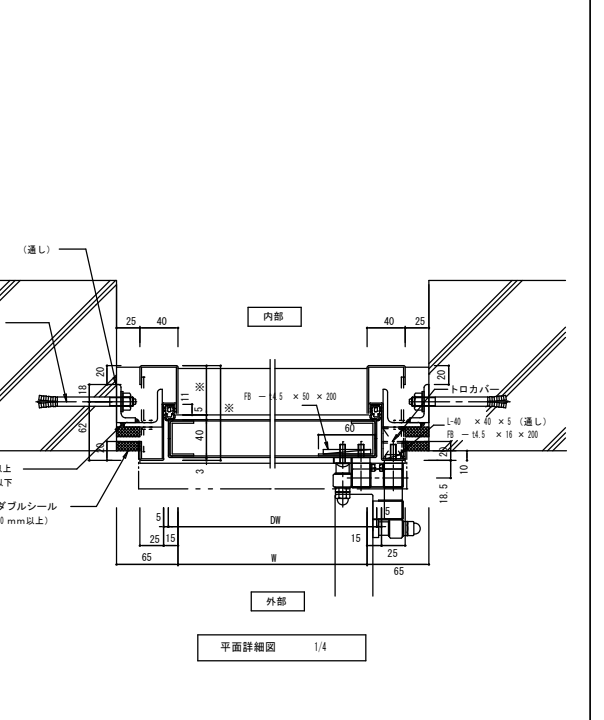
外部



平面図 1/40



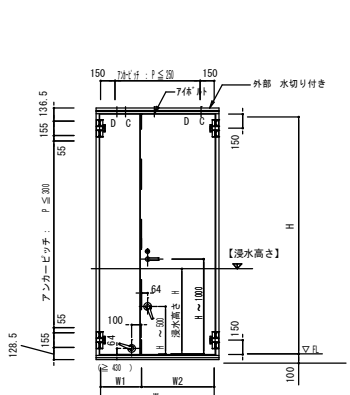
断面詳細図 1/4



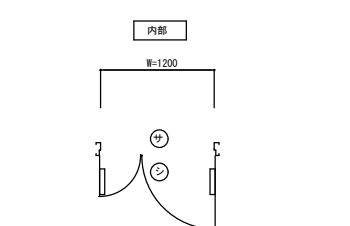
平面詳細図 1/4

種：1.6t 鎖止め 外) 遮熱塗料 (内) SP
扉：1.6t 鎖止め 外) 遮熱塗料 (内) SP
防火区分：・特定防火
F7704-：270℃ なし 取付 4/54
※特見込み寸法 片開き 100～130mm

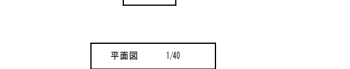
耐火性能	
JIS A 4716	耐火等級以上
日本下水道事業団	浸水防止用F7 ① 適合品 (浸水深さ 3m 以下)
日本下水道事業団	津波用F7 ① 適合品 (浸水深さ 3m 以下)



外観図 1/40



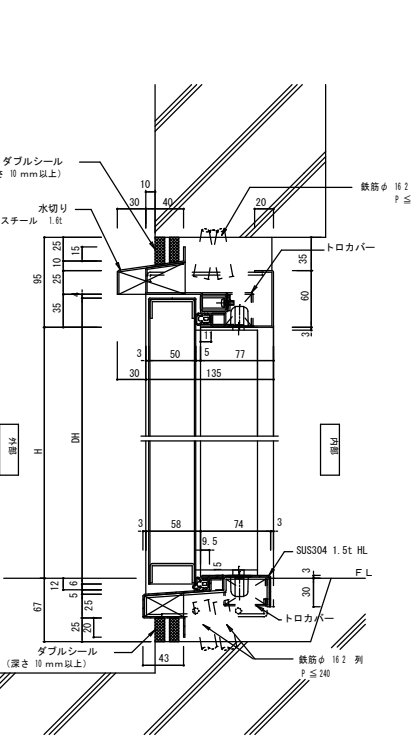
内部



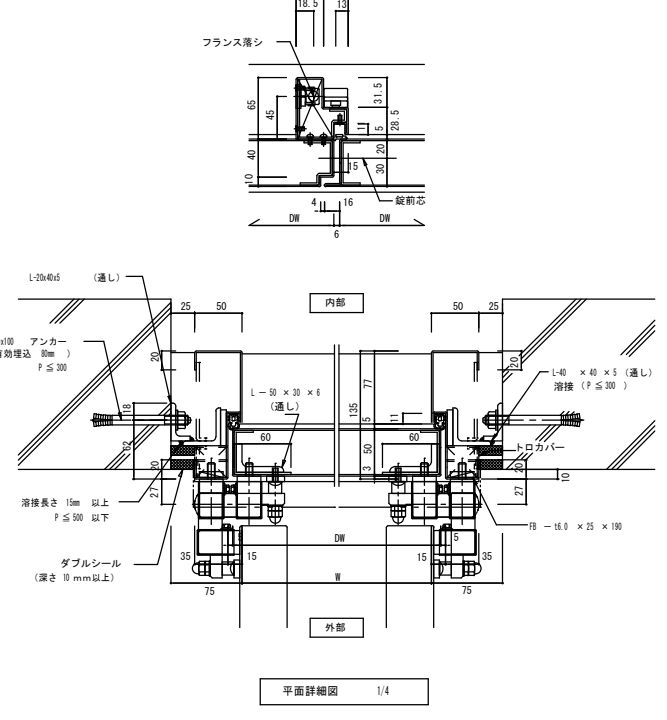
外部



平面図 1/40



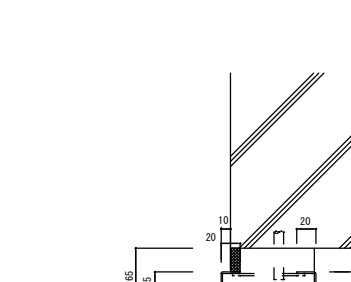
断面詳細図 1/4



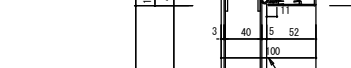
平面詳細図 1/4

種：1.6t 鎖止め 外) 遮熱塗料 (内) SP
扉：1.6t 鎖止め 外) 遮熱塗料 (内) SP
防火区分：・特定防火
F7704-：270℃ なし 取付 4/54
※特見込み寸法 親子開き 135mm

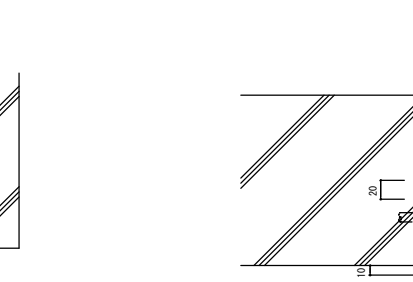
耐火性能	
JIS A 4716	耐火等級以上
日本下水道事業団	浸水防止用F7 ① 適合品 (浸水深さ 3m 以下)
日本下水道事業団	津波用F7 ① 適合品 (浸水深さ 2m 以下)



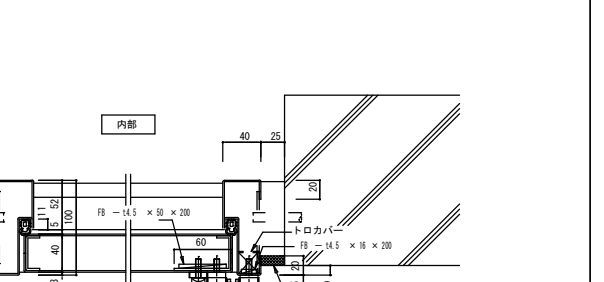
断面詳細図 1/40



平面図 1/40



断面詳細図 1/4



平面詳細図 1/4

種：1.6t SOP
扉：1.6t SOP
防火区分：・特定防火
F7704-：270℃ なし
※特見込み寸法 片開き 100mm

耐火性能	
JIS A 4716	耐火等級以上
日本下水道事業団	浸水防止用F7 ① 適合品 (浸水深さ 3m 以下)
日本下水道事業団	津波用F7 ① 適合品 (浸水深さ 3m 以下)

建具 リスト																												
改修前	符号 ・ 名称 ・ 個数		SD 2	片開きスチールフラッシュ戸（気密 外部用）			2	SD 3	両開きスチール フラッシュ戸（気密 外部用大型）			1	AW 3	アルミ ガラスブロック窓			3											
	場所		1階 ポンプ室					1階 ポンプ室					1階 ポンプ室															
	仕上（枠共）		スチール製 SOP					スチール製 SOP					B-1															
	建具	見込（ランマ）	40					80																				
		硝子（ランマ）	-					-					ガラスブロック窓 145 X 145 X 95															
		ガラリ	-					-																				
	建具枠	見込取合 番摺	150 スチール製					190 スチール製					100															
	枠記号 番摺（水切）記号		AT-1					AT-1					A-2 a-1															
	建具金物		丁番、レバーハンドル、DC					両面締りハンドル、大型丁番（ 4枚）、 片面締りハンドル、DC 大型上げ落し					付属金物一式															
	その他		T-3(35 等級) グラスウール入り					T-3(35 等級) グラスウール入り																				
形状・寸法		撤去（枠共） 防火設備					（屋外防水板設置） 防火設備					（屋外防水板設置） 防火設備																
符号 ・ 名称 ・ 個数		SD 6	両開きスチール フラッシュ戸（簡易気密 外部用）			1	SG 1	防火可動ガラリ			1																	
場所		屋内タンク貯蔵所					屋内タンク貯蔵所																					
仕上（枠共）		スチール製 SOP					スチール製																					
建具	見込（ランマ）	40					-																					
	硝子（ランマ）	-					-																					
	ガラリ	-					可動式（回転水切り）																					
建具枠	見込取合 番摺	120 スチール製					70 スチール製																					
枠記号 番摺（水切）記号		SAT-1																										
建具金物		内蔵型上げ落し（ハンドルは内外共）、シリンダー本締錠、DC 大型丁番、あおり止め（フック付）					ステンレス網付き（ SUS304 40 メッシュ） ヒューズ設置付き																					
その他																												
形状・寸法		撤去（枠共） 防火設備					（屋外腰壁設置） 防火設備																					
共通事項	1. 特記なき限り外部はシリンダ箱錠（内部サムターン）とし内部は本締り付きモノロックとする。 但し、押板、押棒の場合は、シリンダ本締り錠とする。														7. 防火戸には順位調整器付属とする（片開戸を除く）													
	2. バイブスペース、ダクトスペースの点検扉の鍵はシリンダ本締り錠（特記なき限り同一キー）とする。 （内部はサムターン付）														8. 戸は全て特定防火設備（仕様規定）とする。													
	3. AH、FHを除きDCの有無にかかわらず出入口には戸当り、あおり止め（外部両開扉のみ）をつける。 壁仕上げボード類等の場合は床付とする。（但し、通行に支障のあるものは除く。）														9. 防水扉は詳細図A-21号図による。													
	4. 大型、気密鋼製建具はシリンダ本締り錠付きとする。														10. 特記なき扉、鋼材はSOP塗装とする。													
	5. 特記なき限り鋼製戸の見込みは40mmとする。														11. 屋外のスチール製防水扉屋外面はフッ素樹脂遮熱塗装とする。 エスケー化研（株）水性クールテクトF（07-15） 同等品													
	6. 特記なき限り扉の取手はレバーハンドルとする。																											
	建具略号	建	種 別	戸	窓	ガラリ	オーバーヘッドドア	紙障子	ふすま	シャッター	網戸	凡例	AG	アルミ製 断縁		工事名	雨水排水ポンプ場耐水化工事（7-1）											
		具	アルミニウム製	AD	AW	AG	AOD			AS	aW		W	アルミ水切			工事場所	三原市 和田一丁目										
		略	鋼 製	SD	SW	SG	SOD			SS			FE	フタル酸樹脂エナメルペイント塗				図面番号	A-22	縮尺	S=1/50							
		号	鋼 製 軽 量	LD						LS									図面名：	建具リスト（改修前）								
		ガ	ステンレス製	SSD	SSW	SSG				SSS										三原市								
		ラ	木 製	WD	WW	WG		P	H																			
ス		F 型板ガラス	金 物			DC	ドアクローザー、ストッパーなし																					
略		FL フロート板ガラス	略			AH	オートヒンジ																					
号		FW 網入型板ガラス	略			FH	フロアヒンジ																					
号		PW 網入みがき板ガラス	号			PH	ビボットヒンジ																					

建具 リスト

改修後

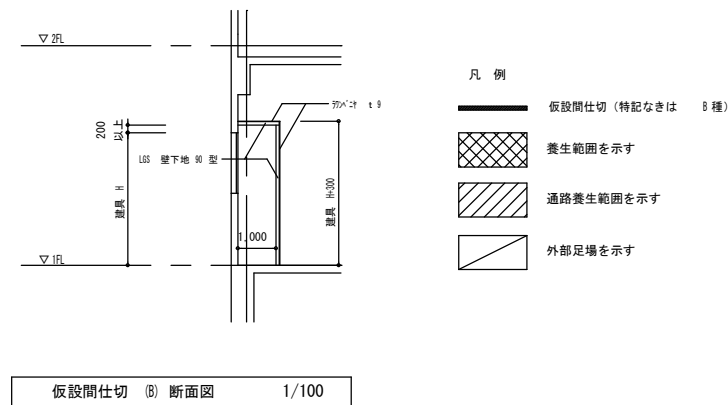
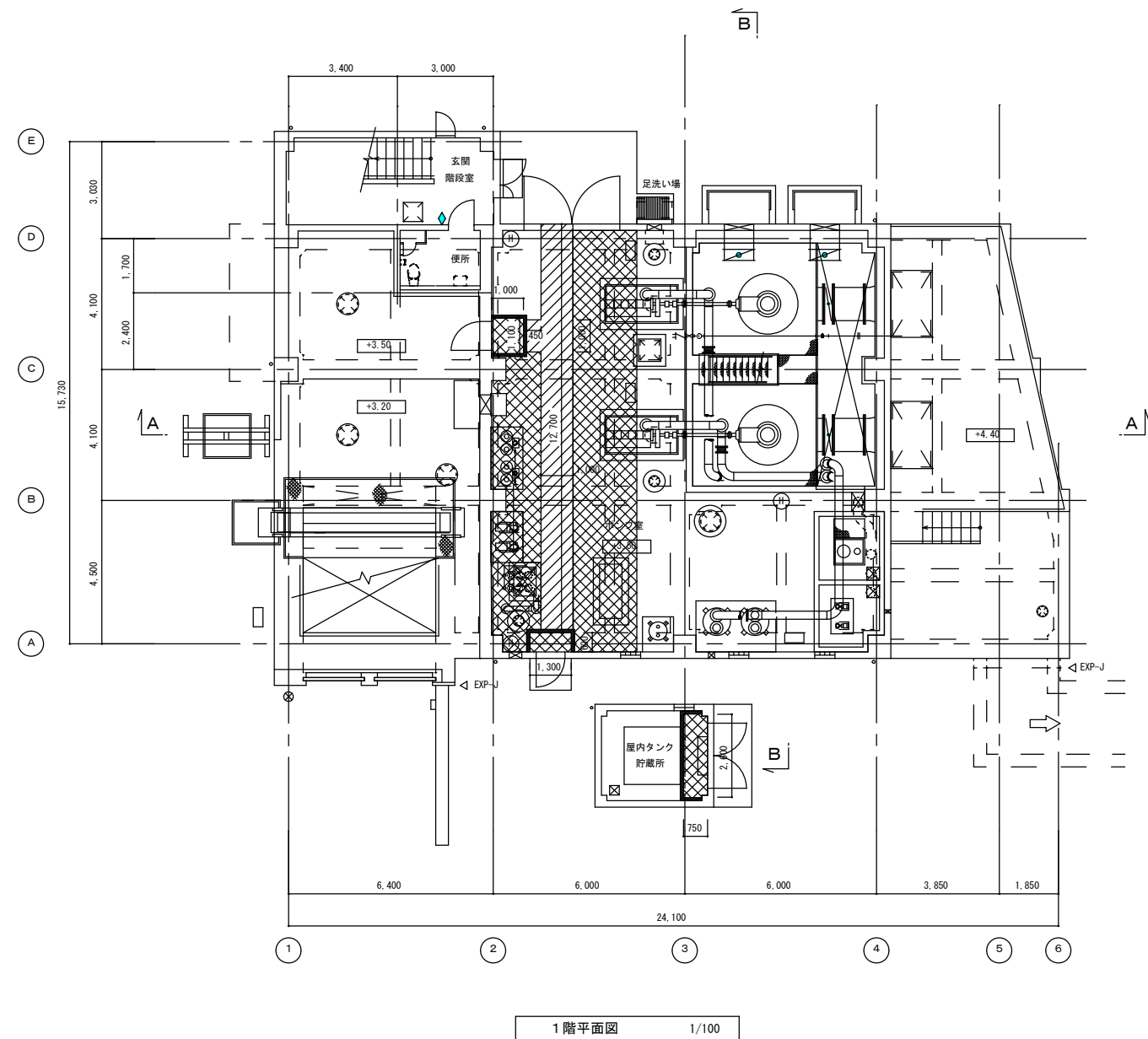
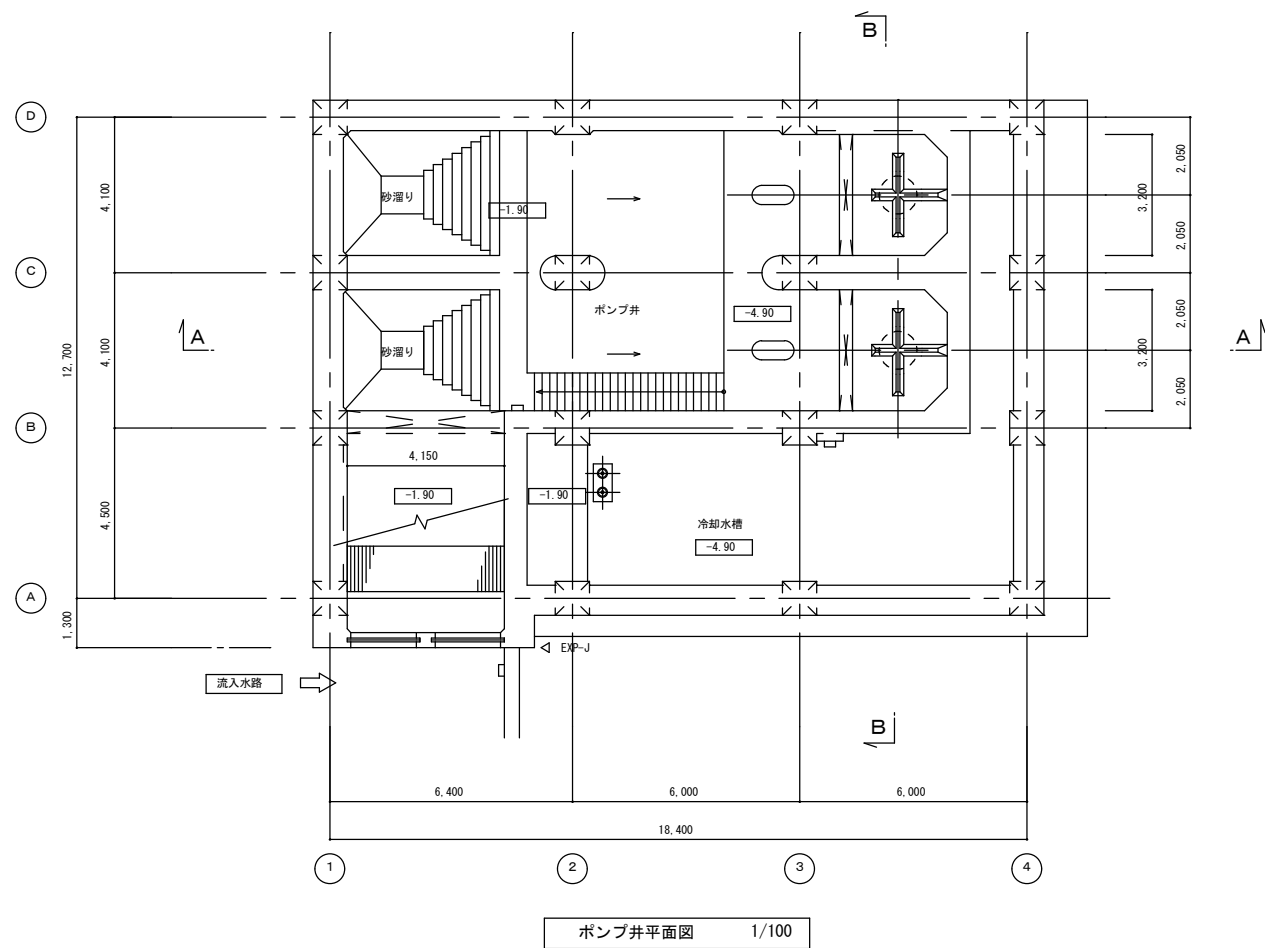
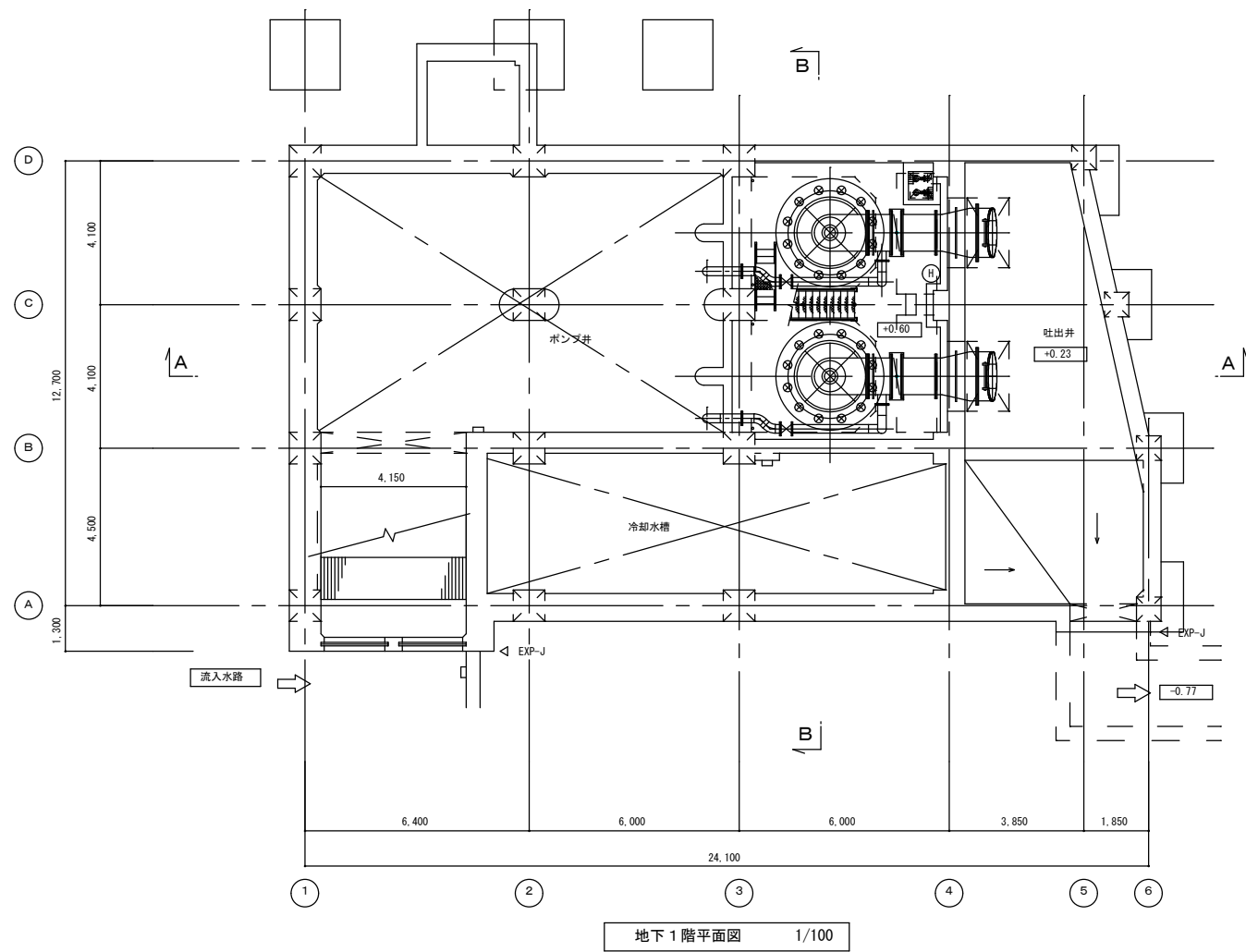
符号 ・ 名称 ・ 個数			SD 2N 片開きスチールフラッシュ戸（防水扉）2	
場所			1階 ポンプ室	
仕上（枠共）			スチール製（外） フッ素樹脂塗熱塗装 （内）S O P	
建具	見込（ランマ）	40		
	硝子（ランマ）	－		
	ガラリ	－		
建具枠	見込取合 番摺	100 スチール製		
枠記号 番摺（水切）記号				
建具金物			二軸丁番（×2）、DC	
その他			防火設備、対象外力：津波（水深係数 2） A-21-2号図	
形状・寸法			▽ 浸水位 +4.400 ▽ 1FL +3.500 ▽ G.L. +3.200 2,000 900 900	

符号 ・ 名称 ・ 個数			SD 6N 両開きスチールフラッシュ戸（防水扉）1	SG 1 防火可動ガラリ1	
場所			屋内タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	
仕上（枠共）			スチール製（外） フッ素樹脂塗熱塗装 （内）S O P	スチール製	
建具	見込（ランマ）	50	－	－	
	硝子（ランマ）	－	－	－	
	ガラリ	－	可動式（回転水切り）		
建具枠	見込取合 番摺	135 スチール製	70 スチール製		
枠記号 番摺（水切）記号					
建具金物			二軸丁番（×2）、DC	ステンレス網付き（ SUS304 40 メッシュ） ヒューズ装置付き	
その他			防火設備、対象外力：津波（水深係数 2） A-21-1号図		
形状・寸法			特定防火設備 2,500 300 2,000 （既存） 防火設備 400 300 600 1,200		

SD-2N 、 6N 共通仕様	
耐水性能	
JIS A 4716	Ⅱs-5 等級
日本下水道事業団 防水型建具	津波用ドア ① (浸水高さ 2m 以下)

対象外力（耐水）	
○津波 ・ 洪水（津波対象外）	
浸水高 TP +4.4m	
GL TP +3.2m	
扉下端 TP +3.5m	
津波波圧 $qz = \rho g (ah - z)$ qz : 構造設計用の津波の進行方向の津波波圧 (KN/m ²) ρ : 水の単位体積質量 (t/m ³) g : 重力加速度 (m/s ²) h : 設計用浸水深 (想定浸水深) (m) z : 当該部分の地盤面からの高さ (0 ≦ z ≦ ah) (m) a : 水深係数 (流速を考慮した津波波圧を設定するために、浸水深に乗じる係数)	
▽ 設計用浸水深 ah z h 水深係数 2 a ρ gh 波圧分布 構造物	

共通事項	1. 特記なき限り外部はシリンダ箱錠（内部サムターン）とし内部は本締り付きモノロックとする。 但し、押板、押棒の場合は、シリンダ本締り錠とする。	7. 防火戸（防火設備）には原位調整器付属とする（片開戸を除く）	建具略号	種 別	戸	窓	ガラリ	オーバーヘッドドア	紙障子	ふすま	シャッター	網戸	凡例	AG	アルミ製 額縁	工 事 名 雨水排水ポンプ場耐水化工事（7-1）				
	2. バイブスペース、ダクトスペースの点検扉の鍵はシリンダ本締り錠（特記なき限り同一キー）とする。 （内部はサムターン付）	8. 戸は全て特定防火設備（仕様規定）とする。		アルミニウム製	AD	AW	AG	AOD			AS	aW		W	アルミ水切					
	3. AH、FHを除きDCの有無にかかわらず出入口には戸当り、あおり止め（外部両開扉のみ）をつける。 壁仕上げボード類等の場合は床付とする。（但し、通行に支障のあるものは除く。）	9. 防水扉は詳細図A-21号図による。		鋼 製	SD	SW	SG	SOD			SS			FE	フタル酸樹脂エナメルペイント塗					
	4. 大型、気密鋼製建具はシリンダ本締り錠付きとする。	10. 特記なき扉、鋼材はSOP塗装とする。		鋼 製 軽 量	LD							LS					工事場所	三原市 和田一丁目		
	5. 特記なき限り鋼製戸の見込みは40mmとする。	11. 屋外のスチール製防水扉屋外面はフッ素樹脂塗熱塗装とする。 エスケー化研（株）水性ケルテクトF（07-175） 同等品		ステンレス製	SSD	SSW	SSG				SSS					図面番号	A-23	縮尺	S=1/50	
	6. 特記なき限り扉の取手はレバーハンドルとする。			木 製	WD	WW	WG		P	H							図面名： 建具リスト（改修後）			
				F 型板ガラス			金物略号	DC	ドアクローザー、ストッパーなし								三 原 市			
				FL フロート板ガラス				AH	オートヒンジ											
				FW 網入型板ガラス				FH	フロアヒンジ											
				PW 網入みがき板ガラス			号	PH	ビボットヒンジ											



工 事 名	雨水排水ポンプ場耐水化工事 (7-1)		
工事場所	三原市 和田一丁目		
図面番号	A-24	縮尺	S=1/100
図面名: 仮設計画図 (参考図)			
三 原 市			

宗郷雨水排水ポンプ場
機械設備

第1章 総 則

第1節 適用範囲

本特記仕様書は、雨水排水ポンプ場耐水化工事（7-1）（宗郷雨水排水ポンプ場）に適用する。

第2節 責任施工

本工事は、受注者による責任施工である。

設計図書に記載なき事項についても技術上あるいは、全設備より見て当然必要と思われることは、職員（以下監督員という）の指示に従い、設計図書の意図する性能、機能を十分満足するよう設計、施工しなければならない。

第3節 施工基準

(1) 本工事に対する施工基準は、下記のものとする。

- a 特記仕様書
- b 設計図
- c 設計書
- d 現場説明事項

(2) 準拠規格

一般仕様書、特記仕様書において規定して記載されたもの以外は、すべて次の規格及び基準に準拠すること。また、この書基準は、最新版を適用すること。

- a 日本産業規格 J I S
- b 機械設備標準仕様書 日本下水道事業団
- c 下水道施設計画・設計指針と解説
- d 機械設備工事一般仕様書 日本下水道事業団
- e 機械設備工事必携 日本下水道事業団
- f 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）
- g 公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）
- h その他関係法規並びに監督員が指示する仕様書、各種基準

(3) 承諾図

受注者は、承諾を受けるために監督員と打合せを行い、施工図面等の工事に必要な図面を2部作成し提出すること。

- a 機器の据付配置図
- b 機器相互間の配管図
- c 施工図

一旦、承諾を受けても実際に施工上不都合があると認められる場合、あるいは設備上、機器の変更、追加等が必要と認められる場合には、監督員の指示に従って訂正図を提出し、再承諾を受けた後に機器等を製作すること。

また、承諾図返却後、決定図を監督員の指示する部数を提出すること。

(4) 疑義等

設計図書に関して疑義が生じた場合は、すべて監督員の解釈による。

設計図書に記載されていない事項であっても施工上当然必要と思われる事項は、受注者の負担においてこれを施工すること。

第4節 関係法規、責務の遵守

受注者は、本工事の施工に当り、諸官庁の命令指示、建設業法、労働基準法、労働安全衛生法、職業安定法、道路交通法、電気事業法その他関係法規、並びに工事施工に関する協定事項に違反しないこと。

第5節 手続きの代行

受注者は本工事施工に当り、諸官公庁及び当該電気供給者の検査を受ける必要があるものについては、すべての手続きを代行し、常に連絡を密にして、設備使用開始に際し支障のないようにすること。

ただし、手続書類は提出前に監督員の承諾を受けること。

第6節 現場の管理

受注者は、工事現場内において監理技術者、主任技術者(下請を含む。)に工事名、工期、顔写真、所属会社名及び証明印の入った名札を着用すること。

第7節 検査

三原市工事検査規程の定めるところによる。

第8節 主任(監理)技術者の配置等

(1) 主任(監理)技術者の専任期間等

本工事に配置される技術者については、工場製作のみが行われている期間は専任を要しない。

なお、当該工場製作過程において、同一工場内で他の同種工事に係る製作と一元的な管理体制のもとで製作を行うことが可能である場合は、同一の技術者がこれらの製作を一括して管理することができる。

(2) 主任(監理)技術者の変更の特例

本工事に配置される技術者については、工場から現地への工事の現場が移行する時点において変更ができる。

なお、発注者と受注者の協議により、交代の時期は工程上一定の区切りと認められる時点とするほか、交代前後における技術者の技術力が同等以上に確保されるとともに、一定期間重複して工事現場に設置し、工事の継続性、品質等を確保すること。

第9節 工事カルテの作成および登録

受注者は、工事实績情報サービス(CORINS)に基づき「工事カルテ」を作成し、監督職員の

確認を受けた後に(財)日本建設情報総合センターに登録し、「工事カルテ」の写しを監督職員に提出すること。

第10節 完成図書の提出

施設引渡しの際、下記の完成図書を提出すること。

完成図書はA 4 版，取外し可能な折り込み製本とし表紙，背表紙は金文印刷したものを3部納入のこと。

- (1) 完成図面
- (2) 各種検討書，計算書
- (3) 各種配管図
- (4) 付属品，予備品リスト
- (5) 各種試験，検査成績書
- (6) 各種官庁手続き書類
- (7) 取扱説明書
- (8) 運転操作説明書
- (9) 故障時連絡一覧表
- (10) その他必要なもの

第11節 かし担保期間

完成検査に合格した日から2年間とする。

かし担保期間終了時，請負人は技術者を派遣し異常の有無を確認後，監督員と協議し承認を得ること。

保証期間内に請負人の責任に帰すべき原因による事故が発生した場合，監督員の指示する期間内に無償で改造，補修または新品と取替えた後，検査に合格しなければならない。

第12節 契約内容の変更

本工事の内容に著しい影響を与える事情が生じたときは，協議の上，契約内容を変更することができる。

ただし，監督員が特段の理由があると認めたときを除き，契約内容の変更は行わない。

第13節 その他

(1) 責任施工

受注者は既設構造物その他に損傷を与えないよう，または機能を阻害しないよう適切な保護を行うこと。これらに損傷または損失を与えた場合，受注者の負担において復旧すること。

本工事の施工にあたって本仕様書，添付図面，別紙設計書に明示していないものがあっても，設備の性能発揮に当然必要なものは監督員の指示に従い，受注者の費用をもって施工し

なければならない。また、重要寸法についてはあらかじめ現地実測の上決定し、万一数量寸法等に誤記があった場合は、監督員と打ち合わせ善処しなければならない。

(2) 耐震設計

耐震を十分考慮した構造および施工とすること。

(3) 工事保険等

受注者は、本工事において第三者に与えた損害を補填する保険又はその他必要とする建設工事に関連する保険等に参加しなければならない。また、加入した保険等については、保険証券の写し（保険以外の場合はそれに代わるもの）を監督員に提出すること。なお、加入に必要な保険料等は、設計で現場管理費に見込んでいる。

(4) 工事損失等

本工事の施工に伴い、通常避けることのできない地盤沈下、振動等により建物等に損害等（以下「工事損失」という。）が発生した場合においては、次のとおりとする。なお、工事損失に伴う補償費用は、設計で現場管理費に見込んでいる。

- a 原因調査 監督員と協力して行うこと。
- b 補償交渉 監督員と協力して処理解決に当ること。
- c 応急措置 監督員から応急措置を講じる必要があると指示された場合は、直ちに応急措置を講じること。
- d 補償費用負担割合 発注者は、工事損失に伴う補償費用のうち請負代金の100分の1を超える額を負担すること。

第2章 工 事 概 要

第1節 耐水化対策

本工事は、洪水や河川の氾濫等により、ポンプ棟のポンプ井開口部からの浸水によりポンプ場の運転に支障が生じる恐れがあるため、対策を行うものである。

第2節 対策箇所

(1) 空気抜き配管 配管貫通部	8箇所（4本×2箇所）
(2) ポンプ井マンホール蓋	1箇所
(3) マシンハッチ蓋	1箇所
(4) ポンプドレン管	2箇所（No. 1, 2）
(5) その他発注図面のとおり	

第3章 土木・機械工事

第1節 一般事項

- (1) 本工事の施工にあたっては、監督員の指示に従い、本仕様書及び設計図書に基づき、関係法令、規定、基準に準拠し、責任を持って施工しなければならない。また、作業の安全及び通行人等第三者への災害防止等についても十分に配慮し、安全対策を講じること。
- (2) 機器の搬入、据付の際は機器本体、構造物に対して損傷を与えることのないように注意すること。
- (3) 工事の施工にあたっては、施工図を提出のうえ監督員の指示によること。また、実施にあたっては安全かつ効率的に行うこと。
- (4) 電力会社等への諸手続きは、受託者が自らの費用において行うこと。
- (5) 槽内作業の場合は、酸素欠乏及び硫化水素危険作業に該当するため、法令・規則等を遵守し安全に行うこと。

第2節 各種工事

(1) 空気抜き配管 配管貫通部止水工事

- 1) ポンプ井の空気抜き配管について、配管貫通部より浸水する恐れがあるため、耐水性を有する止水材等で貫通部の止水措置を行うこと。

(2) ポンプ井マンホール蓋更新工事

- 1) ポンプ井マンホール蓋は、耐内水圧マンホール蓋に更新し、ポンプ井内部から浸水しないように、施工を行うこと。

マンホール蓋仕様：φ600 耐内水圧0.04MPa以上

(3) ポンプ井マシンハッチ蓋更新工事

- 1) ポンプ井マシンハッチ蓋は、耐水圧マシンハッチ蓋に更新し、ポンプ井内部から浸水しないように、施工を行うこと。

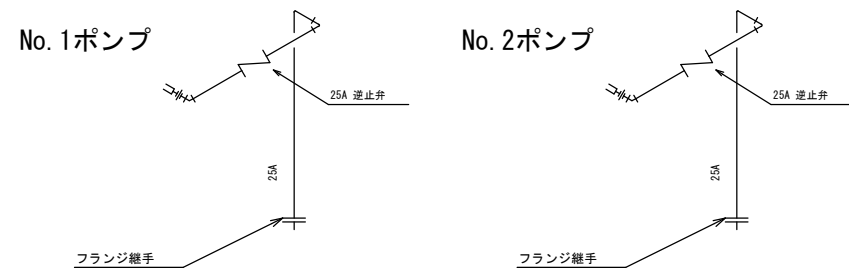
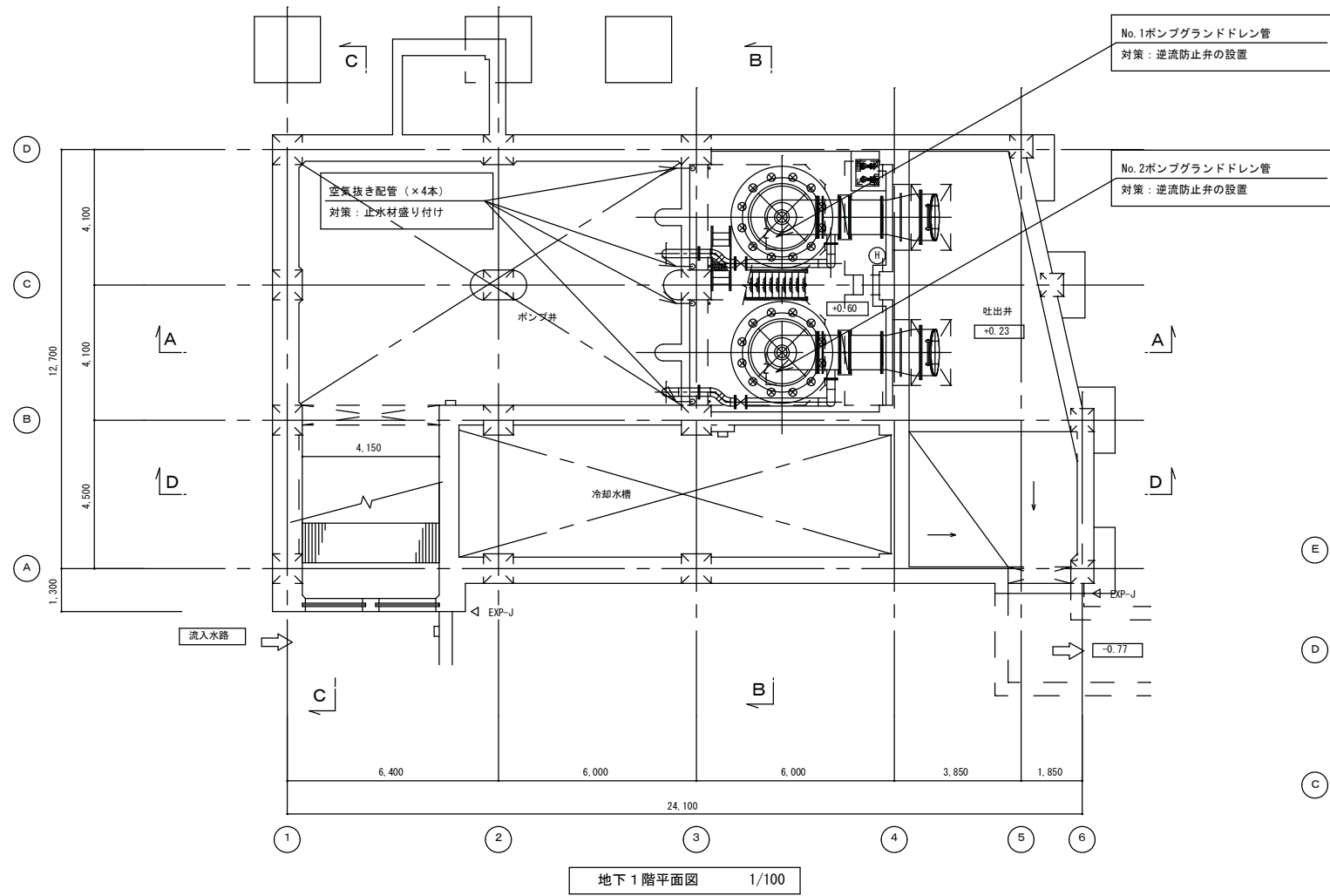
マシンハッチ蓋仕様：□680×680 耐内水圧0.04MPa以上

(4) ポンプドレン管、逆流防止弁取付工事

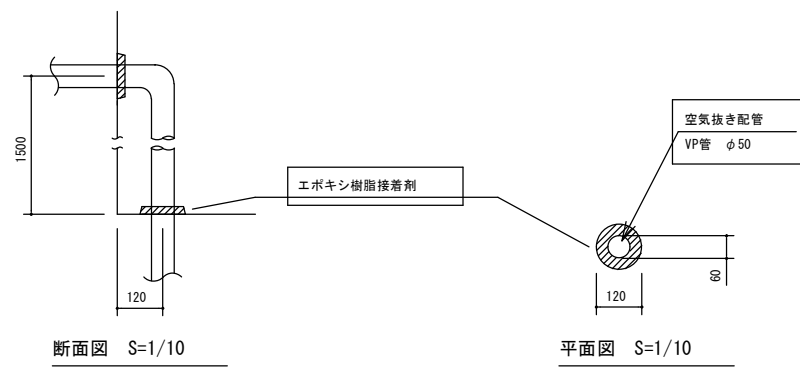
- 1) ポンプドレン管は、ポンプ井からの逆流対策として、逆流防止弁の取付を行う。

逆流防止弁仕様：25A×2箇所

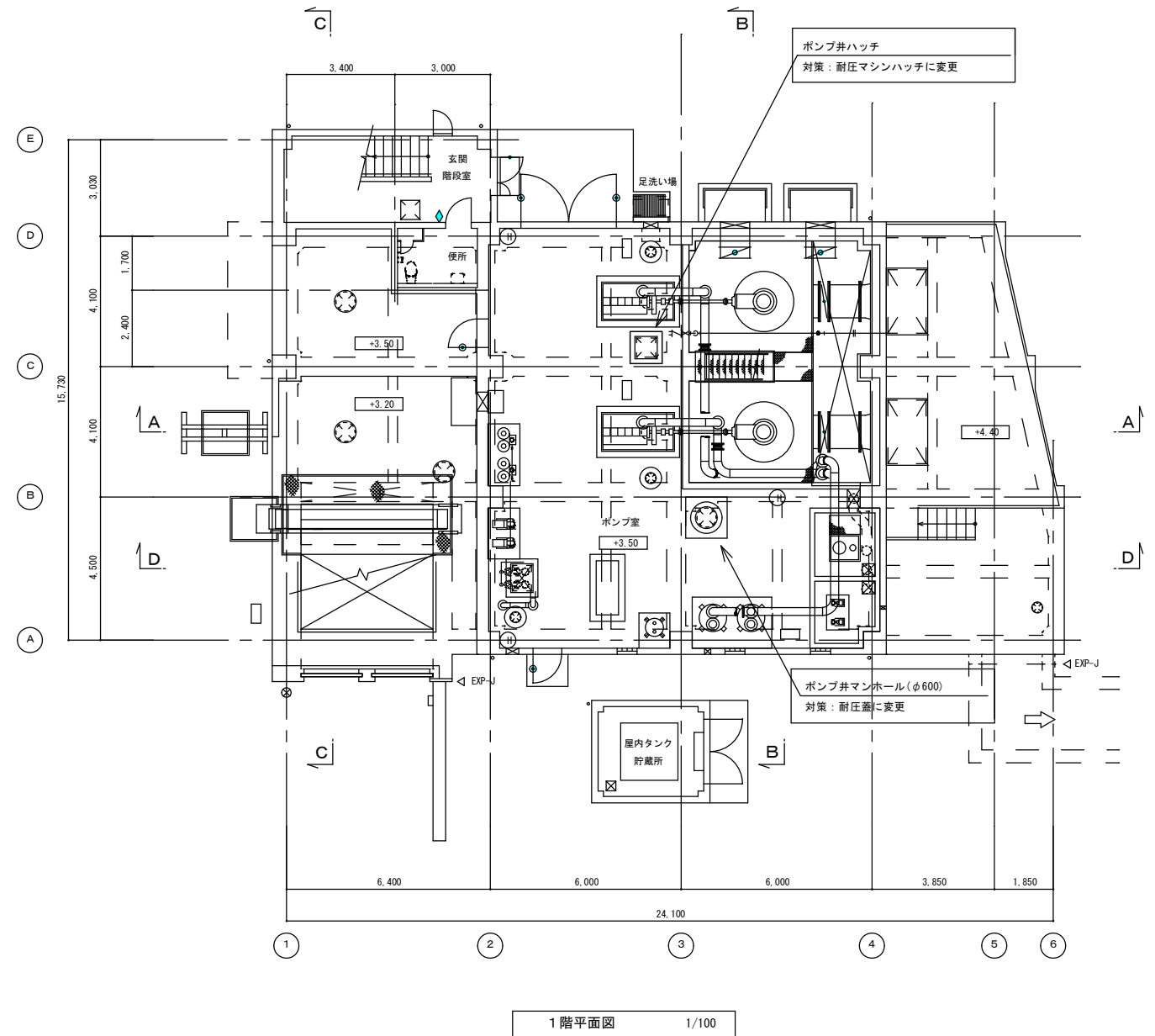
スイングチャッキ（SCS13A） SUS10K ねじ込み形



No. 1,2ポンプグランド dren 配管施工要領図



空気抜き配管要領図 S=1/10



工 事 名	雨水排水ポンプ場耐水化工事 (7-1)		
工事場所	三原市 和田一丁目		
図面番号	M-1	縮尺	S=1/100
図面名： 宗郷雨水排水ポンプ場 地下1階 1階平面図 (今回・撤去)			
三 原 市			

宗郷雨水排水ポンプ場
電気設備

第1章 総 則

第1節 適用範囲

本特記仕様書は、雨水排水ポンプ場耐水化工事（7-1）（宗郷雨水排水ポンプ場）に適用する。

第2節 責任施工

本工事は、受注者による責任施工である。

設計図書に記載なき事項についても技術上あるいは、全設備より見て当然必要と思われることは、職員（以下監督員という）の指示に従い、設計図書の意図する性能、機能を十分満足するよう設計、施工しなければならない。

第3節 施工基準

(1) 本工事に対する施工基準は、下記のものとする。

- a 特記仕様書
- b 設計図
- c 設計書
- d 現場説明事項

(2) 準拠規格

一般仕様書、特記仕様書において規定して記載されたもの以外は、すべて次の規格及び基準に準拠すること。また、この書基準は、最新版を適用すること。

a 日本産業規格	J I S
b 電気規格調査会標準規格	J E C
c 日本電機工業会標準規格	J E M
d 電線技術委員会標準資料	J C S
e 電気設備技術基準	経済産業省令
f 内線規程	J E A C
g 電気用品取締法	
h 下水道施設計画・設計指針と解説	
I 電気設備工事一般仕様書	日本下水道事業団
j 電気設備工事必携	日本下水道事業団
k 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）	
l 公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）	
m その他関係法規並びに監督員が指示する仕様書、各種基準	

(3) 承諾図

受注者は、承諾を受けるために監督員と打合せを行い、施工図面等の工事に必要な図面を2部作成し提出すること。

- a 機器の据付配置図

b 機器相互間の配管図、配線図

c 施工図

一旦、承諾を受けても実際に施工上不都合があると認められる場合、あるいは設備上、機器の変更、追加等が必要と認められる場合には、監督員の指示に従って訂正図を提出し、再承諾を受けた後に機器等を製作すること。

また、承諾図返却後、決定図を監督員の指示する部数を提出すること。

(4) 疑義等

設計図書に関して疑義が生じた場合は、すべて監督員の解釈による。

設計図書に記載されていない事項であっても施工上当然必要と思われる事項は、受注者の負担においてこれを施工すること。

第4節 関係法規、責務の遵守

受注者は、本工事の施工に当り、諸官庁の命令指示、建設業法、労働基準法、労働安全衛生法、職業安定法、道路交通法、電気事業法その他関係法規、並びに工事施工に関する協定事項に違反しないこと。

第5節 手続きの代行

受注者は本工事施工に当り、諸官公庁及び当該電気供給者の検査を受ける必要があるものについては、すべての手続きを代行し、常に連絡を密にして、設備使用開始に際し支障のないようにすること。

ただし、手続書類は提出前に監督員の承諾を受けること。

第6節 現場の管理

受注者は、工事現場内において監理技術者、主任技術者(下請を含む。)に工事名、工期、顔写真、所属会社名及び証明印の入った名札を着用すること。

第7節 検査

三原市工事検査規程の定めるところによる。

第8節 主任(監理)技術者の配置等

(1) 主任(監理)技術者の専任期間等

本工事に配置される技術者については、工場製作のみが行われている期間は専任を要しない。

なお、当該工場製作過程において、同一工場内で他の同種工事に係る製作と一元的な管理体制のもとで製作を行うことが可能である場合は、同一の技術者がこれらの製作を一括して管理することができる。

(2) 主任(監理)技術者の変更の特例

本工事に配置される技術者については、工場から現地への工事の現場が移行する時点において変更ができる。

なお、発注者と受注者の協議により、交代の時期は工程上一定の区切りと認められる時点

とするほか、交代前後における技術者の技術力が同等以上に確保されるとともに、一定期間重複して工事現場に設置し、工事の継続性、品質等を確保すること。

第9節 工事カルテの作成および登録

受注者は、工事实績情報サービス（CORINS）に基づき「工事カルテ」を作成し、監督職員の確認を受けた後に（財）日本建設情報総合センターに登録し、「工事カルテ」の写しを監督職員に提出すること。

第10節 完成図書の提出

施設引渡しの際、下記の完成図書を提出すること。

完成図書はA4版、取外し可能な折り込み製本とし表紙、背表紙は金文印刷したものを3部納入のこと。

- (1) 完成図面
- (2) 各種検討書、計算書
- (3) 各種結線、接続図
- (4) 付属品、予備品リスト
- (5) 各種試験、検査成績書
- (6) 各種官庁手続き書類
- (7) 取扱説明書
- (8) 運転操作説明書
- (9) 故障時連絡一覧表
- (10) その他必要なもの

第11節 かし担保期間

完成検査に合格した日から2年間とする。

かし担保期間終了時、請負人は技術者を派遣し異常の有無を確認後、監督員と協議し承認を得ること。

保証期間内に請負人の責任に帰すべき原因による事故が発生した場合、監督員の指示する期間内に無償で改造、補修または新品と取替えた後、検査に合格しなければならない。

第12節 契約内容の変更

本工事の内容に著しい影響を与える事情が生じたときは、協議の上、契約内容を変更することができる。

ただし、監督員が特段の理由があると認めたときを除き、契約内容の変更は行わない。

第13節 その他

- (1) 責任施工

受注者は既設構造物その他に損傷を与えないよう、または機能を阻害しないよう適切な保護を行うこと。これらに損傷または損失を与えた場合、受注者の負担において復旧すること。

本工事の施工にあたって本仕様書、添付図面、別紙設計書に明示していないものがあっても、設備の性能発揮に当然必要なものは監督員の指示に従い、受注者の費用をもって施工しなければならない。また、重要寸法についてはあらかじめ現地実測の上決定し、万一数量寸法等に誤記があった場合は、監督員と打ち合わせ善処しなければならない。

(2) 耐震設計

耐震を十分考慮した構造および施工とすること。

(3) 工事保険等

受注者は、本工事において第三者に与えた損害を補填する保険又はその他必要とする建設工事に関連する保険等に参加しなければならない。また、加入した保険等については、保険証券の写し（保険以外の場合はそれに代わるもの）を監督員に提出すること。なお、加入に必要な保険料等は、設計で現場管理費に見込んでいる。

(4) 工事損失等

本工事の施工に伴い、通常避けることのできない地盤沈下、振動等により建物等に損害等（以下「工事損失」という。）が発生した場合においては、次のとおりとする。なお、工事損失に伴う補償費用は、設計で現場管理費に見込んでいる。

- a 原因調査 監督員と協力して行うこと。
- b 補償交渉 監督員と協力して処理解決に当ること。
- c 応急措置 監督員から応急措置を講じる必要があると指示された場合は、直ちに応急措置を講じること。
- d 補償費用負担割合 発注者は、工事損失に伴う補償費用のうち請負代金の100分の1を超える額を負担すること。

第2章 工 事 概 要

第1節 耐水化対策

本工事は、洪水や河川の氾濫等により、ポンプ棟外壁部等からの浸水や場外設備の水没によりポンプ場の運転に支障が生じる恐れがあるため、対策を行うものである。

第2節 移設設備

- (1) 給油口ユニットボックス 1面（高所移設）

第3節 水位計開口部

- (1) 防波管嵩上げ 2箇所

第4節 配線開口部の浸水対策

- (1) プルボックス内配線開口部 1箇所

第3章 電 気 工 事

第1節 一般事項

- (1) 本工事の施工にあたっては、監督員の指示に従い、本仕様書及び設計図書に基づき、関係法令、規定、基準に準拠し、責任を持って施工しなければならない。また、作業の安全及び通行人等第三者への災害防止等についても十分に配慮し、安全対策を講じること。
- (2) 機器の搬入、据付の際は機器本体、構造物に対して損傷を与えることのないように注意すること。
- (3) 工事の施工にあたっては、施工図を提出のうえ監督員の指示によること。また、実施にあたっては安全かつ効率的に行うこと。
- (4) 電力会社等への諸手続きは、受託者が自らの費用において行うこと。
- (5) 槽内作業の場合は、酸素欠乏及び硫化水素危険作業に該当するため、法令・規則等を遵守し安全に行うこと。

第2節 各種工事

(1) 盤等の据付工事

- 1) 自立盤は、所要の強度を持つ金具で架台等に強固に取付けること。
- 2) 壁掛盤・装柱盤は、所定の金具で強固に取付けること。

(2) 電線管工事

- 1) 電線管は施工場所により、次の管を使用すること。
 - a) 露出配管 耐衝撃性硬質ビニル電線管又は厚鋼電線管
 - b) 地中配管 波付硬質合成樹脂管
 - c) 接地線用 硬質ビニル電線管（露出、地中とも）
- 2) 地中電線管部は、ケーブル埋設シートを敷設すること。

(3) 配線工事

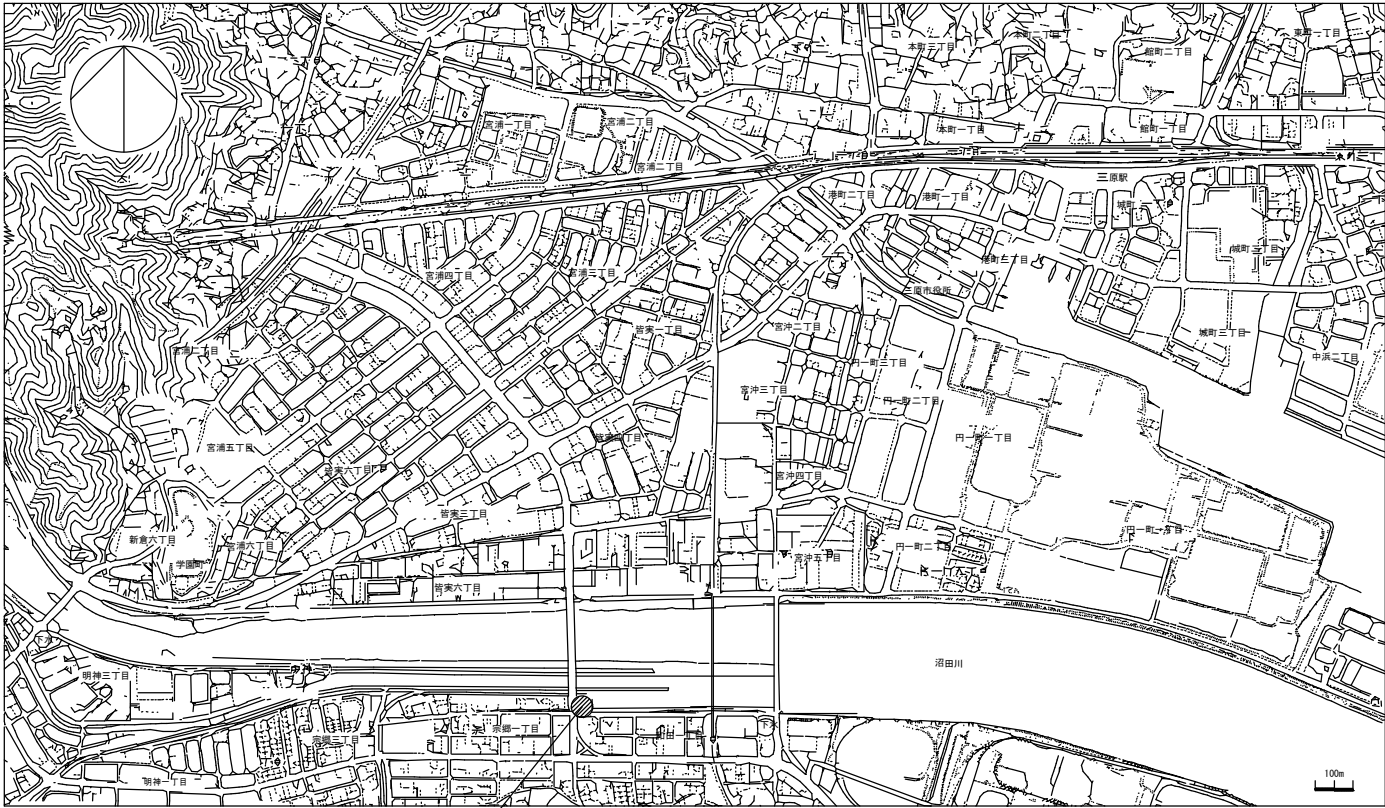
- 1) 配線は使用目的により次の電線またはケーブルを使用すること。
 - a) 電源回路 架橋ポリエチレン絶縁耐熱性ポリエチレンシースケーブル (EM-CE)
 - b) 制御回路 制御用ポリエチレン絶縁耐熱性ポリエチレンシースケーブル (EM-CEE)
 - c) 接地回路 耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE)
- 2) 端子への接続
各端子への接続は圧着端子（丸型）で行うこと。

(4) 接地工事

接地工事の接地極は、連結式接地棒を使用し各種接地抵抗値の基準値内になるように施工すること。

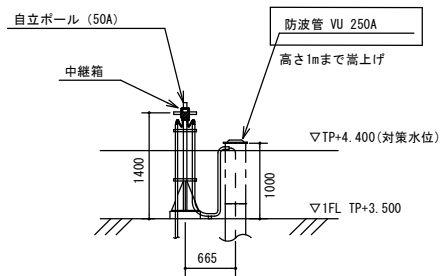
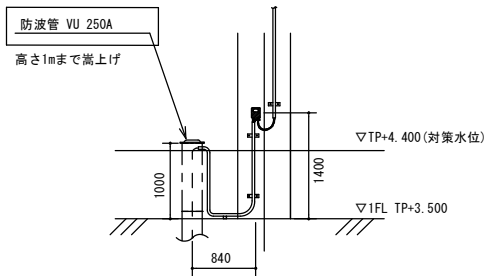
(5) 止水工事

配線開口部の浸水対策は、耐水性を有する止水材およびモルタル充填により、貫通部の閉塞措置を行うこと。



宗郷雨水排水ポンプ場

案内図 1/10000

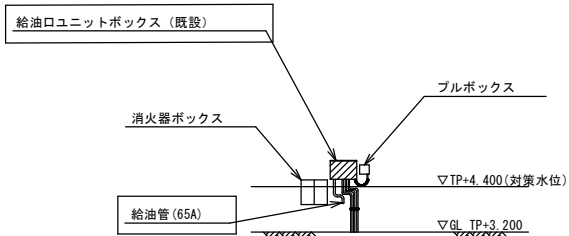


No. 1ポンプ井水位計要領図(今回)

S=1/50

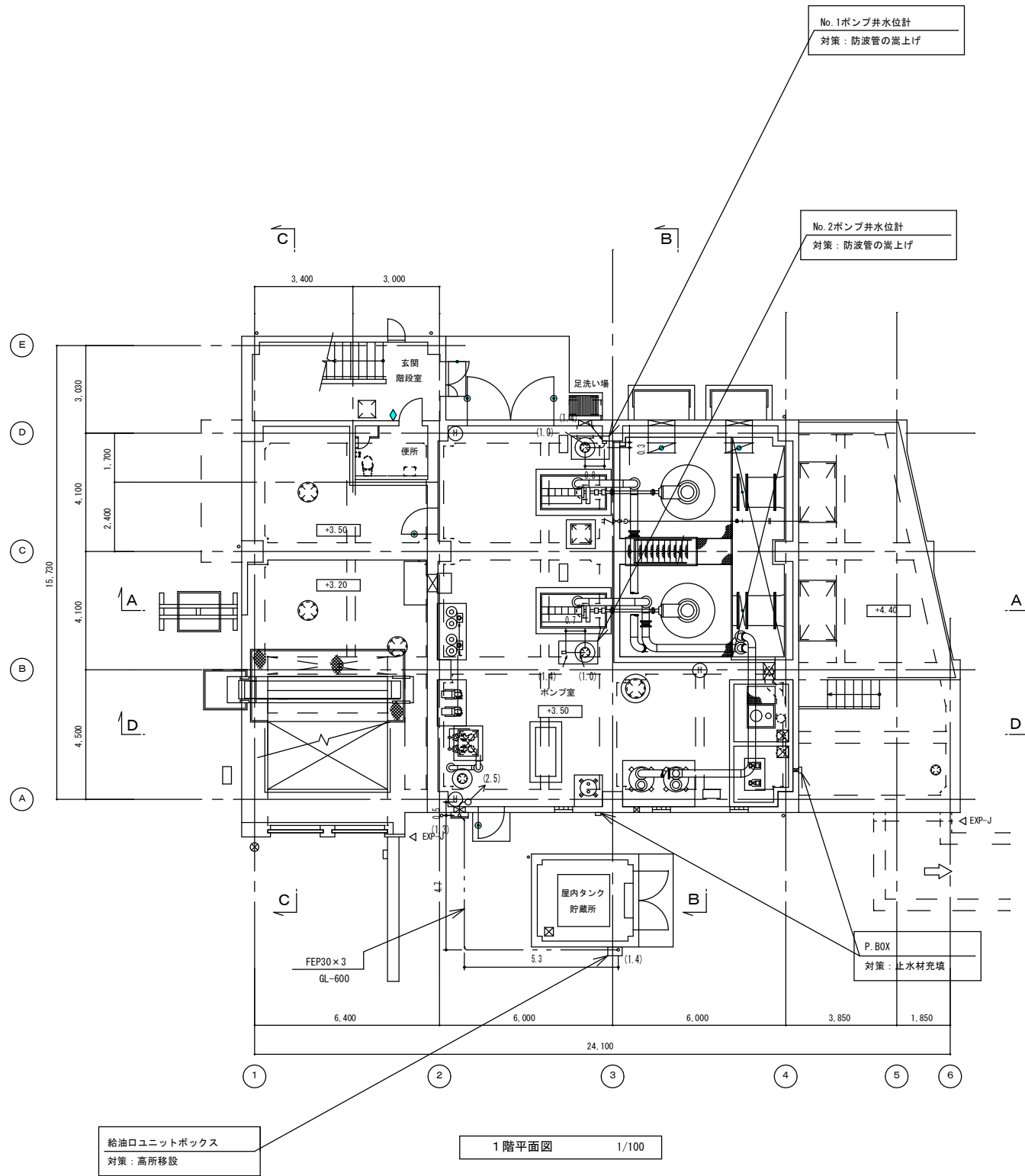
No. 2ポンプ井水位計要領図(今回)

S=1/50



壁掛盤等要領図(今回)

S=1/100



1階平面図

1/100

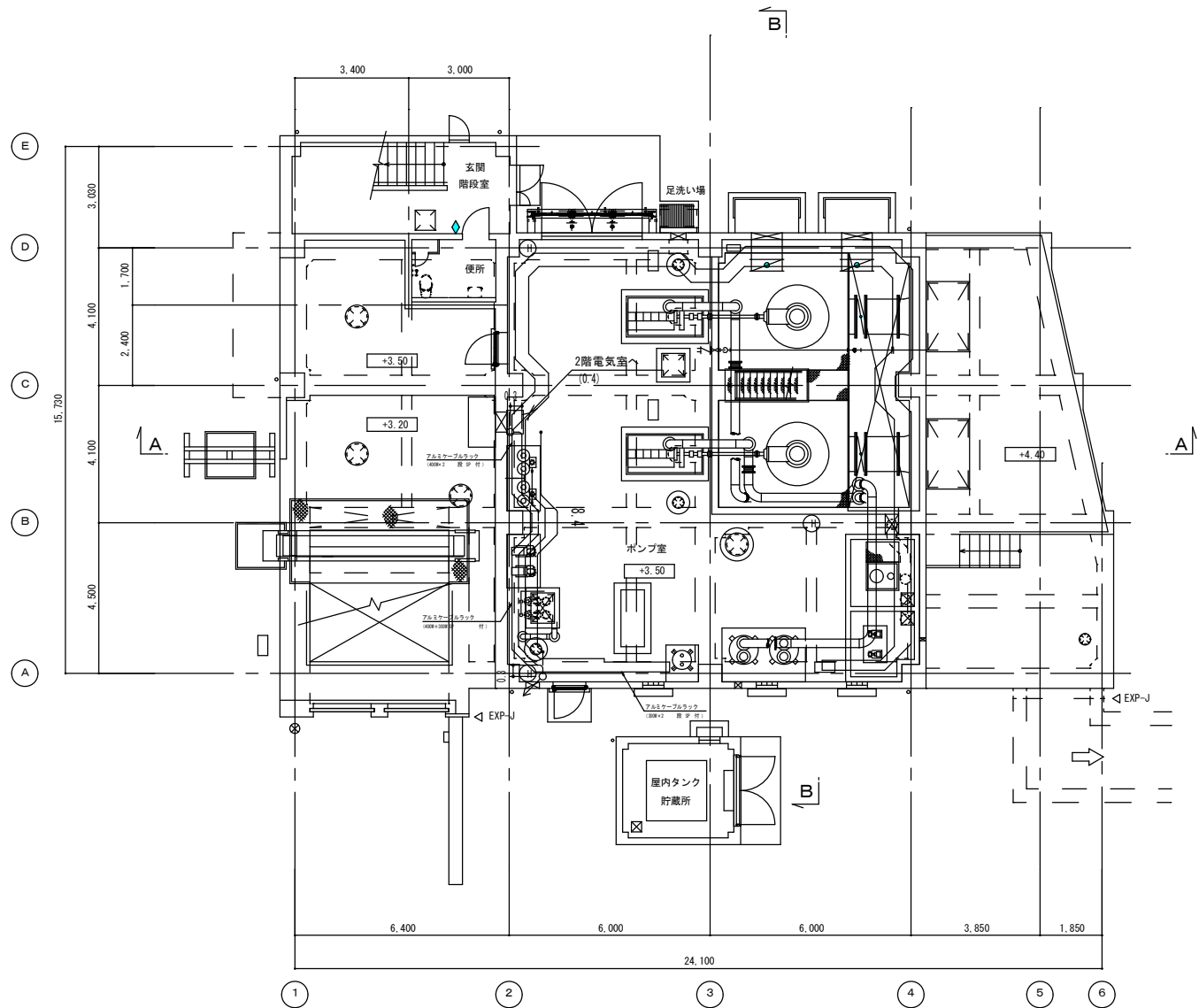
注記

1. ☐ は今回を示す。

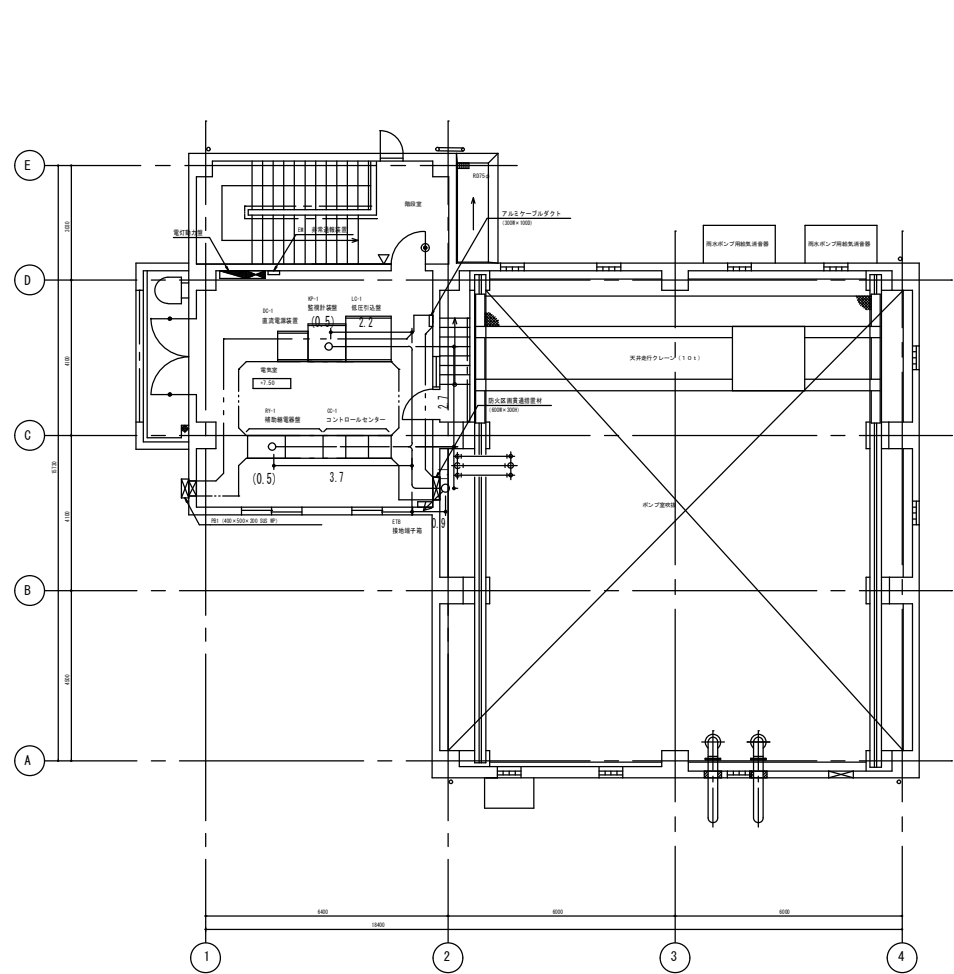
配線種類

配線種類	配線場所
ラック上配線	
FEP管内配線	
露出電線管内配線	
埋込電線管内配線	
ビット、ダクト内配線	

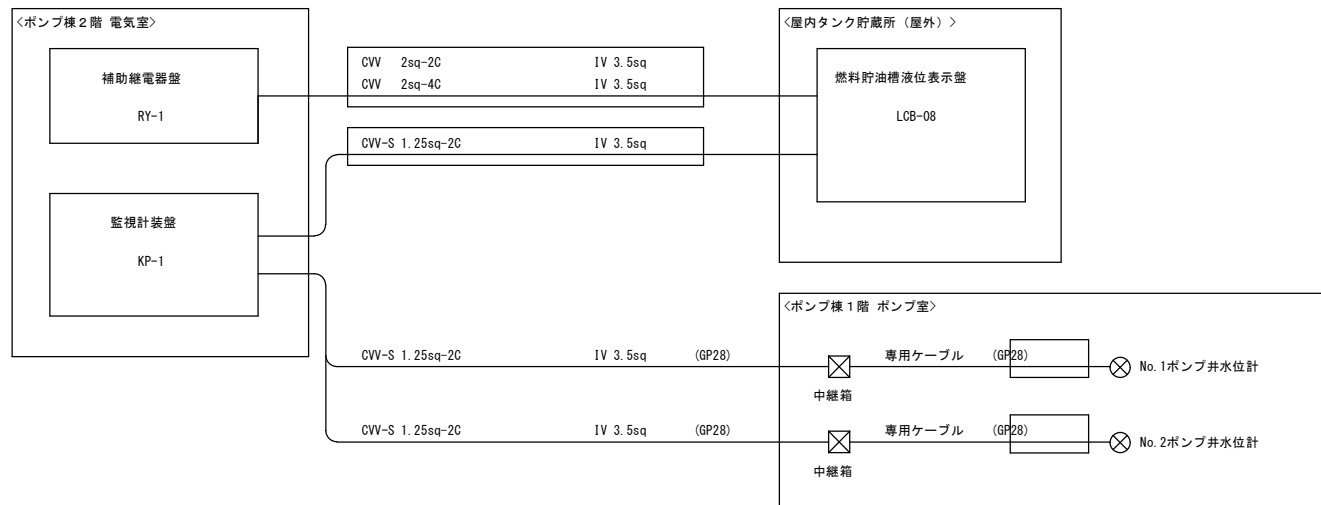
工事名	雨水排水ポンプ場耐水化工事 (7-1)		
工事場所	三原市 和田一丁目		
図面番号	E-1	縮尺	S=1/100
図面名： 宗郷雨水排水ポンプ場 案内図・1階平面図 (今回)			
三原市			



1 階（上部）電気配線図 1/100



2 階平面図 1/100

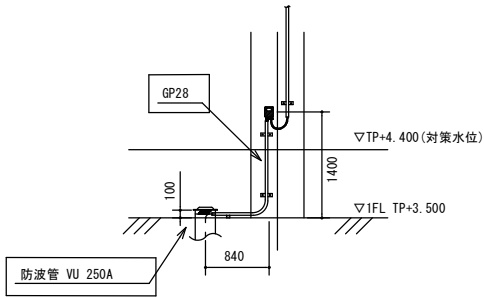


配線系統図（今回） S=NON

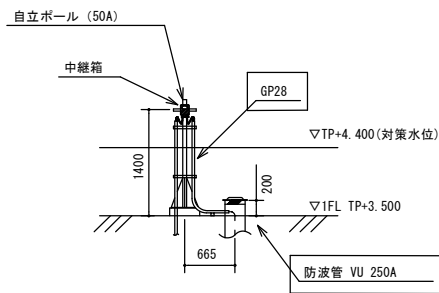
配線種類	
配線種類	配 線 場 所
——	ラック上配線
——	FEP管内配線
——	露出電線管内配線
——	埋込電線管内配線
——	ビット、ダクト内配線

注 記
1. は今回を示す。

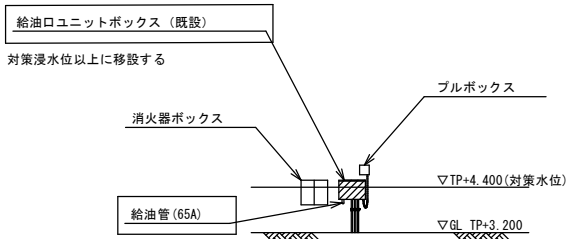
工 事 名	雨水排水ポンプ場耐水化工事（7-1）		
工事場所	三原市 和田一丁目		
図面番号	E-2	縮尺	S=1/100
図面名：		1 階（上部） 2 階平面図	（今回）
三 原 市			



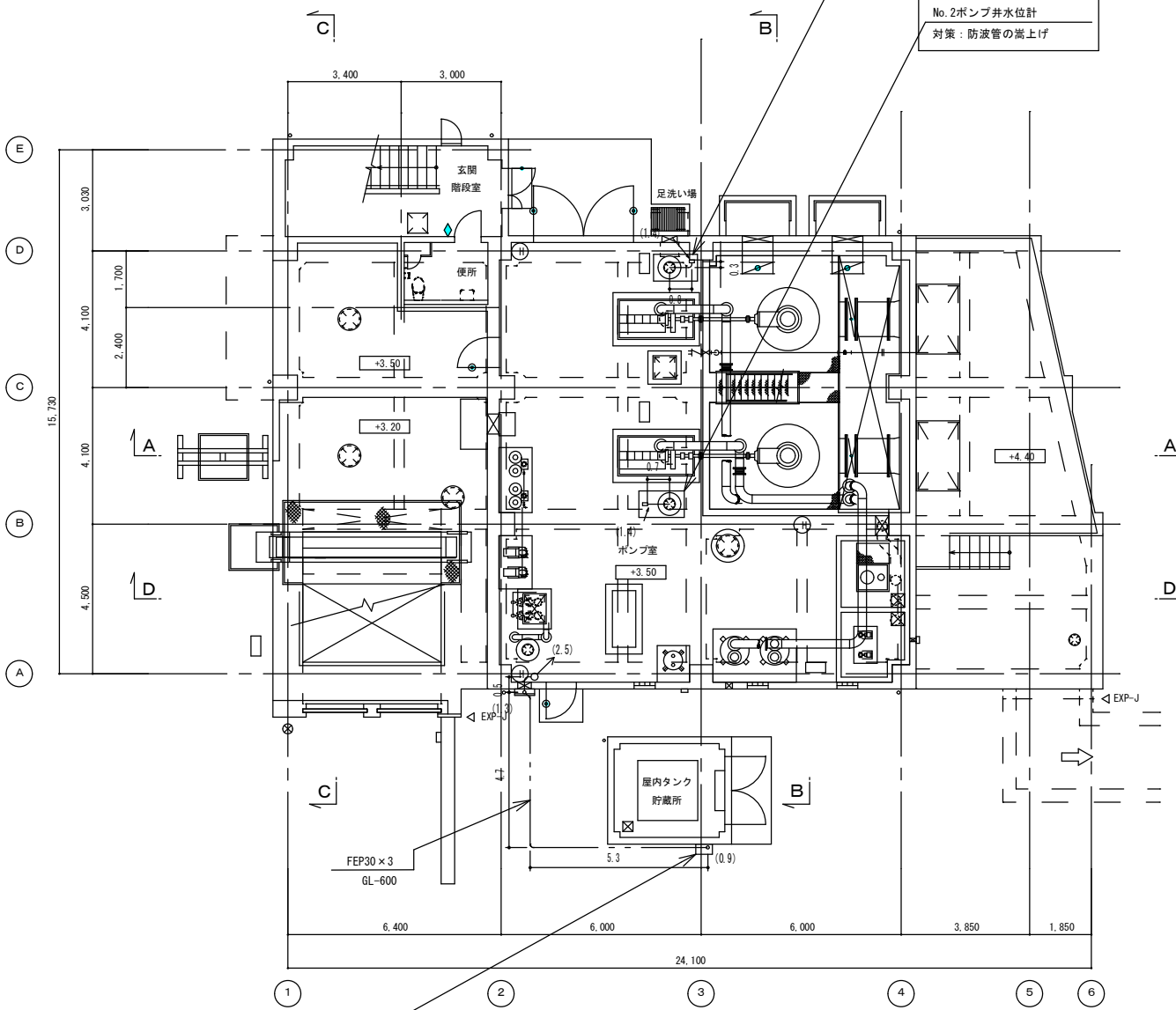
No. 1ポンプ井水位計要領図(撤去) S=1/50



No. 2ポンプ井水位計要領図(撤去) S=1/50



壁掛盤等要領図(撤去) S=1/100



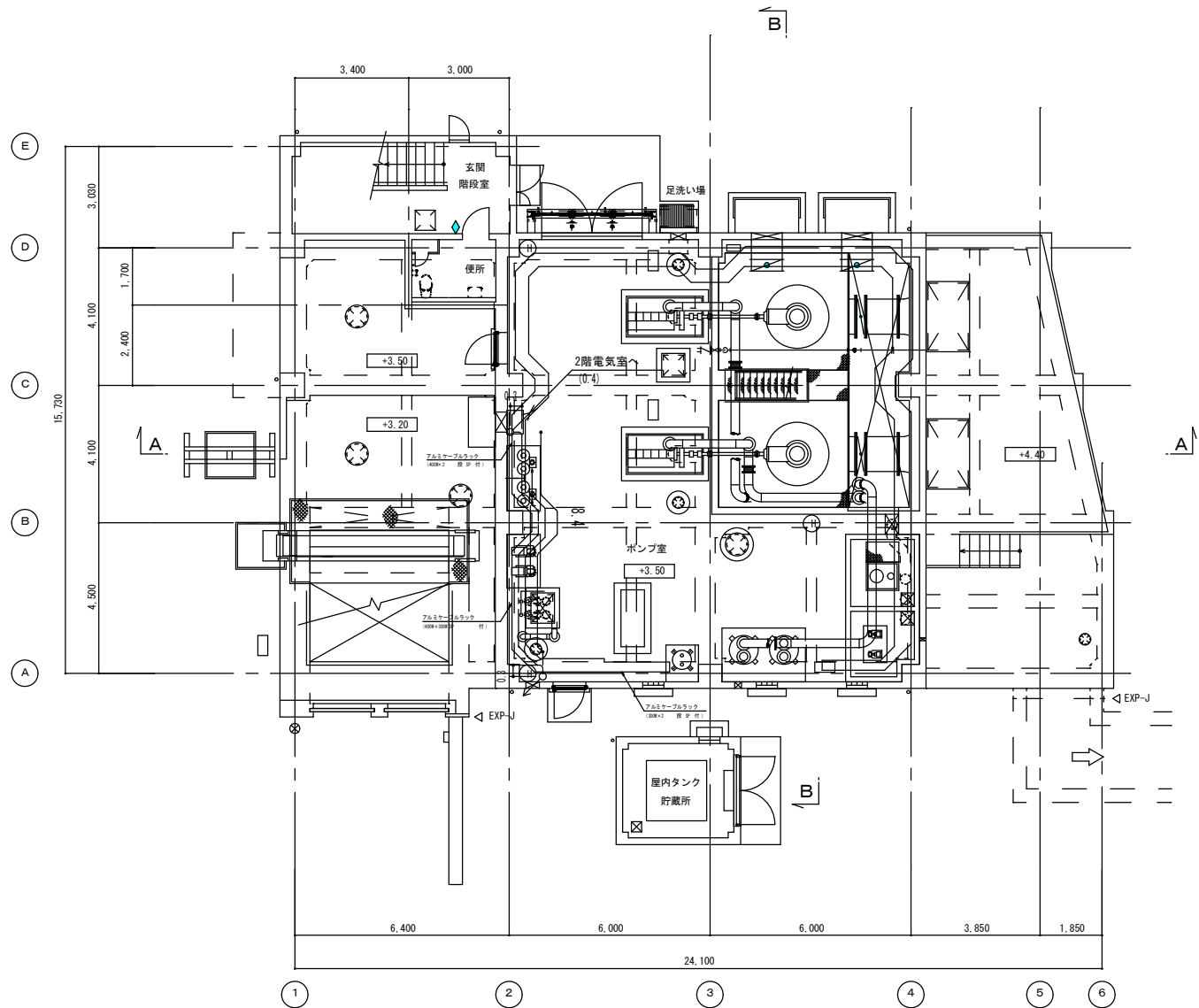
給油口ユニットボックス
対策：高所移設

1階平面図 1/100

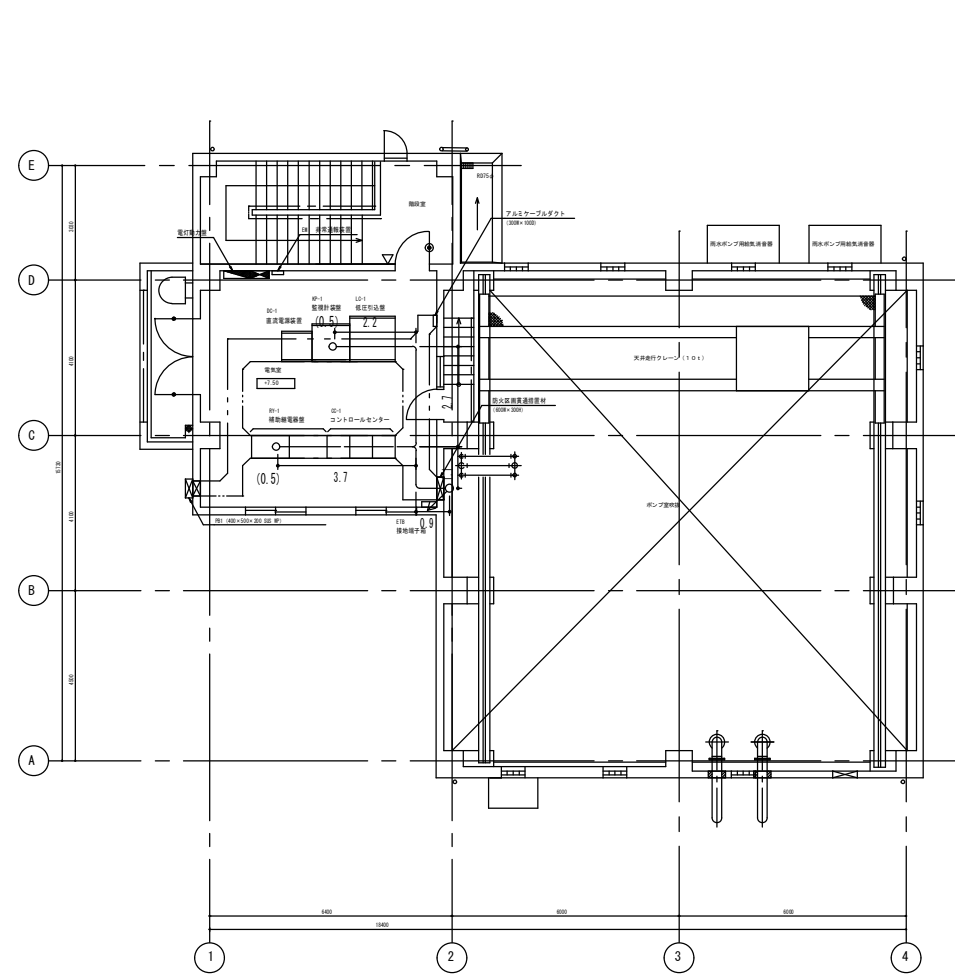
注記
1. は撤去を示す。

配線種類	
配線種類	配線場所
	ラック上配線
	FEP管内配線
	露出電線管内配線
	埋込電線管内配線
	ビット、ダクト内配線

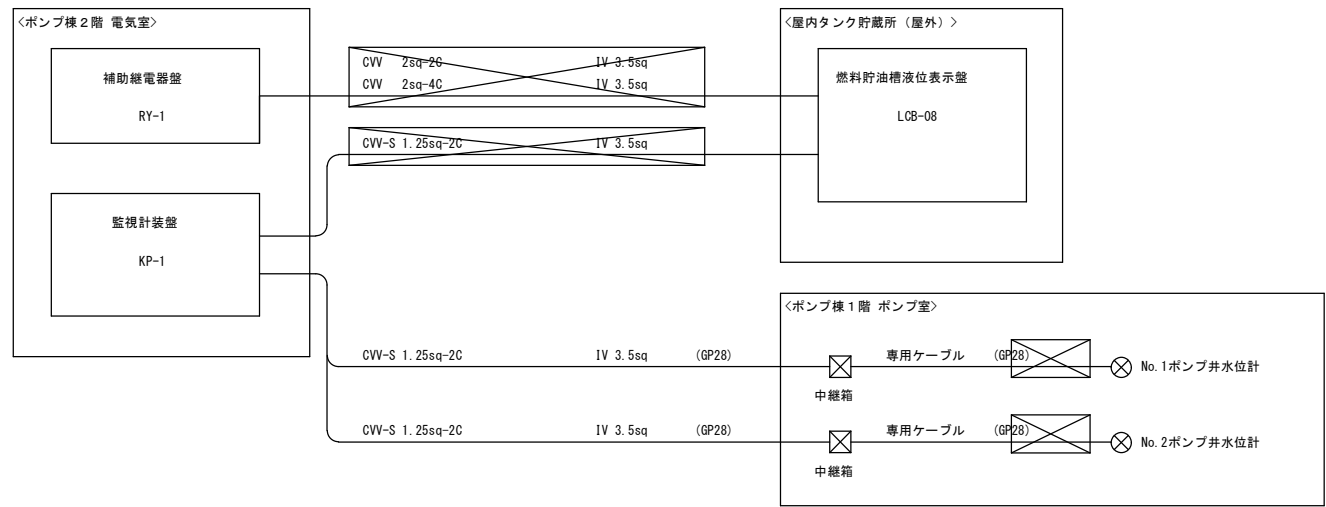
工 事 名	雨水排水ポンプ場耐水化工事（7-1）		
工事場所	三原市 和田一丁目		
図面番号	E-3	縮尺	S=1/100
図面名： 宗郷雨水排水ポンプ場 1階平面図（撤去）			
三 原 市			



1 階（上部）電気配線図 1/100



2 階平面図 1/100



配線系統図（撤去） S=NON

配線種類	
配線種類	配線場所
ラック上配線	
FEP管内配線	
露出電線管内配線	
埋込電線管内配線	
ビット、ダクト内配線	

注 記
1. は撤去を示す。

工 事 名	雨水排水ポンプ場耐水化工事（7-1）		
工事場所	三原市 和田一丁目		
図面番号	E-4	縮尺	S=1/100
図面名：		1 階（上部） 2 階平面図	（撤去）
三 原 市			

雨水排水ポンプ場耐水化工事（7-1）

～

参考資料

～

明神雨水排水ポンプ場

建築工事

工事費内訳

1

名 称		数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費					
建築工事		1	式		
計					
共通費					
共通仮設費		1	式		
現場管理費		1	式		
一般管理費等		1	式		
計					
工事価格		1	式		
消費税等相当額		1	式		
工事費		1	式		
調査基準価格		1	式		
調査基準価格の100/110		1	式		

工事種別内訳

2

[illegible]

建築工事 種目別内訳

3

[illegible]

建築工事 科目別内訳

明神雨水排水ホ[○]ソフ[○]場

[illegible]

建築工事 中科目別内訳

5

明神雨水排水ポンプ場					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接仮設		1	式		
計					
外壁改修	撤去	1	式		
外壁改修	改修	1	式		
計					
建具改修	撤去	1	式		
建具改修	改修	1	式		
計					
内装改修	撤去	1	式		
内装改修	改修	1	式		
計					
発生材処理	運搬	1	式		
発生材処理	処分	1	式		
計					

[illegible]

建築工事 細目別内訳

7

明神雨水排水ポンプ場		外壁改修		撤去		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
カッター入れ	コンクリート面 厚さ20～30mm	7.5	m			
コンクリート撤去	無筋 人力 集積共	0.2	m ³			
壁 コア抜き	φ100 L180	1	か所			
壁 コア抜き	φ150 L180	1	か所			
カッター入れ	珪藻土面 厚さ20～30mm	2.3	m			
床珪藻土・床入り研ぎ 撤去	集積共	0.1	m ²			
壁珪藻土撤去	下地珪藻土共 集積共	0.1	m ²			
マンホール蓋撤去	φ800 集積共	1	か所			
マンホール蓋撤去	φ700 集積共	1	か所			
丸型ガリ撤去	φ150 集積共	1	か所			
計						

建築工事 細目別内訳

8

明神雨水排水ポンプ場		外壁改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
防水混和剤入り普通コンクリート	JIS A5308 FC=21 S18 粗骨材20	0.5	m3			
コンクリート打設手間		1	式			
水膨張ゴム	W15×H10	0.8	m			
ボルト型枠		1.1	m ²			
型枠	打放合板型枠B種 ラーメン構造 地上軸部 階高3.5～4.0m程度	1.1	m ²			
型枠運搬費	4t車 30km程度 往復	2.2	m ²			
打放し面補修	B 種 コーン処理 部分目違いばらい	1.1	m ²			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D10 少量	0.02	t			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D13 少量	0.04	t			
鉄筋加工組立	小型構造物 -	0.1	t			
鉄筋運搬費	4t車 30km程度	0.1	t			
あと施工アンカー	D13 下向	34	本			
あと施工アンカー確認 試験		1	回			
シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 25×10	11.3	m			
外装壁モザイクタイル張り	ユニットタイル マスク張り I 類 施ゆう 50角 平 45×45 下地モルタル別途	0.1	m ²			

建築工事 細目別内訳

9

明神雨水排水ポンプ場		外壁改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
防水材	溝形鋼C-150×75 L790 溶融亜鉛メッキ 鋼板t6 @250 溶融亜鉛メッキ 下端無収縮モルタル詰 アンカーM12 4本	1	か所			
防水材	溝形鋼C-150×75 L1000 溶融亜鉛メッキ 鋼板t6 @250 溶融亜鉛メッキ 下端無収縮モルタル詰 アンカーM12 4本	7	か所			
逆止弁付水抜管	ステンレス製 10φ L80	8	か所			
マンホール蓋	φ750 鋳鉄製 完全防水防臭型	1	か所			
マンホール蓋	φ800 鋳鉄製 完全防水防臭型	1	か所			
床コンクリート直均し仕上げ	金ごて 直均し仕上げ	2.3	m ²			
壁モルタル塗り	木ごて 外壁ユニットタイル下地 厚20	0.1	m ²			
ドレン管撤去後無収縮モルタル詰	φ100 L180	1	か所			
ドレン管撤去後無収縮モルタル詰	φ150 L180	1	か所			
丸型ガリ	φ150	1	か所			
計						

建築工事 細目別内訳

10

[illegible]

[illegible]

建築工事 細目別内訳

12

明神雨水排水ポンプ場		内装改修		撤去		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリートはつり	床 厚30mm 集積共	2.1	m ²			
カッター入れ	コンクリート面 厚さ20～30mm	11.5	m			
床モルタル・床人研ぎ撤去	集積共	1.1	m ²			
カッター入れ	モルタル面 厚さ20～30mm	5.7	m			
ビニル床タイル撤去	一般 集積共	1.2	m ²			
ビニル幅木撤去	一般 集積共	1.2	m			
消音材(A)撤去	集積共	1.2	m ²			
壁モルタル・プaster撤去	集積共	4.4	m ²			
カッター入れ	モルタル面 厚さ20～30mm	27	m			
壁モルタル・プaster撤去	集積共	1.5	m ²			
CB撤去	t100 集積共	3.4	m ²			
天井合板・ボード撤去	一重張り 一般 集積共	0.1	m ²			
ミキッパ取り外し	L1200	1	か所			
洗面器取り外し	W550×D500	1	か所			
計						

建築工事 細目別内訳

13

明神雨水排水ポンプ場		内装改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
床用塗料		0.2	m ²			
床珪藻塗り	金ごて 珪藻仕上げ 厚30	0.2	m ²			
帯電防止ビニル床タイル	t2.5	3	m ²			
床構造用合板	t15 I 類	1.6	m ²			
木製床組	H160	1.6	m ²			
床珪藻塗り	金ごて ビニル系床材下地 厚28	0.9	m ²			
床コンクリート直均し仕上げ	金ごて 直均し仕上げ	0.1	m ²			
床防水珪藻塗		2.3	m ²			
上り框	90×60 下部H100合板t5.5共	1.2	m			
ビニル幅木	高さ100	4.2	m			
壁 消音材	既設コンクリート面 t30 ステンファスター止め	0.5	m ²			
壁珪藻塗り	金ごて 内壁 厚20	5.1	m ²			
面台	W120×L1060 メラミン化粧板 t20	1	か所			
シーリング	一般部 シリコン系(SR-1) 10×10	1.1	m			
ライニング メラミン化粧板	t1.2	1.6	m ²			

建築工事 細目別内訳

14

明神雨水排水ポンプ場		内装改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
構造用合板	t15 Ⅰ類	1.6	m ²			
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りなし @300	1.6	m ²			
器具取付下地補強	スチールPL-1.6 W600×H300	1	m ²			
天井化粧 せっこうボード 張り(GB-D)	厚 9.5 準不燃 トライオン 突付け	0.2	m ²			
天井廻縁	塩化ビニル製	1	m			
防水板	W2400×H1000 アルミ既製品 脱着式(常設) 中間支柱共	1	か所			
シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 20×10	4.7	m			
防水板	W3600×H600 アルミ既製品 脱着式(常設) 中間支柱共	1	か所			
シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 20×10	4.9	m			
配管閉鎖補強	スチールPL-3.2 400×400 SOP アンカー 4-12M	1	か所			
既存貫通孔穴埋め 補修	φ150 L230 無収縮珪藻土充填	1	か所			
既存貫通孔穴埋め 補修	φ100 L230 無収縮珪藻土充填	1	か所			
ミキッパ再取付	L1200 配管共	1	か所			
手洗器再取付	W550×D500 配管共	1	か所			
照明器具取り外し 再取付け		2	か所			

建築工事 細目別内訳

15

[illegible]

[illegible]

[illegible]

明神雨水排水ポンプ場 直接仮設						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
墨出し		1	式			
墨出し(外壁改修)	タイル・珪外塗替等 一般	3.3	m ²			
計						
養生		1	式			
養生(内部改修)	複合改修	104	m ²			
養生(内部改修)	搬出入路部分	31.1	m ²			
計						
整理清掃後片付け		1	式			
整理清掃後片付け (内部改修)	複合改修	104	m ²			
整理清掃後片付け (内部改修)	搬出入路部分	31.1	m ²			
計						

[illegible]

[illegible]

雨水排水ポンプ場耐水化工事（7-1）

～

参考資料

～

明神雨水排水ポンプ場

機械設備工事

総括情報表

頁0 -0001

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 59 三原市 00-07.08.01(0)		《凡例》 Co …コンクリート As …アスファルト DT …ダンプトラック BH …バックホウ CC …クローラクレーン TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン
諸経費体系	F 下水道機械設備		
	当世代	前世代	
復興補正区分 前払金支出割合区分 週休補正区分 契約保証区分	00 補正なし 00 補正無し 09 閉所型・月単位 01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
設備工（機器費）					Y1800F レベル1
ポンプ設備工	1	式			Y28003F レベル2
ポンプ設備工	1	式			Y280031F レベル3
設計技術費対象外	1	式			Y48003102F レベル4
単純な部分取替えを行う機器費 設計技術費[対象外]	1	式			#0040
耐内水圧鋳鉄製マンホール蓋 φ600 0.03MPa以上 歩行荷重用以上	1	組			F0001 00
耐内水圧鋳鉄製マンホール蓋 φ1000 0.01MPa以上 歩行荷重用以上	1	組			F0008 00
機器費					

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
設備工	1	式			Y1900F レベル1
ポンプ設備工	1	式			Y29003F レベル2
材料費	1	式			Y390032F レベル3
直接材料費	1	式			Y49003201F レベル4
小配管 SGP	1	式			V0001 00
小配管弁類	1	式			単第0 -0001 表
補助材料費	1	式			V0002 00
補助材料費 (率分)	1	式			単第0 -0002 表
	1.7	式			SY49202F 00
労務費	1	式			機械設備 単第0 -0003 表
					Y390033F レベル3

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
一般労務費					Y49003301F レベル4
	1	式			
一般労務					V0003 00
	1	式			単第0 -0004 表
複合工費					Y390034F レベル3
	1	式			
撤去工					Y49003401F レベル4
	1	式			
構造物とりこわし工(鉄筋構造物) 人力施工					SDT00033 00
	0.07	m3			単第0 -0005 表
復旧工					Y49003402F レベル4
	1	式			
モルタル練 普通					SPK25040158 00
	0.04	m3			単第0 -0006 表
※※直接工事費※※					
準備費					Z0002

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
準備費					YZ902 レベル2
	1	式			
準備費					YZ902001 レベル3
	1	式			
準備費					YZ902001001レベル4
	1	式			
コンクリート殻処分					V0004 00
	1	式			単第0 -0007 表
スクラップ H2					F0007 00
	0.242	t			
共通仮設費率分					Z0010
計算情報…… 対象額……… 率………					対象額合計…
共通仮設費					
純工事費					

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
現場管理費 計算情報…… 対象額…… 率……					対象額合計…
※※据付工事原価※※					
設計技術費 計算情報…… 対象額…… 率……					対象額合計…
※※工事原価※※					
一般管理費率分額 計算情報…… 対象額…… 率……		機器補正率…			前払補正率… 対象額合計…
契約保証費 計算情報…… 対象額…… 率……					当初請対額 当初対象額
※※一般管理費計※※					
※※工事価格計※※					
消費税相当額 計算情報…… 対象額…… 率……					

本工事費 内訳表

頁0 -0007

[illegible]

施工単価表

頁0 -0008

小配管 SGP

V0001

單第0 -0001 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0009

小配管弁類

V0002

單第0 -0002 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0010

補助材料費（率分）

SY49202F

單第0 -0003 表

1

式 当り

機械設備

[illegible]

施工単価表

頁0 -0011

一般勞務

V0003

單第0 -0004 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0012

構造物とりこわし工(鉄筋構造物)

SDT00033

單第0 -0005 表

人力施工

m3

当り

[illegible]

施工単価表

モルタル練
普通
機械構成比: 0.00%
労務構成比: 82.04%
材料構成比: 17.96%
市場単価構成比: 0.00%

SPK25040158

単第0 -0006 表

1
標準単価: 102,720.00000

m3 当り
102,720.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	54.42%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	27.46%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
セメント(袋) 普通ポルトランド 25kg/袋	12.48%		セメント 高炉B 25kg袋入		TTPCD0094 TTPT00063
コンクリート用砂 細目(洗い)	5.48%		砂 細目(洗い)		TTPC00066 TTPT00066
積算単価			積算単価		EP001
A=2 普通			B=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0014

コンクリート殻処分

V0004

單第0 -0007 表

1 式 当り

備考

单第0-0008 表

[illegible]

施工単価表

頁0 -0015

殻運搬
Co(鉄筋)構造物とりこわし
機械構成比: 40.77% 労務構成比: 44.82% 材料構成比: 14.41% 市場単価構成比: 0.00%
SPK25040155
DID区間有り 運搬距離8.0km以下(5.7km超)
1
標準単価: 2,159.20000
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	40.77%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	44.82%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.41%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 C=2 E=1 Co(鉄筋)構造物とりこわし DID区間有り -(全ての費用)			B=1 D=34 機械積込 運搬距離8.0km以下(5.7km超)		

明神雨水排水ポンプ場

名 称	形 状 寸 法	算 式	単 位	
1. 撤去 鋳鉄製マンホール蓋 撤去工	φ 1000 (受枠共)		箇所	1. 00
鋳鉄製マンホール蓋 スクラップ		カタログ参考荷重	kg	204
コンクリートはつり工	人力	$(1.20 \times 1.20 - 1.00 \times 1.00 \times \pi / 4) \times 0.085 =$	0.06	
		計	0.06 m3	0.06
Conガラ積み込み工	人力		0.06 m3	0.06
Conガラ処分工			0.06 m3	0.06
2. 更新 耐内水圧マンホール蓋 設置工	φ 1000用 受枠共 内耐水圧0.01Mpa以上) 歩行荷重用以上		箇所	1. 00
無収縮モルタル工		$(1.20 \times 1.20 - 1.16 \times 1.16 \times \pi / 4) \times 0.085 =$	0.03 m3	0.03
		計		

明神雨水排水ポンプ場

名 称	形 状 寸 法	算 式	単 位	
3. 撤去 鋳鉄製マンホール蓋 撤去工	φ 600 (受枠共)		箇所	1. 00
鋳鉄製マンホール蓋 スクラップ		カタログ参考荷重	kg	38. 00
コンクリートはつり工	人力	$(0.75 \times 0.75 - 0.66 \times 0.66 \times \pi / 4) \times 0.065 =$	0. 01	
		計	0. 01 m3	0. 01
Conガラ積み込み工	人力		0. 01 m3	0. 01
Conガラ処分工			0. 01 m3	0. 01
4. 更新 耐内水圧マンホール蓋 設置工	φ 600用 受枠共 内耐水圧0. 03Mpa以上) 歩行荷重用以上		箇所	1. 00
設備機械工		$4.9 \times 0.038 \times 1.4 + 4.9 \times 0.204 \times 1.4 =$	1. 66 人	1. 00
無収縮モルタル工		$(0.75 \times 0.75 - 0.73 \times 0.73 \times \pi / 4) \times 0.065 =$	0. 01 m3	0. 01
		計		

明神雨水排水ポンプ場

名 称	形 状 寸 法	算 式	単 位	
5. 撤去 (ドレン管) 既設ドレン管 撤去工	No. 1 25A		mm	0. 29
6. 更新 (ドレン管) ドレン管 設置工	No. 1 25A		mm	0. 20
逆流防止弁 設置工	UN (25A) 面間 : 90. 0mm	リフトチャッキ (SCS13A) ステンレス鋼 10K ねじ込み形	個	1. 00
配管工	No. 1 25A	$(0. 24 \times 0. 29) \times 0. 4 + (0. 24 \times 0. 29) =$ 計	0. 10 人	1. 00

雨水排水ポンプ場耐水化工事（7-1）

～

参考資料

～

明神雨水排水ポンプ場

電気設備工事

総括情報表

頁0 -0001

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 59 三原市 00-07.08.01(0)	《凡例》 Co …コンクリート As …アスファルト DT …ダンプトラック BH …バックホウ CC …クローラクレーン TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン	
諸経費体系	G 下水道電気設備		
	当世代	前世代	
復興係数区分 前払金支出割合区分 週休補正区分 契約保証区分	00 補正なし 00 補正無し 09 閉所型・月単位 01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
設備工					Y1900G レベル1
電気設備工	1	式			Y29001G レベル2
材料費	1	式			Y390012G レベル3
直接材料費	1	式			Y49001201G レベル4
制御ケーブル	1	式			V0001 00
低圧ケーブル	1	式			単第0 -0001 表 V0002 00
電線管	1	式			単第0 -0002 表 V0004 00
補助材料費	1	式			単第0 -0003 表 Y49001202G レベル4
	1	式			

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
補助材料費（率分）					SY49202G 00
	1	式			電気設備 単第0 -0004 表
労務費					Y390013G レベル3
	1	式			
一般労務費					Y49001301G レベル4
	1	式			
電工					R0090 00
	14	人			
技術労務費					Y49001302G レベル4
	1	式			
電気通信技術者 （据付）					R1110 00
	4	人			
複合工費					Y390014G レベル3
	1	式			
止水材充填工					Y49001401G レベル4
	1	式			
開口部浸水対策工					V0005 00
	1	箇所			単第0 -0005 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
管路止水防水工					V0006 00
	4	孔			単第0 -0006 表
※※直接工事費※※					
共通仮設費率分					Z0010
計算情報…… 対象額……… 率………					対象額合計…
※※共通仮設費※※					
※※純工事費※※					
現場管理費 計算情報…… 対象額……… 率………					対象額合計…
※※据付工事原価※※					
設計技術費 計算情報…… 対象額……… 率………					対象額合計…

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
※※工事原価※※					
一般管理費率分額 計算情報…… 対象額……… 率………					前払補正率… 対象額合計…
契約保証費 計算情報…… 対象額……… 率………					当初請対象額 当初対象額
※※一般管理費計※※					
※※工事価格計※※					
消費税相当額 計算情報…… 対象額……… 率………					
※※請負工事費計※※					

施工単価表

頁0 -0006

制御ケーブル

V0001

單第0 -0001 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0007

低圧ケーブル

V0002

單第0 -0002 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0008

電線管

V0004

單第0 -0003 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0009

補助材料費（率分）

SY49202G

單第0 -0004 表

1

式 当り

電気設備

[illegible]

施工単価表

頁0 -0010

開口部浸水対策工

V0005

單第0 -0005 表

1

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0011

管路止水防水工

V0006

單第0 -0006 表

4

孔 当り

[illegible]

[illegible]

機 器 数 量(移設)

数量・単位は据付入力欄のものとします[明神雨水排水ポンプ場]

(1)	機 器	地下燃料タンク液位盤	面	1
(2)	機 器	給油口ユニットボックス	面	1
(3)	機 器	取引用計器盤	面	1
(4)	機 器	接地測定用端子盤	面	1

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

人 工 集 計 表

[明神雨水排水ポンプ場]

[illegible]

[明神雨水排水ポンプ場]

電工量小計= 1.567

[明神雨水排水ポンプ場]

電工量小計= 0.734

[明神雨水排水ポンプ場]

電工量小計= 0.422

[明神雨水排水ポンプ場]

電工量小計= 0.706

[明神雨水排水ポンプ場]

$$\overline{Z-1/1}$$

材 料 内 訳 表

	配線区間		600V CV				CVV				CVV				VE				VE				
			3.5 sq				2 sq				1.25 sq				36 mm				22 mm				
			2 c				2 c				2 c												
NO	自	至	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	露出	埋込			露出	埋込			
2004	P-CRB-01	LB-13					12.9x2				4.6x2									1.7			
2005	P-CRB-01	LB-13										12.9			4.6					1.7			
2006	LCB-01	LB-13	14.9x2			4.6x2										1.7							
2007	LB-13	燃料貯油槽液																		2.4			

材 料 内 訳 表

[illegible]

材 料 内 訳 表

NO	区分	複合工費							
		止水材充填							
		箇所							
2001	ポンプ棟	5							
	(1/1)	ZHK (2- 1)	5						

明神雨水排水ポンプ場（撤去）

材 料 内 訳 表

	配線区間		600V CV				CVV				CVV				VE				VE				
			3.5 sq				2 sq				1.25 sq				36 mm				22 mm				
			2 c				2 c				2 c												
NO	自	至	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	露出	埋込			露出	埋込			
6004	P-CRB-01	LB-13					12. 9x2				4. 6x2									1. 0			
6005	P-CRB-01	LB-13													12. 9					1. 0			
6006	LCB-01	LB-13	14. 9x2			4. 6x2																	
6007	LB-13	燃料貯油槽液														1. 0							

N o	自	至	種別・サイズ・本数	経路	合計	計 算
2001	PAS	WH-1 取引用計器盤		P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		
2002	WH-1 取引用計器盤	MC-01 引込受電盤		P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
				CP		
			FEP 50 mm	露出	1.6	(1.6)
				埋込		
2003	接地測定用端子盤	接続点A	IV 14 sq	P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
				CP		
			VE 16 mm	露出	0.6	(0.6)
				埋込		
2004	P-CRB-01 備補助継電器盤	LB-13 地下燃料タンク液位盤	CVV 2 sq - 2 c x 2	P&D	12.9	(0.5)+ 0.3 + 3.8 + 0.4 + 1.5 + 4.1 + (1.5)+ 0.8
				RACK		
				CP		
				FEP	4.6	4.1 + 0.5
				CP		
			VE 22 mm	露出	1.7	(1.7)
				埋込		
2005	P-CRB-01 備補助継電器盤	LB-13 地下燃料タンク液位盤	CVV 1.25 sq - 2 c	P&D	12.9	(0.5)+ 0.3 + 3.8 + 0.4 + 1.5 + 4.1 + (1.5)+ 0.8
				RACK		
				CP		
				FEP	4.6	4.1 + 0.5
				CP		
			VE 22 mm	露出	1.7	(1.7)
				埋込		

明神雨水排水ポンプ場（ 2/ 2）

拾い出し根拠表

[水ポンプ場]

N o	自	至	種別・サイズ・本数	経路	合計	計 算
2006	LCB-01 現場総括盤	LB-13 地下燃料タンク液位盤	600V CV 3.5 sq - 2 c x 2	P&D	14.9	(0.5)+ 2.3 + 3.8 + 0.4 + 1.5 + 4.1 + (1.5)+ 0.8
				RACK		
				CP		
				FEP	4.6	4.1 + 0.5
			VE 36 mm	CP		
				露出	1.7	(1.7)
				埋込		
2007	LB-13 地下燃料タンク液位盤	燃料貯油槽液位計	CVV 1.25 sq - 2 c	P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
			VE 22 mm	CP		
				露出	2.4	0.7 + (1.7)
				埋込		

明神雨水排水ポンプ場（撤去）（ 1/ 2）

拾い出し根拠表

[水ポンプ場]

N o	自	至	種別・サイズ・本数	経路	合計	計 算
6001	PAS	WH-1 取引用計器盤		P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		
6002	WH-1 取引用計器盤	MC-01 引込受電盤		P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
				CP		
			FEP 50 mm	露出	1.0	(1.0)
				埋込		
6003	接地測定用端子盤	接続点A	IV 14 sq	P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
				CP		
			VE 16 mm	露出		
				埋込		
6004	P-CRB-01 備補助継電器盤	LB-13 地下燃料タンク液位盤	CVV 2 sq - 2 c x 2	P&D	12.9	(0.5)+ 0.3 + 3.8 + 0.4 + 1.5 + 4.1 + (1.5)+ 0.8
				RACK		
				CP		
				FEP	4.6	4.1 + 0.5
				CP		
			VE 22 mm	露出	1.0	(1.0)
				埋込		
6005	P-CRB-01 備補助継電器盤	LB-13 地下燃料タンク液位盤	CVV 1.25 sq - 2 c	P&D	12.9	(0.5)+ 0.3 + 3.8 + 0.4 + 1.5 + 4.1 + (1.5)+ 0.8
				RACK		
				CP		
				FEP	4.6	4.1 + 0.5
				CP		
			VE 22 mm	露出	1.0	(1.0)
				埋込		

明神雨水排水ポンプ場（撤去）（ 2/ 2）

拾い出し根拠表

[水ポンプ場]

N o	自	至	種別・サイズ・本数	経路	合計	計 算
6006	LCB-01 現場総括盤	LB-13 地下燃料タンク液位盤	600V CV 3.5 sq - 2 c x 2	P&D	14.9	(0.5)+ 2.3 + 3.8 + 0.4 + 1.5 + 4.1 + (1.5)+ 0.8
				RACK		
				CP		
				FEP	4.6	4.1 + 0.5
			VE 36 mm	CP		
				露出	1.0	(1.0)
				埋込		
6007	LB-13 地下燃料タンク液位盤	燃料貯油槽液位計	CVV 1.25 sq - 2 c	P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
			VE 22 mm	CP		
				露出	1.4	0.7 + (0.7)
				埋込		

機 器 名 称	形 状	単位	数量	技術者		電 工		技術者単体調整				歩 掛 ページ	機器重量(t)		備 考
				単位工量	工量	単位工量	工量	単位工量	工量	単位工量	工量		単位重量	重量	
地下燃料タンク液位盤	地下燃料タンク液位盤	面	1	0.71*1.6 =1.1	1.1	1.8*1.6 =2.8	2.8							0.035	現場操作盤5 壁掛形 W400*H500
給油口 ユニットボックス	給油口 ユニットボックス	面	1	0.71*1.6 =1.1	1.1	1.8*1.6 =2.8	2.8							0.035	現場操作盤5 壁掛形 W400*H500
取引用計器盤	取引用計器盤	面	1	0.71*1.6 =1.1	1.1	1.8*1.6 =2.8	2.8							0.035	現場操作盤5 壁掛形 W400*H500
接地測定用端子盤	接地測定用端子盤	面	1	0.71*1.6 =1.1	1.1	1.8*1.6 =2.8	2.8							0.035	現場操作盤5 壁掛形 W400*H500
計（S-201）				4.4		11.2							0.140		

雨水排水ポンプ場耐水化工事（7-1）

～

参考資料

～

東町雨水排水ポンプ場

建築工事

工事費内訳

1

名 称		数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費					
建築工事		1	式		
計					
共通費					
共通仮設費		1	式		
現場管理費		1	式		
一般管理費等		1	式		
計					
工事価格		1	式		
消費税等相当額		1	式		
工事費		1	式		
調査基準価格		1	式		
調査基準価格の100/110		1	式		

工事種別内訳

名 称		数 量	单 位	金 額	備 考
建築工事		1	式		
計					

建築工事 種目別内訳

3

[illegible]

建築工事 科目別内訳

4

東町雨水排水ポンプ場

[illegible]

建築工事 中科目別内訳

5

東町雨水排水ポンプ場					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接仮設		1	式		
計					
外壁改修	撤去	1	式		
外壁改修	改修	1	式		
計					
建具改修	撤去	1	式		
建具改修	改修	1	式		
計					
内装改修	撤去	1	式		
内装改修	改修	1	式		
計					
発生材処理	運搬	1	式		
発生材処理	処分	1	式		
計					

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

8

東町雨水排水ポンプ場		外壁改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
根切り	小規模土工 -	0.4	m3			
埋戻し(B種)	小規模土工 発生土	0.03	m3			
敷きならし	締め固め共	0.3	m3			
床付け	つぼ,布掘り	3	m ²			
砂利地業	再生切込碎石	0.2	m3			
普通コンクリート	JIS A5308 FC=18 S15 粗骨材20	0.2	m3			
普通コンクリート	JIS A5308 FC=24 S18 粗骨材20	1	m3			
コンクリート打設手間		1	式			
ポンプ圧送		1	式			
目あらし	コンクリート面 壁	1.3	m ²			
型枠	普通合板型枠 - 基礎部 -	1.1	m ²			
型枠	打放合板型枠B種 ラーメン構造 地上軸部 階高3.5～4.0m程度	2.2	m ²			
型枠運搬費	4t車 30km程度 往復	3.3	m ²			
打放し面補修	B 種 コーン処理 部分目違いばらい	2.2	m ²			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D10 少量	0.04	t			

建築工事 細目別内訳

9

東町雨水排水ポンプ場		外壁改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D13 少量	0.1	t			
鉄筋加工組立	小型構造物 -	0.1	t			
鉄筋運搬費	4t車 30km程度	0.1	t			
あと施工アンカー	D13 Ln=20da Le=100 横向	30	本			
あと施工アンカー確認 試験		1	回			
シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 20×10	1.3	m			
壁 なまこタイル	300角 2.8m2	1	式			
壁 なまこタイル 送料		1	式			
止水板	アルミ製 既製品 W3500×H650 中間支柱ボルト H710 2か所共	1	か所			
排水管	SUS25φ L260	3	か所			
逆止弁	ステンレス製 65φ L220 ステンレスフランジ溶接 2か所 梱包送料共	1	式			
ステンレス管	65A L150 開口端ステンレスネット付	1	か所			
排水管架台	C-180×75×7×1.5 L200 溶融亜鉛メッキ 無収縮アルミ あと施工アンカー 2-M12共	1	か所			
床コンクリート直均し 仕上げ	金ごて 直均し仕上げ	2.4	m ²			
笠木天端コンクリート 直均し仕上げ	金ごて 幅220	1.4	m			

[illegible]

[illegible]

建築工事 細目別内訳

12

東町雨水排水ポンプ場		建具改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
SD3N 片開きスチールフラッシュ 戸新設	W900×H2000	1	か所			
SD4N 片開きスチールフラッシュ 戸新設	W900×H2000	1	か所			
高圧水洗浄	150～200kg/cm2	3.2	m ²			
下地調整費	コンクリート面 屋内外 C-1	3.2	m ²			
複層塗材 RE	コンクリート面 ゆず肌状 ローター塗り アクリル系 水系 つやあり 上塗2回 下地調整費別途	3.2	m ²			
複層塗材 RE	コンクリート面 ゆず肌状 ローター塗り アクリル系 水系 つやあり 上塗2回 下地調整費(C-1)共	0.3	m ²			
シーリング*	一般部 変成シリコン系 (MS-2) 25×10	11.6	m			
建具周囲防水 モルタル充填	外部建具	11.6	m			
フッ素樹脂遮熱塗装	鋼製建具面	5.2	m ²			
SOP塗り	鋼製建具面 - 塗料1種 錆止共	5.2	m ²			
逆止弁付水抜管	スイング 逆止弁65A	1	か所			
計						

[illegible]

[illegible]

[illegible]

建築工事 細目別内訳

16

[illegible]

東町雨水排水ポンプ場 直接仮設						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
墨出し		1	式			
墨出し(外壁改修)	タイル・珪外塗替等 一般	6.2	m ²			
計						
養生		1	式			
養生(内部改修)	複合改修	32.6	m ²			
養生(内部改修)	搬出入路部分	17.5	m ²			
計						
整理清掃後片付け		1	式			
整理清掃後片付け (内部改修)	複合改修	32.6	m ²			
整理清掃後片付け (内部改修)	搬出入路部分	17.5	m ²			
計						

[illegible]

[illegible]

雨水排水ポンプ場耐水化工事（7-1）

～

参考資料

～

東町雨水排水ポンプ場

機械設備工事

総括情報表

頁0 -0001

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 59 三原市 00-07.08.01(0)	《凡例》 Co …コンクリート As …アスファルト DT …ダンプトラック BH …バックホウ CC …クローラクレーン TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン	
諸経費体系	F 下水道機械設備		
	当世代	前世代	
復興補正区分 前払金支出割合区分 週休補正区分 契約保証区分	00 補正なし 00 補正無し 09 閉所型・月単位 01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
設備工（機器費）					Y1800F レベル1
ポンプ設備工	1	式			Y28003F レベル2
ポンプ設備工	1	式			Y280031F レベル3
設計技術費対象外	1	式			Y48003102F レベル4
単純な部分取替えを行う機器費 設計技術費[対象外]	1	式			#0040
耐内水圧鋳鉄製マンホール蓋 φ600 0.04MPa以上 歩行荷重用以上	1	組			F0001 00
機器費					
設備工	1	式			Y1900F レベル1

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
ポンプ設備工	1	式			Y29003F レベル2
材料費	1	式			Y390032F レベル3
直接材料費	1	式			Y49003201F レベル4
小配管 SGP	1	式			V0001 00
小配管弁類	1	式			単第0 -0001 表 V0002 00
補助材料費	1	式			単第0 -0002 表 Y49003202F レベル4
補助材料費（率分）	1.7	式			SY49202F 00 機械設備 単第0 -0003 表
労務費	1	式			Y390033F レベル3
一般労務費	1	式			Y49003301F レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
一般労務					V0003 00
	1	式			単第0 -0004 表
複合工費					Y390034F レベル3
	1	式			
撤去工					Y49003401F レベル4
	1	式			
構造物とりこわし工(鉄筋構造物) 人力施工					SDT00033 00
	0.01	m3			単第0 -0005 表
復旧工					Y49003402F レベル4
	1	式			
モルタル練 普通					SPK25040158 00
	0.01	m3			単第0 -0006 表
ポンプ合わせ面					Y49003403F レベル4
	1	式			
コンクリート 小型構造物 18-8-25(20)BB 人力打設					SPK25040157 00
	0.8	m3			単第0 -0007 表
型枠 一般型枠 小型構造物					SPK25040159 00
	2	m2			単第0 -0008 表

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
モルタル練 普通	0.2	m3			SPK25040158 00 単第0 -0006 表
※※直接工事費※※					
準備費					Z0002
準備費	1	式			YZ902 レベル2
準備費	1	式			YZ902001 レベル3
準備費	1	式			YZ902001001レベル4
コンクリート殻処分	1	式			V0004 00 単第0 -0009 表
スクラップ H2	0.038	t			F0007 00
共通仮設費率分					Z0010

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
計算情報…… 対象額……… 率………					対象額合計…
※※共通仮設費※※					
※※純工事費※※					
現場管理費 計算情報…… 対象額……… 率………					対象額合計…
※※据付工事原価※※					
設計技術費 計算情報…… 対象額……… 率………					対象額合計…
※※工事原価※※					
一般管理費率分額 計算情報…… 対象額……… 率………		機器補正率…			前払補正率… 対象額合計…
契約保証費 計算情報…… 対象額……… 率………					当初請対象額 当初対象額

本工事費 内訳表

頁0 -0007

[illegible]

施工単価表

頁0 -0008

小配管 SGP

V0001

單第0 -0001 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0009

小配管弁類

V0002

單第0 -0002 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0010

補助材料費（率分）

SY49202F

單第0 -0003 表

式 当り

機械設備

[illegible]

施工単価表

頁0 -0011

一般勞務

V0003

單第0 -0004 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0012

構造物とりこわし工(鉄筋構造物)

SDT00033

單第0 -0005 表

人力施工

m3

当り

[illegible]

施工単価表

モルタル練
普通
機械構成比:

SPK25040158

単第0 -0006 表

1
標準単価: 102,720.00000
m3 当り

0.00% 労務構成比: 82.04% 材料構成比: 17.96% 市場単価構成比: 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	54.42%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	27.46%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
セメント(袋) 普通ポルトランド 25kg/袋	12.48%		セメント 高炉B 25kg袋入		TTPCD0094 TTPT00063
コンクリート用砂 細目(洗い)	5.48%		砂 細目(洗い)		TTPC00066 TTPT00066
積算単価			積算単価		EP001
A=2 普通			B=1 -(全ての費用)		

施工単価表

コンクリート

SPK25040157

単第0 -0007 表

1

m3

当り

小型構造物 18-8-25(20)BB

人力打設

標準単価：

40,190.00000

機械構成比：0.00%

労務構成比：46.18%

材料構成比：53.82%

市場単価構成比：0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	28.56%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	8.40%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	7.04%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(高炉)	53.82%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00003 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=2 小型構造物 C=3 18-8-25(20)BB H=1 現場内小運搬有り K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

施工単価表

頁0 -0015

型枠
一般型枠
機械構成比: 0.00%

SPK25040159

単第0 -0008 表

小型構造物
労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

1
標準単価: 9,147.60000

m2 当り
9,147.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	44.28%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	30.82%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.86%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=2 小型構造物		

施工単価表

頁0 -0016

コンクリート殻処分

V0004

單第0 -0009 表

1 式 当り

備考

单第0-0010 表

[illegible]

施工単価表

頁0 -0017

殻運搬
Co(鉄筋)構造物とりこわし
機械構成比: 40.77% 労務構成比: 44.82% 材料構成比: 14.41% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040155
DID区間有り 運搬距離3.3km以下(1.6km超)

単第0 -0010 表
1
標準単価: 1,579.90000
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	40.77%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	44.82%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.41%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 Co(鉄筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=14 運搬距離3.3km以下(1.6km超)		

東町雨水排水ポンプ場

名 称	形 状 寸 法	算 式	単 位	
1. 撤去 鋳鉄製マンホール蓋 撤去工	φ 600 (受枠共)		箇所	1. 00
鋳鉄製マンホール蓋 スクラップ		カタログ参考荷重	kg	38
コンクリートはつり工	人力	$(0.75 \times 0.75 - 0.66 \times 0.66 \times \pi / 4) \times 0.065 =$	0. 01	
		計	0. 01 m3	0. 01
Conガラ積み込み工	人力		0. 01 m3	0. 01
Conガラ処分工			0. 01 m3	0. 01
2. 更新 耐内水圧マンホール蓋 設置工	φ 600用 受枠共 内耐水圧0. 01Mpa以上) 歩行荷重用以上		箇所	1. 00
設備機械工		$4.9 \times 0.038 \times 1.4 =$	0. 26 人	1. 00
無収縮モルタル工		$(0.75 \times 0.75 - 0.73 \times 0.73 \times \pi / 4) \times 0.065 =$	0. 01 m3	0. 01
		計		

東町雨水排水ポンプ場

名 称	形 状 寸 法	算 式	単 位	
3. 撤去 (ドレン管)				
既設ドレン管	No. 1 15A		m	0.29
撤去工	No. 2 25A		m	0.31
4. 更新 (ドレン管)				
ドレン管	No. 1 15A		m	0.20
設置工	No. 2 25A		m	0.20
逆流防止弁 設置工	UOB (15A) 面間 : 85.0mm	スイングチャッキ (SCS13A) ステンレス鋼 10K フランジ形	個	1.00
	UOB (25A) 面間 : 110.0mm	スイングチャッキ (SCS13A) ステンレス鋼 10K フランジ形	個	1.00
配管工	No. 1 15A	$(0.17 \times 0.29) \times 0.4 + (0.17 \times 0.29) =$	0.07	
	No. 2 25A	$(0.24 \times 0.31) \times 0.4 + (0.24 \times 0.31) =$	0.10	
		計	人	1.00

東町雨水排水ポンプ場

名 称	形 状 寸 法	算 式	単位	
5. ポンプ合わせ面対策				
無筋コンクリート打設工	18N/mm2			
	No. 1	$(0.90 \times 0.90 \times \pi - 0.60 \times 0.60 \times \pi) \times 0.1 =$	0.14	
	No. 2	$(1.45 \times 1.45 \times \pi - 1.00 \times 1.00 \times \pi) \times 0.2 =$	0.69	
		計	m3	0.83
型枠	No. 1	$1.8 \times \pi \times 0.1 =$	0.57	
	No. 2	$2.9 \times \pi \times 0.2 =$	1.82	
		計	m2	2.39
モルタル仕上げ	t=30mm			
	No. 1	$1.8 \times \pi \times 0.1 + (0.90 \times 0.90 \times \pi - 0.60 \times 0.60 \times \pi) =$	1.98	
	No. 2	$2.9 \times \pi \times 0.2 + (1.45 \times 1.45 \times \pi - 1.00 \times 1.00 \times \pi) =$	5.28	
		計	m2	7.26

雨水排水ポンプ場耐水化工事（7-1）

～

参考資料

～

東町雨水排水ポンプ場

電気設備工事

総括情報表

頁0 -0001

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 59 三原市 00-07.08.01(0)	《凡例》 Co …コンクリート As …アスファルト DT …ダンプトラック BH …バックホウ CC …クローラクレーン TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン	
諸経費体系	G 下水道電気設備		
	当世代	前世代	
復興係数区分 前払金支出割合区分 週休補正区分 契約保証区分	00 補正なし 00 補正無し 09 閉所型・月単位 01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
設備工					Y1900G レベル1
電気設備工	1	式			Y29001G レベル2
複合工費	1	式			Y390014G レベル3
止水材充填工	1	式			Y49001401G レベル4
管路止水防水工	1	式			V0006 00
	1	孔			単第0 -0001 表
※※直接工事費※※					
共通仮設費率分					Z0010
計算情報…… 対象額……… 率……………					対象額合計…

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
※※共通仮設費※※					
※※純工事費※※					
現場管理費 計算情報…… 対象額……… 率………					対象額合計…
※※据付工事原価※※					
設計技術費 計算情報…… 対象額……… 率………					対象額合計…
※※工事原価※※					
一般管理費率分額 計算情報…… 対象額……… 率………					前払補正率… 対象額合計…
契約保証費 計算情報…… 対象額……… 率………					当初請対額 当初対象額
※※一般管理費計※※					

本工事費 内訳表

頁0 -0004

[illegible]

施工単価表

頁0 -0005

管路止水防水工

V0006

單第0 -0001 表

4

孔 当り

[illegible]

材 料 数 量 (※) 印は工量無 [東町雨水排水ポンプ場]

(*) 印は工量無 [東町雨水排水ポンプ場]

[東町雨水排水ポンプ場]

(1)	複合工費	止水材充填	箇所	1 (※)

止水材充填	箇所	1 (※)

箇所 1 (*)

1 (*)

[東町雨水排水ポンプ場]

$$\overline{Z-1/1}$$

材 料 内 訳 表

NO	区分	複合工費							
		止水材充填							
		箇所							
3001	ポンプ棟	1							
	(1/1)	ZHK (3- 1)	1						

雨水排水ポンプ場耐水化工事（7-1）

～

参考資料

～

宗郷雨水排水ポンプ場

建築工事

工事費内訳

1

名 称		数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費					
建築工事		1	式		
計					
共通費					
共通仮設費		1	式		
現場管理費		1	式		
一般管理費等		1	式		
計					
工事価格		1	式		
消費税等相当額		1	式		
工事費		1	式		
調査基準価格		1	式		
調査基準価格の100/110		1	式		

工事種別内訳

名 称		数 量	单 位	金 額	備 考
建築工事		1	式		
計					

建築工事 種目別内訳

3

[illegible]

建築工事 科目別内訳

宗郷雨水排水ポンプ場

[illegible]

建築工事 中科目別内訳

5

宗郷雨水排水ポンプ場					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
外壁改修	撤去	1	式		
外壁改修	改修	1	式		
計					
建具改修	撤去	1	式		
建具改修	改修	1	式		
計					
内装改修	撤去	1	式		
内装改修	改修	1	式		
計					
発生材処理	運搬	1	式		
発生材処理	処分	1	式		
計					

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

8

宗郷雨水排水ポンプ場		外壁改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
根切り	小規模土工 -	0.1	m3			
敷きならし	締め固め共	0.1	m3			
床付け	つぼ,布掘り	0.5	m ²			
砂利地業	再生切込碎石	0.03	m3			
普通コンクリート	JIS A5308 FC=18 S15 粗骨材20	0.03	m3			
普通コンクリート	JIS A5308 FC=24 S18 粗骨材20	1.5	m3			
コンクリート打設手間		1	式			
ポンプ圧送		1	式			
無収縮モルタル		0.03	m3			
目あらし	コンクリート面 壁	1.2	m ²			
水膨張ゴム	W15×H10	3.5	m			
型枠	普通合板型枠 - 基礎部 -	1.3	m ²			
型枠	打放合板型枠B種 ラーメン構造 地上軸部 階高3.5～4.0m程度	12.6	m ²			
型枠運搬費	4台車 30km程度 往復	13.9	m ²			
打放し面補修	B 種 コーン処理 部分目違いばらい	12.6	m ²			

建築工事 細目別内訳

9

宗郷雨水排水ポンプ場		外壁改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D10 少量	0.1	t			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D13 少量	0.04	t			
鉄筋加工組立	小型構造物 -	0.1	t			
鉄筋運搬費	4t車 30km程度	0.1	t			
あと施工アンカー	D13 Le=7da 下向	19	本			
あと施工アンカー	D13 Le=7da 横向	26	本			
あと施工アンカー	D13 Ln=100 横向 ダブルナット コムパッキン t2×50φ共	48	本			
あと施工アンカー確認 試験		1	回			
シーリング	一般部 ポリウレタン系(PU-2) 25×10	8	m			
シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 20×10	3.5	m			
シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 50×25	3.5	m			
止水板天端水切	鋼板 t0.5 L1150×D350	3	か所			
止水板	アルミ製 既製品 W3500×H900 中間支柱サポート H960 2か所共	1	か所			
逆止弁付水抜管	ステンレス製 10φ L150	3	か所			
床コンクリート直均し 仕上げ	金ごて 直均し仕上げ	0.2	m ²			

[illegible]

建築工事 細目別内訳

11

[illegible]

建築工事 細目別内訳

12

宗郷雨水排水ポンプ場		建具改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
SD2N 片開きスチールフラッシュ 戸新設	W900×H2000	2	か所			
SD6N 両開きスチールフラッシュ 戸新設	W2000×H2500	1	か所			
高圧水洗浄	150～200kg/cm2	2.4	m ²			
下地調整費	コンクリート面 屋内外 C-1	2.4	m ²			
複層塗材 RE	コンクリート面 ゆず肌状 ローター塗り アクリル系 水系 つやあり 上塗2回 下地調整費別途	2.4	m ²			
複層塗材 RE	コンクリート面 ゆず肌状 ローター塗り アクリル系 水系 つやあり 上塗2回 下地調整費(C-1)共	11.7	m ²			
シーリング*	一般部 変成シリコン系 (MS-2) 25×10	20.6	m			
建具周囲防水 モルタル充填	外部建具	20.6	m			
珪素樹脂遮熱塗装	鋼製建具面	11.7	m ²			
SOP塗り	鋼製建具面 - 塗料1種 錆止共	11.7	m ²			
逆止弁付水抜管	VP50φ L220 2か所 VP65A L190 1か所	1	式			
計						

[illegible]

[illegible]

建築工事 細目別内訳

15

[illegible]

建築工事 細目別内訳

16

[illegible]

宗郷雨水排水ポンプ場 直接仮設						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
墨出し		1	式			
墨出し(外壁改修)	タイル・珪外塗替等 一般	3	m ²			
計						
養生		1	式			
養生(内部改修)	複合改修	43.7	m ²			
養生(内部改修)	搬出入路部分	13.2	m ²			
計						
整理清掃後片付け		1	式			
整理清掃後片付け (内部改修)	複合改修	43.7	m ²			
整理清掃後片付け (内部改修)	搬出入路部分	13.2	m ²			
計						

[illegible]

[illegible]

雨水排水ポンプ場耐水化工事（7-1）

～

参考資料

～

宗郷雨水排水ポンプ場

機械設備工事

総括情報表

頁0 -0001

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 59 三原市 00-07.08.01(0)	《凡例》 Co …コンクリート As …アスファルト DT …ダンプトラック BH …バックホウ CC …クローラクレーン TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン	
諸経費体系	F 下水道機械設備		
	当世代	前世代	
復興補正区分 前払金支出割合区分 週休補正区分 契約保証区分	00 補正なし 00 補正無し 09 閉所型・月単位 01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
設備工（機器費）					Y1800F レベル1
ポンプ設備工	1	式			Y28003F レベル2
ポンプ設備工	1	式			Y280031F レベル3
設計技術費対象外	1	式			Y48003102F レベル4
単純な部分取替えを行う機器費 設計技術費[対象外]	1	式			#0040
耐内水圧鑄鉄製マンホール蓋 φ600 0.04MPa以上 歩行荷重用以上	1	組			F0001 00
耐水圧マシンハッチ蓋 □680×680 0.04Mpa以上 歩行荷重用以上	1	組			F0002 00
※※機器費※※					

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
設備工	1	式			Y1900F レベル1
ポンプ設備工	1	式			Y29003F レベル2
材料費	1	式			Y390032F レベル3
直接材料費	1	式			Y49003201F レベル4
小配管 SGP	1	式			V0001 00
小配管弁類	1	式			単第0 -0001 表
補助材料費	1	式			V0002 00
補助材料費 (率分)	1	式			単第0 -0002 表
	1.7	式			SY49202F 00
労務費	1	式			機械設備 単第0 -0003 表
					Y390033F レベル3

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
一般労務費					Y49003301F レベル4
	1	式			
一般労務					V0003 00
	1	式			単第0 -0004 表
複合工費					Y390034F レベル3
	1	式			
撤去工					Y49003401F レベル4
	1	式			
構造物とりこわし工(鉄筋構造物) 人力施工					SDT00033 00
	0.06	m3			単第0 -0005 表
復旧工					Y49003402F レベル4
	1	式			
モルタル練 普通					SPK25040158 00
	0.06	m3			単第0 -0006 表
防水工 空気抜き配管					F0005 00
	4	m2			
※※直接工事費※※					

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
準備費					Z0002
準備費					YZ902 レベル2
	1	式			
準備費					YZ902001 レベル3
	1	式			
準備費					YZ902001001レベル4
	1	式			
コンクリート殻処分					V0004 00
	1	式			単第0 -0007 表
スクラップ H2					F0007 00
	0.106	t			
共通仮設費率分					Z0010
計算情報…… 対象額……… 率………					対象額合計…
共通仮設費					

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
※※純工事費※※					
現場管理費 計算情報…… 対象額…… 率……					対象額合計…
※※据付工事原価※※					
設計技術費 計算情報…… 対象額…… 率……					対象額合計…
※※工事原価※※					
一般管理費率分額 計算情報…… 対象額…… 率……		機器補正率…			前払補正率… 対象額合計…
契約保証費 計算情報…… 対象額…… 率……					当初請対象額 当初対象額
※※一般管理費計※※					
※※工事価格計※※					

本工事費 内訳表

頁0 -0007

[illegible]

施工単価表

頁0 -0008

小配管 SGP

V0001

單第0 -0001 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0009

小配管弁類

V0002

單第0 -0002 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0010

補助材料費（率分）

SY49202F

單第0 -0003 表

1

式 当り

機械設備

[illegible]

施工単価表

頁0 -0011

一般勞務

V0003

單第0 -0004 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0012

構造物とりこわし工(鉄筋構造物)

SDT00033

單第0 -0005 表

人力施工

m3

当り

[illegible]

施工単価表

モルタル練
普通
機械構成比:

SPK25040158

単第0 -0006 表

1
標準単価: 102,720.00000
m3 当り

0.00% 労務構成比: 82.04% 材料構成比: 17.96% 市場単価構成比: 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	54.42%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	27.46%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
セメント(袋) 普通ポルトランド 25kg/袋	12.48%		セメント 高炉B 25kg袋入		TTPCD0094 TTPT00063
コンクリート用砂 細目(洗い)	5.48%		砂 細目(洗い)		TTPC00066 TTPT00066
積算単価			積算単価		EP001
A=2 普通			B=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0014

コンクリート殻処分

V0004

單第0 -0007 表

1 式 当り

備考

单第0-0008 表

[illegible]

施工単価表

頁0 -0015

殻運搬
Co(鉄筋)構造物とりこわし
機械構成比: 40.77% 労務構成比: 44.82% 材料構成比: 14.41% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040155
DID区間有り 運搬距離5.7km以下(3.3km超)

単第0 -0008 表
1
標準単価: 1,895.80000

m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	40.77%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	44.82%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.41%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 Co(鉄筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=25 運搬距離5.7km以下(3.3km超)		

宗郷雨水排水ポンプ場

名 称		形 状 寸 法	算 式		単 位	
1. 今回 空気抜き配管		止水材盛り付け	配管貫通部		箇所	8.00

宗郷雨水排水ポンプ場

名 称	形 状 寸 法	算 式	単 位	
2. 撤去 鋳鉄製マンホール蓋 撤去工	φ 600 (受枠共)		箇所	1. 00
鋳鉄製マンホール蓋 スクラップ		カタログ参考荷重	kg	38
コンクリートはつり工	人力	$(0.75 \times 0.75 - 0.66 \times 0.66 \times \pi / 4) \times 0.065 =$	0. 01	
		計	0. 01 m3	0. 01
Conガラ積み込み工	人力		0. 01 m3	0. 01
Conガラ処分工			0. 01 m3	0. 01
3. 更新 耐内水圧マンホール蓋 設置工	φ 600用 受枠共 内耐水圧0. 04Mpa以上) 歩行荷重用以上		箇所	1. 00
無収縮モルタル工		$(0.75 \times 0.75 - 0.73 \times 0.73 \times \pi / 4) \times 0.065 =$	0. 01 m3	0. 01
		計		

宗郷雨水排水ポンプ場

名 称	形 状 寸 法	算 式	単 位	
4. 撤去 マシンハッチ蓋 撤去工	□680×680	カタログ参考荷重	箇所 kg	1.00 68.00
コンクリートはつり工	人力	$(0.90 \times 0.90 - 0.68 \times 0.68) \times 0.15 =$	0.05	
		計	0.05 m3	0.05
Conガラ積み込み工	人力		0.05 m3	0.05
Conガラ処分工			0.05 m3	0.05
5. 更新 耐水圧マシンハッチ蓋 設置工	□680×680 受枠共 内耐水圧0.04Mpa以上) 歩行荷重用以上		箇所	1.00
設備機械工		$4.9 \times 0.038 \times 1.4 + 4.9 \times 0.068 \times 1.4 =$	0.72 人	1.00
無収縮モルタル工		$(0.90 \times 0.90 - 0.68 \times 0.68) \times 0.15 =$	0.05 m3	0.05
		計		

宗郷雨水排水ポンプ場

名 称	形 状 寸 法	算 式	単 位	
6. 撤去 (ドレン管)				
既設ドレン管	No. 1 25A		m	0.31
撤去工	No. 2 25A		m	0.31
7. 更新 (ドレン管)				
ドレン管	No. 1 25A		m	0.20
設置工	No. 2 25A		m	0.20
逆流防止弁 設置工	UOB (25A) 面間 : 110.0mm	スイングチャッキ (SCS13A) ステンレス鋼 10K フランジ形	個	2.00
配管工	No. 1 25A	$(0.24 \times 0.31) \times 0.4 + (0.24 \times 0.31) =$	0.10	
	No. 2 25A	$(0.24 \times 0.31) \times 0.4 + (0.24 \times 0.31) =$	0.10	
		計	人	1.00

雨水排水ポンプ場耐水化工事（7-1）

～

参考資料

～

宗郷雨水排水ポンプ場

電気設備工事

総括情報表

頁0 -0001

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 59 三原市 00-07.08.01(0)	《凡例》 Co …コンクリート As …アスファルト DT …ダンプトラック BH …バックホウ CC …クローラクレーン TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン	
諸経費体系	G 下水道電気設備		
	当世代	前世代	
復興係数区分 前払金支出割合区分 週休補正区分 契約保証区分	00 補正なし 00 補正無し 09 閉所型・月単位 01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
設備工					Y1900G レベル1
電気設備工	1	式			Y29001G レベル2
材料費	1	式			Y390012G レベル3
直接材料費	1	式			Y49001201G レベル4
制御ケーブル	1	式			V0001 00
電線管	1	式			単第0 -0001 表 V0004 00
補助材料費	1	式			単第0 -0002 表 Y49001202G レベル4
補助材料費（率分）	1	式			SY49202G 00
	1	式			電気設備 単第0 -0003 表

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
労務費					Y390013G レベル3
	1	式			
一般労務費					Y49001301G レベル4
	1	式			
電工					R0090 00
	10	人			
技術労務費					Y49001302G レベル4
	1	式			
電気通信技術者 (据付)					R1110 00
	2	人			
電気通信技術者 (単体調整)					R1110 00
	2	人			
複合工費					Y390014G レベル3
	1	式			
止水材充填工					Y49001401G レベル4
	1	式			
管路止水防水工					V0006 00
	2	孔			単第0 -0004 表

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
※※直接工事費※※					
共通仮設費率分					Z0010
計算情報…… 対象額……… 率………					対象額合計…
※※共通仮設費※※					
※※純工事費※※					
現場管理費 計算情報…… 対象額……… 率………					対象額合計…
※※据付工事原価※※					
設計技術費 計算情報…… 対象額……… 率………					対象額合計…
※※工事原価※※					

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
一般管理費率分額 計算情報…… 対象額…… 率……					前払補正率… 対象額合計…
契約保証費 計算情報…… 対象額…… 率……					当初請対額 当初対象額
＊＊一般管理費計＊＊					
＊＊工事価格計＊＊					
消費税相当額 計算情報…… 対象額…… 率……					
＊＊請負工事費計＊＊					

施工単価表

頁0 -0006

制御ケーブル

V0001

單第0 -0001 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

電線管

V0004

單第0 -0002 表

頁0 -0007

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0008

補助材料費（率分）

SY49202G

單第0 -0003 表

1

式 当り

電気設備

[illegible]

施工単価表

頁0 -0009

管路止水防水工

V0006

單第0 -0004 表

4

孔 当り

[illegible]

[illegible]

機 器 数 量(移設)

数量・単位は据付入力欄のものとします[宗郷雨水排水ポンプ場]

(1) 機器

給油口ユニットボックス

面 1

1

(2) 機器

No. 1ポンプ井水位計

組 1

1

(3) 機器

No2ポンプ井水位計

組 1

1

人 工 集 計 表

[宗郷雨水排水ポンプ場]

[illegible]

[宗郷雨水排水ポンプ場]

電工量小計 = 1.802

[宗郷雨水排水ポンプ場]

C- 2 / 4

電工量小計= 0.871

[宗郷雨水排水ポンプ場]

電工量小計= 0.622

[宗郷雨水排水ポンプ場]

C- 4 / 4 電工量小計= 0.202

[宗郷雨水排水ポンプ場]

$$Z-1 / 1$$

材 料 内 訳 表

NO	配線区間 自 至		CVV				CVV				CVV-S				IV				GP			
			2 sq				2 sq				1.25 sq				3.5 sq				28 mm			
			P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	露出	埋込		
4001	RY-1	LCB-08					6.7	11.9		10.0							2.7					
4002	RY-1	LCB-08	6.7	11.9		10.0											2.7					
4003	KP-1	LCB-08									7.9	11.9		10.0			2.7					
4004	中継箱	No. 1ポンプ井																	3.5			
4005	中継箱	No. 2ポンプ井																	3.1			

材 料 内 訳 表

NO	配線区間 自 至		CVV				CVV				CVV-S				IV				GP			
			2 sq				2 sq				1.25 sq				3.5 sq				28 mm			
			P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	露出	埋込		
7001	RY-1	LCB-08					6.7	11.9		10.0							2.2					
7002	RY-1	LCB-08	6.7	11.9		10.0											2.2					
7003	KP-1	LCB-08									7.9	11.9		10.0			2.2					
7004	中継箱	No. 1ポンプ井																	2.5			
7005	中継箱	No. 2ポンプ井																	2.1			

N o	自	至	種別・サイズ・本数	経路	合計	計 算
4001	RY-1 補助継電器盤	LCB-08 燃料貯油槽液 位表示盤	CVV 2 sq - 2 c	P&D	6.7	(0.5)+ 3.7 + 1.1 + 0.9 + 0.5
				RACK	11.9	(0.4)+ 0.3 + 8.4 + 0.3 + (2.5)
				CP		
				FEP	10.0	4.7 + 5.3
			IV 3.5 sq	CP	2.7	(1.3)+ (1.4)
				露出		
				埋込		
4002	RY-1 補助継電器盤	LCB-08 燃料貯油槽液 位表示盤	CVV 2 sq - 4 c	P&D	6.7	(0.5)+ 3.7 + 1.1 + 0.9 + 0.5
				RACK	11.9	(0.4)+ 0.3 + 8.4 + 0.3 + (2.5)
				CP		
				FEP	10.0	4.7 + 5.3
			IV 3.5 sq	CP	2.7	(1.3)+ (1.4)
				露出		
				埋込		
4003	KP-1 監視計装盤	LCB-08 燃料貯油槽液 位表示盤	CVV-S 1.25 sq - 2 c	P&D	7.9	(0.5)+ 2.2 + 2.7 + 1.1 + 0.9 + 0.5
				RACK	11.9	(0.4)+ 0.3 + 8.4 + 0.3 + (2.5)
				CP		
				FEP	10.0	4.7 + 5.3
			IV 3.5 sq	CP	2.7	(1.3)+ (1.4)
				露出		
				埋込		
4004	中継箱	No. 1ポンプ井 水位計		P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
				CP		
			GP 28 mm	露出	3.5	(1.4)+ 0.3 + 0.8 + (1.0)
				埋込		
4005	中継箱	No. 2ポンプ井 水位計		P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
				CP		
			GP 28 mm	露出	3.1	(1.4)+ 0.7 + (1.0)
				埋込		

宗郷雨水排水ポンプ場（撤去）（ 1/ 1）

拾い出し根拠表

[氷ポンプ場]

N o	自	至	種別・サイズ・本数	経路	合計	計 算
7001	RY-1 補助継電器盤	LCB-08 燃料貯油槽液 位表示盤	CVV 2 sq - 2 c	P&D	6.7	(0.5)+ 3.7 + 1.1 + 0.9 + 0.5
				RACK	11.9	(0.4)+ 0.3 + 8.4 + 0.3 + (2.5)
				CP		
				FEP	10.0	4.7 + 5.3
			IV 3.5 sq	CP	2.2	(1.3)+ (0.9)
				露出		
				埋込		
7002	RY-1 補助継電器盤	LCB-08 燃料貯油槽液 位表示盤	CVV 2 sq - 4 c	P&D	6.7	(0.5)+ 3.7 + 1.1 + 0.9 + 0.5
				RACK	11.9	(0.4)+ 0.3 + 8.4 + 0.3 + (2.5)
				CP		
				FEP	10.0	4.7 + 5.3
			IV 3.5 sq	CP	2.2	(1.3)+ (0.9)
				露出		
				埋込		
7003	KP-1 監視計装盤	LCB-08 燃料貯油槽液 位表示盤	CVV-S 1.25 sq - 2 c	P&D	7.9	(0.5)+ 2.2 + 2.7 + 1.1 + 0.9 + 0.5
				RACK	11.9	(0.4)+ 0.3 + 8.4 + 0.3 + (2.5)
				CP		
				FEP	10.0	4.7 + 5.3
			IV 3.5 sq	CP	2.2	(1.3)+ (0.9)
				露出		
				埋込		
7004	中継箱	No. 1ポンプ井 水位計		P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
				CP		
			GP 28 mm	露出	2.5	(1.4)+ 0.3 + 0.8
				埋込		
7005	中継箱	No. 2ポンプ井 水位計		P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
				CP		
			GP 28 mm	露出	2.1	(1.4)+ 0.7
				埋込		

機 器 名 称	形 状	単位	数量	技術者		電 工		技術者単体調整				歩 掛 ページ	機器重量(t)		備 考
				単位工量	工量	単位工量	工量	単位工量	工量	単位工量	工量		単位重量	重量	
給油口 ユニットボックス	給油口 ユニットボックス	面	1	0.71*1.6 =1.1	1.1	1.8*1.6 =2.8	2.8							0.035	現場操作盤5 壁掛形 W400*H500
No.1ポンプ井水位計	No.1ポンプ井水位計	組	1	0.41*1.6 =0.65	0.65	1.3*1.6 =2.0	2.0	1.3	1.3					0.025	計装設備 検出端等 発信器類
No2ポンプ井水位計	No.2ポンプ井水位計	組	1	0.41*1.6 =0.65	0.65	1.3*1.6 =2.0	2.0	1.3	1.3					0.025	計装設備 検出端等 発信器類
計（S-401）				2.40		6.8		2.6					0.085		

位置図

